

独立行政法人 農畜産業振興機構  
養豚経営安定対策補完事業

# 養豚農業実態調査報告書 ( 全国集計結果 )

平成28年度

平成29年3月

一般社団法人日本養豚協会(JPPA)



## はじめに

平成28年度養豚農業実態調査は、養豚業におけるコスト削減や生産性の向上の取組等の実態把握・分析をすることにより、養豚経営の体質強化に資することを目的に、農林水産省所管の独立行政法人農畜産業振興機構からの補助を受けて実施するもので、全養豚生産者を対象に実施しました。

具体的には、「都道府県にある養豚生産者組織」及び「当協会」が把握している養豚生産者に対し調査票（3,888件）を配布し、回答をいただきました。回答が得られたのは1,249件でした。このうち、経営中止、休業等の無効回答及び廃業を除いた842経営体について全国、地域別、子取り用雌豚頭数規模別等で集計・分析したものです。

基礎的な経営実態をみるため、経営形態、従業員数、後継者の有無、種豚頭数、飼養頭数、肉豚出荷状況、事故率など定型設問のほか、最近の課題となっています衛生レベル・防疫対策、豚肉輸出、環境対策、アニマルウェルフェア、チェックオフ制度、種豚改良などについて調査を行いました。

この調査結果が、養豚生産者の方々の今後のコスト削減や生産性向上のために少しでも参考になれば幸いです。

この印刷物を作成するに当たり、調査に回答いただきました養豚経営者の方々、また、調査の御指導、調査票の回収及び記入内容のチェック等に御尽力いただきました方々に深謝申し上げます。

平成29年3月  
一般社団法人日本養豚協会(JPPA)





## 調査結果の概要

平成28年度の調査は、「都道府県にある養豚生産者組織（以下「都道府県養豚協会」という。）」及び「（一社）日本養豚協会」が平成28年8月1日現在確認できている全養豚生産者を対象に調査を実施した。

本年度調査の27年度調査との大きな変更点は、原則、農場単位での調査となっていたが、実際には経営体単位での回答も多く、原則経営体単位に変更した。

なお、回答数は、設問毎の回答数を示しているため、複数回答の設問については、回答数が回答経営体数を上回る場合がある。また、同じ項目でありながら回答数、回答経営体数に差異が生じているのは、クロス集計（経営タイプが一貫生産の子取り用雌豚頭数規模別の事故率等）の場合、対応する項目の回答数、回答経営体数が異なることによるものである。

### 1. 調査回答状況

平成28年度の調査は、都道府県養豚協会及び当協会が平成28年8月1日現在確認できている全養豚生産者を対象(3,888件)（前年度調査において調査票を配布し回答がなくても廃業報告がなされなかった者を含む。）に調査を実施した。

回答が得られたのは1,249件（廃業等を含む）で全国集計結果の集計に使用したのは、回答の中から廃業、無効を除いた842経営体である。

（注）経営体数は、農場を複数有し、複数の都道府県にまたがる経営体は都道府県ごとにカウントした。

ただし、当該経営体が複数県まとめて回答してきたものもあり、その場合は1経営体としてカウントした。

### 2. 経営形態など

#### (1) 経営形態

	割合
個人経営	44.5%
農事組合法人	5.1%
有限会社	31.6%
合資会社・合名会社	0.1%
株式会社	15.6%
農協の直営農場	0.5%
その他（都道府県、公益法人、学校法人等）	2.6%

#### (2) 経営タイプ（1経営体で複数の農場を有し、経営タイプが違う農場がある。）

	割合
一貫経営	87.9%
繁殖経営	7.4%

肥育経営 8.2%

### 3. 養豚従事者数

従事者数に回答のあったのは835経営体で、従事者数合計は7,588人である。

従事者数の内訳は、家族1,611人、常勤雇員5,370人、非常勤雇員172人、その他（豚肉加工、販売等）435人である。

1経営体当たりの平均従事者数は9.1人で、家族2.6人、常時雇用10.7人、非常勤雇用2.0人、その他14.0人である。

### 4. 後継者

後継者の項目に回答のあったのは835経営体で、

「決まっている」	30.4%	後継者の平均年齢34.7歳
「対象はいるが、決まっていない」	16.2%	予定者の平均年齢26.6歳
「経営者が若いので考えていない」	10.7%	
「いない・考えていない」	27.9%	
「会社等後継者と関係がない」	14.9%	

### 5. 農場数

農場数の項目に回答があったのは841経営体で、

農場数は全体で1,211農場、1経営体平均1.44農場

### 6. 飼養頭数

子取り用雌豚の全頭数は289,850頭で、そのうち純粋種は29,989頭、交雑種は259,861頭（89.7%）である。

交雑種の内訳はLW：31.0%、WL：13.8%、LW、WLいずれか：19.7%、その他の組合せ：6.8%、海外ハイブリッド：28.7%である。

種雄豚の全頭数は11,158頭で、そのうち純粋種は8,399頭（75.3%）である。

### 7. 肉豚の出荷状況（平成27年1～12月成績）

肉豚の出荷時日齢は	185.1日齢
出荷時体重は	114.5kg
枝肉重量は	74.8kg
「上」物率は	53.7%

### 8. 種雌豚の繁殖成績（平成27年1～12月の成績）

平均哺乳開始頭数	11.0頭
平均離乳頭数	9.8頭
平均育成率	89.0%
平均受胎率	87.9%
平均分娩率	86.0%
平均分娩回数	2.2回

#### 9. 事故率（平成27年1～12月の平均）

離乳後から出荷時まで通算事故率6.5%、「1～4%」が全体の43.4%と最も多く、「5～9%」が35.6%を占める。また、事故率20%以上が3.5%（22経営体）ある。

地域別では

高い 九州・沖縄 8.1%、東海 7.6%、関東 7.2%

低い 北海道・東北 4.7%、近畿 4.6%

飼育ステージ別の事故率は、子豚舎・子豚豚房では4.1%、肥育舎・肥育豚房では3.3%である。

#### 10. 人工授精の実施状況

人工授精の実施経営体割合は、「自然交配を主とし、人工授精を従としている」と「人工授精を主とし、自然交配を従としている」と「人工授精のみ」の合計が67.4%となっている。

使用する精液については、

全て自家産 25.6%

自家産と外部導入 18.3%

全て外部導入 56.2%

人工授精の実施経営体割合の地域別では、近畿78.6%、北陸77.5%、東海76.7%と全国平均を大きく上回っており、一方、九州・沖縄59.0%と全国平均を大きく下回っている。

#### 11. 現在使用している飼料

使用している飼料の状況を経営体数の割合で見ると、

市販配合飼料のみ 78.2%

市販配合飼料＋自家配合飼料 16.3%

自家配合飼料のみ 5.5%

を使用している。

地域別に見ると、近畿を除くどの地域も「市販配合飼料」の割合が高いが、近畿は「市販配合飼料＋自家配合飼料」の割合が高い。

回答があった経営体の飼料の年間使用量を数量割合で見ると、

配合飼料 87.2%



飼料用米	1.1%
エコフィード	10.3%
その他	5.1%

となっている。

「飼料用米の今後の利用意向」については、回答した経営体のうち61.1%が利用拡大・使用開始したいと考えている。

「現在エコフィードを使用していない経営体の今後の利用意向」については、15.7%が検討中・利用したいとしている。

## 12. 飼養頭数の推移（前年と比較して）

繁殖豚では、「増やした」経営体数は12.1%、変わらない」74.9%、「減らした」13.4%で、増やした頭数の合計は3,438頭、減らした頭数の合計は2,854頭で、「増やした」が584頭多い。

肥育豚では、「増やした」経営体数は13.9%、「変わらない」74.9%、「減らした」11.1%で、増やした頭数の合計は52,865頭、減らした頭数の合計は14,453頭で、「増やした」が38,412頭多い。

## 13. 養豚経営の今後の意向

今後の意向は「拡大する」30.0%、「現状維持」58.8%、「経営を縮小」11.2%で、約6割が「現状維持」、「縮小」よりも「拡大」の意向が多い。一方、経営を縮小の内訳うち具体的に今年中あるいは近く廃業したいと考えているは「経営を縮小」の6割近い52経営体が廃業を考えている。

## 14. 衛生レベル・防疫対策

農場における人の入退場について、何らかの対策をしている経営体は98.2%で、対策の内訳では「管理地区を示す看板の設置」とする経営体が78.6%で最も割合が高い。

豚の導入時の対応では、792経営体のうち「隔離検疫を実施している」経営体は57.6%で、規模が小さいほど実施率が低い。

農場内への資材の搬入時の対策では、798経営体のうち何らかの対策をしている経営体は57.8%である。

車両の入退場の対応は、742経営体で何らかの対応を実施しており、最も高い割合は「出荷トラックの消毒実施」74.6%である。

野生動物の侵入防止対策では、819経営体のうち何らかの対策をしている農場は89.7%となっている。

## 15. 環境対策

過去1年以内に住民等からの悪臭苦情を寄せられたことがある経営体は18.6%で、そのうちの67.5%は公的機関を通して苦情が寄せられている。

悪臭苦情を減らすための方法等を公的機関に相談したのは、回答のあった198経営体のうちの54.5%である。

今後の公的機関に期待する役割では、「対策に有効な情報の提示」とする経営体が60.2%で最も割合が高い。

ふん尿処理状況については、「ふん」、「尿」及び「ふん尿混合」のそれぞれの処理方法で、いずれも「自家処理施設」を利用している経営体の割合が最も高く、「ふん」92.2%、「尿」94.4%、「ふん尿混合」93.7%である。

自家処理施設を利用している経営体での処理方法では、「ふん」では強制発酵、「尿」、「ふん尿混合」では「浄化」により処理する経営体の割合が最も高い。

#### 16. アニマルウェルフェアの取組み

経営体におけるアニマルウェルフェアの取組状況について、「知っている」が74.5%となっている。そのうち、「アニマルウェルフェアの考え方を取り入れている」、「検討中又は検討予定」を併せて30.2%となっている。

繁殖用雌豚の飼養管理にストールを常用しているかについて回答経営体の割合をみると、「している」91.1%となっており、そのうち10.1%が今後検討するとしている。

去勢を実施する際に麻酔を実施しているかについて回答経営体の割合をみると、無麻酔が97.3%となっており、そのうち今後検討するが3.3%となっている。

歯の切断を実施する際に麻酔を実施しているかについて回答経営体の割合をみると、無麻酔が92.1%となっており、そのうち今後検討するが3.1%となっている。

尾の切断する際に麻酔を実施しているかについて回答経営体の割合をみると、無麻酔が91.3%となっており、そのうち今後検討するが2.8%となっている。

#### 17. 生産している豚肉に係る海外輸出の取組み

生産している豚肉に係る海外輸出の取組みについて、「特に考えていない」86.6%と大多数を占める。一方、「すでに輸出済」0.8%（6経営体）、「販売先等から輸出済」2.1%（16経営体）、「輸出準備中」0.9%（7経営体）ある。また、「機会があれば輸出希望」は9.6%（72経営体）ある。

#### 18. 農場 HACCP の導入の取組み

農場 HACCP の導入について、導入している経営体は8.5%となっており、導入していない経営体のうち「現在申請中」が3.2%、「現在検討中」が9.0%、「今後検討したい」が31.3%となっている。

## 19. チェックオフ制度について

チェックオフの導入が検討されているがこの状況を知っているかについて、「知っている」と回答した経営体の割合は **58.1%** となっている。

これを地域別にみると北海道・東北、関東、北陸、東海が **60%** 台と高く、九州・沖縄が **36.4%** と最も低い。

豚肉におけるチェックオフ制度の導入について参加するかを否かの割合については、「積極的に参加」**19.7%**、「徴収額次第で参加を検討」**7.5%**、「目的次第で参加を検討」**22.6%**、全生産者の参加を条件に検討」**25.7%** となっており、これらを合計すると **75.5%** となっている。一方、「導入の必要性を感じない」が **24.5%** となっている。

これを母豚規模別に割合をみると、母豚規模が大きいほど「参加、あるいは参加検討」の割合が高くなり 1000 頭以上では **93.3%** と最も高くなっている。

また、「参加、あるいは参加検討」と回答した経営体について徴収するとした場合に妥当と思う金額を聞いたところ、平均額は **72.8** 円であった。

(注) 昨年 11 月の「農業競争力強化プログラム」において、生産者の同意が得られた場合に品目ごとに制度化することが決められたが、強化プログラム決定前の調査である。

## 20. 種豚改良を進める上で、重要と考える改良形質（複数回答）

種豚改良を進める上で、重要と考える改良形質については、**722** 経営体の回答があり平均 **4** 弱の改良形質が重要と考えている。「産子数」**82.3%** と最も多く、次いで「増体性」**67.5%**、「飼料要求率」**66.8%** の順となっている。

いずれの地域でも「産子数」に関心が高い。



## 目 次

1. 調査回答状況	1
2. 経営関係	2
3. 飼養頭数	4
4. 肉豚の出荷状況	7
5. 繁殖・肉豚出荷等の成績	9
6. 事故率	11
7. 交配方法（人工授精を含む）	14
8. 給与飼料	16
9. 経営の推移と今後の意向	18
10. 衛生レベル・防疫対策	25
11. 環境対策	32
12. 糞尿処理状況	36
13. アニマルウェルフェア	39
14. 豚肉の海外輸出の取り組み	42
15. 農場 HACCP の取り組み	43
16. チェックオフ制度について	44
17. 種豚改良について	45
集計表	47
養豚農業実態調査票	90

〔表記方法の説明〕

1. 表中の赤字及び青字は説明文に使用した数値です。
2. 全国、全体以外の赤字は、全国、全体よりも値が大きいもの、青字は全国、全体よりも値が小さいものを表しています。

F. 調査回答状況

●回答数・性別・年齢(地域別)									
	全 国	北海道・東北	関 東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄	
回 答 数	1249	335	435	46	81	30	66	254	
廃業報告	402	133	152	3	16	10	16	72	
無効回答数	5	0	1	0	0	0	1	1	
有効回答数	842	202	282	43	65	20	49	181	
経営者の性別	男	797	196	269	40	63	17	45	167
	女	16	3	3	1	1	0	1	7
	不明	29	3	10	2	1	3	3	7
平均年齢	58.9	57.8	59.0	58.4	59.0	64.8	55.3	60.2	
年齢の回答数	842	202	282	43	65	20	49	181	

(注)「回答数」の全国欄には、住所等が記入されておらずブロックが特定できない調査票2を含む。「無効」欄も同様。

- ① 平成28年度の調査(平成28年8月1日現在)は、「平成27年度養豚基礎調査で回答があった養豚経営者又は農場責任者」と「都道府県養豚協会等が確認できている養豚経営者又は農場責任者」を対象(3,888)に行い、回答が得られたのは1,249経営体(廃業(402)を含む。)である。
- ② 集計に使用したのは無効回答(ほとんど項目に記載がないもの(5))を除く842経営体である。
- ③ 経営者の平均年齢は58.9歳である。地域別では、近畿64.8歳、次いで九州・沖縄60.2歳と高く、中国・四国が55.3歳と最も低い。

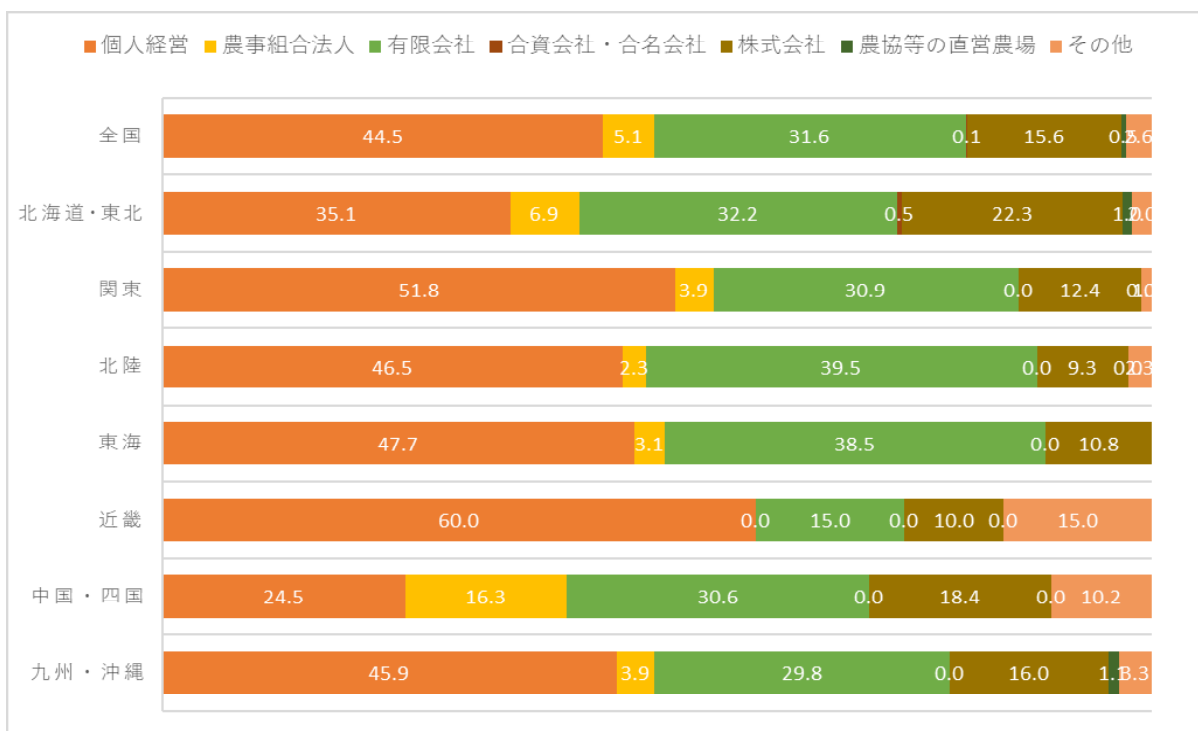
●回答数・子取り用雌豚飼養規模別									
		全規模	1～19頭	20～49頭	50～99頭	100～199頭	200～499頭	500～999頭	1,000頭以上
経営体	(数)	767	44	89	148	163	186	72	65
	(%)	100.0	5.7	11.6	19.3	21.3	24.3	9.4	8.5

●回答数・肉豚出荷規模別									
		全規模	1～399頭	400～999頭	1,000～1,999頭	2,000～3,999頭	4,000～9,999頭	10,000～19,999頭	20,000頭以上
経営体	(数)	792	87	84	154	149	178	72	68
	(%)	100.0	11.0	10.6	19.4	18.8	22.5	9.1	8.6

## 2. 経営関係

●経営形態（地域別）		全国		北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
		うち契約・預託								
1 個人経営（家族労働主体）	（経営体数）	375	4	71	146	20	31	12	12	83
	（％）	44.5	12.1	35.1	51.8	46.5	47.7	60.0	24.5	45.9
2 農事組合法人	（経営体数）	43	20	14	11	1	2	0	8	7
	（％）	5.1	60.6	6.9	3.9	2.3	3.1	0.0	16.3	3.9
3 有限会社（LLC法人を含む）	（経営体数）	266	4	65	87	17	25	3	15	54
	（％）	31.6	12.1	32.2	30.9	39.5	38.5	15.0	30.6	29.8
4 合資会社・合名会社	（経営体数）	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	（％）	0.1	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5 株式会社	（経営体数）	131	5	45	35	4	7	2	9	29
	（％）	15.6	15.2	22.3	12.4	9.3	10.8	10.0	18.4	16.0
6 農協等の直営養豚場	（経営体数）	4	0	2	0	0	0	0	0	2
	（％）	0.5	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1
7 その他（公益法人、学校法人等）	（経営体数）	22	0	4	3	1	0	3	5	6
	（％）	2.6	0.0	2.0	1.1	2.3	0.0	15.0	10.2	3.3
合 計	（経営体数）	842	33	202	282	43	65	20	49	181
	（％）	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ① 個人経営の割合が44.5%と最も高く、次いで有限会社31.6%、株式会社15.6%となっている。
- ② 地域別に見ると、中国・四国を除いてどの地域も個人経営の割合が高く、中国・四国は有限会社の割合が30.6%と高い。
- ③ 契約や預託の割合が高いのは、農事組合法人が多い。





●経営タイプ（地域別、複数回答、回答経営体数=805）		全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
1 一貫経営	(回答数)	732	174	258	38	59	13	45	145
	(%)	90.9	89.2	94.5	88.4	95.2	72.2	95.7	86.8
2 繁殖経営	(回答数)	62	16	13	1	3	3	3	23
	(%)	7.7	8.2	4.8	2.3	4.8	16.7	6.4	13.8
3 肥育経営	(回答数)	68	16	13	4	4	6	3	22
	(%)	8.4	8.2	4.8	9.3	6.5	33.3	6.4	13.2
合 計	(回答数)	862	206	284	43	66	22	51	190
	(%)	107.1	105.6	104.0	100.0	106.5	122.2	108.5	113.8
回答経営体数	(回答数)	805	195	273	43	62	18	47	167

- ① 経営タイプでは、一貫経営が732（90.9%）と最も多く、肥育経営が68（8.4%）、繁殖経営が62（7.7%）となっている。
- ② 地域別では、一貫経営数は関東が258と最も多いが、地域割合では中国・四国95.7%、東海95.2%と高い。
- ③ 繁殖経営、肥育経営では、九州・沖縄がそれぞれ23, 22と多い。



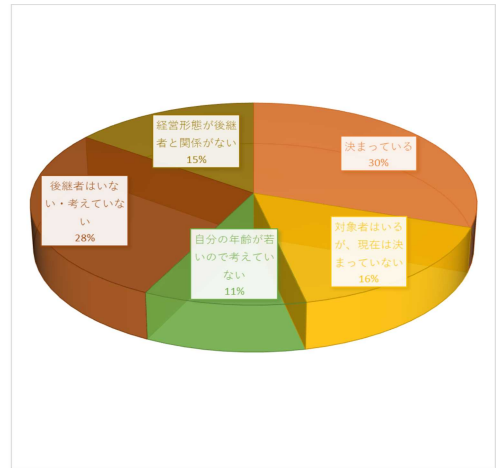
●養豚従事者数（複数回答、★回答経営体数=835）		回答数	割合 (%)	従事者合計	1経営体当従事者数	最大値	最小値
1	家族労働（常時）	615	73.7	1,611	2.6	20	1
2	常勤雇員（社員、契約社員、パート、アルバイト）	502	60.1	5,370	10.7	200	1
3	非常勤雇員（必要な日、必要な時間で雇用）	84	10.1	172	2.0	10	1
4	その他（豚肉加工・販売など担当）	31	3.7	435	14.0	281	1
合 計		1,232	147.5	7,588	9.1	480	1

- ① 養豚従事者に回答のあった経営体は835で、常勤雇用が最も多く5,370人、次いで家族が1,611人、非常勤雇用が172人、その他435人で、全体で7,588人である。
- ② 1経営体当たりの平均従事者数は9.1人、常時雇用10.7人、家族労働2.6人である。

●後継者（★回答経営者数=835）		回答数	割合（%）	年齢回答経営体数	平均年齢
1	決まっている	254	30.4	251	34.7
2	対象者はいるが、現在は決まっていない	135	16.2	121	26.6
3	自分の年齢が若いので考えていない	89	10.7	—	—
4	後継者はいない・考えていない	233	27.9	—	—
5	経営形態が後継者と関係がない（株式会社等）	124	14.9	—	—
合 計		835	100.0	—	—

① 後継者に回答のあったのは835経営体で、「決まっている」が30.4%で候補者の平均年齢は34.7歳、「対象者はいるが、現在は決まっていない」が16.2%で対象者の平均年齢は26.6歳で、「後継者はいない・考えていない」が27.9%である。

② これを、「自分の年齢が若いので考えていない」と「経営形態が後継者と関係がない」を除いて計算すると、「決まっている」が40.8%、「対象者はいるが、現在は決まっていない」が21.7%で合わせて62.5%となっている。

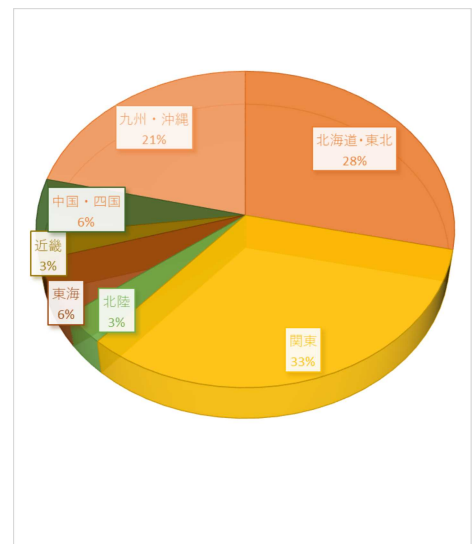


### 3. 飼養頭数

●子取り用雌豚（全体頭数、地域別、★回答経営体数=767）		全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
純粋種	(頭)	29,989	8,741	7,915	583	1,227	111	654	10,758
	(%)	10.3	10.6	8.3	6.2	7.4	1.5	4.0	17.5
交雑種	(頭)	259,861	73,724	87,880	8,847	15,372	7,448	15,753	50,837
	(%)	89.7	89.4	91.7	93.8	92.6	98.5	96.0	82.5
合計	(頭)	289,850	82,465	95,795	9,430	16,599	7,559	16,407	61,595
	(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
地域別割合	(%)	100.0	28.5	33.0	3.3	5.7	2.6	5.7	21.3

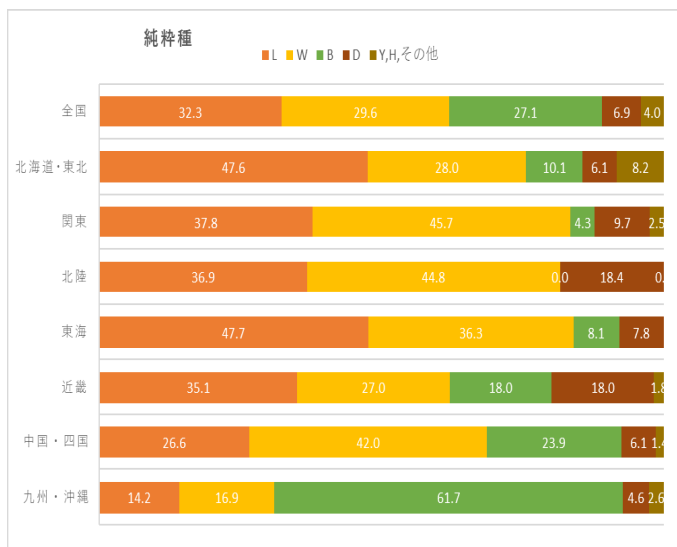
① 子取り用雌豚の全頭数は289,850頭で、そのうち純粋種は29,989頭（10.3%）、純粋種の割合が高いのは九州・沖縄17.5%で、これは次の品種割合で示すとおりパークシャーの割合が高いことによる。

② 地域別では、子取り用雌豚が多いのは関東95,795頭、北海道・東北82,465頭、九州・沖縄61,595頭の順で、この地域で全体の82.7%を占めている



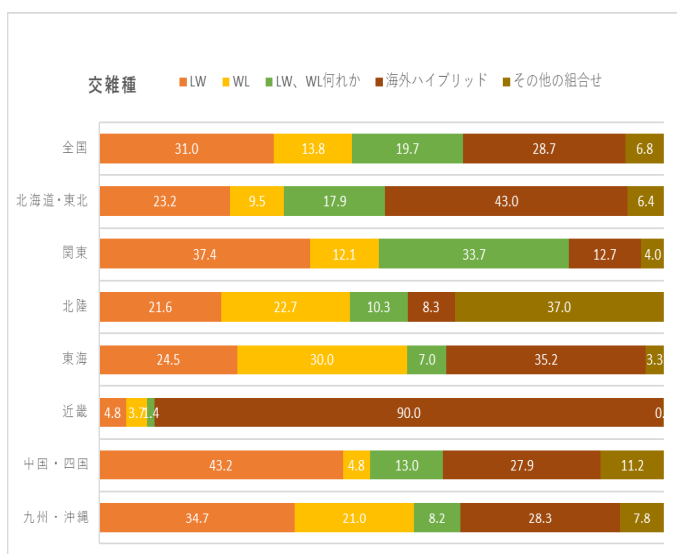
●子取り用雌豚(品種別割合、★回答経営体数767)									
		全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
純粋種	ランドレース/L	32.3	47.6	37.8	36.9	47.7	35.1	26.6	14.2
	大ヨークシャー/W	29.6	28.0	45.7	44.8	36.3	27.0	42.0	16.9
	中ヨークシャー/Y	0.1	0.0	0.4	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0
	パークシャー/B	27.1	10.1	4.3	0.0	8.1	18.0	23.9	61.7
	デュロック/D	6.9	6.1	9.7	18.4	7.8	18.0	6.1	4.6
	ハンプシャー/H	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
	その他	3.9	8.2	2.1	0.0	0.0	0.9	1.4	2.5
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
交雑種	LW	31.0	23.2	37.4	21.6	24.5	4.8	43.2	34.7
	WL	13.8	9.5	12.1	22.7	30.0	3.7	4.8	21.0
	LW、WL何れか	19.7	17.9	33.7	10.3	7.0	1.4	13.0	8.2
	その他の組合せ	6.8	6.4	4.0	37.0	3.3	0.2	11.2	7.8
	海外ハイブリッド	28.7	43.0	12.7	8.3	35.2	90.0	27.9	28.3
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

① 子取り用雌豚のうち、純粋種の品種別はランドレースが32.3%で最も割合が高く、次いで大ヨークシャーが29.6%、パークシャーが27.1%である。



② 地域別では、北海道・東北、東海、近畿ではランドレースの割合が、関東、北陸で大ヨークシャーの割合が、九州・沖縄でパークシャーが最も割合が高くなっている。

③ 子取り用雌豚のうち、交雑種はLW31.0%、WL13.8%、LW、WLいずれか19.7%で、LWとWLの合計は64.5%となっており、海外ハイブリッド28.7%である。



④ 地域別では、海外ハイブリッドの割合が高いのは、近畿が90.0%、次いで北海道・東北が43.0%となっている。

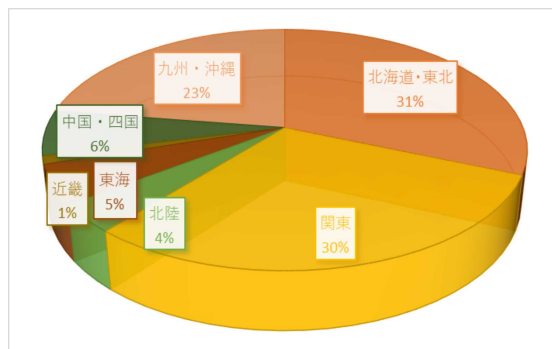
●子取り用雌豚頭数割合(純粋種品種別、地域別割合、★回答経営体数=767)

		全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
純粋種	ランドレース/L	100.0	43.0	30.9	2.2	6.0	0.4	1.8	15.7
	大ヨークシャー/W	100.0	27.5	40.7	2.9	5.0	0.3	3.1	20.4
	中ヨークシャー/Y	100.0	5.9	82.4	0.0	0.0	2.9	0.0	8.8
	パークシャー/B	100.0	10.8	4.2	0.0	1.2	0.2	1.9	81.6
	デュロック/D	100.0	25.9	37.4	5.2	4.7	1.0	1.9	23.9
	ハンプシャー/H	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	その他	100.0	61.9	14.4	0.0	0.0	0.1	0.8	22.8
計		100.0	29.1	26.4	1.9	4.1	0.4	2.2	35.9

●種雄豚(全体頭数、地域別、★回答経営体数=722)

		全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄	
純粋種	(頭)	8,386	2,288	2,840	404	457	70	584	1,743	
	(%)	75.2	65.8	85.1	94.8	78.8	58.3	86.1	69.0	
交雑種	(頭)	2,760	1,190	498	22	123	50	94	783	
	(%)	24.8	34.2	14.9	5.2	21.2	41.7	13.9	31.0	
合計	(頭)	11,146	3,478	3,338	426	580	120	678	2,526	
	(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
地域別割合		(%)	100.0	31.2	29.9	3.8	5.2	1.1	6.1	22.7

- ① 種雄豚の全体頭数は11,146頭で、そのうち純粋種は8,386頭(75.2%)である。
- ② 地域別では、種雄豚が多いのは北海道・東北3,478頭、関東3,338頭、九州・沖縄2,526頭の順で、この地域で全体の83.8%を占めている。
- ③ 純粋種の割合の高い地域は、北陸94.8%、中国・四国86.1%、関東85.1%である。



●種雄豚頭数(品種別割合、★回答経営体数=722)

		全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
純粋種	ランドレース/L	5.0	4.9	5.1	11.5	5.3	3.3	3.4	4.1
	大ヨークシャー/W	5.7	5.5	6.3	8.2	4.8	3.3	6.9	4.9
	中ヨークシャー/Y	0.4	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.4	0.2
	パークシャー/B	5.5	4.4	2.5	0.0	1.2	0.8	3.7	13.7
	デュロック/D	56.3	46.9	69.2	75.1	67.4	50.8	71.2	42.8
	ハンプシャー/H	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
	その他	2.2	4.1	0.6	0.0	0.0	0.0	0.4	3.0
交雑種	HD	0.7	1.5	0.3	0.0	1.4	0.0	0.0	0.3
	DH	2.4	0.0	8.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	BD	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0
	DB	0.3	0.1	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他の組合せ	6.7	0.3	1.7	4.5	2.4	41.7	3.5	22.8
	海外ハイブリッド	14.6	32.4	3.8	0.7	17.4	0.0	9.6	8.0
計		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ① 雄豚の品種・品種組み合わせ別割合は、デュロックが56.3%と最も高く、次いで海外ハイブリッド14.6%、その他組み合わせ6.7%である。
- ② 地域別では、いずれの地域でもデュロックの割合が最も高い。

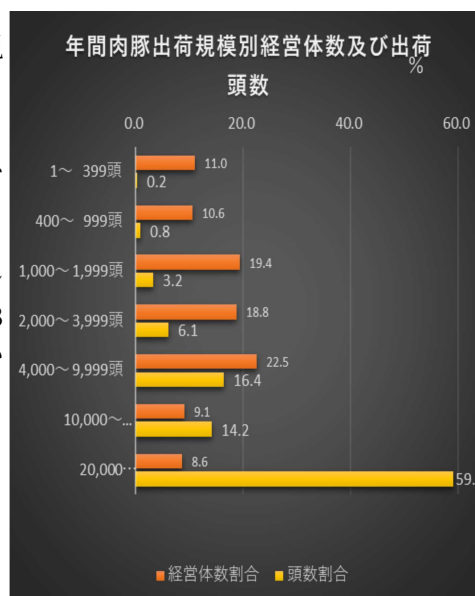
#### 4. 肉豚の出荷状況

●出荷頭数等(回答経営体数=823)			
	回答数	頭数合計	1経営体当たり平均
1 年間肉豚出荷頭数	792	6,806,359	8,593.9
2 繁殖豚(雄、雌)年間廃用頭数	702	120,511	171.7
3 年間肉用子豚出荷(同一経営の農場間移動を含む)頭数	156	1,210,232	7,757.9
4 種豚候補豚(純粋・F1等)の出荷(同一経営の農場間移動含む)頭数	126	81,893	649.9

- ① 肉豚を出荷している経営体は792経営体で、年間(平成27年1～12月)の総出荷頭数は6,806,359頭で、1経営体当たり平均8,593.9頭である。
- ② 子豚を出荷している経営体は156経営体で、年間(平成27年1～12月)の総出荷頭数は1,210,232頭で、1経営体当たり平均7,757.9頭である。
- ③ 種豚候補豚を出荷している経営体は126経営体で、年間(平成27年1～12月)の総出荷頭数は81,893頭で、1経営体当たり平均649.9頭であり、繁殖豚年間廃用頭数120,511頭に比べて少ない。

●年間肉豚出荷頭数(平成27年1月～12月の総頭数)規模別(回答経営体数=792)				
	回答数	回答数割合	頭数	頭数割合
1～399頭	87	11.0	13,823	0.2
400～999頭	84	10.6	56,772	0.8
1,000～1,999頭	154	19.4	218,105	3.2
2,000～3,999頭	149	18.8	413,401	6.1
4,000～9,999頭	178	22.5	1,115,475	16.4
10,000～19,999頭	72	9.1	964,416	14.2
20,000頭以上	68	8.6	4,024,367	59.1
合計	792	100.0	6,806,359	100.0

- ① 年間肉豚出荷頭数〔平成27年1月～12月の総頭数〕を規模別階層で見ると、4,000～9,999頭の経営体割合22.5%と最も高く、次いで1,000～1,999頭が19.4%、2,000～3,999頭が18.8%となっており、割合が低いのは20,000頭以上が8.6%、10,000～19,999頭が9.1%となっている。
- ② 一方、頭数割合では、20,000頭以上が59.1%、4,000～9,999頭が16.4%、10,000～19,999頭が14.2%で、この3階層の経営体(40.2%)で出荷頭数の89.7%を占めている。



●年間肉豚出荷頭数規模別経営体数割合(地域別、★回答経営体数=792)

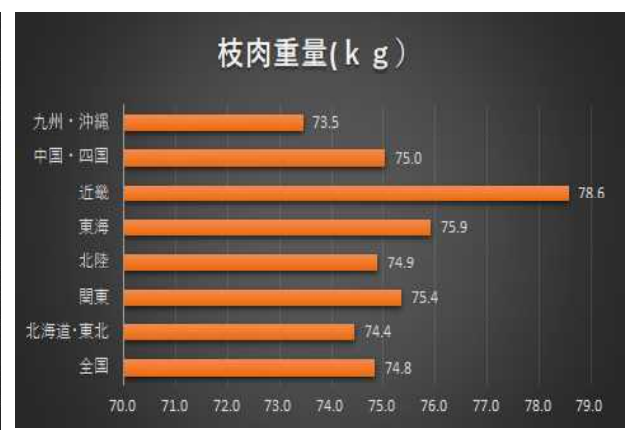
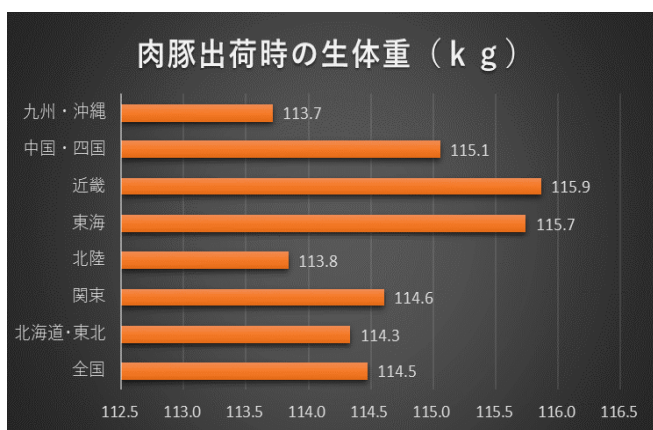
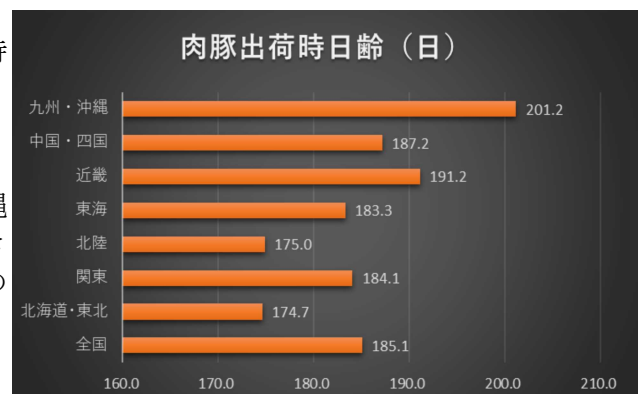
	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
1～ 399頭	11.0	8.1	9.2	9.3	6.5	23.5	16.3	16.7
400～ 999頭	10.6	9.7	11.0	14.0	4.8	29.4	2.0	13.0
1,000～ 1,999頭	19.4	11.8	26.4	18.6	21.0	11.8	22.4	16.0
2,000～ 3,999頭	18.8	14.5	21.6	20.9	25.8	11.8	14.3	17.9
4,000～ 9,999頭	22.5	27.4	18.7	30.2	24.2	17.6	24.5	20.4
10,000～19,999頭	9.1	11.3	7.0	2.3	14.5	5.9	6.1	11.1
20,000頭以上	8.6	17.2	6.2	4.7	3.2	0.0	14.3	4.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ① 肉豚出荷頭数の規模別経営体数割合を地域別で見ると、北海道・東北が大規模(10,000頭以上)の割合が高く、近畿で小規模(2,000頭未満)の割合が高い。
- ② 北陸、東海は、中規模(2000～9,999頭)の割合が高い。

●肉豚出荷日齢、出荷体重、枝肉重量(平成27年1～12月の平均、回答経営体数=742, 695, 751, 684)

		全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
肉豚出荷日齢平均(生後日齢)	日齢	185.1	174.7	184.1	175.0	183.3	191.2	187.2	201.2
肉豚出荷生体重平均	kg	114.5	114.3	114.6	113.8	115.7	115.9	115.1	113.7
肉豚1頭当たり枝肉重量平均	kg	74.8	74.4	75.4	74.9	75.9	78.6	75.0	73.5
1日平均増体重(出荷体重÷出荷日齢)	kg/日	0.6	0.7	0.6	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6

- ① 肉豚の平均出荷時日齢は185.1日齢、出荷時の生体重は114.5kg、平均枝肉重量は74.8kgである。
- ② 地域別で見ると、出荷日齢では九州・沖縄の201.2日が最も長い。出荷時の生体重が大きいのは近畿の115.9kgで、枝肉重量の大きいのは近畿の78.6kgである。



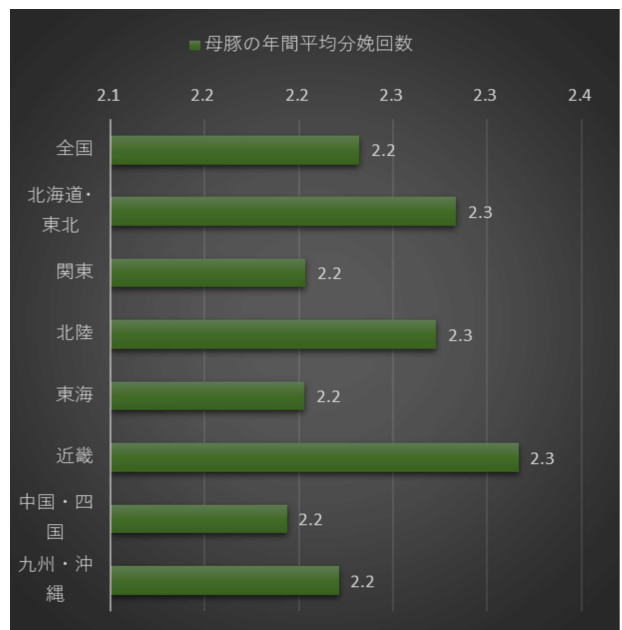
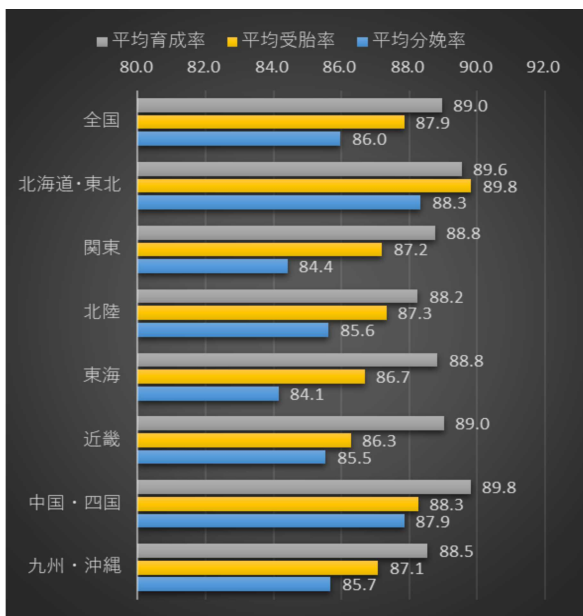
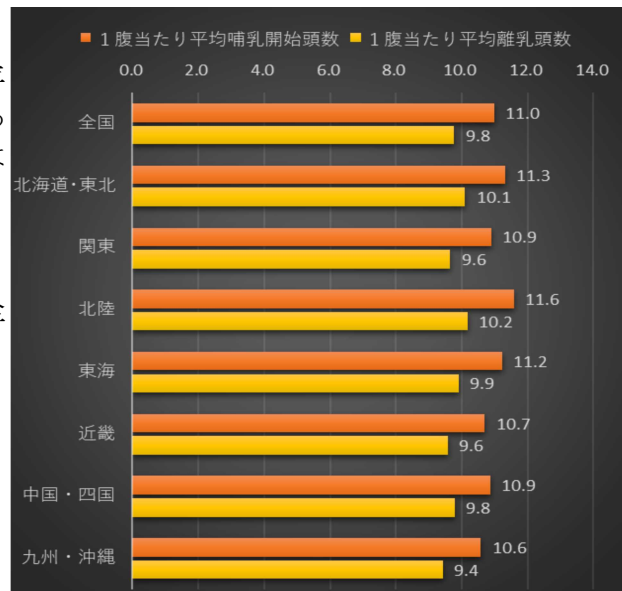
## 5. 繁殖・肉豚出荷等の成績

●繁殖成績(地域別、★回答経営体数=736, 734, 679, 572, 620, 688)

		全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
1腹当たり(1分娩当たり)平均哺乳開始頭数	頭	11.0	11.3	10.9	11.6	11.2	10.7	10.9	10.6
1腹当たり(1分娩当たり)平均離乳頭数	頭	9.8	10.1	9.6	10.2	9.9	9.6	9.8	9.4
平均育成率(イ÷ア×100)	%	89.0	89.6	88.8	88.2	88.8	89.0	89.8	88.5
平均受胎率(受胎頭数÷種付頭数×100)	%	87.9	89.8	87.2	87.3	86.7	86.3	88.3	87.1
平均分娩率(分娩頭数÷種付頭数×100)	%	86.0	88.3	84.4	85.6	84.1	85.5	87.9	85.7
母豚の年間平均分娩回数(年間分娩数÷常時子取り用雌豚頭数)	回	2.2	2.3	2.2	2.3	2.2	2.3	2.2	2.2

① 1腹当たりの平均哺乳開始頭数は11.0頭、平均離乳頭数は9.8頭、平均育成率は89.0%である。また、平均受胎率は87.9%、平均分娩率は86.0%、平均分娩回数は2.2回である。

② 地域別では、北海道・東北、中国・四国で全国平均を上回る項目が多い。



。

●年間肉豚出荷頭数の格付方法(地域別、複数回答、割合、★回答経営体数=705)								
	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
格付している割合	95.2	96.0	95.7	100.0	100.0	100.0	97.9	88.6
日格協の格付	84.7	89.6	78.5	92.5	91.1	100.0	91.7	80.0
自主格付	19.9	8.1	34.3	12.5	25.0	0.0	10.4	15.7
小計	104.5	97.7	112.9	105.0	116.1	100.0	102.1	95.7
格付していない	11.2	8.7	10.3	5.0	0.0	13.3	8.3	22.9
	106.4	104.6	106.0	105.0	100.0	113.3	106.3	111.4

- ① 肉豚の格付方法については、単一の格付方法を用いている経営体と複数の格付方法を用いている経営体があり、その組み合わせは次表のとおりであるが、格付方法を延べ経営体数で見ると、「格付している」肉豚を有する経営体は95.2%で、そのうち「日格協の格付」は84.7%、「自主格付」は19.9%である。「格付していない」肉豚を有する経営体は11.2%である。
- ② 地域別に見ると、「格付している」肉豚を有する経営体の割合が最も高いのは北陸、東海、近畿100.0%、最も低いのは九州・沖縄88.6%である。

●年間肉豚出荷頭数の格付割合(格付方法の組み合わせ別、★回答経営体数=705)					
	回答		格付け割合(平均値)		
	回答経営体数	%	日格協	自主格付	格付なし
すべて日格協の格付	494	70.1	100.0	-	-
すべて自主格付	68	9.6	-	100.0	-
すべて格付していない	34	4.8	-	-	100.0
日格協の格付+自主格付	64	9.1	54.7	45.3	-
自主格付+格付していない	37	5.2	70.8	-	29.2
日格協の格付+自主格付+格付していない	6	0.9	-	75.8	24.2
自主格付+格付していない	2	0.3	50.0	15.0	35.0
合計	705	100.0	93.0	72.8	58.0

- ① 格付方法の組み合わせ別に実経営体数で見ると、格付割合にかかわらず、「日格協の格付」と「自主格付」の両方又はどちらか一方の方法で格付している経営体は95.2%である。一方、「全て格付していない」経営体は4.8%である。
- ② 「全て日格協の格付」とする経営体の割合は70.1%で、「全て自主格付」する経営体は9.6%であり、これを合わせると79.7%が単一の方法で格付している。「日格協の格付」と「自主格付」を併用して全て格付している経営体は9.1%である。格付しているものと格付していないものが混在している経営体の割合は6.4%である。
- ③ 格付割合にかかわらず、「日格協の格付」が行われている経営体は80.1%である。

●肉豚出荷成績(地域別、★回答経営体数=667)								
	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
「上」物率(%)	54.0	52.5	53.0	48.9	51.7	35.2	56.2	62.2

全国の「上」物率は54.0%で、地域別では、九州・沖縄62.2%、中国・四国56.2%と高く、近畿35.2%と低い。

●農場飼料要求率(地域別、★回答経営体数=407)								
	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
農場飼料要求率(倍)	3.3	3.3	3.3	3.4	3.5	3.4	3.4	3.4

農場飼料要求率は3.3倍で、北海道・東北、関東が低い。



## 6. 事故率

●事故率(地域別、★回答経営体数=634)								
	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
子豚舎・子豚豚房 (離乳後から肥育組入れまで)	4.1	2.4	3.7	3.1	4.3	5.2	4.2	6.6
肥育舎・肥育豚房 (肥育組入れから出荷まで)	3.3	2.5	3.8	2.7	3.6	2.1	3.4	3.8
期間通算 (離乳後から出荷まで)	6.5	4.7	7.2	5.3	7.6	4.6	6.4	8.1

### ① 期間通算の算出方法

期間通算の事故率は各農場の記入数値を次の式で算出した結果の平均値で、アとイの事故率を足したものではない。

$$\text{期間通算事故率} = 100 - ((100 - \text{ア子豚事故率}) \times (100 - \text{イ肥育事故率}) \div 100)$$

### ② 回答経営体数

ア. 子豚舎・子豚豚房 449経営体

イ. 肥育舎・肥育豚房 470経営体

ア・イ期間通算 634経営体 (通算のみ回答した経営体を含む)

### ③ 「ア・イ期間通算」の事故率の平均は6.5%

「ア.子豚舎・子豚豚房」は4.1% 「イ.肥育舎・肥育豚房」は3.3%となっている。

### ④ 地域別では、「期間通算」で九州・沖縄が8.1%、東海が7.6%

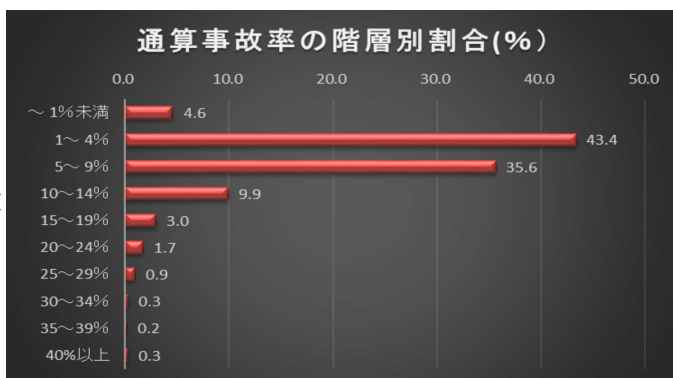
、関東が7.2%と全国より高く、近畿が4.6%と最も低い。「子豚舎・子豚豚房」では、九州・沖縄が6.6%と最も高く、北海道・東北が2.4%と最も低い。「肥育舎・肥育豚房」では関東及び九州・沖縄が3.8%と最も高く、近畿が2.1%と低い。



●事故率の回答割合(期間通算、事故率、階級別、★回答経営体数=634)								
	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
～1%未満	4.6	6.5	2.5	2.9	3.7	7.1	2.3	6.9
1～4%	43.4	57.4	40.9	48.6	38.9	57.1	32.6	30.2
5～9%	35.6	30.2	36.9	42.9	38.9	14.3	58.1	31.9
10～14%	9.9	4.7	10.3	5.7	13.0	21.4	4.7	17.2
15～19%	3.0	0.6	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0
20～24%	1.7	0.6	1.5	0.0	1.9	0.0	2.3	4.3
25～29%	0.9	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6
30～34%	0.3	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9
35～39%	0.2	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40%以上	0.3	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0
(20%以上小計)	3.5	0.6	3.9	0.0	5.6	0.0	2.3	7.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

① 5%刻みの階層別では、全国で「1～4%」43.4%、「5～9%」35.6%、「10～14%」9.9%に集中しており88.9%を占めている。また、地域別でも同様の傾向である。

② 「期間通算」の事故率の高い地域を事故率(20%以上)で見ると、九州・沖縄が7.8%(9経営体)、東海が5.6%(3経営体)と高い。



。

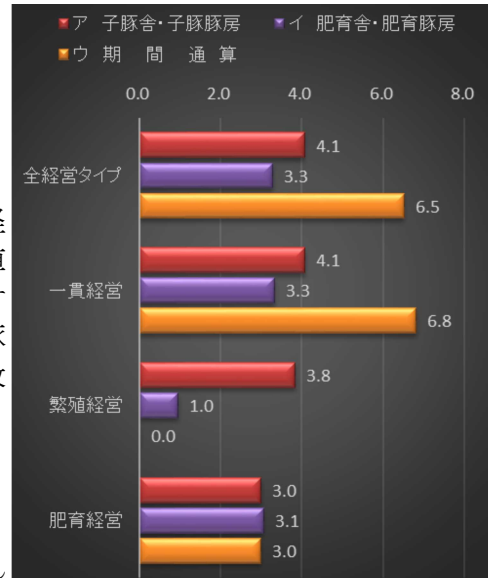
●事故率の平均(経営タイプ別、★回答経営体数=633)				
	全経営タイプ	一貫経営	繁殖経営	肥育経営
ア 子豚舎・子豚豚房	4.1	4.1	3.8	3.0
イ 肥育舎・肥育豚房	3.3	3.3	1.0	3.1
ウ 期 間 通 算	6.5	6.8	0.0	3.0

① 回答経営体数

ア. 子豚舎・子豚豚房 448経営体  
 イ. 肥育舎・肥育豚房 465経営体  
 ア・イ期間通算 633経営体

② 繁殖経営の「肥育舎・肥育豚房」の事故率、肥育経営の「子豚舎・子豚豚房」の事故率については、繁殖経営であっても出荷までに肥育舎・肥育豚房で飼育する期間や肥育経営であっても子豚導入により一時子豚舎・子豚豚房で飼育する期間もあり、この期間の事故率が記入されたものとして集計した。

③ 「子豚舎・子豚豚房」の経営タイプ別事故率では、一貫経営が4.1%、繁殖経営が3.8%、「肥育舎・肥育豚房」は、一貫経営3.3%、繁殖経営1.0%で、いずれも一貫経営が高い。



●事故率の平均(子取り用雌豚飼養頭数別、★回答経営体数=597)								
	全規模	1~19頭	20~49頭	50~99頭	100~199頭	200~499頭	500~999頭	1000頭以上
ア 子豚舎・子豚豚房	4.1	4.6	5.7	5.1	4.3	3.8	3.1	2.6
イ 肥育舎・肥育豚房	3.3	3.4	2.6	3.8	3.2	3.2	3.1	3.8
ウ 期 間 通 算	6.7	5.6	6.2	8.6	6.8	6.3	6.3	6.4

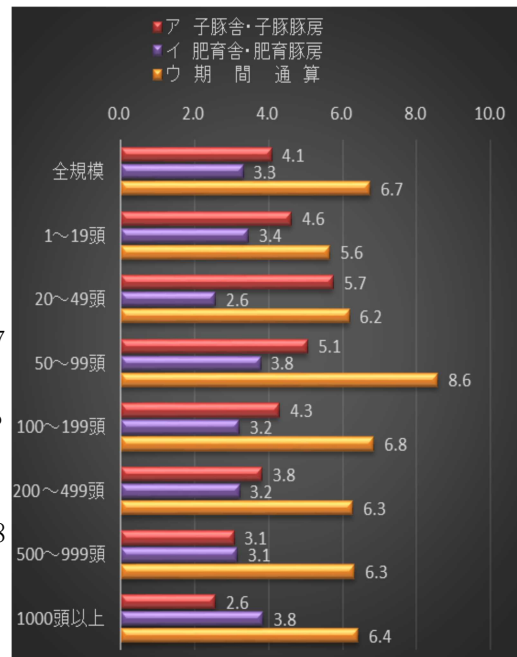
① 回答経営体数

ア. 子豚舎・子豚豚房 447経営体  
 イ. 肥育舎・肥育豚房 434経営体  
 ア・イ期間通算 597経営体

② 子取り用雌豚の規模別の「ア・イ期間通算」では、「50~99頭」が8.6%と高い。

③ 「子豚舎・子豚豚房」を見ると、「20~49頭」が5.7%と最も高く、次いで「50~99頭」が5.1%、「20~49頭」4.6%となっており、この3階層が全規模を上回っている。

④ 「肥育舎・肥育豚房」を見ると、「50~99頭」が3.8%と最も高く、「20~49頭」が2.6%と最も低い。



。

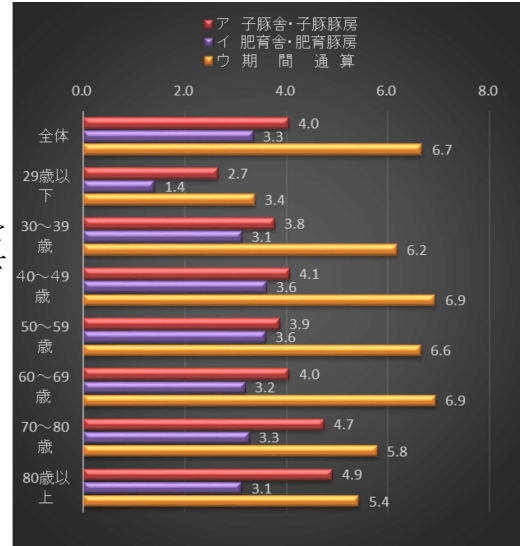
●事故率の平均(経営者年齢別、★回答経営体数=576)								
	全体	29歳以下	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~80歳	80歳以上
ア 子豚舎・子豚豚房	4.0	2.7	3.8	4.1	3.9	4.0	4.7	4.9
イ 肥育舎・肥育豚房	3.3	1.4	3.1	3.6	3.6	3.2	3.3	3.1
ウ 期間通算	6.7	3.4	6.2	6.9	6.6	6.9	5.8	5.4

① 回答経営体数

- ア. 子豚舎・子豚豚房 412経営体
- イ. 肥育舎・肥育豚房 428経営体
- ア・イ期間通算 576経営体

② 経営責任者の階層別の事故率「ア・イ期間通算」を見ると、40歳代及び60歳代が6.9%と高く、29歳以下が3.4%と低い、

これを子豚期(子豚舎・子豚豚房)と肥育期(肥育舎・肥育豚房)で分けて見ると、子豚期では80歳以上が4.9%と高く、29歳以下が2.7%と低い。肥育期では40歳代及び50歳代が3.6%と高く、29歳代が1.4%と低い。



● 事故率改善のための対策の実施(地域別、★回答経営体数=765、アの対策は複数回答)									
		全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
ア	事故率改善のための対策を実施した	87.1	88.3	84.7	81.0	83.9	81.3	91.5	91.3
	A 豚舎の新築、改築	13.6	12.2	12.0	9.5	22.6	12.5	14.9	14.9
	B 生産方式の変更	6.9	6.4	6.8	19.0	3.2	0.0	6.4	6.8
	C 生産環境の改善	27.1	29.3	24.5	33.3	17.7	18.8	34.0	29.2
	D 衛生対策	75.3	73.9	74.7	69.0	72.6	68.8	83.0	78.9
	a 農場衛生HACCPの導入	5.6	4.8	7.2	4.8	1.6	6.3	4.3	6.2
	b 疾病予防マニュアルの見直し、徹底	19.3	21.8	17.3	19.0	17.7	6.3	29.8	18.6
	c 管理獣医師による検査と指導の導入	28.5	26.1	31.3	23.8	27.4	18.8	17.0	32.9
	d 豚舎消毒の徹底	47.7	51.6	45.8	40.5	43.5	37.5	51.1	49.7
	e 施設のゾーニング	5.6	9.6	4.0	7.1	0.0	0.0	6.4	5.6
	f ワクチネーションプログラムの見直し、変更	37.6	35.6	39.8	47.6	30.6	31.3	34.0	38.5
	E その他	1.4	1.1	2.4	2.4	0.0	6.3	0.0	0.6
イ	対策は実施していない	12.9	11.7	15.3	19.0	16.1	18.8	8.5	8.7
	合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

① 事故率改善への対策を87.1%の経営体が実施しており、地域別にみると「実施した」割合が高いのは中国・四国91.5%、九州・沖縄91.3%となっており、低い地域は北陸81.0%、近畿81.3%となっている。

② 実施した対策の内訳を見ると、75.3%の経営体が「衛生対策」を実施しており、次いで「生産環境の改善」27.1%、「豚舎の新築、改築」13.6%となっている。地域別にみてもほぼ同様の傾向にある。

③ さらに、最も実施されている衛生対策の内訳をみると、「豚舎消毒の徹底」47.7%と最も多く、次いで「ワクチネーションプログラムの見直し、変更」37.6%、「管理獣医師による検査と指導の導入」28.5%、「疾病予防マニュアルの見直し、徹底」19.3%となっている。

## 7. 交配方法

●発情期の基本交配方法(地域別、割合、★回答経営体数=769)

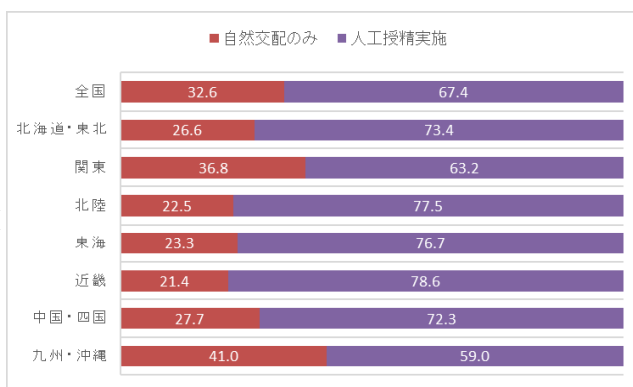
	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
1回	4.6	4.3	6.0	2.5	1.7	7.1	2.1	4.4
2～3回	93.0	94.6	92.1	97.5	95.0	85.7	93.6	91.1
4回以上	1.8	0.5	1.1	0.0	1.7	7.1	2.1	4.4
不明	0.7	0.5	0.4	0.0	1.7	0.0	4.3	0.0
合計	100.0	100.0	99.6	100.0	100.0	100.0	102.1	100.0

- ① 発情期の基本交配回数は2～3回が93.0%と最も多く、次いで1回の4.6%である。
- ② 地域別でも、ほぼ同様の傾向にある。

●人工授精の実施状況(地域別、割合、★回答経営体数=767)

	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
自然交配のみ(人工授精は全く行っていない)	32.6	26.6	36.8	22.5	23.3	21.4	27.7	41.0
人工授精を主とし、人工授精を従としている	27.0	22.3	28.9	37.5	31.7	50.0	34.0	20.5
人工授精を主とし、自然交配を従としている	16.7	22.8	13.5	15.0	23.3	7.1	10.6	15.4
人工授精のみ	23.7	28.3	20.7	25.0	21.7	21.4	27.7	23.1
小計	67.4	73.4	63.2	77.5	76.7	78.6	72.3	59.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

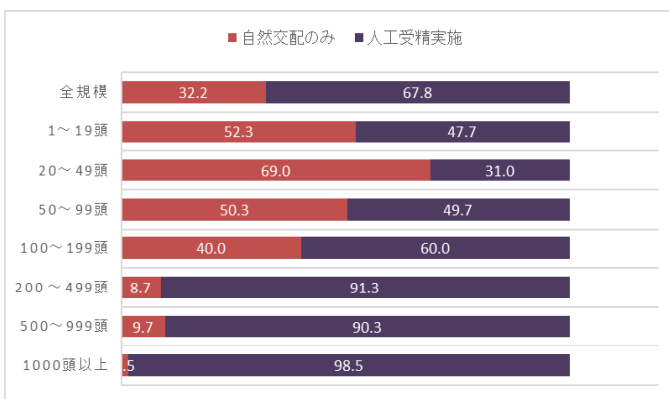
- ① 人工授精の実施経営体割合は67.4%であり、また、「人工授精のみ」の割合23.7%となっている。
- ② 地域別では、近畿78.6%と最も高く、関東が63.2%と最も低い。



●人工授精の実施状況(子取り用雌豚飼養頭数別、割合、★回答経営体数=747)

	全規模	1～19頭	20～49頭	50～99頭	100～199頭	200～499頭	500～999頭	1000頭以上
自然交配のみ(人工授精は全く行っていない)	32.2	52.3	69.0	50.3	40.0	8.7	9.7	1.5
人工授精を主とし、人工授精を従としている	27.2	22.7	20.7	30.3	30.0	34.8	23.6	7.7
人工授精を主とし、自然交配を従としている	16.8	4.5	5.7	11.7	13.8	25.0	23.6	27.7
人工授精のみ	23.8	20.5	4.6	7.6	16.3	31.5	43.1	63.1
小計	67.8	47.7	31.0	49.7	60.0	91.3	90.3	98.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ① 子取り用雌豚飼養頭数規模別の人工授精の実施経営体割合は、「1～19頭」では47.7%、「20～49頭」では31.0%と低いが、50頭以上から規模が大きくなるに従って割合が増加し、「200～499頭」の階層から急に増加しており、「1,000頭以上」では98.5%とほとんどが人工授精を実施している。
- ② 「人工授精を主とし自然交配を従とする」と「人工授精のみ」の割合も「200～499頭」の階層から増加している。

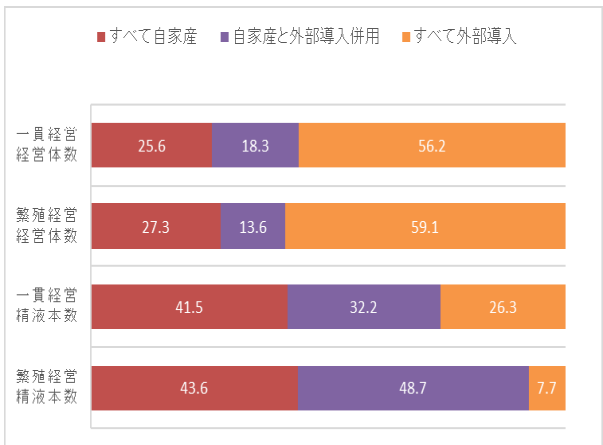


●精液の入手方法

●精液の入手方法(経営タイプ別、★回答経営体数=516)										
	一貫経営		繁殖経営		一貫経営			繁殖経営		
	回答経営体数	%	回答経営体数	%	回答経営体数	本数	%	回答経営体数	本数	%
すべて自家産	126	25.6	6	27.3	126	520,804	41.5	6	51,530	43.6
自家産と外部導入併用	90	18.3	3	13.6	90	404,739	32.2	3	57,463	48.7
すべて外部導入	277	56.2	13	59.1	277	330,580	26.3	13	9,105	7.7
合計	493	100.0	22	100.0	493	1,256,123	100.0	22	118,098	100.0

① 精液の入手方法は、経営体別で見ると「全て外部導入」が一貫経営で56.2%、繁殖経営で59.1%と最も高く、次いで「全て自家産」が一貫経営25.6%、繁殖経営で27.3%、「自家産と外部導入の併用」が一貫経営で18.3%、繁殖経営が13.6%である。

② 精液の本数で見ると、一貫経営では「すべて自家産」が41.5%と最も高く、次いで「自家産と外部導入併用」32.2%と続いており、繁殖経営でも「自家産と外部導入併用」が48.7%と最も高く、次いで「すべて自家産」43.6%と続いている。

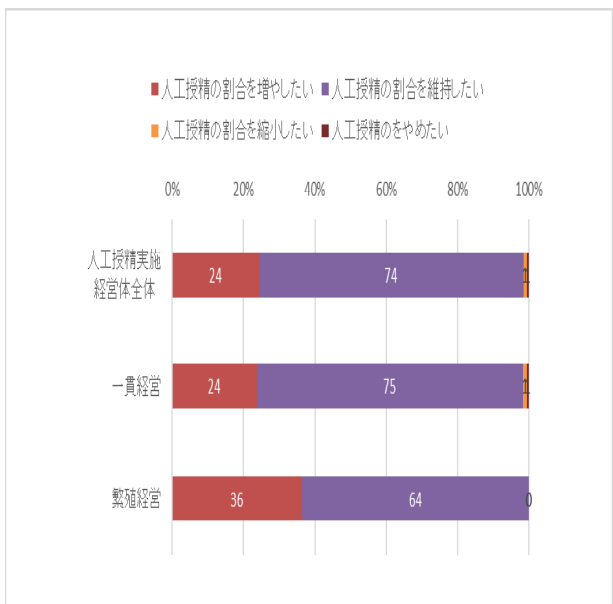


●人工授精実施経営体の今後の意向(経営タイプ別、★回答経営体数=507)

	人工授精実施経営体全体		一貫経営		繁殖経営		肥育経営	
	回答経営体数	%	回答経営体数	%	回答経営体数	%	回答経営体数	%
人工授精の割合を増やしたい	124	24.5	115	23.8	8	36.4	1	100.0
人工授精の割合を維持したい	375	74.0	361	74.6	14	63.6	0	0.0
人工授精の割合を縮小したい	5	1.0	5	1.0	0	0.0	0	0.0
人工授精のをやめたい	3	0.6	3	0.6	0	0.0	0	0.0
合計	507	100.0	484	100.0	22	100.0	1	100.0

① 人工授精を現在実施している経営体の今後の意向は、「維持」が74.0%と最も高く、次いで「増やしたい」が24.5%で、「維持」と合わせて98.5%を占めている。一方、「縮小したい」は1.0%、「やめたい」は0.6%と低い。

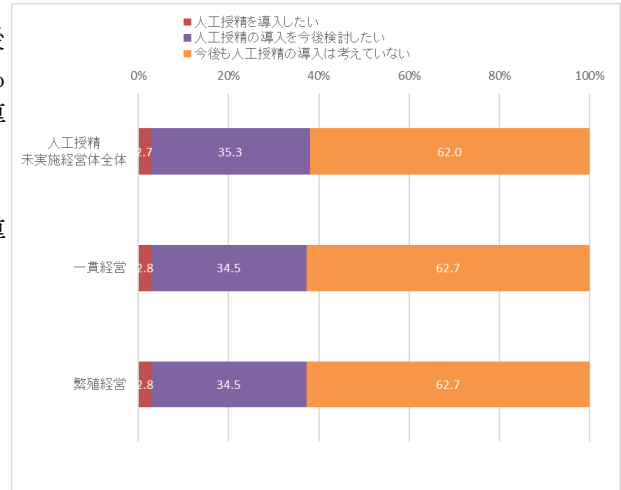
② 経営タイプ別に見ると、「増やしたい」と「維持」の割合は、「一貫経営」98.4%、「繁殖経営」100%である。



。

●人工授精未実施経営体の今後の意向(経営タイプ別、★回答経営体数=150)								
	人工授精実施経営体全体		一貫経営		繁殖経営		肥育経営	
	回答経営体数	%	回答経営体数	%	回答経営体数	%	回答経営体数	%
人工授精を導入したい	4	2.7	4	2.8	0	0.0	0	-
人工授精の導入を今後検討したい	53	35.3	49	34.5	4	50.0	0	-
今後も人工授精の導入は考えていない	93	62.0	89	62.7	4	50.0	0	-
合計	150	100.0	142	100.0	8	100.0	0	-

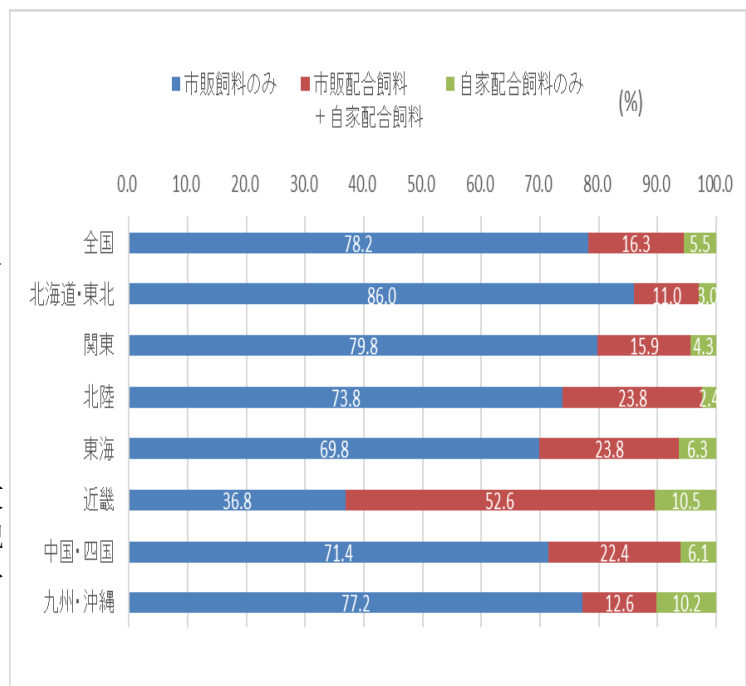
- 人工授精を現在実施していない経営体の今後の人工授精導入意向は、「導入したい」は2.7%と低く、「導入を検討したい」も35.3%で、「導入は考えない」が62.0%と最も高い。
- 経営タイプ別に見ると、「導入したい」と「導入を検討したい」の割合は、「一貫経営」が37.3%、「繁殖経営」が50.0%である。



## 8. 給与飼料

●給与飼料体系(割合、ブロック別、★回答経営体数=817)								
	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
市販飼料のみ	78.2	86.0	79.8	73.8	69.8	36.8	71.4	77.2
市販配合飼料+自家配合飼料	16.3	11.0	15.9	23.8	23.8	52.6	22.4	12.6
自家配合飼料のみ	5.5	3.0	4.3	2.4	6.3	10.5	6.1	10.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- 飼料給餌体系をみると、「市販飼料のみ」が78.2%と最も多くの生産者が使用しており、次いで「市販配合飼料+自家配合飼料」が16.3%、「自家配合飼料のみ」が5.5%となっている。
- ブロック別の割合をみると、近畿を除くブロックで「市販飼料のみ」使用の割合が高く、北海道・東北が86.0%で最も多く、近畿が36.8%と最も少ない。  
「市販配合飼料+自家配合飼料」は近畿が52.6%と最も多く、北海道・東北11.0%と最も少ない。また「自家配合飼料のみ」は近畿が10.5%と最も多く、北陸が2.4%で最も少ない。



●給与飼料体系(ブロック別、★回答経営体数=747)

		全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
配合飼料	合計数量(千t)	2068.7	624.7	660.8	79.1	120.2	17.7	155.6	410.4
	数量割合(%)	87.2	94.3	83.5	66.6	75.7	54.0	93.7	92.9
	平均数量(t)	2877.1	3509.7	2765.0	2138.7	2038.0	1105.6	3458.8	2830.4
飼料用米	合計数量(千t)	26.4	13.0	4.2	2.0	1.6	0.0	2.5	3.1
	数量割合(%)	1.1	2.0	0.5	1.6	1.0	0.1	1.5	0.7
	平均数量(t)	238.0	481.9	141.2	97.8	145.9	8.5	275.2	310.2
エコフィード	合計数量(千t)	245.3	19.2	119.0	37.7	37.0	5.6	5.6	21.2
	数量割合(%)	10.3	2.9	15.0	31.7	23.3	17.2	3.4	4.8
	平均数量(t)	2078.9	1280.5	3131.8	3423.5	3079.8	513.3	561.6	1010.1
その他	合計数量(千t)	129.3	7.3	76.6	15.2	25.7	1.0	1.6	1.9
	数量割合(%)	5.5	1.1	9.7	12.8	16.2	2.9	1.0	0.4
	平均数量(t)	3315.2	1822.5	6965.2	3804.0	3678.1	477.0	396.5	268.7
合計	合計数量(千t)	2372.2	662.5	791.5	118.7	158.9	32.7	166.0	441.7
	数量割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	平均数量(t)	3175.7	3660.5	3284.3	2827.3	2563.6	1723.3	3532.6	2849.7

- ① 給与飼料の使用量は237万2千トンであり、その種類別内訳は「配合飼料」が206万9千トンと最も多く、「エコフィード」24万5千トン、「その他」12万9千トン、「飼料用米」2万6千トンの順となっている。
- ⑤ 給与飼料の使用量割合を種類別、地域別にみると、「配合飼料」では北海道・東北が94.3%と最も多く、「エコフィード」では北陸31.7%、「飼料用米」では北海道・東北2.0%と多くなっている。

●飼料用米の今後の利用動向(ブロック別、★回答経営体数=252)

		全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
利用継続	回答数	89	18	23	17	10	3	9	9
	割合(%)	35.3	29.5	31.1	63.0	40.0	37.5	47.4	23.7
	平均数量(t)	269.2	440.1	142.0	229.9	164.9	-	300.5	407.4
利用拡大	回答数	33	14	9	3	1	2	1	3
	割合(%)	13.1	23.0	12.2	11.1	4.0	25.0	5.3	7.9
	平均数量(t)	603.5	1039.1	331.6	240.0	90.0	16.5	360.0	1000.0
使用を始めたい	回答数	121	29	39	6	13	2	7	25
	割合(%)	48.0	47.5	52.7	22.2	52.0	25.0	36.8	65.8
	平均数量(t)	340.6	460.4	303.3	269.2	295.6	1.0	92.5	365.6
使用を減らしたい	回答数	3	0	2	0	0	1	0	0
	割合(%)	1.2	0.0	2.7	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0
	平均数量(t)	10.0	-	-	-	-	10.0	-	-
使用を中止したい	回答数	6	0	1	1	1	0	2	1
	割合(%)	2.4	0.0	1.4	3.7	4.0	0.0	10.5	2.6
合計	回答数	252	61	74	27	25	8	19	38

- ① 飼料用米の今後の利用動向についてみると、「利用を継続」35.3%、「利用を拡大」13.1%、「使用を開始」したい48.0%となっている。一方、「使用を減らしたい」1.2%、「使用を中止したい」2.4%となっている。
- ② これを地域別にみると、「使用を開始」したい割合が多いのは、九州・沖縄が65.8%と最も多く、次いで関東が52.7%となっている。また、「利用を継続」したいの割合が多いのは北陸が63.0%、次いで中国・四国が47.4%となっており、「利用を拡大」したい割合の最も多いのは近畿の25.0%となっている。

●エコフィードの利用状況及び今後の利用意向(ブロック別、★回答経営体数=753、618)

		全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄	
利用あり	割合(%)	21.5	11.5	21.3	34.2	25.4	81.3	29.2	21.2	
利用なし	割合(%)	78.5	88.5	78.7	65.8	74.6	18.8	70.8	78.8	
合計	割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
今後の意向	現在、検討中	割合(%)	4.0	2.9	3.0	3.6	10.6	14.3	10.0	2.4
	年間利用予定数量	平均数量(t)	705	254	753	150	4350	15	403	202
	今後利用したい	割合(%)	11.7	8.7	10.1	10.7	6.4	0.0	22.5	17.6
	利用予定なし	割合(%)	84.3	88.4	86.9	85.7	83.0	85.7	67.5	80.0
合計	割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

- ① エコフィードを利用している経営体は21.5%となっている。ブロック別では、「近畿」81.3%が最も高く、次いで「北陸」34.2%となっており、「北海道・東北」が11.5%と最も低い。
- ② 今後のエコフィードの利用意向をみると、「利用したい」11.7%、「現在検討中」4.0%とこの計は15.7%となっている。「現在検討中」の年間予定数量の平均は705tとなっている。この計をブロック別にみると「中国・四国」32.5%と最も高く、「北海道・東北」11.6%最も低くなっている。

## 9. 経営の推移と今後の動向

●繁殖豚飼養頭数の推移(前年同期と比較して)(ブロック別、★回答経営体数=737)

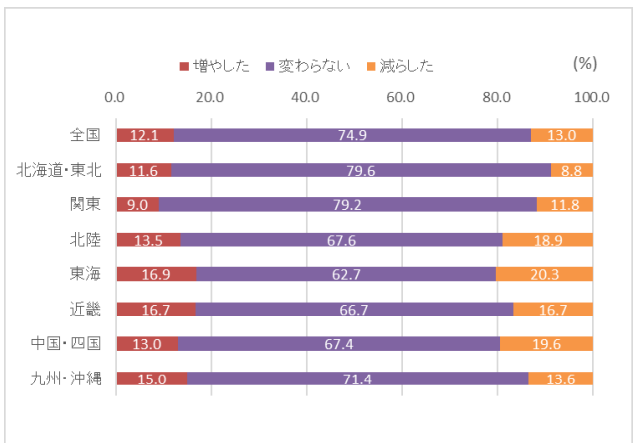
		全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
増やした	回答数	89	21	23	5	10	2	6	22
	割合(%)	12.1	11.6	9.0	13.5	16.9	16.7	13.0	15.0
変わらない	回答数	552	144	202	25	37	8	31	105
	割合(%)	74.9	79.6	79.2	67.6	62.7	66.7	67.4	71.4
減らした	回答数	96	16	30	7	12	2	9	20
	割合(%)	13.0	8.8	11.8	18.9	20.3	16.7	19.6	13.6
合計	回答数	737	181	255	37	59	12	46	147
	割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

		全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
増やした	(頭)	3438	727	1161	245	373	24	68	840
減らした	(頭)	2854	696	930	260	324	1	138	505
「増やした」-「減らした」	(頭)	584	31	231	-15	49	23	-70	335

- ① 繁殖豚飼養頭数を前年同期と比較して、「増やした」が89経営体12.1%、「変わらない」が552経営体74.9%、「減らした」が96経営体13.0%で、増やした割合が減らした割合を上回っている。

これを頭数でみると、「増やした」が3,438頭、「減らした」が2,854頭で、増やした頭数の方が減らした頭数に比べて584頭多い。

- ② 地域別では、増やした頭数の方が多いのは九州・沖縄で335頭多く、関東では231頭多い。





●頭数を増やした理由(繁殖豚)(複数回答、割合、★回答経営体数=81)									
	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄	
A	計画していた豚舎が完成したので増頭した	24.7	35.3	17.4	50.0	37.5	0.0	40.0	10.0
B	後継者が経営に参加したので増頭した	14.8	11.8	21.7	0.0	12.5	50.0	0.0	15.0
C	1頭当たりの収益性が低下したので収入を守るために増頭した	24.7	29.4	30.4	0.0	25.0	50.0	0.0	25.0
D	委託、預託の農場を増やした	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
E	出荷元から増頭の要請があった	8.6	0.0	4.3	0.0	12.5	0.0	20.0	20.0
F	養豚生産者が減少しているので将来儲かりそうなので増頭した	2.5	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0
G	事情により生産を縮小していたのを元に戻した	18.5	17.6	30.4	33.3	0.0	0.0	0.0	15.0
H	その他	16.0	17.6	4.3	16.7	37.5	50.0	40.0	10.0
合 計		111.1	111.8	113.0	100.0	125.0	150.0	120.0	100.0

- ① 繁殖豚頭数を増やした理由で最も高い（「その他」には、理由未回答も含めているので「その他」は除外。減らした理由も同じ。）のは、「計画していた豚舎が完成した」、「1頭当たりの収益性が低下したので収入を守るため」が24.7%と最も多く、次いで「事情により生産を縮小したのを元に戻した」が18.5%、「後継者が経営に参加したので増頭したので」が14.8%となっている。
- ② ブロック別にみると、全国で高い割合の理由が各ブロックでも高いが特徴は見いだせない。

●頭数を減らした理由(繁殖豚、複数回答、割合、★回答経営体数=89)									
	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄	
A	疾病対策で豚を入れ替えるため	12.4	6.3	14.3	0.0	8.3	100.0	0.0	23.5
B	生産資材（飼料、光熱水料、薬品費等）の高騰で儲からないから	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	5.9
C	高齢化で労働が厳しくなったから	25.8	31.3	32.1	0.0	33.3	0.0	12.5	23.5
D	労働力が確保できなくなったから	15.7	6.3	10.7	0.0	33.3	0.0	25.0	23.5
E	委託、預託農場となるため	1.1	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
F	廃業するため	7.9	18.8	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0	5.9
G	飼養システム・経営形態の変更	4.5	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.6
H	環境対策	4.5	12.5	3.6	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0
I	その他	36.0	37.5	35.7	71.4	25.0	0.0	50.0	23.5
合 計		110.1	118.8	103.6	100.0	108.3	100.0	100.0	123.5

- ① 繁殖豚の頭数を減らした理由で最も高いのは、「高齢化で労働が厳しくなったから」25.8%で、次いで「労働力が確保出来なくなったから」15.7%、「疾病対策で豚をいれかえるから」が12.4%などとなっている。
- ② ブロック別にみると、「北海道・東北」、「関東」、「北陸」、「九州」で①の理由のほか「廃業するため」の減少がみられる。

●肥育豚飼養頭数の推移(前年同期と比較して)(ブロック別、★回答経営体数=746)

		全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
増やした	回答数	104	27	26	6	11	2	9	23
	割合(%)	13.9	14.5	10.2	15.4	17.7	11.8	18.8	16.5
変わらない	回答数	559	147	205	28	35	14	31	99
	割合(%)	74.9	79.0	80.4	71.8	56.5	82.4	64.6	71.2
減らした	回答数	83	12	24	5	16	1	8	17
	割合(%)	11.1	6.5	9.4	12.8	25.8	5.9	16.7	12.2
合 計	回答数	746	186	255	39	62	17	48	139
	割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

		全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
増やした	(頭)	52,865	10,479	13,096	1,250	8,406	500	1,534	17,600
減らした	(頭)	14,453	2,652	3,512	780	2,472	0	2,444	2,593
増やした-減らした	(頭)	38,412	7,827	9,584	470	5,934	500	-910	15,007

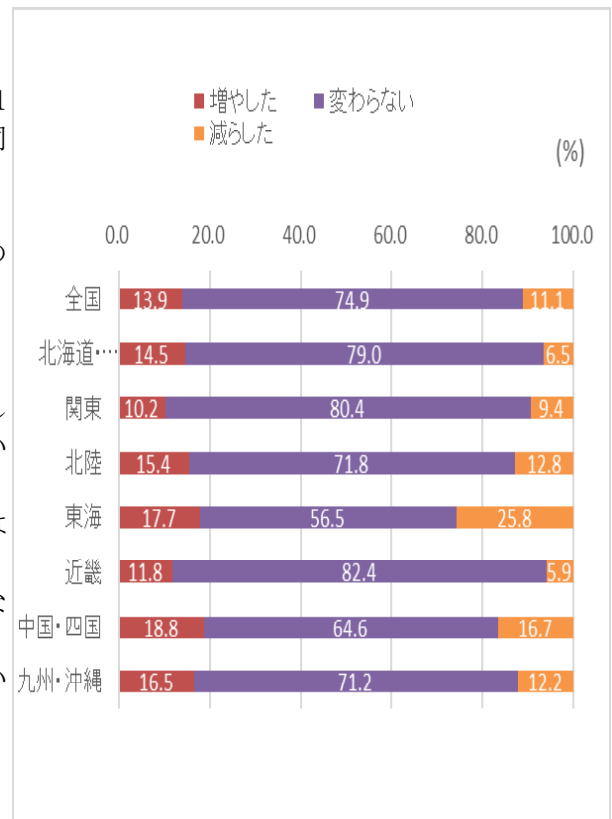
- ① 肥育豚飼養頭数を前年同期と比較して、「増やした」が90経営体13.9%、「変わらない」が559経営体74.9%、「減らした」が83経営体11.1%で、「増やした」と「減らした」割合がほぼ同じである。

これを頭数で見ると、「増やした」が52,865頭、「減らした」が14,453頭で、増やした頭数の方が減らした頭数より38,412頭多い。

- ② ブロック別では、経営体数で見ると「減らした」割合に比べて「増やした」割合の方が高いのは東海を除く全ブロックとなっている。

頭数で見ると、増やした頭数の方が多いのは九州・沖縄で15,007頭多く、関東では9,584頭、北海道・東北では7,827頭、東海では5,934頭などとなっている。

一方、中国・四国では910頭の減少となっている。



●頭数を増やした理由(肥育豚)(複数回答、割合、★回答経営体数=110)									
		全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
A	計画していた豚舎が完成したので増頭した	21.8	27.6	10.3	28.6	44.4	0.0	20.0	22.7
B	後継者が経営に参加したので増頭した	12.7	10.3	20.7	0.0	11.1	25.0	0.0	13.6
C	1頭当たりの収益性が低下したので収入を守るために増頭した	36.4	44.8	24.1	28.6	55.6	25.0	40.0	36.4
D	委託、預託の農場を増やした	7.3	0.0	10.3	14.3	0.0	0.0	10.0	13.6
E	出荷元から増頭の要請があった	4.5	3.4	6.9	0.0	0.0	0.0	10.0	4.5
F	養豚生産者が減少しているので将来儲かりそうなので増頭した	2.7	3.4	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5
G	事情により生産を縮小していたのを元に戻した	16.4	13.8	27.6	42.9	0.0	0.0	0.0	13.6
H	その他	12.7	13.8	6.9	0.0	11.1	50.0	30.0	9.1
合 計		114.5	117.2	110.3	114.3	122.2	100.0	110.0	118.2

① 肥育豚の頭数を増やした理由で最も高いのは、「一頭当たりの収益性が低下したので収入を守るために増頭した」36.4%で、次いで「計画していた豚舎が完成したので増頭した」が21.8%、「事情により生産を縮小していたのをもとに戻した」16.4%などとなっている。

② 地域別で見ると、関東、北陸を除くどの地域でも「一頭当たりの収益性が低下したので収入を守るために増頭した」が最も多いが、関東、北陸では「事情により生産を縮小していたのをもとに戻した」が多い。

●頭数を減らした理由(肥育豚、複数回答、割合、★回答経営体数=80)									
		全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
A	疾病対策で豚を入れ替えるため	7.5	0.0	9.1	0.0	5.9	0.0	0.0	18.8
B	生産資材(飼料、光熱水料、薬品費等)の高騰で儲からないから	3.8	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	28.6	0.0
C	高齢化で労働が厳しくなったから	31.3	33.3	36.4	0.0	29.4	0.0	42.9	31.3
D	労働力が確保できなくなったから	13.8	8.3	13.6	20.0	23.5	0.0	14.3	6.3
E	委託、預託農場となるため	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
F	廃業するため	10.0	8.3	18.2	20.0	0.0	100.0	0.0	6.3
G	飼養システム・経営形態の変更	6.3	0.0	4.5	0.0	5.9	0.0	0.0	18.8
H	環境対策	7.5	0.0	4.5	20.0	17.6	0.0	0.0	6.3
I	その他	36.3	58.3	36.4	60.0	41.2	0.0	28.6	12.5
合 計		116.3	108.3	122.7	120.0	129.4	100.0	114.3	100.0

① 頭数を減らした理由で最も高いのは、「高齢化で労働が厳しくなったから」31.3%で、次いで「労働力が確保出来なくなったから」が13.8%となっている。

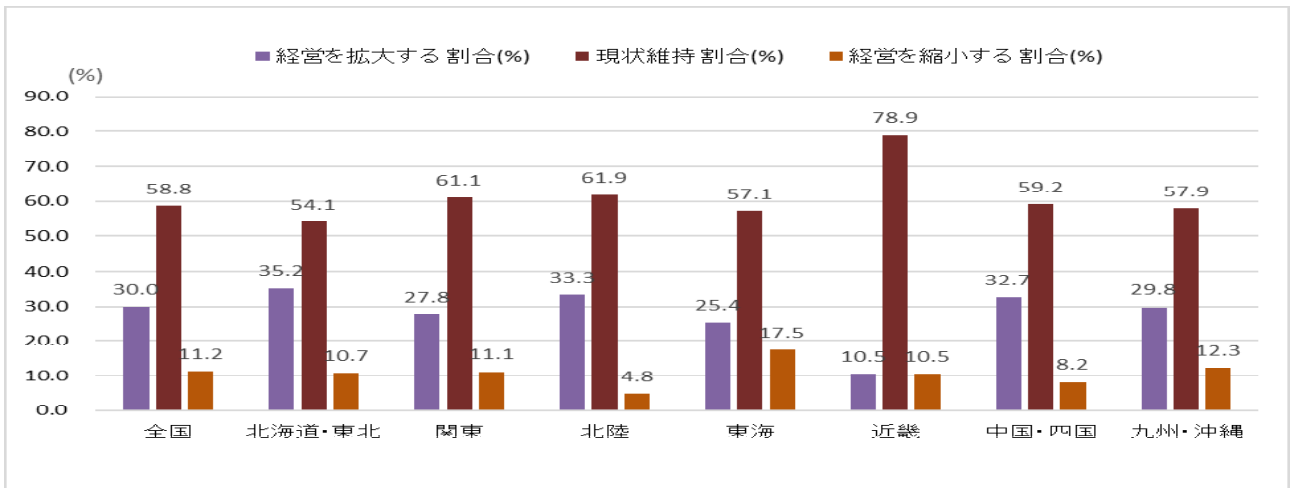
② ブロック別で見ると、北陸、近畿以外のブロックは「高齢化で労働が厳しくなった」の理由が最も多い。

## (2) 今後の経営の意向

### ●経営の今後の意向(ブロック別、★回答経営体数=810)

		全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
経営を拡大する	回答数	243	69	75	14	16	2	16	51
	割合(%)	30.0	35.2	27.8	33.3	25.4	10.5	32.7	29.8
現状維持	回答数	476	106	165	26	36	15	29	99
	割合(%)	58.8	54.1	61.1	61.9	57.1	78.9	59.2	57.9
経営を縮小する	回答数	91	21	30	2	11	2	4	21
	割合(%)	11.2	10.7	11.1	4.8	17.5	10.5	8.2	12.3
合 計	回答数	810	196	270	42	63	19	49	171
	割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ① 今後の経営の意向は「経営を拡大」30.0%、「現状維持」58.8%、「経営を縮小」11.2%で、約6割が「現状維持」で「縮小」よりも「拡大」の意向が多い。
- ② ブロック別で見ると、いずれのブロックも「縮小」よりも「拡大」の意向が多く、「経営を拡大」する意向が最も高いブロックは「北海道・東北」35.2%、次いで「北陸」33.3%、「中国・四国」32.7%となっている。「経営を縮小」する意向が最も高いブロックは「東海」17.5%となっている。



### ●「経営を拡大する」内訳

		全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
今年中に規模拡大する計画がある	回答数	33	12	6	4	3	0	2	6
	割合(%)	13.3	17.4	7.9	28.6	17.6	0.0	12.5	11.1
3年以内に規模拡大する計画がある	回答数	86	27	25	4	5	1	7	17
	割合(%)	34.7	39.1	32.9	28.6	29.4	50.0	43.8	31.5
今後規模拡大を検討したい	回答数	129	30	45	6	9	1	7	31
	割合(%)	52.0	43.5	59.2	42.9	52.9	50.0	43.8	57.4
合 計	回答数	248	69	76	14	17	2	16	54
	割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ① 経営を拡大する意向の内訳を回答のあった248経営体で見ると、「今年中に規模を拡大する計画がある」が13.3%、「3年以内に規模拡大する計画がある」が34.7%、「今後規模拡大を検討したい」が52.0%となっている。
- ② ブロック別では、「今年中に規模拡大する計画がある」及び「3年以内に規模拡大する計画がある」と具体的な計画がある合計割合が高いブロックは、「北陸」57.2%、「北海道・東北」56.5%、中国・四国が56.3%となっている。

●「経営を縮小する」内訳

		全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
今年中に縮小する計画がある	回答数	8	2	3	0	1	1	0	1
	割合(%)	8.2	8.7	10.0	0.0	8.3	20.0	0.0	4.5
3年以内に縮小する計画がある	回答数	14	4	3	0	1	1	2	3
	割合(%)	14.3	17.4	10.0	0.0	8.3	20.0	40.0	13.6
今後縮小を検討したい	回答数	24	2	8	0	5	0	1	8
	割合(%)	24.5	8.7	26.7	0.0	41.7	0.0	20.0	36.4
今年中に廃業する計画がある	回答数	5	2	0	0	1	1	0	1
	割合(%)	5.1	8.7	0.0	0.0	8.3	20.0	0.0	4.5
近く廃業したいと考えている	回答数	47	13	16	1	4	2	2	9
	割合(%)	48.0	56.5	53.3	100.0	33.3	40.0	40.0	40.9
合 計	回答数	98	23	30	1	12	5	5	22
	割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ① 経営を縮小する意向の内訳を回答のあった98経営体を見ると、「近く廃業したいと考えている」が48.0%と高く、「今年中に廃業する計画がある」5.1%を合わせた52経営体が廃業を考えている。
- ② ブロック別に見ると、「近く廃業したいと考えている」割合が最も高いのは「北陸」100.0%で、次いで「東北」56.5%、「関東」53.3%である。

●「廃業したい」「廃業する計画がある」理由

		全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
後継者がいない	回答数	33	9	11	1	4	0	1	7
	割合(%)	63.5	60.0	68.8	100.0	80.0	0.0	50.0	70.0
労働力が確保出来ない	回答数	8	3	2	0	1	0	0	2
	割合(%)	15.4	20.0	12.5	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0
環境問題	回答数	3	0	1	0	1	0	0	1
	割合(%)	5.8	0.0	6.3	0.0	20.0	0.0	0.0	10.0
負債がある	回答数	1	0	1	0	0	0	0	0
	割合(%)	1.9	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
生産資材(飼料等)の高騰で儲からない	回答数	3	1	0	0	0	1	1	0
	割合(%)	5.8	6.7	0.0	0.0	0.0	33.3	50.0	0.0
その他	回答数	13	3	6	1	0	1	0	2
	割合(%)	25.0	20.0	37.5	100.0	0.0	33.3	0.0	20.0
合 計	回答数	52	15	16	1	5	3	2	10
	割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

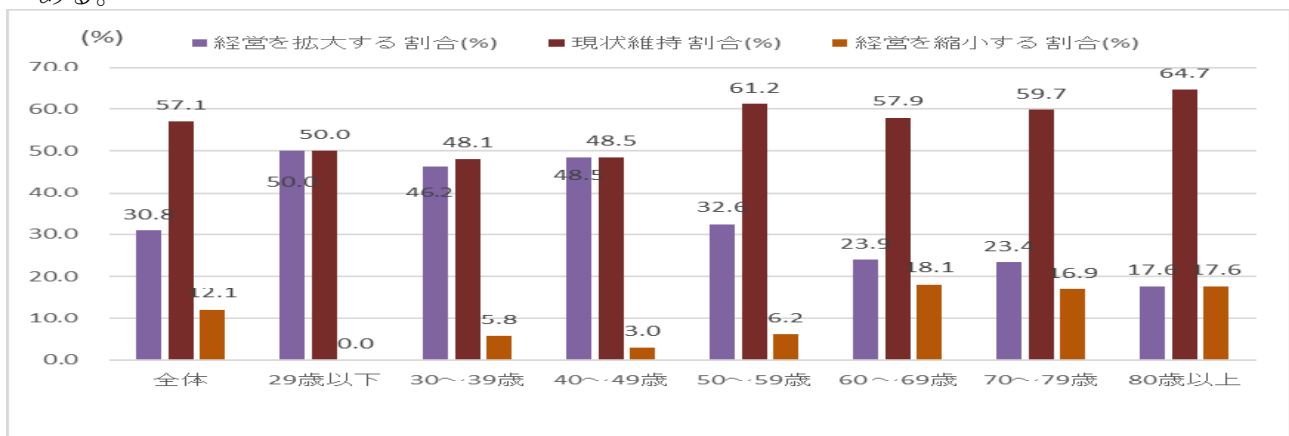
- ① 「廃業したいと考えている」又は「廃業する計画がある」として、その理由を回答した52経営体で見ると、「後継者がいない」が63.5%と最も高く、次いで「労働力が確保ができない」が15.4%となっている。
- ② ブロック別で見ると、「後継者がいないため」の割合が最も高いのは「北陸」100.0%、次いで「東海」80.0%、「九州」70.0%となっている。

●経営者年齢階層別経営の今後の意向(ブロック別、★回答経営体数=736)

		全体	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
経営を拡大する	回答数	227	2	24	48	58	74	18	3
	割合(%)	30.8	50.0	46.2	48.5	32.6	23.9	23.4	17.6
現状維持	回答数	420	2	25	48	109	179	46	11
	割合(%)	57.1	50.0	48.1	48.5	61.2	57.9	59.7	64.7
経営を縮小する	回答数	89	0	3	3	11	56	13	3
	割合(%)	12.1	0.0	5.8	3.0	6.2	18.1	16.9	17.6
合 計	回答数	736	4	52	99	178	309	77	17
	割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ① 「現状維持」の割合が高いのは「80歳以上」64.7%の階層である。  
 ② 「経営を拡大する」の割合が最も高いのは「29歳以下」50.0%、次いで「40～49歳」48.5%、「30～39歳」46.5%であり、50歳代以上は年齢が上がるほど減少し、「80歳以上」17.6%である。

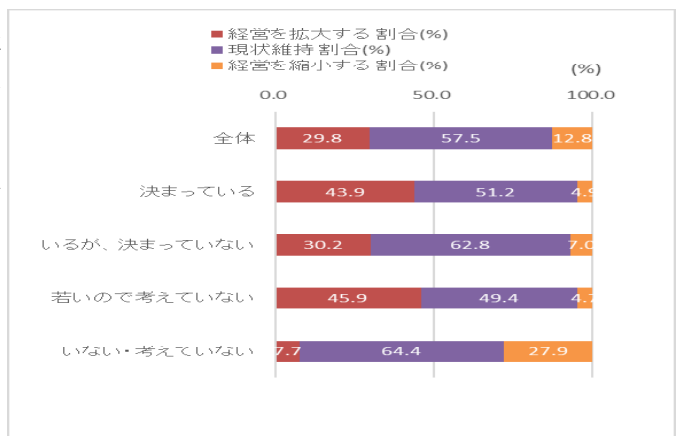
一方、「経営を縮小する」の割合が最も高いのは「60～69歳」18.1%、次いで「80歳以上」17.6%、「70～79歳」16.9%であり、60歳未満の階層では年齢が低くなるほど低くなる傾向にある。



●経営の今後の意向と後継者の有無(★回答経営体数=682)

		全体	後継者は決まっている	対象者はいるが、現在は決まっていない	自分の年齢が若いので考えていない	後継者はいない・考えていない
経営を拡大する	回答数	203	108	39	39	17
	割合(%)	29.8	43.9	30.2	45.9	7.7
現状維持	回答数	392	126	81	42	143
	割合(%)	57.5	51.2	62.8	49.4	64.4
経営を縮小する	回答数	87	12	9	4	62
	割合(%)	12.8	4.9	7.0	4.7	27.9
合 計	回答数	682	246	129	85	222
	割合(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

- ① 後継者と関係がある経営体について、経営の今後の意向と後継者の有無の関係をみると、「経営を拡大する」意向が強い経営体では、「後継者は決まっている」とする割合が43.9%、「自分の年齢が若いので考えていない」とする割合が45.9%である。  
 ② 一方、「経営を縮小する」意向が強い経営体では、「後継者はいない・考えていない」とする割合が27.9%となっている。



## 10. 衛生レベル・防疫対策

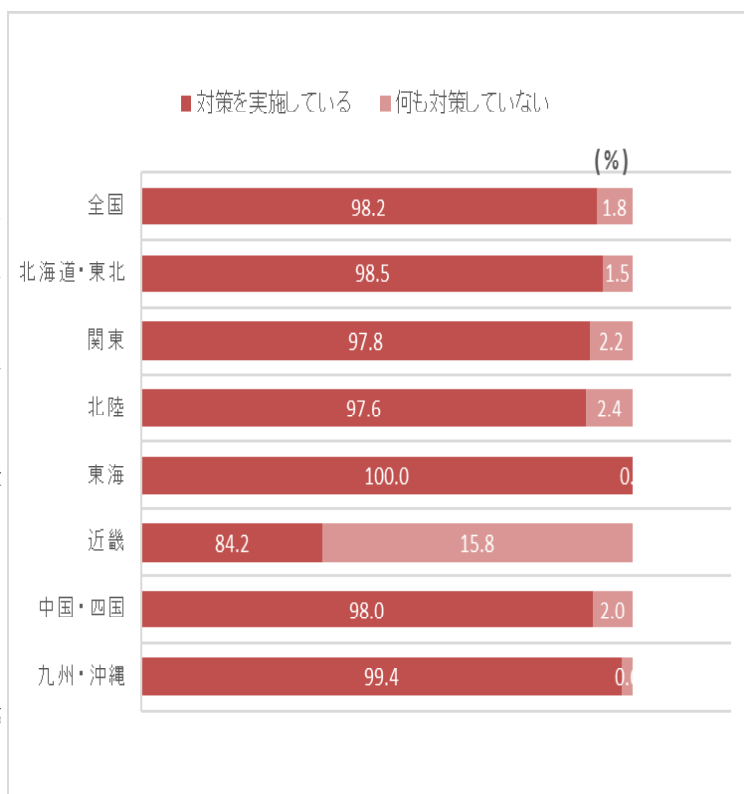
●農場における入退場について（ブロック別、★回答経営体数＝822）

	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
対策を実施している	98.2	98.5	97.8	97.6	100.0	84.2	98.0	99.4
衛生管理地区であることをしめす看板等の設置	78.6	81.9	76.5	78.6	85.5	73.7	77.6	76.4
シャワーイン・シャワーアウトの実施	25.1	42.7	15.9	16.7	29.0	5.3	26.5	21.8
農場専用の衣服への交換	61.2	74.9	57.4	59.5	74.2	31.6	53.1	52.9
農場専用の履物への交換	76.8	82.4	77.3	71.4	79.0	63.2	77.6	71.3
豚舎専用の衣服への交換	32.8	46.2	28.9	42.9	29.0	10.5	32.7	25.3
豚舎専用の履物への交換	52.8	63.3	47.3	61.9	45.2	36.8	46.9	53.4
農場専用の踏み込み消毒槽の設置	69.3	73.4	64.6	78.6	79.0	57.9	59.2	70.7
豚舎専用の踏み込み消毒槽の設置	74.0	85.9	70.0	73.8	59.7	63.2	69.4	74.1
来場者名簿の設置	52.6	58.3	37.9	66.7	82.3	52.6	67.3	51.1
防疫上問題となる場所からの一定期限の入場制限	47.7	55.8	43.3	47.6	51.6	47.4	57.1	41.4
小計	570.8	664.8	519.1	597.6	614.5	442.1	567.3	538.5
何も対策していない	1.8	1.5	2.2	2.4	0.0	15.8	2.0	0.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答経営体数	822	199	277	42	62	19	49	174

- ① 農場における人の入退場について、「対策をしている」のは98.2%で、「何も対策をしていない」のは1.8%である。

対策の内訳で最も割合が高いのは「管理地域を示す看板の設置」78.6%、次いで「農場専用の履物への交換」76.8%、「豚舎専用の踏み込み消毒槽の設置」74.0%、「農場専用踏み込み消毒槽の設置」69.3%と続き、最も割合が低いのは「シャワーイン・シャワーアウトの実施」25.1%である。また、1経営体で上記10対策のうち平均5.7の対策を実施している。

- ② ブロック別に見ると、「対策をしている」割合が最も高いのは東海が100.0%であり、近畿が84.2%と低い。



●農場における人の入退場(子取り用雌豚飼養頭数規模別、複数回答、割合★回答経営体数=759)								
	全規模	1～19頭	20～49頭	50～99頭	100～199頭	200～499頭	500～999頭	1000頭以上
対策を実施している	98.7	93.0	97.7	98.6	99.4	99.5	98.6	100.0
衛生管理地区であることをしめす看板等の設置	79.7	65.1	72.7	69.4	80.9	86.5	87.5	90.8
シャワーイン・シャワーアウトの実施	26.0	7.0	3.4	6.9	14.8	34.1	56.9	81.5
農場専用の衣服への交換	62.7	41.9	34.1	41.0	65.4	73.5	88.9	96.9
農場専用の履物への交換	78.0	55.8	56.8	65.3	83.3	84.3	95.8	98.5
豚舎専用の衣服への交換	32.7	23.3	22.7	21.5	24.1	41.6	51.4	52.3
豚舎専用の履物への交換	52.4	30.2	40.9	34.0	43.8	63.2	77.8	86.2
農場専用の踏み込み消毒槽の設置	70.1	58.1	68.2	62.5	64.8	71.4	88.9	86.2
豚舎専用の踏み込み消毒槽の設置	74.2	76.7	52.3	59.7	75.9	78.9	90.3	98.5
来場者名簿の設置	53.5	37.2	37.5	38.9	46.3	59.5	79.2	90.8
防疫上問題となる場所からの一定期限の入場制限	49.1	32.6	28.4	34.7	40.7	60.0	75.0	81.5
小計	578.4	427.9	417.0	434.0	540.1	653.0	791.7	863.1
何も対策していない	1.3	7.0	2.3	1.4	0.6	0.5	1.4	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答経営体数	759	43	88	144	162	185	72	65

- ① 子取り用雌豚飼養頭数規模別にみると、「対策をしている」は「1000頭以上」は100%実施しており、「何も対策をしていない」は規模が小さいほど多くみられる。また、「対策をしている」経営体で上記10対策のうちいくつ実施しているかみると、「1～19頭」が平均4.2の対策を実施しており、頭数が多い階層ほど対策数が多くなり、「1000頭以上」では平均8.6の対策を実施している。

●農場における人の入退場(経営形態別、複数回答、割合★回答経営体数=822)							
	全国	個人経営	農事組合法人	有限会社、合資会社・合名会社	株式会社	農協直営	その他
対策を実施している	98.2	96.9	100.0	98.9	99.2	100.0	100.0
衛生管理地区であることをしめす看板等の設置	78.6	71.4	88.4	82.1	85.4	75.0	95.5
シャワーイン・シャワーアウトの実施	25.1	7.2	30.2	33.8	53.1	75.0	27.3
農場専用の衣服への交換	61.2	41.9	79.1	75.3	78.5	75.0	68.2
農場専用の履物への交換	76.8	64.2	86.0	87.5	86.9	100.0	72.7
豚舎専用の衣服への交換	32.8	22.8	51.2	35.4	47.7	50.0	40.9
豚舎専用の履物への交換	52.8	35.0	74.4	62.7	71.5	100.0	63.6
農場専用の踏み込み消毒槽の設置	69.3	60.6	81.4	73.0	79.2	75.0	86.4
豚舎専用の踏み込み消毒槽の設置	74.0	61.4	79.1	79.8	90.0	100.0	100.0
来場者名簿の設置	52.6	34.7	76.7	58.6	76.2	100.0	77.3
防疫上問題となる場所からの一定期限の入場制限	47.7	28.3	74.4	54.4	73.1	75.0	77.3
小計	570.8	427.5	720.9	642.6	741.5	825.0	709.1
何も対策していない	1.8	3.1	0.0	1.1	0.8	0.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答経営体数	822	360	43	263	130	4	22

- ① 経営形態別にみると、「何も対策をしていない」は「個人経営」、「有限会社、合資会社・合名会社」、「株式会社」にわずかではあるが見られる。また、「対策をしている」経営体で1経営体で上記10対策のうちいくつ実施しているかみると、「個人経営」が4.3と少なく、最も多いのは「農協直営」の8.3となっている。

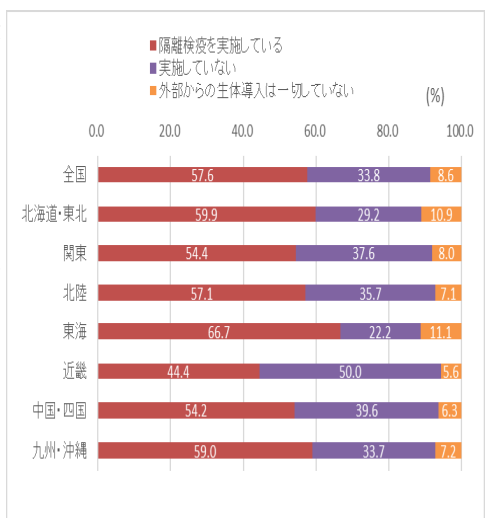


●豚導入時の対応(ブロック別、割合、★回答経営体数=792)								
	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
隔離検査を実施している	57.6	59.9	54.4	57.1	66.7	44.4	54.2	59.0
実施していない	33.8	29.2	37.6	35.7	22.2	50.0	39.6	33.7
外部からの生体導入は一切していない	8.6	10.9	8.0	7.1	11.1	5.6	6.3	7.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答経営体数	792	192	263	42	63	18	48	20

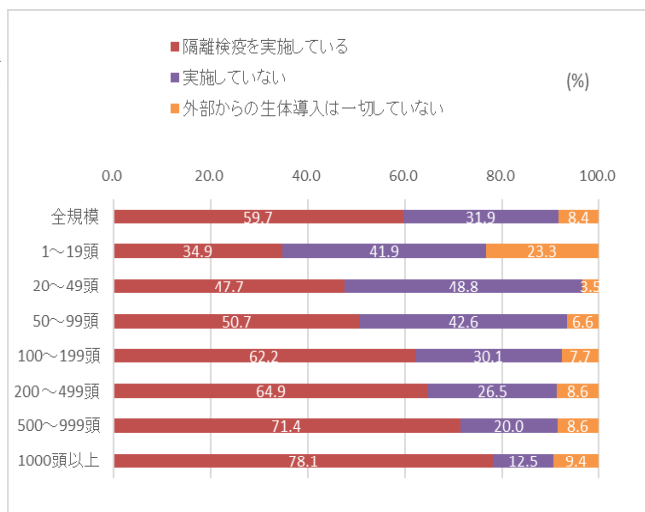
●隔離検査の内訳(ブロック別、複数回答、割合)								
	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
農場から離れた隔離検査施設で	10.0	12.5	6.5	21.4	6.3	16.7	6.3	11.4
農場内の隔離検査施設で	28.2	30.2	26.6	31.0	39.7	5.6	37.5	22.9
豚舎内の隔離検査施設で	25.3	25.5	25.1	9.5	23.8	22.2	22.9	30.7

- 豚の導入時の対応について、隔離検査を要する経営体は91.4%で、「外部からの生体導入は一切していない」8.6%は隔離検査を要しない経営体である。
- 隔離検査を要する724経営体における「隔離検査を実施している」割合は57.6%である。そのうち、「農場内の隔離検査施設で一定期間の隔離検査を実施している」が28.2%、「豚舎内の隔離検査施設で一定期間の隔離検査を実施している」が25.3%、「農場から離れた隔離検査施設で一定期間の隔離検査を実施している」10.0%である。
- ブロック別では、「隔離検査を実施している」割合が高いのは東海66.7%、北海道・東北59.9%である。「隔離検査を実施していない」割合が高いのは近畿50.0%、中国・四国39.6%である。



●豚導入時の対応(子取り雌豚飼養頭数規模別、割合、★回答経営体数=740)								
	全規模	1～19頭	20～49頭	50～99頭	100～199頭	200～499頭	500～999頭	1000頭以上
隔離検査を実施している	59.7	34.9	47.7	50.7	62.2	64.9	71.4	78.1
実施していない	31.9	41.9	48.8	42.6	30.1	26.5	20.0	12.5
外部からの生体導入は一切していない	8.4	23.3	3.5	6.6	7.7	8.6	8.6	9.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答経営体数	740	43	86	136	156	185	70	64

- 子取り用雌豚飼養頭数規模別に見ると、隔離検査を実施している経営体は「1000頭以上」が78.1%と最も高く、規模が小さい小さいほど実施割合が低くなっている。



● 隔離検疫の内訳(子取り雌豚飼養頭数規模別、複数回答、割合)								
	全規模	1～19頭	20～49頭	50～99頭	100～199頭	200～499頭	500～999頭	1000頭以上
農場から離れた隔離検疫施設で	10.1	7.0	8.1	5.1	8.3	11.9	14.3	20.3
農場内の隔離検疫施設で	29.5	11.6	17.4	17.6	30.8	31.9	47.1	53.1
豚舎内の隔離検疫施設で	26.2	23.3	26.7	30.1	30.8	27.6	15.7	15.6

- ① 隔離検疫を要する678経営体のうち「農場内の隔離検疫施設で一定期間の隔離検疫を実施している」のは29.5%、「豚舎内の隔離検疫施設で一定期間の隔離検疫を実施している」のは26.2%、「農場から離れた隔離検疫施設で一定期間の隔離検疫を実施している」のは10.1%である。

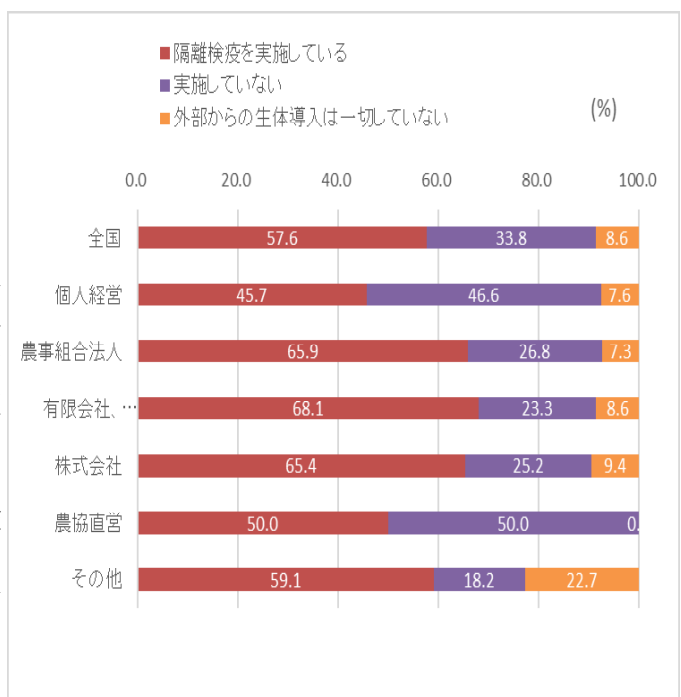
● 豚導入時の対応(経営形態別、割合、★回答経営体数=792)							
	全国	個人経営	農事組合法人	有限会社、合資会社、合名会社	株式会社	農協直営	その他
隔離検疫を実施している	57.6	45.7	65.9	68.1	65.4	50.0	59.1
実施していない	33.8	46.6	26.8	23.3	25.2	50.0	18.2
外部からの生体導入は一切していない	8.6	7.6	7.3	8.6	9.4	0.0	22.7
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答経営体数	792	341	41	257	127	4	22

● 隔離検疫の内訳(経営形態別、複数回答、割合)							
	全国	個人経営	農事組合法人	有限会社、合資会社、合名会社	株式会社	農協直営	その他
農場から離れた隔離検疫施設で	10.0	6.5	9.8	12.5	13.4	25.0	13.6
農場内の隔離検疫施設で	28.2	13.8	46.3	36.2	43.3	25.0	36.4
豚舎内の隔離検疫施設で	25.3	28.2	26.8	23.7	21.3	0.0	22.7

- ① 経営形態別に見ると、「外部からの生体導入は一切していない」割合はその他を除き株式会社9.4%が最も高い

- ② 隔離検疫を要する724経営体について、経営形態別に見ると、「隔離検疫を実施している」割合が最も高いのは有限会社、合資・合名会社の68.1%、次いで農事組合法人65.9%となっており、一方、「隔離検疫を実施していない」割合が高いのは農協直営50.0%、個人経営46.6%である。

- ③ 隔離検疫の内訳をみると、「農場から離れた隔離施設で」が「農協直営」25.0%、「農場内の隔離検疫施設で」が46.3%、畜舎内の隔離検疫施設で」が個人経営28.2%と最も高くなっている。



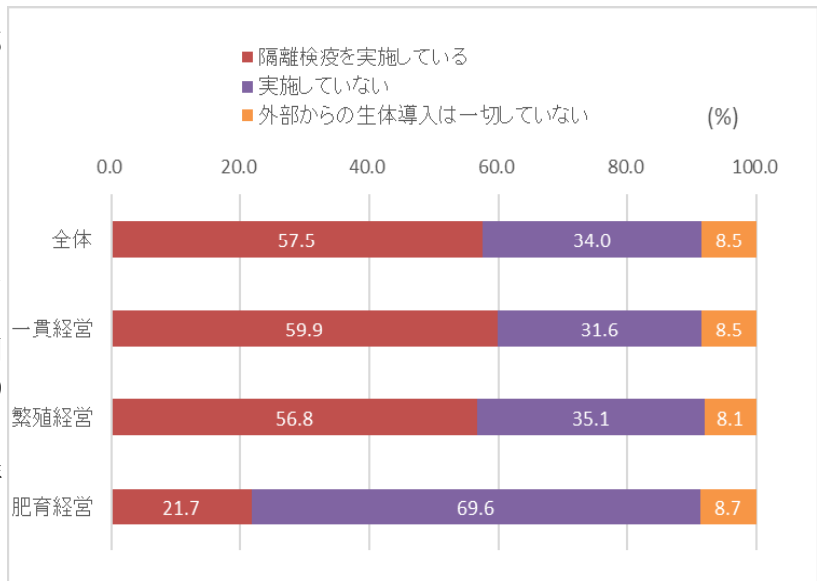
●豚導入時の対応(経営タイプ別、割合、★回答経営体数=789)				
	全体	一貫経営	繁殖経営	肥育経営
隔離検査を実施している	57.5	59.9	56.8	21.7
実施していない	34.0	31.6	35.1	69.6
外部からの生体導入は一切していない	8.5	8.5	8.1	8.7
合計	100.0	100.0	100.0	100.0
回答経営体数	789	706	37	46

●隔離検査の内訳(経営タイプ別、複数回答、割合)				
	全国	一貫経営	繁殖経営	肥育経営
農場から離れた隔離検査施設で	9.9	10.2	10.8	4.3
農場内の隔離検査施設で	28.1	29.7	18.9	10.9
豚舎内の隔離検査施設で	25.2	25.9	32.4	8.7

① 経営タイプ別に見ると、「外部からの生体導入は一切していない」割合は一貫経営8.5%が最も高い。(肥育経営で導入していないのは廃業予定等)

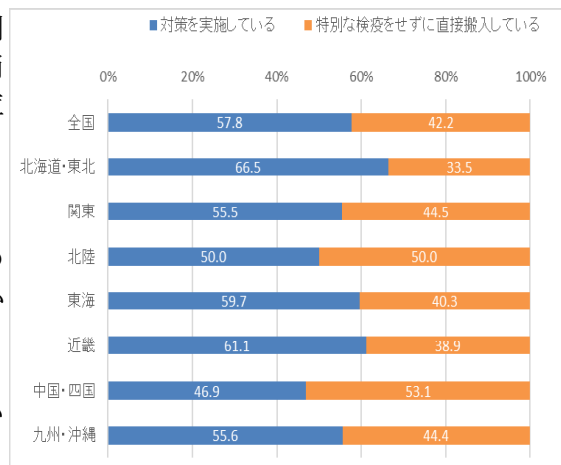
② 隔離検査を要する722経営体について、経営タイプ別に見ると、「隔離検査を実施している」割合が最も高いのは一貫経営59.9%であり、「隔離検査を実施していない」割合が高いのは肥育経営69.6%である。



●農場内への資材の搬入時の対策(ブロック別、割合、★回答経営体数=798)									
	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄	
対策を実施している	57.8	66.5	55.5	50.0	59.7	61.1	46.9	55.6	
倉庫等に一定期間置いてから消毒し搬入している	14.5	25.7	10.2	21.4	9.7	11.1	14.3	9.4	
消毒をしてから搬入している	33.2	38.2	26.0	21.4	37.1	50.0	34.7	38.0	
倉庫等に消毒せずに一定期間置いてから搬入している	23.1	20.4	29.4	19.0	29.0	11.1	18.4	17.5	
小計	70.8	84.3	65.7	61.9	75.8	72.2	67.3	64.9	
特別な検査をせずに直接搬入している	42.2	33.5	44.5	50.0	40.3	38.9	53.1	44.4	
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
回答経営体数	798	191	265	42	62	18	49	171	

① 農場内への資材の搬入時に「対策をしている」割合は57.8%で、対策の内容で最も割合が高いのは「消毒してから搬入している」が33.2%、次いで「倉庫等に消毒せずに一定期間置いてから搬入している」が23.1%である。

② ブロック別では、「対策をしている」割合が最も高いのは「北海道・東北」66.5%である。対策の内容は、「関東」では「倉庫等に一定期間置いてから搬入している」割合が最も高く、その他のブロックでは「消毒をしてから搬入している」割合が最も高い。「特別な対策はしていない」割合が最も高いのは「中国・四国」53.1%である。

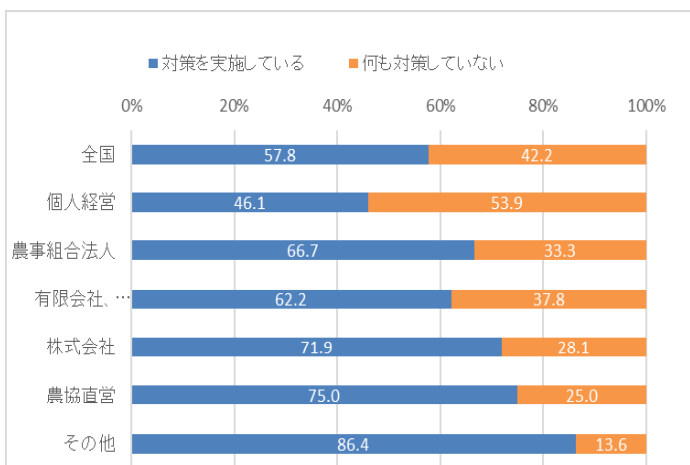


●農場内への資材の搬入時の対策(経営形態別、割合、★回答経営体数=798)

	全国	個人経営	農事組合法人	有限会社、合資会社・合名会社	株式会社	農協直営	その他
対策を実施している	57.8	46.1	66.7	62.2	71.9	75.0	86.4
倉庫等に一定期間置いてから消毒し搬入している	14.5	6.4	19.0	20.5	22.7	25.0	13.6
消毒をしてから搬入している	33.2	24.5	42.9	32.8	48.4	75.0	59.1
倉庫等に消毒せずに一定期間置いてから搬入している	23.1	20.4	21.4	26.3	24.2	0.0	27.3
小計	70.8	51.3	83.3	79.5	95.3	100.0	100.0
何も対策していない	42.2	53.9	33.3	37.8	28.1	25.0	13.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答経営体数	798	343	42	259	128	4	22

① 経営形態別に見ると、「対策をしている」割合が高いのはその他を除き「農協直営」75.0%、株式会社71.9%と高い。「特別な対策はしていない」割合が高いのは「個人経営」53.9%である。

② 「倉庫等に一定期間置いてから消毒し搬入している」割合の高いのは「農協直営」25.0%、「株式会社」22.7%、「消毒をしてから搬入している」では「農協直営」75.0%、「株式会社」48.4%、「倉庫等に消毒せずに一定期間置いてから搬入している」では「有限会社、合資・合名会社」26.3%となっている。



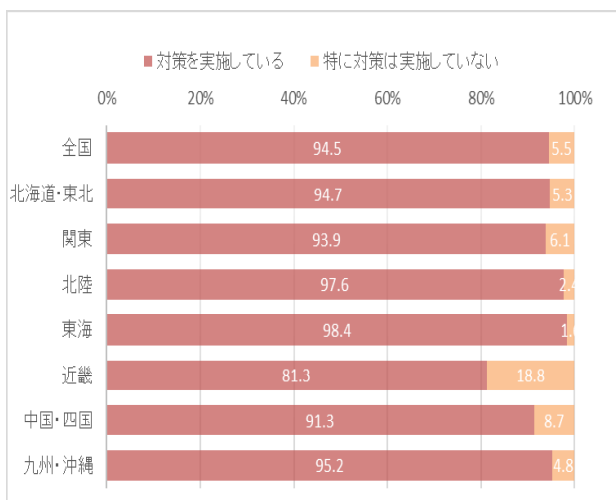
●車輦の入退場の対応(ブロック別、割合、★回答経営体数=785)

	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
対策を実施している	94.5	94.7	93.9	97.6	98.4	81.3	91.3	95.2
外来車輦の消毒を実施している	68.4	68.9	67.8	64.3	80.6	62.5	71.7	64.9
出荷トラックの消毒を実施している	74.6	80.5	70.9	85.7	79.0	75.0	76.1	69.0
消毒ゲートを設置している	22.5	25.3	14.6	19.0	21.0	31.3	23.9	32.1
動力噴霧機を設置している	67.8	67.9	64.4	64.3	79.0	68.8	71.7	68.5
石灰帯を設置している	68.2	74.7	73.9	69.0	50.0	56.3	69.6	58.9
必ず農場職員が消毒の実施又は確認している	20.1	23.7	16.1	16.7	19.4	31.3	32.6	19.0
小計	321.7	341.1	307.7	319.0	329.0	325.0	345.7	312.5
特に対策は実施していない	5.5	5.3	6.1	2.4	1.6	18.8	8.7	4.8
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答経営体数	785	190	261	42	62	16	46	168

① 車輦の入退場の際に「対策を実施している」が94.5%となっており、「特に対策は実施していない」が5.5%となっている。

「出荷トラックの消毒実施」が74.6%と最も多く、次いで「外来車輦の消毒実施」68.4%、「石灰帯を設置」68.2%と続いており1経営体平均3.2と複数の対策を実施している。

② ブロック別では、中国・四国が1経営体3.5と最も多くの対策を実施している。「出荷トラックの消毒」で最も多いのが「北陸」85.7%、「外来車輦の消毒実施」は「東海」80.6%などとなっている。

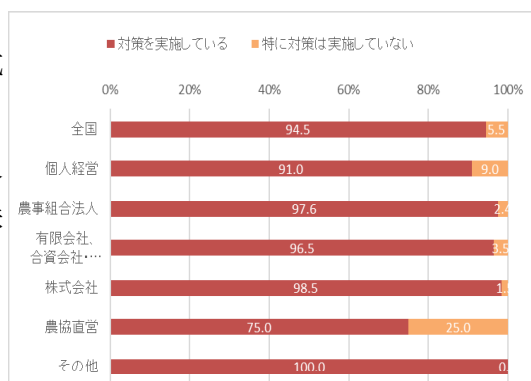


● 車輦の入退場の対応(経営形態別、割合、★回答経営体数=785)

	全国	個人経営	農事組合法人	有限会社、合資会社・合名会社	株式会社	農協直営	その他
対策を実施している	94.5	91.0	97.6	96.5	98.5	75.0	100.0
外来車輦の消毒を実施している	68.4	52.3	85.7	78.3	82.3	75.0	81.8
出荷トラックの消毒を実施している	74.6	62.2	90.5	84.3	81.5	75.0	81.8
消毒ゲートを設置している	22.5	6.6	28.6	26.8	46.2	75.0	54.5
動力噴霧機を設置している	67.8	53.5	78.6	78.3	80.8	75.0	63.6
石灰帯を設置している	68.2	67.3	69.0	65.7	75.4	50.0	68.2
必ず農場職員が消毒の実施又は確認している	20.1	9.0	31.0	25.2	32.3	25.0	36.4
小計	321.7	250.8	383.3	358.7	398.5	375.0	386.4
特に対策は実施していない	5.5	9.0	2.4	3.5	1.5	25.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答経営体数	785	333	42	254	130	4	22

① 経営形態別の車輦の入退場の対応をみると、「株式会社」が1農場4.0と最も多くの対策を実施している。

② 対策の内訳では、「農事組合法人」、「有限会社・合資・合名会社」は「出荷トラックの消毒実施」、「株式会社」は「外来車輦の消毒の実施」、「個人経営」は「石灰帯の設置」が最も多い。

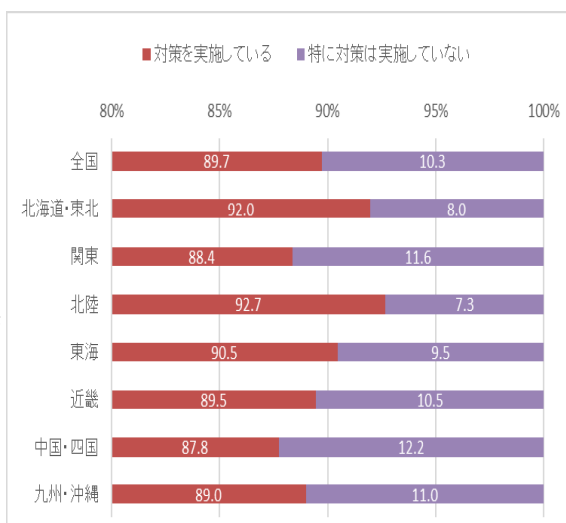


● 野生動物の侵入防止対策(ブロック別、割合、★回答経営体数=819)

	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
対策を実施している	89.7	92.0	88.4	92.7	90.5	89.5	87.8	89.0
畜舎の破損状況を確認し、必要な修繕を実施	61.9	73.4	57.5	73.2	57.1	52.6	65.3	54.9
農場周囲に金網等を廻らせ、必要な修繕も実施	21.0	27.1	17.8	14.6	7.9	26.3	28.6	22.5
豚舎の開放部に防鳥ネット等を張って、必要な修繕を実施	55.7	61.8	47.6	61.0	58.7	57.9	59.2	57.8
ネズミの駆除等を実施	75.7	85.9	73.1	75.6	74.6	57.9	67.3	72.8
その他対策を実施	1.6	2.0	2.2	0.0	1.6	5.3	2.0	0.0
小計	215.9	250.3	198.2	224.4	200.0	200.0	222.4	208.1
特に対策は実施していない	10.3	8.0	11.6	7.3	9.5	10.5	12.2	11.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答経営体数	819	199	275	41	63	19	49	173

① 野生動物の侵入防止策について、「対策をしている」割合は89.7%で、対策の内容で最も割合が高いのは、「ネズミ駆除を実施している」が75.7%であり、次いで「畜舎破損の修理」61.9%、「開放部に防鳥ネットを張っている」55.7%となっている。

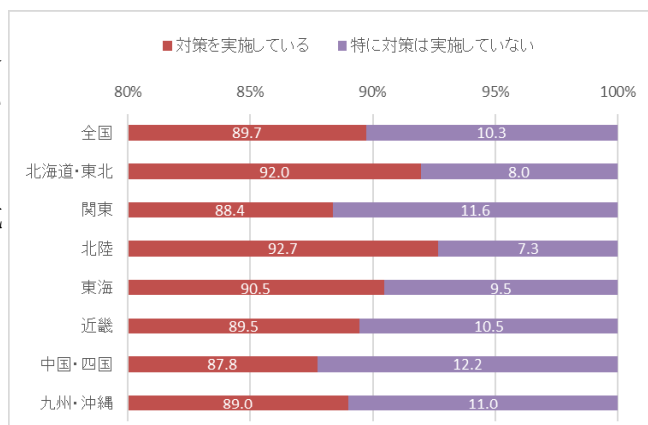
② ブロック別では、「対策を実施している」割合が最も高いのは「北陸」92.7%、次いで「北海道・東北」92.0%である。対策の内容ではいずれのブロックでも「ネズミ駆除等」を実施している割合が高い。



●野生動物の侵入防止対策(経営形態別、割合、★回答経営体数=819)							
	全国	個人経営	農事組合法人	有限会社、合資会社、合名会社	株式会社	農協直営	その他
対策を実施している	89.7	83.0	95.3	93.9	96.9	100.0	95.5
畜舎の破損状況を確認し、必要な修繕を実施	61.9	45.3	79.1	73.2	77.1	50.0	77.3
農場周囲に金網等を廻らせ、必要な修繕も実施	21.0	11.7	16.3	24.9	35.1	50.0	45.5
豚舎の開放部に防鳥ネット等を張って、必要な修繕を実施	55.7	41.3	62.8	66.7	71.0	75.0	50.0
ネズミの駆除等を実施	75.7	64.8	90.7	81.6	88.5	75.0	77.3
その他対策を実施	1.6	1.1	4.7	1.9	1.5	0.0	0.0
小計	215.9	164.2	253.5	248.3	273.3	250.0	250.0
特に対策は実施していない	10.3	17.0	4.7	6.1	3.1	0.0	4.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答経営体数	819	358	43	261	131	4	22

① 経営形態別では、「対策をしている」割合が最も高いのは「農協直営」100.0%、次いで「株式会社」98.3%である。

② また、1経営体あたり対策をみると「株式会社」が最も多く平均2.7の対策を実施している。  
いずれの経営形態でも「ネズミ駆除等を実施している」割合が高い。

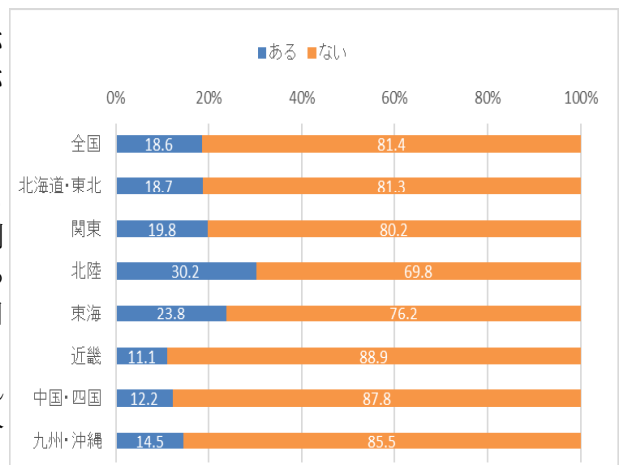


## 11. 環境対策

●住民等からの悪臭苦情の有無(過去1年以内)(ブロック別、割合、★回答経営体数=816)								
	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
ある	18.6	18.7	19.8	30.2	23.8	11.1	12.2	14.5
近隣の住民より直接	31.2	32.5	17.3	42.9	60.0	50.0	66.7	25.0
県・市・町・村の公的機関を通して	67.5	65.0	82.7	57.1	33.3	50.0	33.3	75.0
その他	1.3	2.5	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0
小計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
ない	81.4	81.3	80.2	69.8	76.2	88.9	87.8	85.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答経営体数	816	198	273	43	63	18	49	172

① 住民等からの悪臭苦情が寄せられたことが「ある」割合は18.6%で、そのうち最も割合が高いのは、県・市町村の「公的機関を通して」が67.5%である。

② ブロック別に見ると、「ある」の割合が最も高いのは「北陸」30.2%である。「ない」の割合が最も高いのは「近畿」88.9%である。「ある」の内訳では、「東海」、「近畿」、「中国・四国」が「近隣の住民より直接」の割合が高く(近畿は「公共機関を通して」と同率)、それ以外の地域では「公的機関を通して」の割合が高い。

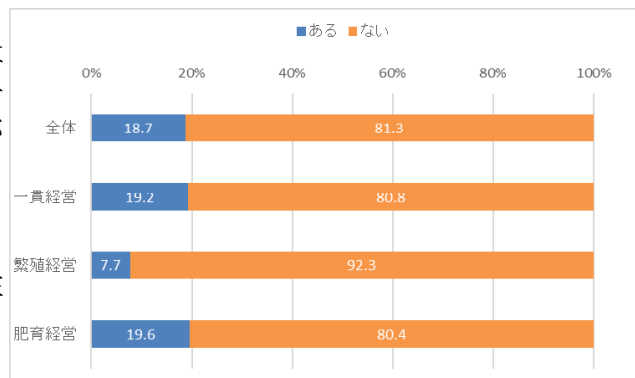


●住民等からの悪臭苦情の有無(過去1年以内)(経営タイプ別、割合、★回答経営体数=812)

	全体	一貫経営	繁殖経営	肥育経営
ある	18.7	19.2	7.7	19.6
近隣の住民より直接	31.2	30.9	40.0	30.8
県・市・町・村の公的機関を通して	67.5	68.3	40.0	69.2
その他	1.3	0.7	20.0	0.0
小計	100.0	100.0	100.0	100.0
ない	81.3	80.8	92.3	80.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0
回答経営体数	812	717	39	56

① 経営タイプ別に見ると、「ある」の割合は「肥育経営」19.6%と最も高く、次いで「一貫経営」19.2%であり、「繁殖経営」7.7%が最も低い。

② いずれの経営タイプも「公的機関を通して」の割合が最も高い。(「繁殖経営は「近隣の住民より直接」と同率。)

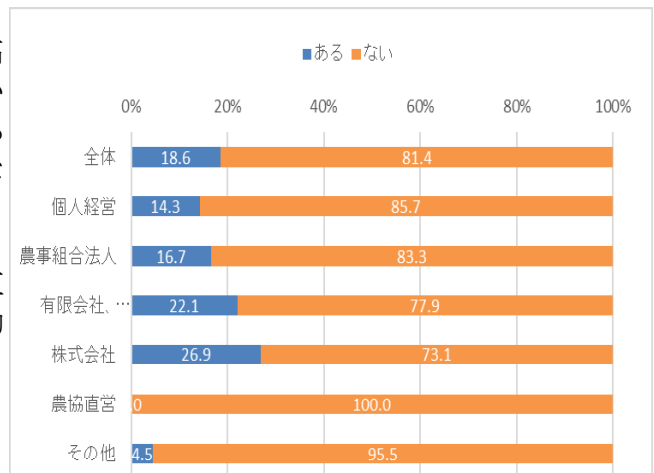


●住民等からの悪臭苦情の有無(過去1年以内)(経営形態別、割合、★回答経営体数=816)

	全国	個人経営	農事組合法人	有限会社、合資会社・合名会社	株式会社	農協直営	その他
ある	18.6	14.3	16.7	22.1	26.9	0.0	4.5
近隣の住民より直接	31.2	29.4	57.1	25.8	38.9	0.0	0.0
県・市・町・村の公的機関を通して	67.5	70.6	42.9	71.0	61.1	0.0	100.0
その他	1.3	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0
小計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0
ない	81.4	85.7	83.3	77.9	73.1	0.0	95.5
合計	816	198	273	43	63	18	49

① 経営形態別に見ると、「ある」の割合の高いのは「株式会社」26.9%が最も高く、次いで「有限会社、合資会社・合名会社」22.1%で、割合が低いのは「個人経営」14.3%となっている。

② 「農事組合法人」では「近隣の住民より直接」の割合が高く、他の経営形態では「公的機関を通して」が割合が高い。

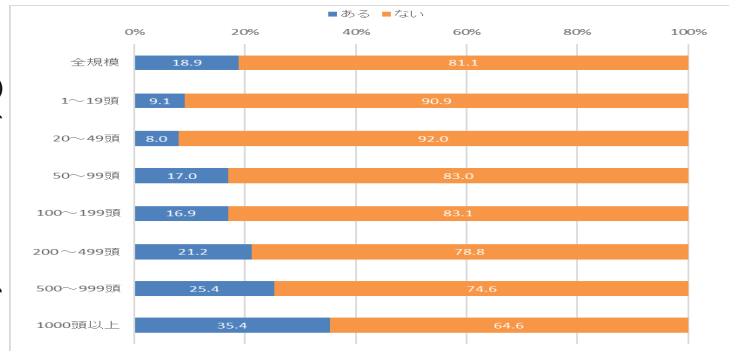


●住民等からの悪臭苦情の有無(過去1年以上)(子取り用雌豚頭数規模別、割合、★回答経営体数=753)

	全規模	1～19頭	20～49頭	50～99頭	100～199頭	200～499頭	500～999頭	1000頭以上
ある	18.9	9.1	8.0	17.0	16.9	21.2	25.4	35.4
近隣の住民より直接	30.8	50.0	14.3	30.4	27.6	25.0	26.3	50.0
県・市・町・村の公的機関を通して	67.8	50.0	85.7	65.2	69.0	75.0	73.7	50.0
その他	1.4	0.0	0.0	4.3	3.4	0.0	0.0	0.0
小計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
ない	81.1	90.9	92.0	83.0	83.1	78.8	74.6	64.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答経営体数	753	44	88	141	160	184	71	65

① 子取り用雌豚飼養頭数規模別に見ると、「ある」の割合が高いのは「1,000頭以上」35.4%で、規模が小さいほど割合は低くなっている。

② すべての規模で「公的機関を通して」の割合が高い(「1～19頭」、「1000頭以上」は「近隣の住民より直接」と同率。)



●公共機関への相談の有無(ブロック別、割合、★回答経営体数=198)

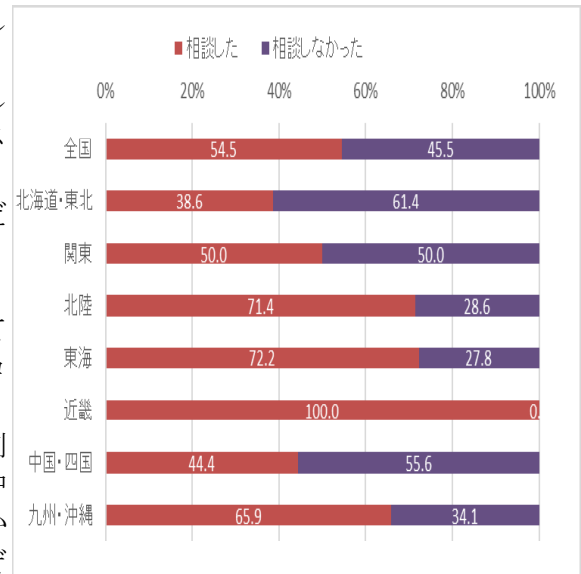
	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
相談した	54.5	38.6	50.0	71.4	72.2	100.0	44.4	65.9
アドバイスを試した	82.7	72.2	78.1	88.9	68.8	100.0	100.0	100.0
有効であった	33.7	38.9	25.0	22.2	18.8	50.0	50.0	52.2
有効でなかった	13.5	5.6	15.6	33.3	12.5	50.0	0.0	8.7
まだ効果があったかどうかわからない	35.6	27.8	37.5	33.3	37.5	0.0	50.0	39.1
アドバイスを試さなかった	7.7	11.1	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
参考にならないから	3.8	5.6	3.1	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
コストが高いから	3.8	5.6	9.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
まだアドバイスを受けていない	9.6	16.7	9.4	11.1	18.8	0.0	0.0	0.0
小計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
相談しなかった	45.5	61.4	50.0	28.6	27.8	0.0	55.6	34.1
どこの公的機関に相談して良いかわからなかったから	13.3	18.2	19.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
アドバイスは必要ないと感じたから	40.0	40.9	38.7	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0
公的機関以外に相談しているから	22.7	13.6	25.8	50.0	16.7	0.0	25.0	25.0
その他	24.0	27.3	16.1	50.0	33.3	0.0	25.0	25.0
小計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答経営体数	198	44	70	14	18	2	9	41

【相談した】

- ① 公的機関に「相談した」割合は54.5%である。
- ② ブロック別に見ると、「相談した」割合が高いのは「近畿」100%、「北陸」71.4%、「九州・沖縄」65.9%であり、「相談しなかった」割合が高いのは「北海道・東北」61.4%、「中国・四国」55.6%である



- ③ 苦情を減らすための方法等を公的機関に相談したと回答した108経営体のうち理由の回答があった104経営体についてみると、「アドバイスを試した」割合は82.7%である。そのうち、アドバイスを試した結果が「有効であった」とする割合は33.7%、「有効でなかった」は13.5%であるが、「まだ効果があったかわからない」が35.6%ある。
- ④ アドバイスを試さなかった割合は7.7%である。そのうち、アドバイスを試さなかった理由としては、「参考にならなかった」とする割合は3.8%、「コストが高いから」は3.8%である。
- ⑤ ブロック別に見ると、「アドバイスを試した」割合が高いのは「近畿」、「中国・四国」、「九州・沖縄」で100%試しており、「アドバイスを試さなかった」割合が高いのは「関東」、「東海」がそれぞれ12.5%である。



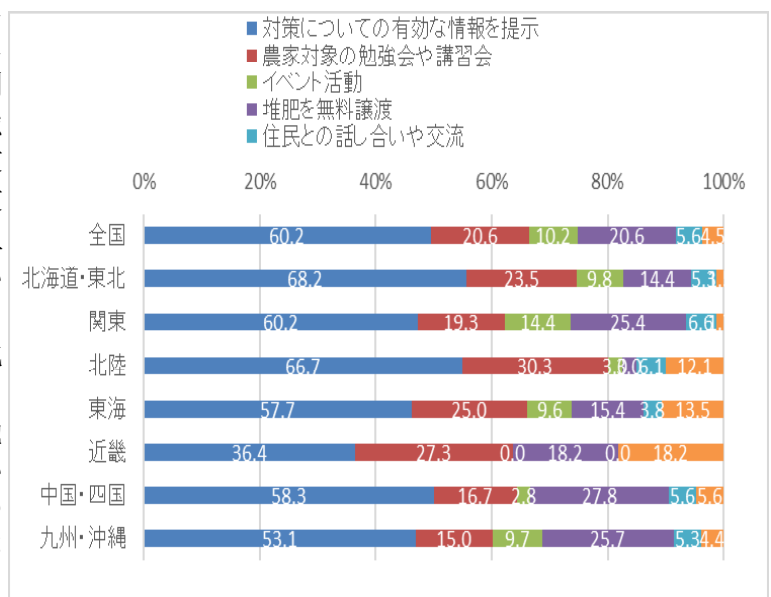
【相談しなかった】

- ① 公的機関に相談しなかったと回答した90経営体のうち理由の回答があった経営体は75経営体であり、「アドバイスは必要ないと感じたから」40.0%が最も割合が高い。
- ② ブロック別に見ると、「北陸」を除く各ブロックでは「アドバイスは必要ないと感じたから」の割合が高く、「北陸」は「公的機関以外に相談しているから」の割合が高い。

●公的機関へ期待する役割(ブロック別、割合、★回答経営体数=558)

	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
対策についての有効な情報を提示	60.2	68.2	60.2	66.7	57.7	36.4	58.3	53.1
農家対象の勉強会や講習会	20.6	23.5	19.3	30.3	25.0	27.3	16.7	15.0
イベント活動	10.2	9.8	14.4	3.0	9.6	0.0	2.8	9.7
堆肥を無料譲渡	20.6	14.4	25.4	3.0	15.4	18.2	27.8	25.7
住民との話し合いや交流	5.6	5.3	6.6	6.1	3.8	0.0	5.6	5.3
その他	4.5	1.5	1.7	12.1	13.5	18.2	5.6	4.4
合 計	121.7	122.7	127.6	121.2	125.0	100.0	116.7	113.3
回答経営体数	558	132	181	33	52	11	36	113

- ① 悪臭苦情の対策として公的機関に期待する役割については、「対策に有効な情報の提示」60.2%が最も割合が高く、次いで「農家対象の勉強会や講習会の開催」、「市民農園、家庭菜園を持っている住民や耕種農家に堆肥を無料譲渡できるような仕組みづくり」がそれぞれ20.6%と続いている。
- ② ブロック別に見ると、いずれの地域でも「対策に有効な情報の提示」の割合が最も高い。「農家対象の勉強会や講習会の開催」の割合が高いのは、北陸30.3%であり、「堆肥の無料譲渡の仕組みづくり」の割合が高いのは、中国・四国27.8%である。

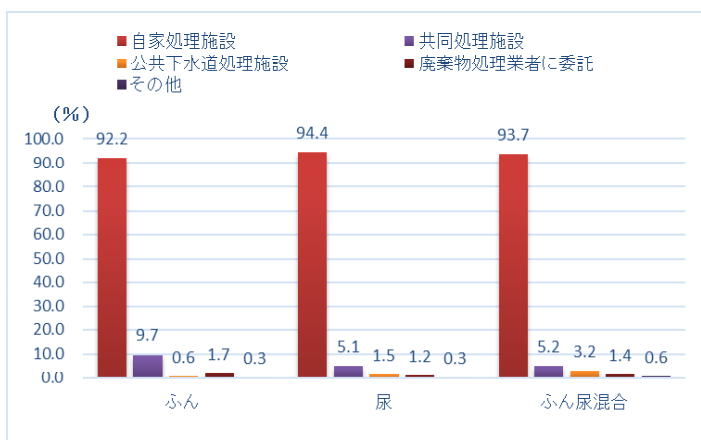


## 12. 糞尿処理状況

●処理状況別のふん尿の処理量割合(放牧した期間は除く)(全国、複数回答、割合、★回答経営体数=781)

	回答割合			処理量割合(平均値)		
	ふん	尿	ふん尿混交	ふん	尿	ふん尿混交
自家処理施設	92.2	94.4	93.7	97.4	99.1	97.9
共同処理施設	9.7	5.1	5.2	81.3	81.3	79.6
公共下水道処理施設	0.6	1.5	3.2	82.5	90.0	89.0
廃棄物処理業者に委託	1.7	1.2	1.4	87.3	45.9	65.0
その他	0.3	0.3	0.6	75.0	100.0	30.0
合 計	104.6	102.6	104.0	—	—	—
回答経営体数	629	586	347	629	586	347

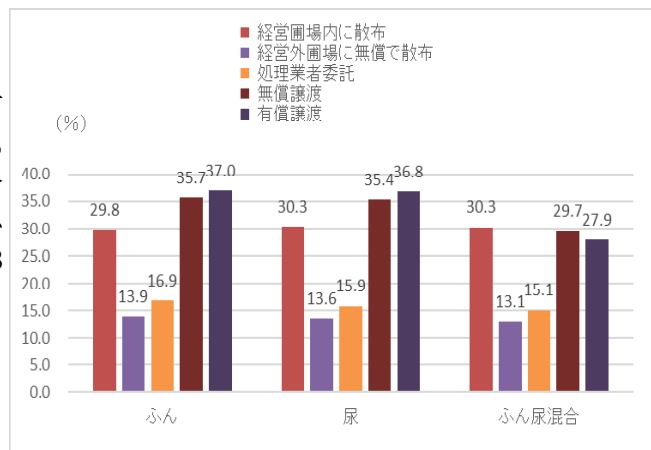
- ① ふん尿の処理状況について回答のあった781経営体のうち、「ふん」、「尿」、「ふん尿混合」のいずれも「自家処理施設」を利用して処理している経営体の割合が最も高く、「ふん」92.2%、「尿」94.4%、「ふん尿混合」93.7%である。また回答割合は一桁代となるが「ふん」、「尿」、ふん尿混合とも「共同処理施設」の割合が高い。
- ② 自家・共同・公共、その他とも、「尿」の処理量割合が最も高く、廃棄物処理業者に委託は「ふん」の処理量割合が最も高い。



●自家処理施設、共同利用施設での散布・譲渡の状況(全国、複数回答、割合、★回答経営体数=781)

	回答割合		
	ふん	尿	ふん尿混交
a 経営圏場内に散布	29.8	30.3	30.3
b 経営圏外場に無償で散布	13.9	13.6	13.1
c 処理業者委託	16.9	15.9	15.1
d 無償譲渡	35.7	35.4	29.7
e 有償譲渡(わら等と交換している場合は有償に含める)	37.0	36.8	27.9
合 計	133.2	131.9	116.0
回答経営体数	617	574	337

- ① 自家処理施設、共同利用施設での散布・譲渡の状況をみると、「ふん」、「尿」では「有償譲渡」の割合がそれぞれ37.0%、36.8%となっており、次いで「無償譲渡」の割合がそれぞれ35.7%、35.4%となっている。「ふん尿混合」では「経営圏場内に散布」30.3%、「無償譲渡」が29.7%となっている。



●処理状況別のふん尿の処理量割合(ふん処理方法の組み合わせ別、★回答経営体数=629)

糞尿処理組み合わせ(ふん)					回 答		処理割合(平均値)					
					経営体数	割合	自家処理	共同処理施設	公共下水道	廃棄物業者に委託	その他	
自家処理					551	87.6	100.0					
自家処理	共同施設				24	3.8	47.6	52.4				
自家処理	共同施設		廃棄物業者に委託		0	0.0						
自家処理			廃棄物業者に委託	その他	0	0.0						
自家処理			廃棄物業者に委託		3	0.5	46.7				53.3	
自家処理				その他	1	0.2	50.0					50.0
自家処理		公共下水道			1	0.2	70.0			30.0		
	共同施設				37	5.9		100.0				
		公共下水道			3	0.5			100.0			
			廃棄物業者に委託	その他	0	0.0						
			廃棄物業者に委託		8	1.3					100.0	
				その他	1	0.2						100.0
合計					629	100.0	97.4	81.3	82.5	87.3	75.0	

- ① 「ふん」について、単一の処理方法だけで処理している経営体をみると、「自家処理施設」だけで処理している経営体が551経営体87.6%で最も割合が高い。「共同処理施設」が37経営体5.9%、「廃棄物業者に委託」8経営体1.3%、「公共下水道」3経営体0.5%、「その他」1経営体0.2%となっている。
- ② 複数の処理方法を併用して処理している経営体をみると、「自家処理施設+共同処理施設」24経営体3.8%、「自家処理施設+廃棄物業者に委託」3経営体0.5%などとなっている。処理方法で単一、複数を問わず最も多く実施されているのは、「自家処理施設」580経営体92.2%となっている。

●処理状況別のふん尿の処理量割合(尿処理方法の組み合わせ別、★回答経営体数=587)

糞尿処理組み合わせ(尿)					回 答		処理割合(平均値)					
					経営体数	割合	自家処理	共同処理施設	公共下水道	廃棄物業者に委託	その他	
自家処理					538	91.7	100.0					
自家処理	共同施設				9	1.5	62.2	37.8				
自家処理	共同施設		廃棄物業者に委託		0	0.0						
自家処理		公共下水道			1	0.2	90.0			10.0		
自家処理			廃棄物業者に委託		5	0.9	75.8				24.2	
	共同施設				21	3.6		100.0				
		公共下水道			8	1.4				100.0		
自家処理		公共下水道			1	0.2	90.0			10.0		
			廃棄物業者に委託		2	0.3					100.0	
				その他	2	0.3						100.0
合計					587	100.0	99.1	81.3	90	45.9	100.0	

- ① 「尿」について、単一の処理方法だけで処理している経営体をみると、「自家処理施設」だけで処理している経営体が538経営体91.7%で最も割合が高い。次いで「共同処理施設」だけが21経営体3.6%で、「公共下水道」だけが8経営体1.4%で、「廃棄物業者に委託」「その他」だけがそれぞれ2経営体0.3%である。これら単一の処理方法だけで処理している経営体が全体の97.3%を占めている。
- ② 複数の処理方法を併用して処理している経営体では、「自家処理施設+共同処理施設」9経営体1.5%、次いで「自家処理施設+廃棄物業者に委託」5経営体0.9%などとなっている。処理方法で単一、複数を問わず最も多く実施されているのは、「自家処理施設」554経営体94.4%となっている。

●処理状況別のふん尿の処理量割合(尿処理方法の組み合わせ別、★回答経営体数=347)

糞尿処理組み合わせ(ふん尿混合)				回 答		処理割合(平均値)				
				経営体数	割合	自家処理	共同処理施設	公共下水道	廃棄業者に委託	その他
自家処理				313	90.2	99.7				
自家処理	共同施設			5	1.4	50.0	50.0			
自家処理			その他	1	0.3	90.0				10.0
	共同施設			11	3.2		100.0			
自家処理	共同施設	公共下水道		1	0.3	33.0	33.0	34.0		
	共同施設		その他	1	0.3		50.0			50.0
自家処理		公共下水道		2	0.6	27.5		72.5		
		公共下水道		8	2.3			100.0		
			廃棄業者に委託	2	0.6				100.0	
自家処理			廃棄業者に委託	3	0.9	58.3			41.7	
合計				347	100.0	97.9	79.6	89.0	65.0	30.0

① 「ふん尿混合」について、処理方法の組み合わせ別にみると、「自家処理施設」だけで処理している経営体が313経営体90.2%で最も割合が高い。次いで「共同処理施設」だけが11経営体3.2%で、「公共下水道」だけが8経営体2.3%である。これら単一の処理方法だけで処理している経営体が全体の96.3%を占めている。

② 複数の処理方法を併用して処理している経営体では、「自家処理施設+共同処理施設」が5経営体1.4%と最も多く、「自家処理施設+廃棄業者に委託」3経営体、0.9%、「自家処理施設+公共下水道」2経営体0.6%と続いている。処理方法で単一、複数問わず最も多く実施されているのは、「自家処理施設」325経営体93.7%となっている。

●「自家処理施設」、共同利用施設の処理方法(全国、複数回答、割合、★回答経営体数=604)

	回答割合			処理量割合(平均値)		
	ふん	尿	ふん尿混交	ふん	尿	ふん尿混交
天日乾燥	4.5	-	5.0	75.2	-	82.5
火力乾燥	0.5	-	0.0	100.0	-	-
強制発酵※1	59.1	11.8	32.2	94.1	93.6	80.4
堆積発酵※2	43.4	-	34.4	88.6	-	89.1
焼却	0.5	-	-	73.3	-	-
浄化	-	76.9	34.7	-	98.6	86.9
貯留	-	9.9	3.8	-	90.7	87.5
その他	2.0	4.7	6.6	85.0	88.8	93.3
合 計	109.9	103.3	116.7	-	-	-
回答経営体数	604	553	317	604	553	317

① 自家処理施設を利用している経営体での処理方法では、「ふん」については、「強制発酵」で処理している経営体の割合が59.1%で最も高く、次いで「堆積発酵」43.4%と続いている。「尿」については、「浄化」76.9%が最も高く、「強制発酵」が11.8%と続いている。「ふん尿混合」については、「浄化」34.7%が最も高く、次いで「堆積発酵」34.4%と続いている。

### 13. アニマルウェルフェア

●アニマルウェルフェアの取り組み(ブロック別、割合、★回答経営体数=766)									
	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄	
知っている	74.5	79.7	73.1	77.5	75.8	66.7	87.5	66.2	
飼料管理に考え方を採用	13.0	14.4	13.2	16.1	2.1	8.3	14.3	14.4	
飼養指針に従っている	4.4	4.6	4.9	6.5	0.0	8.3	0.0	5.8	
飼養指針に従っていない	8.6	9.8	8.2	9.7	2.1	0.0	14.3	8.7	
検討中又は検討予定	17.2	22.2	13.2	19.4	19.1	0.0	19.0	16.3	
十分理解していないので情報が欲しい	20.7	24.2	19.2	29.0	14.9	25.0	14.3	20.2	
聞いたことがあるが、内容をよく知らない	28.0	20.9	32.4	22.6	36.2	41.7	26.2	27.9	
対応の予定はない	21.2	18.3	22.0	12.9	27.7	25.0	26.2	21.2	
小計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
知らない	25.5	20.3	26.9	22.5	24.2	33.3	12.5	33.8	
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
回答経営体数	766	192	249	40	62	18	48	157	

- ① 経営体におけるアニマルウェルフェアの取組みの状況については、「知っている」が74.5%、「知らない」が25.5%となっている。「知っている」の内訳をみると、「飼料管理に考え方を採用」13.0%、「具体的に検討中」17.2%と両者併せて30.2%にとどまっている。
- ② ブロック別に見ると、「飼料管理に考え方を採用」、「検討中又は検討予定」を合わせて見てみると「北海道・東北」36.6%と最も高く、次いで「北陸」35.5%、「中国・四国」33.3%となっている。一方、「対応の予定はない」が高いブロックは「東海」27.7%となっている。

●アニマルウェルフェアの取り組み(子取り用雌豚頭数規模別、割合、★回答経営体数=710)									
	全規模	1～19頭	20～49頭	50～99頭	100～199頭	200～499頭	500～999頭	1000頭以上	
知っている	74.5	55.0	64.1	58.9	68.6	86.7	90.3	66.2	
飼料管理に考え方を採用	13.0	36.4	8.0	3.9	11.4	13.3	16.9	14.4	
飼養指針に従っている	4.4	18.2	4.0	2.6	1.0	6.0	3.1	5.8	
飼養指針に従っていない	8.6	18.2	4.0	1.3	10.5	7.3	13.8	8.7	
検討中又は検討予定	17.2	27.3	6.0	11.8	14.3	19.3	20.0	16.3	
十分理解していないので情報が欲しい	20.7	9.1	20.0	17.1	25.7	19.3	21.5	20.2	
聞いたことがあるが、内容をよく知らない	28.0	13.6	42.0	46.1	26.7	26.7	24.6	27.9	
対応の予定はない	21.2	13.6	24.0	21.1	21.9	21.3	16.9	21.2	
小計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
知らない	25.5	10.3	10.3	10.3	10.3	10.3	10.3	33.8	
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
回答経営体数	710	40	78	129	153	173	72	65	

- ① 子取り用雌豚頭数規模別に見ると、「知っている」の割合が最も高いのは「500～999頭」90.3%となっている。「知っている」と回答した経営体のうち「飼料管理の考え方を採用」は「1～19頭」36.4%が最も高く「検討中又は検討予定」も「1～19頭」27.3%と高い。次いで「500～999頭」が「飼料管理に考え方を採用」16.9%、「検討中又は検討予定」20.0%となっている。

●繁殖用雌豚の飼養管理にストールを常用しているか(ブロック別、割合、★回答経営体数=718)								
	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
はい	91.1	89.7	90.9	93.9	88.3	75.0	89.4	95.3
今後、群飼養を検討したい	10.9	12.0	10.3	6.1	11.7	16.7	12.8	10.1
今後も群飼養を検討する予定はない	80.2	77.7	80.6	87.9	76.7	58.3	76.6	85.2
いいえ(群飼養をしている)	8.9	10.3	9.1	6.1	11.7	25.0	10.6	4.7
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答経営体数	718	175	242	33	60	12	47	149

- ① 繁殖用雌豚の飼養管理にストールを常用しているかについて回答経営体の割合をみると、「している」91.1%となっており、「群飼養をしている」は8.9%となっている。ストールを常用している経営体うち10.9%が群飼養を今後検討すると回答している。
- ② ブロック別に見ると、「近畿」25.0%と群飼養の割合が多く、また、「今後、群飼養を検討したい」16.7%と多い。

●去勢を実施する際の麻酔処理(ブロック別、割合、★回答経営体数=734)								
	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
去勢の際、麻酔を実施	2.7	3.4	2.0	8.8	1.7	8.3	0.0	2.6
いいえ(無麻酔)	97.3	96.6	98.0	91.2	98.3	91.7	100.0	97.4
今後、麻酔下での処理を検討	3.3	3.4	4.8	2.9	0.0	0.0	2.1	2.6
麻酔下での処理を検討しない	94.0	93.3	93.2	88.2	98.3	91.7	97.9	94.7
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答経営体数	734	179	251	34	59	12	47	152

(注)無回答には、去勢を実施していない経営体も含まれる。

- ① 去勢を実施する際に麻酔を実施しているかについて回答経営体の割合をみると、「無麻酔」が97.3%となっており、そのうち「今後麻酔下での処理を検討する」が3.3%となっている。
- ② ブロック別では、「去勢の際、麻酔を実施」の割合が高いのは、「北陸」8.8%、「近畿」8.3%となっている。現在無麻酔で、「今後、麻酔下での処理を検討」は「関東」4.8%が高い。

●歯を切断する際の麻酔処理(ブロック別、割合、★回答経営体数=619)								
	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
歯の切断の際、麻酔処理を実施	7.9	8.2	9.2	3.6	8.3	8.3	0.0	8.3
いいえ(無麻酔)	92.1	91.8	90.8	96.4	91.7	91.7	100.0	91.7
今後、麻酔下での処理を検討	3.1	3.1	3.4	3.6	4.2	0.0	2.9	2.3
麻酔下での処理を検討しない	89.0	88.7	87.4	92.9	87.5	91.7	97.1	89.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答経営体数	619	159	206	28	48	12	34	132

(注)無回答には、去勢を実施していない経営体も含まれる。

- ① 歯の切断を実施する際に麻酔を実施しているかについて回答経営体の割合をみると、「麻酔を実施」7.9%、「無麻酔」が92.1%となっており、「無麻酔」うち今後検討するが3.1%となっている。
- ② ブロック別では、「麻酔処理を実施」の割合が最も高いのは「関東」9.2%で、「今後、麻酔下での処理を検討」の割合が高いのは「東海」4.2%が高い。

●尾の切断の際、麻酔処理の実施状況(ブロック別、割合、★回答経営体数=652)								
	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
尾の切断の際、麻酔を実施	8.7	8.2	9.3	6.3	11.5	28.6	2.7	8.6
いいえ(無麻酔)	91.3	91.8	90.7	93.8	88.5	71.4	97.3	91.4
今後、麻酔下での処理を検討	2.8	3.1	3.1	6.3	0.0	0.0	2.7	2.2
麻酔下での処理を検討しない	88.5	88.7	87.6	87.5	88.5	71.4	94.6	89.2
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答経営体数	652	159	226	32	52	7	37	139

(注)無回答には、去勢を実施していない経営体も含まれる。

- ① 尾の切断する際に麻酔を実施しているかについて回答経営体の割合をみると、「麻酔の実施」8.7%、「無麻酔」91.3%となっており、「無麻酔」のうち「今後検討する」が2.8%となっている。
- ② ブロック別では、「麻酔処理を実施」の割合が最も高いのは「近畿」28.6%で、「今後、麻酔下での処理を検討」の割合が高いのは「北陸」6.3%が高い。

#### 14. 豚肉の海外輸出の取り組み

●豚肉の海外輸出の取り組み(ブロック別、割合、★回答経営体数=752)								
	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
既に輸出している	0.8	1.1	1.2	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0
年間輸出量(平均、t)	9.3	3.3	17.5			5.0		
輸出について準備中	0.9	1.6	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3
自ら輸出ルート構築(または構築予定)	0.7	1.1	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
農協系ルートを利用(又は利用予定)	0.3	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
大手ハムメーカールートを利用(または利用予定)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
飼料メーカールートを利用(または利用予定)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
機会があれば輸出したい	9.6	12.3	10.2	4.9	4.8	6.3	6.3	9.9
販売・出荷した豚肉が、販売先から輸出されたと聞いている	2.1	2.7	2.0	0.0	3.2	0.0	0.0	2.6
特に考えていない	86.6	82.4	85.8	95.1	91.9	87.5	93.8	86.2
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答経営体数	752	187	246	41	62	16	48	152

- ① 生産している豚肉に係る海外輸出の取組みについて、「特に考えていない」86.6%と多数を占める。一方、「すでに輸出済」0.8% (6経営体)、「販売先等から輸出済」2.1% (16経営体)、「輸出準備中」0.9% (7経営体) がある。また、「機会があれば輸出希望」は9.6% (72経営体) がある。
- ② 地域別に見ると、いずれの地域でも「特に考えていない」の割合が最も高い。また、「機会があれば輸出希望」は「北海道・東北」12.3%、「関東」10.2%と高い。

#### 【記述内容】

- 輸出済国 香港 (2経営体)                      ●輸出準備中の内訳 シンガポール
- 輸出希望の国 アジア、アメリカ、東南アジア、シンガポール、台湾、香港、中国
- 輸出したと聞いている国 アジア圏、香港
- 課題 と畜場が輸出食肉検定がされていない

●豚肉の海外輸出の取り組み(経営形態別、割合、★回答経営体数=752)							
	全国	個人経営	農事組合法人	有限会社・合資会社・合名会社	株式会社	農協直営	その他
既に輸出している	0.8	0.0	2.6	0.8	2.4	0.0	0.0
年間輸出量(平均、t)	5.0	0.0	0.0	2.0	3.0	0.0	0.0
輸出について準備中	0.9	0.0	0.0	1.6	1.6	0.0	4.5
自ら輸出ルート構築(または構築予定)	0.7	0.0	0.0	1.2	1.6	0.0	0.0
農協系ルートを利用(又は利用予定)	0.3	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	4.5
大手ハムメーカールートを利用(または利用予定)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
飼料メーカールートを利用(または利用予定)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
機会があれば輸出したい	9.6	5.4	18.4	12.6	12.9	0.0	0.0
販売・出荷した豚肉が、販売先から輸出されたと聞いている	2.1	1.6	0.0	1.2	5.6	33.3	0.0
特に考えていない	86.6	92.9	78.9	83.8	77.4	66.7	95.5
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答経営体数	752	312	38	253	124	3	22

- ① いずれの経営形態でも、「特に考えていない」の割合が最も高い。
- ② 「機会があれば輸出希望」は、農事組合法人が18.4%と最も高く、次いで「株式会社」12.9%、「有限会社、合資・合名会社」12.6%となっている。

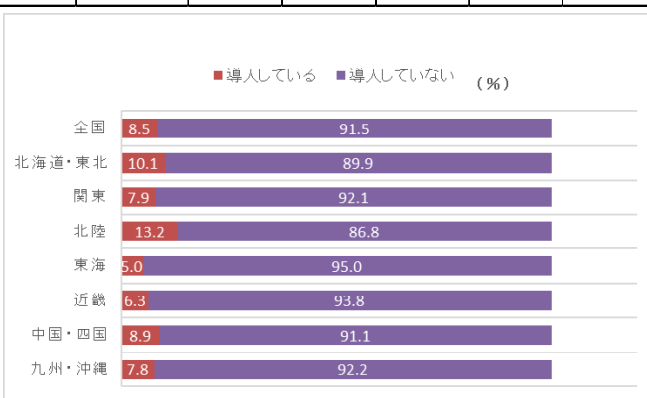


## 15. 農場 HACCP の取り組み

●農場HACCPの取り組み状況(ブロック別、割合、★回答経営体数=740)

	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
導入している	8.5	10.1	7.9	13.2	5.0	6.3	8.9	7.8
導入していない	91.5	89.9	92.1	86.8	95.0	93.8	91.1	92.2
現在申請中	3.2	2.4	5.5	0.0	0.0	0.0	4.9	2.8
導入検討中	9.0	11.8	9.5	9.1	7.0	6.7	14.6	4.2
今後検討	31.3	35.5	31.8	30.3	40.4	0.0	34.1	24.6
導入予定はない	56.4	50.3	53.2	60.6	52.6	93.3	46.3	68.3
小計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答経営体数	740	188	239	38	60	16	45	154

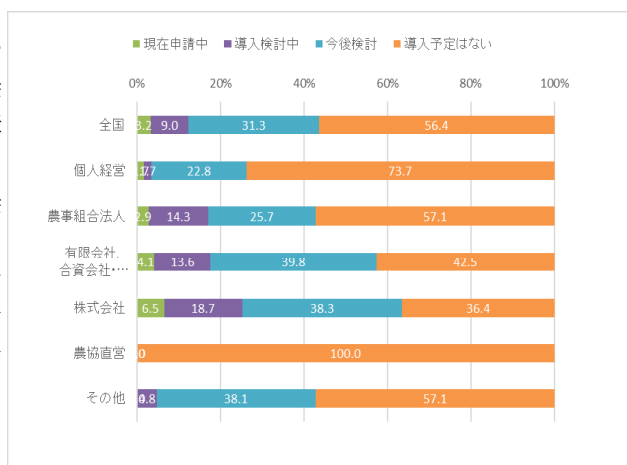
- ① 農場 HACCP の導入について、導入している経営体は8.5%となっており、導入していない経営体のうち「現在申請中」が3.2%、「現在検討中」が9.0%、「今後検討したい」が31.3%となっている。
- ② ブロック別では、「導入している」が最も高いのは「北陸」13.2%となっている。



●農場HACCPの取り組み状況(経営形態別、割合、★回答経営体数=740)

	全国	個人経営	農事組合法人	有限会社、合資会社、合名会社	株式会社	農協直営	その他
導入している	8.5	2.7	14.6	12.3	13.7	0.0	4.5
導入していない	91.5	97.3	85.4	87.7	86.3	100.0	95.5
現在申請中	3.2	1.7	2.9	4.1	6.5	0.0	0.0
導入検討中	9.0	1.7	14.3	13.6	18.7	0.0	4.8
今後検討	31.3	22.8	25.7	39.8	38.3	0.0	38.1
導入予定はない	56.4	73.7	57.1	42.5	36.4	100.0	57.1
小計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
回答経営体数	740	297	41	252	124	4	22

- ① 経営形態別みると、HACCP の導入について導入している経営体の割合が高いのは「農事組合法人」14.6%となっており、次いで「株式会社」13.7%となっている。
- ② 一方、導入していない割合が高いのは「農協直営」100.0%、「個人経営」97.3%となっており、「現在申請中」、「導入検討中」、「今後検討」を合わせた割合が高いのは「株式会社」63.5%、「有限会社、合資会社・合名会社」57.5%となっている。



## 16. チェックオフ制度について

●チェックオフ制度について(ブロック別、割合、★回答経営体数=737、690)									
	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄	
チェックオフ制度の導入の検討									
知っている	58.1	63.6	67.1	65.7	62.3	46.2	51.1	36.4	
知らなかった	41.9	36.4	32.9	34.3	37.7	53.8	48.9	63.6	
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
回答経営体数	737	187	243	35	61	13	47	151	
豚肉におけるチェックオフ制度の導入									
積極的に参加	19.7	21.6	20.1	32.4	20.3	9.1	16.3	15.4	
徴収する額だけで参加を検討	7.5	9.4	7.0	0.0	11.9	0.0	7.0	7.0	
チェックオフの徴収金で何をするかにより参加を検討	22.6	21.1	24.5	20.6	25.4	27.3	23.3	20.3	
すべての生産者が参加することが条件であれば参加	25.7	24.6	27.9	38.2	23.7	9.1	25.6	22.4	
徴収するとして場合に妥当と思う金額(円/頭)	72.8	66.3	64.6	46.1	69.2	30.0	61.2	112.3	
小計	75.5	76.6	79.5	91.2	81.4	45.5	72.1	65.0	
チェックオフの導入の必要性を感じない	24.5	23.4	20.5	8.8	18.6	54.5	27.9	35.0	
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
回答経営体数	690	171	229	34	59	11	43	143	

- ① チェックオフの導入が検討されているがこの状況を知っているかについて、「知っている」と回答した経営体の割合は58.1%となっている。
- ② これをブロック別にみると「北海道・東北」、「関東」、「北陸」、「東海」が60%台と高く、「九州・沖縄」が36.4%と最も低い。
- ③ 豚肉におけるチェックオフ制度の導入について参加するかを否かの割合については、「積極的に参加」19.7%、「徴収額次第で参加を検討」7.5%、「目的次第で参加を検討」22.6%、「全生産者の参加を条件に検討」25.7%となっており、これらを合計すると75.5%となっている。一方、「導入の必要性を感じない」が24.5%となっている。
- ④ これをブロック別にみると、何らかの形で参加、参加検討の経営体は、「北陸」91.2%、「東海」81.4%、「関東」79.5%が高く、「九州・沖縄」65.0%、「近畿」45.5%と低い。
- ⑤ 「参加、あるいは参加検討」として回答した経営体について徴収するとして場合に妥当と思う金額を聞いたところ、平均額は72.8円であった。

●チェックオフ制度について(子取り用雌豚飼養頭数規模別、割合、★回答経営体数=686、648)									
	全規模	1～19頭	20～49頭	50～99頭	100～199頭	200～499頭	500～999頭	1000頭以上	
チェックオフ制度の導入の検討									
知っている	59.5	22.5	34.7	52.0	56.1	73.8	72.5	82.3	
知らなかった	40.5	77.5	65.3	48.0	43.9	26.2	27.5	17.7	
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
回答経営体数	686	40	72	127	148	168	69	62	
豚肉におけるチェックオフ制度の導入									
積極的に参加	19.9	5.7	7.4	9.0	21.7	25.5	28.1	36.7	
徴収する額だけで参加を検討	7.6	5.7	2.9	7.4	10.1	6.2	7.8	11.7	
チェックオフの徴収金で何をするかにより参加を検討	23.1	22.9	14.7	23.0	22.5	23.6	29.7	26.7	
すべての生産者が参加することが条件であれば参加	25.9	11.4	36.8	27.9	22.5	29.8	23.4	18.3	
徴収するとして場合に妥当と思う金額(円/頭)	73.7	139.0	45.5	78.7	73.9	75.4	73.0	52.8	
小計	76.5	45.7	61.8	67.2	76.8	85.1	89.1	93.3	
チェックオフの導入の必要性を感じない	23.5	54.3	38.2	32.8	23.2	14.9	10.9	6.7	
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
回答経営体数	648	35	68	122	138	161	64	60	

- ① これを母豚規模別に割合をみると、母豚規模が大きいほど「参加、あるいは参加検討」の割合が高くなり1000頭以上では93.3%と最も高くなっている。

(注) 昨年11月の「農業競争力強化プログラム」において、生産者の同意が得られた場合に品目ごとに制度化することが決められたが、強化プログラム決定前の調査である。

## 17. 種豚改良について

●種豚改良を進める上で、重要と考える改良形質(ブロック別、複数回答、割合、★回答経営体数=722)								
	全国	北海道・東北	関東	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄
産子数	82.3	81.6	82.7	88.6	86.3	71.4	78.7	81.7
増体数	67.5	73.6	67.3	68.6	74.5	42.9	61.7	62.1
飼料要求率	66.8	75.9	65.3	80.0	60.8	50.0	70.2	58.2
ロース芯の太さ	33.0	35.6	34.3	22.9	43.1	42.9	21.3	29.4
背脂肪の厚さ	34.9	40.8	33.9	37.1	35.3	35.7	36.2	28.8
筋肉内脂肪含量	26.0	28.7	25.4	25.7	39.2	57.1	21.3	18.3
体型	30.9	29.3	36.7	25.7	27.5	42.9	25.5	26.1
長命連産性	35.6	37.9	39.5	48.6	35.3	21.4	29.8	26.8
その他	5.4	4.6	4.4	2.9	13.7	7.1	10.6	3.9
合 計	382.3	408.0	389.5	400.0	415.7	371.4	355.3	335.3
回答経営体数	722	174	248	35	51	14	47	153

- ① 種豚改良を進める上で、重要と考える改良形質については、722経営体の回答があり平均4弱の改良形質が重要と考えている。「産子数」82.3%最も多く、次いで「増体性」67.5%、「飼料要求率」66.8%の順となっている。
- ② ブロック別にみても、いずれの地域でも「産子数」の回答割合が高い。全国の傾向と同様「増体数」、「飼料要求率」の回答も多いが、「近畿」は「筋肉内脂肪含量」も重要な改良形質であると考えている。

●種豚改良を進める上で、重要と考える改良形質(ブロック別、複数回答、割合、★回答経営体数=720)				
	全体	一貫経営	繁殖経営	肥育経営
産子数	82.2	82.7	91.2	57.7
増体数	67.6	68.5	58.8	57.7
飼料要求率	66.8	67.1	70.6	53.8
ロース芯の太さ	32.9	32.9	29.4	38.5
背脂肪の厚さ	35.0	35.3	38.2	23.1
筋肉内脂肪含量	26.1	26.4	23.5	23.1
体型	30.8	30.8	32.4	30.8
長命連産性	35.6	35.9	35.3	26.9
その他	5.4	5.5	5.9	3.8
合 計	382.5	385.0	385.3	315.4
回答経営体数	720	660	34	26

- ① 種豚改良を進める上で、重要と考える改良形質を、経営タイプ別にみても、いずれの経営体も割合の大小はあるが「産子数」、「増体数」、「飼料要求率」が重要と考えている。



# 集 計 表

15. 集計表  
1. 全国集計

回収合計	有効	無効	廃業
1,249	842	5	402

経営者年代

	回答経営体数	回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
29歳以下		4	0.5	27.8	28	27
30～39歳		55	6.5	36.0	39	30
40～49歳		102	12.1	44.7	49	40
50～59歳		183	21.7	55.1	59	50
60～69歳		321	38.1	64.7	69	60
70歳以上		98	11.6	75.8	89	70
不明		79	9.4			
合計	842	842	100.0	58.9	89	27

性別

	回答経営体数	回答数	割合 (%)
男		797	94.7
女		16	1.9
不明		29	3.4
合計	842	842	100.0

II. 経営形態

	回答経営体数	回答数		割合 (%)
			うち契約・預託	
1 個人経営（家族労働主体）		375	20	44.5
2 農事組合法人の農場		43	4	5.1
3 有限会社（LLC法人を含む）		266	4	31.6
4 合資会社・合名会社		1	0	0.1
5 株式会社		131	5	15.6
6 農業協同組合法人（農協等）の直営養豚場		4	0	0.5
7 その他		22	0	2.6
合計	842	842	33	100.0

III. 養豚従事者数

	回答経営体数	回答数	割合 (%)	従事者合計	従事者割合	平均値	最大値	最小値
1 家族労働（経営主本人、配偶者、子、孫、きょうだい、父母、祖父母等）	人	615	73.7	1,611	21.2	2.6	20	1
2 常勤従業員（社員、契約社員、パート、アルバイト）	人	502	60.1	5,370	70.8	10.7	200	1
3 非常勤従業員（必要な日、必要な時間で雇用）	人	84	10.1	172	2.3	2.0	10	1
4 その他（豚肉加工・販売など担当）	人	31	3.7	435	5.7	14.0	281	1
合計	835	1,232	147.5	7,588	100.0	9.1	480	1

IV 後継者（○は1つだけ、1と2に○の場合は年齢を記入）

	回答経営体数	回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
1 決まっている		254	30.4	—	—	—
後継者年齢 歳		251		34.7	60	5
2 対象者はいるが、現在は決まっていない		135	16.2	—	—	—
対象者年齢 歳		121		26.6	69	3
3 自分の年齢が若いので考えていない		89	10.7	—	—	—
4 後継者はいない・考えていない		233	27.9	—	—	—
5 経営形態が後継者と関係がない（株式会社等）		124	14.9	—	—	—
合計	835	835	100.0	—	—	—

V 経営養豚農場数等

	回答経営体数	回答数	農場数	平均値	最大値	最小値
農場数	841	841	1,211	1.44	35	1

VI 経営タイプ

	回答経営体数	回答数	割合 (%)	子取り用雌豚飼養頭数計	頭数割合
1 一貫経営		732	87.9	276,351	85.4
イ 一貫経営の繁殖農場		20	2.4	13,369	
A 純粋種豚生産農場		14	1.7	3,844	
B 純粋種豚と子取り用雌豚生産農場		27	3.2	29,286	
C 子取り用雌豚生産農場		23	2.8	21,057	
D 肉用子豚の生産農場		92	11.0	61,073	
イ 一貫経営の子豚育成農場		20	2.4	13,369	
ウ 一貫経営の肥育農場		80	9.6	54,501	
エ 一貫経営の一貫生産農場		613	73.6	229,326	
オ 一貫経営の豚人工授精所		21	2.5	13,326	
2 繁殖経営		62	7.4	30,791	9.5
ア 純粋種豚生産農場		4	0.5	1,184	
イ 純粋種豚と子取り用雌豚生産農場		7	0.8	3,773	
ウ 子取り用雌豚生産農場		17	2.0	13,175	
エ 肉用子豚の生産農場		42	5.0	10,012	
オ 豚人工授精所		4	0.5	6,111	
3 肥育経営		68	8.2	16,418	5.1
合計	833	862	103.5	323,560	100.0

VI. 飼養頭数（平成27年8月1日現在）

1 女子取り用雌豚（育成豚を除く）品種・品種組み合わせ別頭数

		回答経営体数	回答数	割合 (%)	頭数合計	頭数割合	全頭数割合	平均値	最大値	最小値	
純粋種	ランドレース/L	頭	211	27.5	9,690	32.3	3.3	45.9	820	1	
	大ヨークシャー/W	頭	164	21.4	8,891	29.6	3.1	54.2	939	1	
	中ヨークシャー/Y	頭	8	1.0	34	0.1	0.0	4.3	15	1	
	パークシャー/B	頭	76	9.9	8,139	27.1	2.8	107.1	3,700	1	
	デュロック/D	頭	171	22.3	2,059	6.9	0.7	12.0	200	1	
	ハンプシャー/H	頭	2	0.3	15	0.1	0.0	7.5	13	2	
	その他	頭	21	2.7	1,161	3.9	0.4	55.3	333	0	
小計			381	653	85.1	29,989	100.0	10.3	78.7	3,700	1
交雑種	LW	頭	373	48.6	80,445	31.0	27.8	215.7	4,761	1	
	WL	頭	146	19.0	35,962	13.8	12.4	246.3	7,753	1	
	LW、WL何れか	頭	105	13.7	51,175	19.7	17.7	487.4	12,000	1	
	その他の組合せ	頭	67	8.7	17,771	6.8	6.1	265.2	2,100	1	
	海外ハイブリッド	頭	125	16.3	74,508	28.7	25.7	596.1	6,000	2	
小計			679	816	106.4	259,861	100.0	89.7	382.7	12,000	1
合計			767	1,469	191.5	289,850	—	100.0	377.9	12,000	1
女子取り用雌豚頭数規模別	1～19頭		44	5.7	399	—	0.1	9.1	18	1	
	20～49頭		89	11.6	2,982	—	1.0	33.5	48	20	
	50～99頭		148	19.3	10,733	—	3.7	72.5	99	50	
	100～199頭		163	21.3	21,893	—	7.6	134.3	198	100	
	200～499頭		186	24.3	56,761	—	19.6	2,068.7	496	200	
	500～999頭		72	9.4	46,918	—	16.2	651.6	995	500	
	1,000頭以上		65	8.5	399	—	0.1	2,310.2	12,000	1,000	
合計			767	767	100.0	289,850	—	100.0	400.3	12,000	0

2 利用中の種雄豚（育成豚を除く）品種・品種組み合わせ別頭数

		回答経営体数	回答数	割合 (%)	頭数合計	頭数割合	全頭数割合	平均値	最大値	最小値	
純粋種	ランドレース/L	頭	148	23.1	562	6.7	5.0	3.8	26	1	
	大ヨークシャー/W	頭	170	26.5	648	7.7	5.8	3.8	42	1	
	中ヨークシャー/Y	頭	10	1.6	41	0.5	0.4	4.1	13	1	
	パークシャー/B	頭	74	11.5	618	7.4	5.5	8.4	80	1	
	デュロック/D	頭	549	85.5	6,280	74.8	56.3	11.4	205	1	
	ハンプシャー/H	頭	3	0.5	10	0.1	0.1	3.3	5	2	
	その他	頭	23	3.6	240	2.9	2.2	10.4	64	1	
小計			642	977	152.2	8,399	100.0	75.3	13.1	247	1
交雑種	HD	頭	6	4.8	76	2.8	0.7	12.7	51	3	
	DH	頭	2	1.6	273	9.9	2.4	136.5	270	3	
	BD	頭	2	1.6	9	0.3	0.1	4.5	5	0	
	DB	頭	3	2.4	29	1.1	0.3	9.7	25	2	
	その他の組合せ	頭	25	20.2	747	27.1	6.7	29.9	543	1	
	海外ハイブリッド	頭	91	73.4	1,625	58.9	14.6	17.9	230	1	
小計			124	129	104.0	2,759	100.0	24.7	22.3	543	1
合計			723	1,106	153.0	11,158	—	100.0	15.4	552	1

	回答経営体数	回答数	割合 (%)	頭数合計	平均値	最大値	最小値
3 育成豚（繁殖利用予定で未交配（雌、雄）のもの）	頭	605	—	37,260	61.6	2,838	1
4 子豚（子豚舎、子豚豚房で飼養しているもの+哺乳中のもの）	頭	628	—	1,142,903	1,819.9	43,011	2
5 肥育豚（肥育舎、肥育豚房で飼養しているもの）	頭	643	—	1,512,345	2,352.0	59,600	3
合計	—	816	—	2,989,002	3,663.0	85,583	1

VII. 出荷頭数等（平成27年1～12月の総頭数）

		回答経営体数	回答数	割合 (%)	頭数合計	平均値	最大値	最小値	
1 年間肉豚出荷頭数	頭		792	—	6,806,359	8,593.9	310,000	1	
2 繁殖豚（雄、雌）年間廃用頭数	頭		702	—	120,511	171.7	5,128	1	
3 年間肉用子豚出荷（同一経営の農場間移動を含む）頭数	頭		156	—	1,210,232	7,757.9	121,447	5	
4 種豚候補豚（純粋・F1等）の出荷（同一経営の農場間移動含む）頭数	頭		126	—	81,893	649.9	6,120	1	
合計			823	—	—	—	—	—	
間肉豚出荷頭数規模別	1～399頭		87	11.0	13,823	158.9	370	15	
	400～999頭		84	10.6	56,772	675.9	992	400	
	1,000～1,999頭		154	19.4	218,105	1,416.3	1,964	1,000	
	2,000～3,999頭		149	18.8	413,401	2,774.5	3,959	2,000	
	4,000～9,999頭		178	22.5	1,115,475	6,266.7	9,915	4,000	
	10,000～19,999頭		72	9.1	964,416	13,394.7	19,832	10,000	
	20,000頭以上		68	8.6	4,024,367	59,181.9	310,000	20,000	
合計			792	792	100.0	6,806,359	8,593.9	310,000	15

VIII. 肉豚出荷日齢、出荷体重、枝肉重量（平成20年1～12月の平均）

		回答経営体数	回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
1 肉豚出荷日齢平均（生後日齢）	日齢		742	—	185.1	420.0	90.0
2 肉豚出荷生体重平均	kg		695	—	114.5	150.0	40.0
3 肉豚1頭当たり枝肉重量平均	kg		751	—	74.8	100.0	45.0
合計			768	—	—	—	—
1日平均増体重（出荷体重÷出荷日齢）	kg/日		684	—	0.63	1.00	0.30
合計			684	—	—	—	—

IX. 繁殖・肥育等の成績

1 繁殖成績（平成27年1～12月の平均）

	回答経営体数	回答数	割合（％）	平均値	最大値	最小値
ア 1腹当たり（1分娩当たり）平均哺乳開始頭数	頭	736	99.6	11.0	15.7	6.5
イ 1腹当たり（1分娩当たり）平均離乳頭数	頭	734	99.3	9.8	13.2	4.8
ウ 平均育成率（イ÷ア×100）	％	679	91.9	89.0	100.0	6.0
エ 平均受胎率（受胎頭数÷種付頭数×100）	％	572	77.4	87.9	100.0	37.9
オ 平均分娩率（分娩頭数÷種付頭数×100）	％	620	83.9	86.0	100.0	20.6
カ 母豚の年間平均分娩回数（年間分娩数÷常時子取り用雌豚頭数）	回	688	93.1	2.2	3.0	0.8
合計		739	739	100.0	—	—

2 年間肉豚出荷頭数の格付割合

	回答経営体数	回答数	割合（％）	平均値	最大値	最小値
ア 格付している割合		671	95.2	98.1	100.0	0.0
A 日格協の格付（年間日格協格付頭数÷年間出荷頭数×100）	％	671	597	89.0	93.2	0.1
B 自主格付（年間自主格付頭数÷年間出荷頭数×100）	％		140	20.9	72.8	1.0
イ 格付していない（生体出荷）割合（年間生体出荷頭数÷年間出荷頭数×100）	％		79	11.2	59.4	0.2
合計		705	750	106.4	—	—

3 「上」物率

	回答経営体数	回答数	割合（％）	平均値	最大値	最小値
格付している肉豚の上物率（〈年間「極上」＋「上」頭数〉÷年間出	％	671	—	53.7	100.0	0.0

4 農場飼料要求率

	回答経営体数	回答数	割合（％）	平均値	最大値	最小値
％		407	—	3.3	6.1	2.2

5 事故率（平成27年1～12月の平均）

子豚舎・子豚豚房の事故率

	回答経営体数	回答数	割合（％）	平均値	最大値	最小値
ア 子豚舎・子豚豚房（離乳後から肥育組入れまで）	％	449		4.1	0.0	0.0
A 前年より良くなった		145	25.2	3.2	20.0	0.0
B 前年と変わらない		330	57.3	3.9	26.0	0.0
C 前年より悪くなった		101	17.5	6.0	50.0	0.0
合計	576	576	100.0	4.1	50.0	0.0
事故率階級別	～1%未満	51	11.4	0.5	0.9	0.0
	1～4%	274	61.0	2.3	4.8	1.0
	5～9%	78	17.4	6.2	9.5	5.0
	10～14%	30	6.7	10.8	14.1	10.0
	15～19%	3	0.7	17.3	19.6	16.0
	20～24%	10	2.2	20.3	22.7	20.0
	25～29%	2	0.4	27.6	29.2	26.0
	30～34%	0	0.0		0.0	0.0
	35～39%	0	0.0		0.0	0.0
	40%以上	1	0.2	50.0	50.0	50.0
合計	449	449	100.0	4.1	50.0	0.0

肥育舎・肥育豚房の事故率

	回答経営体数	回答数	割合（％）	平均値	最大値	最小値
イ 肥育舎・肥育豚房（肥育組入れから出荷時まで）	％	470		3.3	60.0	0.0
A 前年より良くなった		127	22.0	2.8	11.8	0.0
B 前年と変わらない		366	63.5	3.0	30.0	0.0
C 前年より悪くなった		108	18.8	4.7	0.0	0.0
合計	601	601	100.0	3.3	30.0	0.1
事故率階級別	～1%未満	60	12.8	0.4	0.9	0.0
	1～4%	308	65.5	2.4	4.8	1.0
	5～9%	80	17.0	6.2	9.5	5.0
	10～14%	16	3.4	10.4	14.1	10.0
	15～19%	3	0.6	15.4	16.3	15.0
	20～24%	2	0.4	20.0	20.0	20.0
	25～29%	0	0.0		0.0	0.0
	30～34%	1	0.2	30.0	30.0	30.0
	35～39%	0	0.0		0.0	0.0
	40%以上	0	0.0		0.0	0.0
合計	470	470	100.0	3.3	30.0	0.0



子豚舎・子豚豚房から肥育舎・肥育豚房までの通算期間の事故率

		回答経営体数	回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
★ 通算算出			634		6.5	60.0	0.0
	A 前年より良くなった		160	23.1			
	B 前年と変わらない		391	56.4			
	C 前年より悪くなった		142	20.5			
合計		693	693	100.0			
事故率階級別	～ 1%未満		29	4.6	0.4	0.9	0.0
	1～ 4%		275	43.4	3.3	5.0	1.0
	5～ 9%		226	35.6	7.1	10.0	5.0
	10～14%		63	9.9	11.3	14.5	10.0
	15～19%		19	3.0	17.2	19.3	15.0
	20～24%		11	1.7	21.4	24.8	20.0
	25～29%		6	0.9	26.9	28.0	25.5
	30～34%		2	0.3	30.0	30.0	30.0
	35～39%		1	0.2	35.0	35.0	35.0
	40%以上		2	0.3	50.0	60.0	40.0
合計		634	634	100.0	6.5	60.0	0.0

6 事故率改善のための対策の実施

		回答経営体数	回答数	割合 (%)
ア	事故率改善のための対策を対策をした(複数回答)		666	87.1
	A 豚舎の新築、改築		104	13.6
	B 生産方式の変更		53	6.9
	C 生産環境の改善		207	27.1
	D 衛生対策		576	75.3
	a 農場衛生HACCPの導入		43	5.6
	b 疾病予防マニュアルの見直し、徹底		148	19.3
	c 管理獣医師による検査と指導の導入		218	28.5
	d 豚舎消毒の徹底		365	47.7
	e 施設のゾーニング		43	5.6
	f ワクチネーションプログラムの見直し、変更		288	37.6
	E その他		11	1.4
イ	対策は実施していない		99	12.9
小計		765	765 951	1,105 100.0

X. 交配方法

1 発情期の基本交配(授精)回数(○は1つだけ)

	回答経営体数	回答数	割合 (%)
ア 1回		35	4.6
イ 2回～3回		715	93.0
ウ 4回以上		14	1.8
エ 不明		5	0.7
合計	769	769	100.0

2 交配方法(○は1つだけ)

	回答経営体数	回答数	割合 (%)
ア 自然交配のみ(人工授精は全く行っていない)		250	32.6
イ 自然交配を主とし、人工授精を従としている		207	27.0
ウ 人工授精を主とし、自然交配を従としている		128	16.7
エ 人工授精のみ		182	23.7
合計	767	767	100.0
自然交配のみ(人工授精は全く行っていない)		250	32.6
人工授精を行っている(人工授精のみ、自然交配と併用)		517	67.4
合計	767	767	100.0

3 交配方法の対象雌豚割合

	回答経営体数	回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
ア 自然交配のみで交配している雌豚		409	54.8	77.3	100.0	0.1
イ 自然交配と人工授精を併用している雌豚		298	39.9	60.6	100.0	0.1
ウ 人工授精のみで交配している雌豚		355	47.5	70.4	100.0	1.0
合計	747	1,062	142.2	—	—	—

4 人工授精を実施している方(前頁の2でイ、ウと回答した方)

ア 精液の入手方法について(○は1つだけ)

	回答経営体数	回答数	割合 (%)
A 全て自家産(同一経営の別農場産も含む)		132	25.5
B 全て外部(都道府県試験場、民間人工授精所等)から導入		292	56.4
C 自家産と外部導入の併用		94	18.1
合計	518	518	100.0

イ 生産、導入本数とボトルの容量

	回答経営体数	回答数	数値合計	平均値	最大値	最小値
A 年間自家生産本数	本	187	907,919	4,855.2	48,227	10
1本の容量	cc	195	—	88.6	450	10
B 年間外部導入本数	本	312	471,682	1,511.8	30,853	4
1本の容量	cc	270	—	80.2	200	8
合計		457	—	—	—	—

5 人工授精の今後の意向を伺います（アからオの中から1つだけ○）

	回答経営体数	回答数	割合（％）
ア 人工授精を今後も実施する（A～C ○は1つ）		513	77.0
A 人工授精の割合を増やしたい	506	125	24.7
B 人工授精の割合を維持したい		376	74.3
C 人工授精の割合を縮小したい		5	1.0
イ 人工授精を止めたい		3	0.5
ウ 人工授精を直ぐに導入する予定（導入したい）		4	0.6
エ 人工授精の導入を今後検討してみたい		53	8.0
オ 今後も人工授精の導入は考えていない		93	14.0
合 計	666	666	100.0

II 給与飼料

1 飼料給与体系

	回答経営体数	回答数	割合（％）
ア 市販配合飼料のみ		639	78.2
イ 市販配合飼料＋自家配合飼料		133	16.3
ウ 自家配合飼料のみ		45	5.5
合 計	817	817	100.0

2 年間使用量

	回答経営体数	回答数	割合（％）	平均値	最大値	最小値
ア 配合飼料 t		719	96.3	2877	90000	1.5
イ 飼料用米 t		111	14.9	238	4000	0.3
ウ エコフィード t		118	15.8	2079	90000	1
割合 %		55	-	37	100	1
食品残さの加工を行っている場合、食品残さ受け入れ数量 t		39	5.2	3315	73812	9
エ その他		50	6.7	629	11370	0
合 計	747	998	133.6	3176	99,085	0

3 飼料用米の今後の利用意向について、○印を一つ記入するとともに年間使用量（予定を含む。）を記入してください。

	回答経営体数	回答数	割合（％）	平均値	最大値	最小値	収量回答数
① 飼料用米の利用を継続したい t		89	35.3	269.2	4,000	0	75
② 飼料用米の利用を拡大したい t		33	13.1	603.5	0	3	31
③ 新たに飼料用米の使用を始めたい t		121	48.0	340.6	2,400	1	31
④ 飼料用米の使用割合を減らしたい t		3	1.2	10.0	10	10	1
⑤ 飼料用米の使用を中止したい t		6	2.4	-	-	-	-
合 計	252	252	100.0	-	-	-	-

4 エコフィード利用の有無と今後の意向

	回答経営体数	回答数	割合（％）	平均値	最大値	最小値
(1) 利用の有無	753	753	100.0			
① あり		162	21.5			
② なし		591	78.5			
(2) 今後の意向	618	618	100.0			
① 現在、利用を検討中		25	4.0			
年間利用予定数量 t		13		922.2	7,900	1
② 今後利用してみたい		72	11.7			
③ 利用予定なし		521	84.3			

ⅩⅢ 経営の推移と今後の動向

1 飼養頭数の推移

a 繁殖豚頭数

	回答経営体数	回答数	割合（％）	頭数合計	平均値	最大値	最小値
A 増やした 頭増		89	12.1	3,438	38.2	230	1
B 変更していない		552	74.9	—	—	—	—
C 減らした 頭減		96	13.0	2,854	32.4	195	1
合 計	737	737	100.0	—	—	—	—

イ 頭数を増やした理由は（○は2つ以内）

	回答経営体数	回答数	割合（％）
A 計画していた豚舎が完成したので増頭した		20	24.7
B 後継者が経営に参加したので増頭した		12	14.8
C 1頭当たりの収益性が低下したので収入を守るために増頭した		20	24.7
D 委託、預託の農場を増やした		1	1.2
E 出荷元から増頭の要請があった		7	8.6
F 養豚生産者が減少しているため将来儲かりそうなので増頭した		2	2.5
G 事情により生産を縮小していたのを元に戻した		15	18.5
H その他		13	16.0
合 計	81	90	111.1

ウ 減らした理由 (〇は2つ以内)

	回答経営体数	回答数	割合 (%)
A 疾病対策で豚を入れ替えるため		11	12.4
B 生産資材 (飼料、光熱水料、薬品費等) の高騰で儲からないから		2	2.2
C 高齢化で労働が厳しくなったから		23	25.8
D 労働力が確保できなくなったから		14	15.7
E 委託、預託農場となるため		1	1.1
F 廃業するため		7	7.9
G 飼養システム・経営形態の変更		4	4.5
H 環境対策		4	4.5
I その他		32	36.0
合計	89	98	110.1

B 肥育豚頭数

	回答経営体数	回答数	割合 (%)	頭数合計	平均値	最大値	最小値
A 増やした 頭増		104	13.9	28,098	556.5	5,000	15
B 変更していない		559	74.9	—	—	—	—
C 減らした 頭減		83	11.1	14,453	277.9	1,644	3
合計	746	746	100.0	—	—	—	—

イ 頭数を増やした理由は (〇は2つ以内)

	回答経営体数	回答数	割合 (%)
A 計画していた豚舎が完成したので増頭した		24	21.8
B 後継者が経営に参加したので増頭した		14	12.7
C 繁殖豚1頭当たりの生産性向上のため		40	36.4
D 委託、預託の農場を増やした		8	7.3
E 出荷元から増頭の要請があった		5	4.5
F 養豚生産者が減少しているので将来儲かりそうなので増頭した		3	2.7
G 事情により生産を縮小していたのを元に戻した		18	16.4
H その他		14	12.7
合計	110	126	114.5

ウ 減らした理由 (〇は2つ以内)

	回答経営体数	回答数	割合 (%)
A 疾病対策で豚を入れ替えるため		6	7.5
B 生産資材 (飼料、光熱水料、薬品費等) の高騰で儲からないから		3	3.8
C 高齢化で労働が厳しくなったから		25	31.3
D 労働力が確保できなくなったから		11	13.8
E 委託、預託農場となるため		0	0.0
F 廃業するため		8	10.0
G 飼養システム・経営形態の変更		5	6.3
H 環境対策		6	7.5
I その他		29	36.3
合計	80	93	116.3

2 養豚経営の今後の意向 (アからウの中から〇は1つだけ)

	回答経営体数	回答数	割合 (%)
ア 経営を拡大する (A～C 〇は1つ)		243	30.0
A 今年中に規模拡大する計画がある	249	33	13.3
B 3年以内に規模拡大する計画がある		86	34.5
C 今後規模拡大を検討したい		129	51.8
イ 現状維持		476	58.8
ウ 経営を縮小 (A～E 〇は1つ)		91	11.2
A 今年中に縮小する計画がある	86	8	9.3
B 3年以内に縮小する計画がある		14	16.3
C 今後縮小を検討したい		24	27.9
D 今年中に廃業する計画がある		5	5.8
E 近く廃業したいと考えている (a～f 〇は1つ)		47	54.7
a 後継者がいないため	46	33	71.7
b 労働力が確保できないため		8	17.4
c 環境問題のため		3	6.5
d 負債があるため		1	2.2
e 生産資材 (飼料等) の高騰で儲からないから		3	6.5
f その他		13	28.3
合計	810	810	100.0

XIV 衛生レベル

1 農場における人の入退場について (アからクの中から〇はいくつでも)

	回答経営体数	回答数	割合 (%)
ア 衛生管理地域であることをしめす看板等の設置		646	78.6
イ シャワーイン・シャワーアウトの実施		206	25.1
ウ 農場専用の衣服への交換		503	61.2
エ 農場専用の履物への交換		631	76.8
オ 豚舎専用の衣服への交換		270	32.8
カ 豚舎専用の履物への交換		434	52.8
キ 農場専用の踏み込み消毒槽の設置		570	69.3
ク 豚舎専用の踏み込み消毒槽の設置		608	74.0
ケ 来場者名簿の設置		432	52.6
コ 防疫上問題となる場所からの一定期間の入場制限		392	47.7
サ 何も対策していない		15	1.8
合計	822	4,707	572.6

2 豚の導入時の対応について（○は1つだけ）

	回答経営体数	回答数	割合（％）
ア 農場から離れた隔離検疫施設で一定期間の隔離検疫を実施している		79	10.0
イ 農場内の隔離検疫施設で一定期間の隔離検疫を実施している		223	28.2
ウ 豚舎内の隔離検疫施設で一定期間の隔離検疫を実施している		200	25.3
エ 隔離検疫は特に実施していない		268	33.8
オ 外部からの生体導入は一切していない		68	8.6
合計	792	838	105.8

3 農場内への資材（農場内で使用する器具・機材等）の搬入時の対応について（○は1つだけ）

	回答経営体数	回答数	割合（％）
ア 倉庫等に一定期間置いてから消毒し搬入している		116	14.5
イ 消毒をしてから搬入している		265	33.2
ウ 倉庫等に一定期間置いてから搬入している		184	23.1
エ 特別な対策はせずに直接搬入している		337	42.2
合計	798	902	113.0

4 車輦の入場者の対応について

	回答経営体数	回答数	割合（％）
ア 外来車輦の消毒を実施している		537	67.3
イ 出荷トラックの消毒を実施している		586	73.4
ウ 消毒ゲートを設置している		177	22.2
エ 動力噴霧器を設置している		532	66.7
オ 石灰帯を設置している		535	67.0
カ 必ず農場職員が消毒の実施又は確認している		158	19.8
キ 特に対策は実施していない		43	5.4
合計	785	2,568	321.8

5 野生動物の侵入防止策について（アからエの中から○はいくつでも）

	回答経営体数	回答数	割合（％）
ア 畜舎の破損状況を確認し、必要な修繕を実施している		507	61.9
イ 農場周囲に金網等を廻らせ、必要な修繕も実施している		172	21.0
ウ 豚舎の開放部に防鳥ネット等を張って、必要な修繕も実施している		456	55.7
エ ネズミ駆除等を実施している		620	75.7
オ 特別な対策はしていない		84	10.3
カ その他の対策		13	1.6
合計	819	1,852	226.1

XIV. 環境対策

1 畜産関係の悪臭苦情の対応について

ア 過去1年以内に住民等から悪臭苦情が寄せられたことがありますか（A、Bのどちらかに○）

	回答経営体数	回答数	割合（％）
A ある（a～c ○は1つ）		152	18.6
a 近隣の住民より直接	816	49	6.0
b 県・市・町・村の公的機関を通して		106	13.0
c その他		2	0.2
B ない		664	81.4
合計	816	816	100.0

イ（前頁1のアでAと回答した方）苦情を減らすための方法を公的機関に相談しましたか（A、Bのどちらかに○）

	回答経営体数	回答数	割合（％）
A 相談した（a～f ○は1つ）		108	54.5
a アドバイスを試したところ、有効であった	99	35	35.4
b アドバイスを試したが、有効でなかった		14	14.1
c アドバイスを試したが、まだ効果があったかはわからない		37	37.4
d アドバイスを試さなかった。理由は参考にならないと判断したから		4	4.0
e アドバイスを試さなかった。理由はコストが高かったから		4	4.0
f まだアドバイスを受けていない		10	10.1
B 相談しなかった（a～d ○は1つ）		90	45.5
a どの公的機関に相談して良いかわからなかったから	75	10	13.3
b アドバイスは必要ないと感じたから		30	40.0
c 公的機関以外に相談しているから		17	22.7
d その他		18	24.0
合計	198	198	100.0

ウ 悪臭苦情の対策として、公的機関に対して、今後どのような役割を期待しますか（AからFの中から○は1つだけ）

	回答経営体数	回答数	割合（％）
A 悪臭苦情の対策についての有効な情報を提示して欲しい		336	60.2
B 畜産農家対象の悪臭対策の勉強会や講習会を開いて欲しい		115	20.6
C 小・中学生が畜産や農業に親しめるようなイベント活動を開いて欲しい		57	10.2
D 市民農園、家庭菜園を持っている住民や耕種農家に堆肥を無料譲渡できるような仕組みを作って欲しい		115	20.6
E 住民との話し合いや交流の場、機会を提供して欲しい		31	5.6
F その他		25	4.5
合計	558	679	121.7

2 ふん尿の処理状況（平成27年1～12月）

無回答

ア 自家で飼養している豚のふん尿の処理量について、処理状況別の割合を記入して下さい（放牧した期間は除く）

ア全体の回答数	781	61	842
---------	-----	----	-----

① ふん

	回答経営体数	回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
A 自家処理施設	%	580	92.2	97.4	100.0	3.0
B 共同処理施設	%	61	9.7	81.3	100.0	7.0
C 公共下水道処理施設		4	0.6	82.5	100.0	30.0
D 廃棄物処理業者に委託	%	11	1.7	87.3	100.0	30.0
E その他	%	2	0.3	75.0	100.0	50.0
合計	629	658	104.6	100.0	100.0	100.0
a 経営圏内に散布	%	184	29.8			
b 経営圏外に無償で散布	%	86	13.9			
c 処理業者委託	%	104	16.9			
d 無償譲渡	%	220	35.7			
e 有償譲渡（わら等と交換している場合は有償に含める）	%	228	37.0			
合計	617	822	133.2	—	—	—

② 尿

	回答経営体数	回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
A 自家処理施設	%	553	94.4	99.1	100	50
B 共同処理施設	%	30	5.1	81.3	100	10
C 公共下水道処理施設		9	1.5	90.0	100	0
D 廃棄物処理業者に委託	%	7	1.2	45.9	100	0
E その他	%	2	0.3	100.0	100	100
合計	586	601	102.6	100.0	100	100
a 経営圏内に散布	%	174	30.3			
b 経営圏外に無償で散布	%	78	13.6			
c 処理業者委託	%	91	15.9			
d 無償譲渡	%	203	35.4			
e 有償譲渡（わら等と交換している場合は有償に含める）	%	211	36.8			
合計	574	757	131.9	—	—	—

③ふん尿混合

	回答経営体数	回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
A 自家処理施設	%	325	93.7	97.9	100	5
B 共同処理施設	%	18	5.2	79.6	100	20
C 公共下水道処理施設		11	3.2	89.0	100	34
D 廃棄物処理業者に委託	%	5	1.4	65.0	100	5
E その他	%	2	0.6	30.0	50	10
合計	347	361	104.0	99.7	100	10
a 経営圏内に散布	%	102	30.3			
b 経営圏外に無償で散布	%	44	13.1			
c 処理業者委託	%	51	15.1			
d 無償譲渡	%	100	29.7			
e 有償譲渡（わら等と交換している場合は有償に含める）	%	94	27.9			
合計	337	391	116.0	—	—	—

無回答

イ（前頁2のアでAの自家処理施設を利用していると回答した方）処理方法の割合を記入して下さい

イ全体の回答経営体数	749	93	842
------------	-----	----	-----

① ふん

	回答経営体数	回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
A 天日乾燥	%	27	4.5	75.2	100	20
B 火力乾燥	%	3	0.5	100.0	100	100
C 強制発酵※1	%	357	59.1	94.1	100	5
D 堆積発酵※2	%	262	43.4	88.6	100	7
E 焼却	%	3	0.5	73.3	100	20
F 浄化	%	—	—	—	—	—
G 貯留	%	—	—	—	—	—
H その他	%	12	2.0	85.0	100	20
合計	604	664	109.9	—	—	—

② 尿

	回答経営体数	回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
A 天日乾燥	%	—	—	—	—	—
B 火力乾燥	%	—	—	—	—	—
C 強制発酵※1	%	65	11.8	93.6	100	11
D 堆積発酵※2	%	—	—	—	—	—
E 焼却	%	—	—	—	—	—
F 浄化	%	425	76.9	98.6	100	20
G 貯留	%	55	9.9	90.7	100	20
H その他	%	26	4.7	88.8	100	10
合計	553	571	103.3	—	—	—

③ ふん尿混合

	回答経営体数	回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
A 天日乾燥	%	16	5.0	82.5	100	20
B 火力乾燥	%	0	0.0		0	0
C 強制発酵※1	%	102	32.2	80.4	100	10
D 堆積発酵※2	%	109	34.4	89.1	100	10
E 焼却	%	—	—	—	—	—
F 浄化	%	110	34.7	86.9	100	10
G 貯留	%	12	3.8	87.5	100	50
H その他	%	21	6.6	93.3	100	20
合計		317	370	116.7	—	—

XIV アニマルウェルについて

ア アニマルウェルフェア、動物福祉、または快適性に考慮した家畜の飼養管理という言葉を知っていますか

	回答経営体数	回答数	割合 (%)
A 知っている	571	571	74.5
a 飼養管理にアニマルウェルフェアの考え方を取り入れている		74	9.7
i 「アニマルウェルフェアの考え方に対応した飼養管理指針」に従って取り入れている		25	3.3
ii 「アニマルウェルフェアの考え方に対応した飼養管理指針」に従っていない		49	6.4
b アニマルウェルフェアについて何らかの対応を検討中又は検討予定		98	12.8
c アニマルウェルフェアについて十分理解していないのでさらに情報が欲しい		118	15.4
d 聞いたことがあるが、内容をよく知らない		160	20.9
e 対応の予定はない		121	15.8
B 知らない	195	195	25.5
合計	766	766	100.0

イ 繁殖用の雌豚の飼養管理にストールを常用していますか

	回答経営体数	回答数	割合 (%)
A はい	654	654	91.1
a あり		78	10.9
b なし		576	80.2
B いいえ (群飼育をしている)	64	64	8.9
合計	718	718	100.0

ウ 以下の処理を行う際に麻酔処理を行っていますか

	回答経営体数	回答数	割合 (%)
A 去勢	734	734	100.0
a はい	20	20	2.8
b いいえ (無麻酔)	714	714	99.4
① 今後、麻酔下での処理を検討している		24	3.3
② 麻酔下での処理を検討していない		690	96.1
去勢をしていないあるいは無回答	108		

	回答経営体数	回答数	割合 (%)
B 歯の切断	619	619	100.0
a はい	49	49	7.9
b いいえ (無麻酔)	570	570	92.1
a 今後、麻酔下での処理を検討している		19	3.1
b 麻酔下での処理を検討していない		551	89.0
歯の切断をしていないあるいは無回答	223		

	回答経営体数	回答数	割合 (%)
c 尾の切断	652	652	100.0
a はい	57	57	8.7
b いいえ (無麻酔)	595	595	91.3
① 今後、麻酔下での処理を検討している		18	2.8
② 麻酔下での処理を検討していない		577	88.5

XVII 豚肉輸出

あなたの生産している豚肉に係る海外輸出の取り組みについて

	回答経営体数	回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
A すでに輸出している		6	0.8			
輸出量 (t)		5	0.7	83	100	20
B 輸出に向けて準備中	7	7	0.9			
a 自ら輸出ルート構築 (または構築予定)		5	0.7			
b 農協ルートを利用 (または利用予定)		2	0.3			
c 大手ハムメーカーを利用 (または利用予定)		0	0.0			
d 飼料メーカールートを利用 (または利用予定)		0	0.0			
C 機会があれば輸出したい		72	9.6			
D 販売・出荷した豚肉が、販売先から輸出されたと聞いている		16	2.1			
E 特に考えていない		651	86.6			
合計	752	752	102.0			

XVIII 農場HACCP導入の取り組みについて

	回答経営体数	回答数	割合 (%)
農場HACCPを導入していますか	740	740	100.0
A 導入している	63	63	8.5
B 導入していない	677	677	91.5
a 現在申請中		22	3.0
b 導入を検討しているところ		61	8.2
c 現時点で導入する予定はないが、今後検討したい		212	28.6
d 導入予定はない		382	51.6

XIX チェックオフ制度について

	回答経営体数	当該問の回答数	割合 (%)	平均値	最大値	最小値
ア チェックオフ制度の導入が検討されていますが、知っていますか。	737	737	100.0			
A 知っている		428	58.1			
B 知らなかった		309	41.9			
イ 豚肉におけるチェックオフの導入について	690	690	100.0			
A 積極的に参加する		136	19.7			
B 徴収次第で参加を検討する		52	7.5			
C チェックオフの徴収金で何をするかにより参加を検討する		156	22.6			
D すべての生産者が参加することが条件であれば参加する		177	25.7			
徴収するとした場合に妥当と思う金額		277	-	72.8	1,000	2
E チェックオフの導入の必要性を感じない		169	24.5			
合計			0.0			

XX その他

ア 種豚改良を進める上で、重要と考える改良形質は何ですか。

	回答経営体数	回答数	割合 (%)
A 産子数		594	82.3
B 増体数		487	67.5
C 飼料要求率		482	66.8
D ロース芯の太さ		238	33.0
E 背脂肪の厚さ		252	34.9
F 筋肉内脂肪含量		188	26.0
G 体型		223	30.9
H 長命連産性		257	35.6
H その他		39	5.4
合計	722	2,760	382.3

+

2. ブロック別・子取り用雌豚頭数規模別・年間肉豚出荷頭数規模別・

ブロック別	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
	842	100.0		202	24.0		282	33.5	
	%			%			%		

子取り用雌豚頭数規模別	全 体			1～19頭			20～49頭		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
	767	100.0		44	5.7		89	11.6	
	%			%			%		

年間肉豚出荷頭数規模別	全 体			1～399頭			400～999頭		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
	792	100.0		87	11.0		84	10.6	
	%			%			%		

経営タイプ別	全 体			一貫経営			繁殖経営		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
	833	100.0		732	87.9		39	4.7	
	%			%			%		

経営形態別	全 体			個人経営			農事組合法人		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
	842	100.0		375	44.5		43	5.1	
	%			%			%		

農場責任者年齢別	全 体			29歳以下			30～39歳		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
	763	100.0		4	0.5		55	7.2	
	%			%			%		

養豚経営者責任者の年齢

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
29歳以下	4	0.5	27.8	2	1.0	27.5	1	0.4	28.0
30～39歳	55	6.5	36.0	12	5.9	36.6	14	5.0	35.1
40～49歳	102	12.1	44.7	29	14.4	44.7	39	13.8	44.4
50～59歳	183	21.7	55.1	47	23.3	54.7	61	21.6	54.8
60～69歳	321	38.1	64.7	75	37.1	64.8	111	39.4	65.0
70歳以上	98	11.6	75.8	17	8.4	76.8	33	11.7	74.9
不明	79	9.4	—	20	9.9	—	23	8.2	—
合 計	842	100.0	58.9	202	100.0	57.8	282	100.0	59.0
回答農場数	842	—	—	202	—	—	282	—	—

性別

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
男	797	94.7	—	196	97.0	—	269	95.4	—
女	16	1.9	—	3	1.5	—	3	1.1	—
不明	29	3.4	—	3	1.5	—	10	3.5	—
合 計	842	100.0	—	202	100.0	—	282	100.0	—
回答農場数	842	—	—	202	—	—	282	—	—

II. 経営形態

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合	うち契約・預託	回答数	割合	うち契約・預託	回答数	割合	うち契約・預託
1 個人経営（家族労働主体）	375	44.5	4	71	35.1	1	146	51.8	0
2 農事組合法人の農場	43	5.1	20	14	6.9	3	11	3.9	4
3 有限会社（LLC法人を含む）	266	31.6	4	65	32.2	2	87	30.9	1
4 合資会社・合名会社	1	0.1	0	1	0.5	0	0	0.0	0
5 株式会社	131	15.6	5	45	22.3	0	35	12.4	0
7 農業協同組合法人（農協等）の直営養豚場	4	0.5	0	2	1.0	0	0	0.0	0
8 その他（都道府県、公益法人、学校法人等上記1から8以外）	22	2.6	0	4	2.0	0	3	1.1	0
合 計	842	100.0	33	202	100.0	6	282	100.0	5
回答経営体数	842	—	33	202	—	6	282	—	5

III 養豚従事者数

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合	従事者計(人)	回答数	割合	従事者計(人)	回答数	割合	従事者計(人)
1 家族労働（経営主本人、配偶者、子、孫、きょうだい、父母、祖父母等）	615	73.7	1,611	122	60.4	327	235	83.9	575
2 常勤雇員（社員、契約社員、パート、アルバイト）	502	60.1	5,370	136	67.3	1,746	160	57.1	1,578
3 非常勤雇員（必要な日、必要な時間で雇用）	84	10.1	172	15	7.4	26	22	7.9	51
4 その他（豚肉加工・販売など担当）	31	3.7	435	6	3.0	25	9	3.2	323
合 計	1,232	147.5	7,588	279	138.1	2,124	426	152.1	2,527
回答経営体数	835	—	—	202	—	—	280	—	—

IV 後継者（○は1つだけ、1と2に○の場合は年齢を記入）

	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	割合	平均年齢	回答数	割合	平均年齢	回答数	割合	平均年齢
1 決まっている ○ 後継者の年齢	254	30.4	—	49	24.4	—	92	33.1	—
2 対象者はいるが、現在は決まっていない ○ 対象者の年齢	251	—	34.7	47	—	33.3	91	—	35.4
3 自分の年齢が若いので考えていない	135	16.2	—	33	16.4	—	54	19.4	—
4 後継者はいない・考えていない	121	—	26.6	29	—	29.9	49	—	26.3
5 経営形態が後継者と関係がない（株式会社等）	89	10.7	—	23	11.4	—	27	9.7	—
合 計	233	27.9	—	45	22.4	—	85	30.6	—
回答経営体数	124	14.9	—	51	25.4	—	20	7.2	—
合 計	835	100.0	—	201	100.0	—	278	100.0	—
回答経営体数	835	—	—	201	—	—	278	—	—

V 経営養豚農場数

農 場	全 国			北海道・東北			関 東		
	回答数	農場数	平均農場数	回答数	農場数	平均農場数	回答数	農場数	平均農場数
	841	1,211	1.44	201	303	1.51	282	396	1.40



経営タイプ別・経営形態別・経営者年代別

北 陸	東 海	近 畿	中国・四国	九州・沖縄
43	65	20	49	181
5.1	7.7	2.4	5.8	21.5

50～99頭	100～199頭	200～499頭	500～999頭	1,000頭以上
148	163	186	72	65
19.3	21.3	24.3	9.4	8.5

1,000～1,999頭	2,000～3,999頭	4,000～9,999頭	10,000～19,999頭	20,000頭以上
154	149	178	72	68
19.4	18.8	22.5	9.1	8.6

肥育経営
62
7.4

有限・合資・合名会社	株式会社	農協直営	契約・預託農場
267	131	4	22
31.7	15.6	0.5	2.6

40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
102	183	321	81	17
13.4	24.0	42.1	10.6	2.2

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	1	0.6	28.0
6	14.0	35.0	4	6.2	37.3	0	0.0	—	7	14.3	35.6	12	6.6	36.7
1	2.3	44.0	9	13.8	47.1	1	5.0	42.0	5	10.2	44.6	18	9.9	44.3
8	18.6	53.8	16	24.6	55.1	4	20.0	56.5	15	30.6	56.1	32	17.7	56.2
18	41.9	64.1	25	38.5	64.4	6	30.0	65.7	12	24.5	64.2	74	40.9	64.2
5	11.6	76.4	6	9.2	79.7	6	30.0	73.3	4	8.2	73.8	27	14.9	76.3
5	11.6	—	5	7.7	—	3	15.0	—	6	12.2	—	17	9.4	—
43	100.0	58.4	65	100.0	59.0	20	100.0	64.8	49	100.0	55.3	181	100.0	60.2
43	—	—	65	—	—	20	—	—	49	—	—	181	—	—

北 陸			東 海			近 畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
40	93.0	—	63	96.9	—	17	85.0	—	45	91.8	—	167	92.3	—
1	2.3	—	1	1.5	—	0	0.0	—	1	2.0	—	7	3.9	—
2	4.7	—	1	1.5	—	3	15.0	—	3	6.1	—	7	3.9	—
43	100.0	—	65	100.0	—	20	100.0	—	49	100.0	—	181	100.0	—
43	—	—	65	—	—	20	—	—	49	—	—	181	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	うち契約・預託	回答数	割合	うち契約・預託	回答数	割合	うち契約・預託	回答数	割合	うち契約・預託	回答数	割合	うち契約・預託
20	46.5	0	31	47.7	0	12	60.0	0	12	24.5	2	83	45.9	1
1	2.3	0	2	3.1	0	0	0.0	0	8	16.3	0	7	3.9	13
17	39.5	1	25	38.5	0	3	15.0	0	15	30.6	0	54	29.8	0
0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0
4	9.3	0	7	10.8	0	2	10.0	0	9	18.4	0	29	16.0	5
0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0	0	2	1.1	0
1	2.3	0	0	0.0	0	3	15.0	0	5	10.2	0	6	3.3	0
43	100.0	1	65	100.0	0	20	100.0	0	49	100.0	2	181	100.0	19
43	—	1	65	—	0	20	—	0	49	—	2	181	—	19

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	従事者計(人)	回答数	割合	従事者計(人)	回答数	割合	従事者計(人)	回答数	割合	従事者計(人)	回答数	割合	従事者計(人)
32	74.4	75	47	73.4	148	15	75.0	38	26	53.1	75	138	78.0	373
26	60.5	256	36	56.3	244	11	55.0	79	35	71.4	390	98	55.4	1,077
6	14.0	16	8	12.5	14	3	15.0	16	11	22.4	16	19	10.7	33
3	7.0	27	3	4.7	17	2	10.0	10	4	8.2	18	4	2.3	15
67	155.8	374	94	146.9	423	31	155.0	143	76	155.1	499	259	146.3	1,498
43	—	—	64	—	—	20	—	—	49	—	—	177	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	平均年齢	回答数	割合	平均年齢	回答数	割合	平均年齢	回答数	割合	平均年齢	回答数	割合	平均年齢
14	33.3	—	23	35.4	—	5	25.0	—	10	20.4	—	61	33.9	—
14	—	37.4	23	—	34.2	5	—	38.8	10	—	34.4	61	—	34.1
5	11.9	—	11	16.9	—	2	10.0	—	4	8.2	—	26	14.4	—
4	—	21.3	11	—	23.9	2	—	34.5	4	—	30.3	22	—	23.8
5	11.9	—	8	12.3	—	2	10.0	—	6	12.2	—	18	10.0	—
14	33.3	—	17	26.2	—	7	35.0	—	10	20.4	—	55	30.6	—
4	9.5	—	6	9.2	—	4	20.0	—	19	38.8	—	20	11.1	—
42	100.0	—	65	100.0	—	20	100.0	—	49	100.0	—	180	100.0	—
42	—	—	65	—	—	20	—	—	49	—	—	180	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	農場数	平均農場数	回答数	農場数	平均農場数	回答数	農場数	平均農場数	回答数	農場数	平均農場数	回答数	農場数	平均農場数
43	60	1.40	65	78	1.20	20	22	1.10	49	73	1.49	181	279	1.54

VI 経営タイプ

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合	子取♀頭数	回答数	割合	子取♀頭数	回答数	割合	子取♀頭数
1 一貫経営	732	90.9	276,351	174	89.2	78,912	258	94.5	95,034
ア 一貫経営の繁殖農場	123	16.8	73,113	40	23.0	19,242	31	12.0	26,213
A 純粋種豚生産農場	14	11.4	3,844	8	20.0	2,853	4	12.9	779
B 純粋種豚と子取り用雌豚生産農場	27	22.0	29,286	8	20.0	5,799	9	29.0	17,945
C 子取り用雌豚生産農場	23	18.7	21,057	8	20.0	5,957	4	12.9	9,917
D 肉用子豚の生産農場	92	74.8	61,073	24	60.0	12,601	22	71.0	22,658
イ 一貫経営の子豚育成農場	20	2.7	13,369	6	3.4	4,838	6	2.3	4,813
ウ 一貫経営の肥育農場	80	10.9	54,501	17	9.8	12,571	27	10.5	23,132
エ 一貫経営の一貫生産農場	613	83.7	229,326	149	85.6	65,231	225	87.2	82,464
オ 一貫経営の豚人工授精所	21	2.9	13,326	7	4.0	6,899	8	3.1	3,825
2 繁殖経営	62	7.7	30,791	16	8.2	11,409	13	4.8	2,277
ア 純粋種豚生産農場	4	6.5	1,184	1	6.3	995	1	7.7	10
イ 純粋種豚と子取り用雌豚生産農場	7	11.3	3,773	4	25.0	3,569	0	0.0	0
ウ 子取り用雌豚生産農場	17	27.4	13,175	6	37.5	6,440	1	7.7	700
エ 肉用子豚の生産農場	42	67.7	10,012	9	56.3	4,145	14	107.7	2,032
オ 豚人工授精所	4	6.5	6,111	3	18.8	5,945	0	0.0	0
3 肥育経営	68	8.4	16,418	16	8.2	4,500	13	4.8	0
合 計	862	107.1	323,560	206	105.6	94,821	284	104.0	97,311
回答経営体数	805	—	—	195	—	—	273	—	—

VI. 飼養頭数（平成28年8月1日現在）

1 ♀子取り用雌豚（育成豚を除く）品種・品種組み合わせ別頭数

	全国			北海道・東北			関東			
	回答数	割合	頭数平均	回答数	割合	頭数平均	回答数	割合	頭数平均	
純粋種	ランドレース/L	211	27.5	45.9	43	23.9	96.8	84	31.6	35.6
	大ヨークシャー/W	164	21.4	54.2	33	18.3	74.1	57	21.4	63.5
	中ヨークシャー/Y	8	1.0	4.3	1	0.6	2.0	4	1.5	7.0
	パークシャー/B	76	9.9	107.1	18	10.0	48.9	9	3.4	37.9
	デュロック/D	171	22.3	12.0	27	15.0	19.7	74	27.8	10.4
	ハブシャー/H	2	0.3	7.5	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
	その他	21	2.7	55.3	6	3.3	119.8	6	2.3	27.8
	小 計	381	49.7	78.7	72	40.0	121.4	135	50.8	58.6
交雑種	LW	373	48.6	215.7	57	31.7	300.5	177	66.5	185.6
	WL	146	19.0	246.3	37	20.6	188.9	35	13.2	303.7
	LW、WL何れか	105	13.7	487.4	24	13.3	549.6	41	15.4	723.2
	その他の組合せ	67	8.7	265.2	17	9.4	278.1	16	6.0	222.0
	海外ハイブリッド	125	16.3	596.1	53	29.4	597.9	19	7.1	588.7
	小 計	679	88.5	382.7	157	87.2	469.6	248	93.2	354.4
合 計	767	100.0	377.9	180	100.0	458.1	266	100.0	360.1	
回答経営体数	767	—	—	180	—	—	266	—	—	

	全国			北海道・東北			関東			
	子取♀頭数	頭数割合	全頭数割合	子取♀頭数	頭数割合	全頭数割合	子取♀頭数	頭数割合	全頭数割合	
純粋種	ランドレース/L	9,690	32.3	3.3	4,163	47.6	5.0	2,990	37.8	3.1
	大ヨークシャー/W	8,891	29.6	3.1	2,444	28.0	3.0	3,618	45.7	3.8
	中ヨークシャー/Y	34	0.1	0.0	2	0.0	0.0	28	0.4	0.0
	パークシャー/B	8,139	27.1	2.8	880	10.1	1.1	341	4.3	0.4
	デュロック/D	2,059	6.9	0.7	533	6.1	0.6	771	9.7	0.8
	ハブシャー/H	15	0.1	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
	その他	1,161	3.9	0.4	719	8.2	0.9	167	2.1	0.2
	小 計	29,989	100.0	10.3	8,741	100.0	10.6	7,915	100.0	8.3
交雑種	LW	80,445	31.0	27.8	17,129	23.2	20.8	32,858	37.4	34.3
	WL	35,962	13.8	12.4	6,990	9.5	8.5	10,631	12.1	11.1
	LW、WL何れか	51,175	19.7	17.7	13,190	17.9	16.0	29,653	33.7	31.0
	その他の組合せ	17,771	6.8	6.1	4,728	6.4	5.7	3,552	4.0	3.7
	海外ハイブリッド	74,508	28.7	25.7	31,687	43.0	38.4	11,186	12.7	11.7
	小 計	259,861	100.0	89.7	73,724	100.0	89.4	87,880	100.0	91.7
合 計	289,850	—	100.0	82,465	—	100.0	95,795	—	100.0	

	全国			北海道・東北			関東			
	回答数	割合	子取♀頭数	回答数	割合	子取♀頭数	回答数	割合	子取♀頭数	
子取り用雌豚飼養頭数階級別	1～19頭	44	5.7	399	11	6.1	90	7	2.6	72
	20～49頭	89	11.6	2,982	17	9.4	539	31	11.7	1,033
	50～99頭	148	19.3	10,733	16	8.9	1,195	65	24.4	4,600
	100～199頭	163	21.3	21,893	33	18.3	4,531	73	27.4	9,594
	200～499頭	186	24.3	56,761	48	26.7	14,439	57	21.4	17,770
	500～999頭	72	9.4	46,918	28	15.6	18,201	15	5.6	9,645
	1,000頭以上	65	8.5	150,164	27	15.0	43,470	18	6.8	53,081
合 計	767	100.0	289,850	180	100.0	82,465	266	100.0	95,795	
回答経営体数	767	—	—	180	—	—	266	—	—	

2 ♀利用中の種雄豚（育成豚を除く）品種・品種組み合わせ別頭数

	全国			北海道・東北			関東			
	回答数	割合	頭数平均	回答数	割合	頭数平均	回答数	割合	頭数平均	
純粋種	ランドレース/L	148	23.0	3.8	33	25.0	5.2	49	20.6	3.5
	大ヨークシャー/W	170	26.4	3.8	36	27.3	5.3	65	27.3	3.2
	中ヨークシャー/Y	10	1.6	4.1	1	0.8	1.0	6	2.5	5.2
	パークシャー/B	74	11.5	8.4	17	12.9	9.1	11	4.6	7.6
	デュロック/D	549	85.4	11.4	112	84.8	14.6	216	90.8	10.7
	ハブシャー/H	3	0.5	3.3	0	0.0	0.0	1	0.4	5.0
	その他	23	3.6	10.4	7	5.3	20.1	6	2.5	3.5
	小 計	643	100.0	13.1	132	100.0	17.3	238	100.0	11.9
交雑種	HD	6	4.8	12.7	1	2.2	51.0	2	7.4	5.0
	DH	2	1.6	136.5	0	0.0	0.0	2	7.4	136.5
	BD	2	1.6	4.5	0	0.0	0.0	1	3.7	4.0
	DB	3	2.4	9.7	1	2.2	2.0	2	7.4	13.5
	その他の組合せ	25	20.2	29.9	2	4.3	4.5	8	29.6	7.0
	海外ハイブリッド	91	73.4	17.9	43	93.5	26.2	13	48.1	9.8
小 計	124	100.0	22.3	46	100.0	25.9	27	100.0	18.4	
合 計	723	—	—	171	—	—	249	—	—	
回答経営体数	723	—	—	171	—	—	249	—	—	



	全国			北海道・東北			関東			
	♂頭数	頭数割合	全頭数割合	♂頭数	頭数割合	全頭数割合	♂頭数	頭数割合	全頭数割合	
純粋種	ランドレース/L	562	6.7	5.0	170	7.4	4.9	171	6.0	5.1
	大ヨークシャー/W	648	7.7	5.8	190	8.3	5.5	211	7.4	6.3
	中ヨークシャー/Y	41	0.5	0.4	1	0.0	0.0	31	1.1	0.9
	パーグシャー/B	618	7.4	5.5	154	6.7	4.4	84	3.0	2.5
	デュロック/D	6,280	74.7	56.2	1,632	71.3	46.9	2,311	81.4	69.2
	ハンプシャー/H	10	0.1	0.1	0	0.0	0.0	5	0.2	0.1
	その他	240	2.9	2.1	141	6.2	4.1	21	0.7	0.6
小計	8,405	100.0	75.3	2,288	100.0	65.8	2,840	100.0	85.1	
交雑種	HD	76	2.8	0.7	51	4.3	1.5	10	2.0	0.3
	DH	273	9.9	2.4	0	0.0	0.0	273	54.8	8.2
	BD	9	0.3	0.1	0	0.0	0.0	4	0.8	0.1
	DB	29	1.1	0.3	2	0.2	0.1	27	5.4	0.8
	その他の組合せ	747	27.1	6.7	9	0.8	0.3	56	11.2	1.7
	海外ハイブリッド	1,625	58.9	14.6	1,127	94.7	32.4	128	25.7	3.8
	小計	2,760	100.0	24.7	1,190	100.0	34.2	498	100.0	14.9
合計	11,165	—	100.0	3,478	—	100.0	3,338	—	100.0	

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	頭数合計	頭数平均	回答数	頭数合計	頭数平均	回答数	頭数合計	頭数平均
3 育成豚（繁殖利用予定で未交配（雌、雄）のもの）	605	37,260	61.6	148	13,497	91.2	196	10,671	54.4
4 子豚（子豚舎、子豚豚房で飼養しているもの+哺乳中のもの）	628	1,142,903	1,819.9	158	357,833	2,264.8	202	305,066	1,510.2
5 肥育豚（肥育舎、肥育豚房で飼養しているもの）	643	1,512,345	2,352.0	157	456,618	2,908.4	204	426,911	2,092.7

Ⅶ. 出荷頭数等（平成27年1～12月の総頭数）

	全国			北海道・東北			関東			
	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計	
1 年間肉豚出荷頭数	792	—	6,806,359	186	—	2,602,562	273	—	2,038,196	
年間肉豚出荷頭数規模別	1～399頭	87	11.0	13,823	15	8.1	2,516	25	9.2	3,233
	400～999頭	84	10.6	56,772	18	9.7	11,845	30	11.0	21,050
	1,000～1,999頭	154	19.4	218,105	22	11.8	30,435	72	26.4	100,656
	2,000～3,999頭	149	18.8	413,401	27	14.5	73,779	59	21.6	164,696
	4,000～9,999頭	178	22.5	1,115,475	51	27.4	324,948	51	18.7	315,447
	10,000～19,999頭	72	9.1	964,416	21	11.3	305,001	19	7.0	236,876
20,000頭以上	68	8.6	4,024,367	32	17.2	1,854,038	17	6.2	1,196,238	
合計	792	100.0	6,806,359	186	100.0	2,602,562	273	100.0	2,038,196	
2 繁殖豚（雄、雌）年間廃用頭数	702	—	120,511	175	—	36,440	241	—	36,332	
3 年間肉用子豚出荷（同一経営の農場間移動を含む）頭数	156	—	1,210,232	40	—	369,868	41	—	338,345	
4 種豚候補豚（純粋・F1等）の出荷（同一経営の農場間移動含む）頭数	126	—	81,893	35	—	34,680	39	—	28,828	

Ⅷ. 肉豚出荷日齢、出荷体重、枝肉重量（平成27年1～12月の平均）

		全国			北海道・東北			関東		
		回答数	平均	標準偏差	回答数	平均	標準偏差	回答数	平均	標準偏差
1 肉豚出荷日齢平均（生後日齢）	日齢	742	185.1	—	177	174.7	—	254	184.1	—
2 肉豚出荷生体重平均	kg	695	114.5	—	163	114.3	—	241	114.6	—
3 肉豚1頭当たり枝肉重量平均	kg	751	74.8	—	180	74.4	—	257	75.4	—
1日平均増体重（出荷体重÷出荷日齢）	kg/日	684	0.6	—	162	0.7	—	235	0.6	—

Ⅸ. 繁殖・肥育等の成績

1 繁殖成績（平成27年1～12月の平均）

		全国			北海道・東北			関東		
		回答数	平均	標準偏差	回答数	平均	標準偏差	回答数	平均	標準偏差
ア 1腹当たり（1分娩当たり）平均哺乳開始頭数	頭	736	11.0	—	180	11.3	—	251	10.9	—
イ 1腹当たり（1分娩当たり）平均離乳頭数	頭	734	9.8	—	179	10.1	—	252	9.6	—
ウ 平均育成率（イ÷ア×100）	%	679	89.0	—	174	89.6	—	221	88.8	—
エ 平均受胎率（受胎頭数÷種付頭数×100）	%	572	87.9	—	144	89.8	—	182	87.2	—
オ 平均分娩率（分娩頭数÷種付頭数×100）	%	620	86.0	—	157	88.3	—	200	84.4	—
カ 母豚の年間平均分娩回数（年間分娩数÷常時子取り用雌豚頭数）	回	688	2.2	—	171	2.3	—	229	2.2	—

2 年間肉豚出荷頭数の格付割合

		全国			北海道・東北			関東		
		回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
ア 格付している割合		671	95.2	98.1	166	96.0	98.3	223	95.7	97.5
A 日格協の格付（年間日格協格付頭数÷年間出荷頭数×100）	%	597	84.7	93.2	155	89.6	97.4	183	78.5	87.0
	%	140	19.9	72.8	14	8.1	86.4	80	34.3	72.8
イ 格付していない（生体出荷）割合（年間生体出荷頭数÷年間出荷頭数）	%	79	11.2	59.4	15	8.7	65.9	24	10.3	64.5
合計		750	106.4	—	181	104.6	—	247	106.0	—
回答経営体数		705	—	—	173	—	—	233	—	—

3 「上」物率

		全国			北海道・東北			関東		
		回答数	平均	標準偏差	回答数	平均	標準偏差	回答数	平均	標準偏差
格付している肉豚の上物率（〈年間「極上」+「上」頭数〉÷年間）	%	667	54.0	—	165	52.5	—	220	53.0	—

4 農場飼料要求率

		全国			北海道・東北			関東		
		回答数	平均	標準偏差	回答数	平均	標準偏差	回答数	平均	標準偏差
期間飼料消費量÷期間増体重	%	407	3.3	—	116	3.3	—	119	3.3	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
♂頭数	頭数割合	全頭数割合	♂頭数	頭数割合	全頭数割合	♂頭数	頭数割合	全頭数割合	♂頭数	頭数割合	全頭数割合	♂頭数	頭数割合	全頭数割合
49	12.1	11.5	31	6.8	5.3	14	15.7	10.1	23	3.9	3.4	104	6.0	4.1
35	8.7	8.2	28	6.1	4.8	13	14.6	9.4	47	8.0	6.9	124	7.1	4.9
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	3	0.5	0.4	6	0.3	0.2
0	0.0	0.0	7	1.5	1.2	1	1.1	0.7	25	4.3	3.7	347	19.9	13.7
320	79.2	75.1	391	85.6	67.4	61	68.5	43.9	483	82.7	71.2	1,082	62.1	42.8
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	5	0.3	0.2
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	3	0.5	0.4	75	4.3	3.0
404	100.0	94.8	457	100.0	78.8	89	100.0	64.0	584	100.0	86.1	1,743	100.0	69.0
0	0.0	0.0	8	6.5	1.4	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	7	0.9	0.3
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	5	5.3	0.7	0	0.0	0.0
0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
19	86.4	4.5	14	11.4	2.4	50	100.0	36.0	24	25.5	3.5	575	73.4	22.8
3	13.6	0.7	101	82.1	17.4	0	0.0	0.0	65	69.1	9.6	201	25.7	8.0
22	100.0	5.2	123	100.0	21.2	50	100.0	36.0	94	100.0	13.9	783	100.0	31.0
426	—	100.0	580	—	100.0	139	—	100.0	678	—	100.0	2,526	—	100.0

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	頭数合計	頭数平均	回答数	頭数合計	頭数平均	回答数	頭数合計	頭数平均	回答数	頭数合計	頭数平均	回答数	頭数合計	頭数平均
32	1,693	52.9	50	2,133	42.7	11	2,441	221.9	39	1,420	36.4	129	5,405	41.9
35	52,957	1,513.1	48	80,614	1,679.5	11	14,942	1,358.4	42	76,321	1,817.2	132	255,170	1,933.1
37	57,668	1,558.6	50	115,186	2,303.7	15	10,842	722.8	45	151,616	3,369.2	135	293,504	2,174.1

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計
43	—	223,556	62	—	370,313	17	—	39,016	49	—	488,218	162	—	1,044,498
4	9.3	414	4	6.5	1,111	4	23.5	340	8	16.3	914	27	16.7	5,295
6	14.0	4,283	3	4.8	2,140	5	29.4	2,710	1	2.0	500	21	13.0	14,244
8	18.6	10,284	13	21.0	18,684	2	11.8	3,146	11	22.4	15,851	26	16.0	39,049
9	20.9	26,525	16	25.8	42,668	2	11.8	4,700	7	14.3	17,870	29	17.9	83,163
13	30.2	75,339	15	24.2	99,220	3	17.6	16,120	12	24.5	73,792	33	20.4	210,609
1	2.3	11,500	9	14.5	125,535	1	5.9	12,000	3	6.1	36,860	18	11.1	236,644
2	4.7	95,211	2	3.2	80,955	0	0.0	0	7	14.3	342,431	8	4.9	455,494
43	100.0	223,556	62	100.0	370,313	17	100.0	39,016	49	100.0	488,218	162	100.0	1,044,498
39	—	5,155	53	—	7,307	11	—	533	46	—	9,416	137	—	25,328
9	—	48,725	8	—	9,970	3	—	3,318	13	—	41,608	42	—	398,398
7	—	1,730	8	—	2,849	2	—	96	9	—	4,000	26	—	9,710

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	平均	割合	回答数	平均	割合	回答数	平均	割合	回答数	平均	割合	回答数	平均	割合
40	175.0	—	57	183.3	—	18	191.2	—	47	187.2	—	149	201.2	—
36	113.8	—	53	115.7	—	17	115.9	—	47	115.1	—	138	113.7	—
40	74.9	—	62	75.9	—	17	78.6	—	46	75.0	—	149	73.5	—
36	0.7	—	52	0.6	—	17	0.6	—	46	0.6	—	136	0.6	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	平均	割合	回答数	平均	割合	回答数	平均	割合	回答数	平均	割合	回答数	平均	割合
37	11.6	—	57	11.2	—	13	10.7	—	47	10.9	—	151	10.6	—
37	10.2	—	56	9.9	—	13	9.6	—	47	9.8	—	150	9.4	—
35	88.2	—	51	88.8	—	12	89.0	—	45	89.8	—	141	88.5	—
29	87.3	—	44	86.7	—	13	86.3	—	40	88.3	—	120	87.1	—
33	85.6	—	50	84.1	—	13	85.5	—	45	87.9	—	122	85.7	—
37	2.3	—	52	2.2	—	12	2.3	—	47	2.2	—	140	2.2	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
40	100.0	99.5	56	100.0	100.0	15	100.0	95.7	47	97.9	97.0	124	88.6	98.1
37	92.5	95.4	51	91.1	92.6	15	100.0	95.7	44	91.7	95.4	112	80.0	95.6
5	12.5	90.0	14	25.0	62.7	0	0.0	#DIV/0!	5	10.4	72.3	22	15.7	66.7
42	105.0	—	65	116.1	—	15	100.0	—	49	102.1	—	134	95.7	—
2	5.0	10.3	0	0.0	#DIV/0!	2	13.3	32.0	4	8.3	60.7	32	22.9	57.2
42	105.0	—	56	100.0	—	17	113.3	—	51	106.3	—	156	111.4	—
40	—	—	56	—	—	15	—	—	48	—	—	140	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	平均	割合	回答数	平均	割合	回答数	平均	割合	回答数	平均	割合	回答数	平均	割合
39	48.9	—	57	51.7	—	16	35.2	—	47	56.2	—	123	62.2	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	平均	割合	回答数	平均	割合	回答数	平均	割合	回答数	平均	割合	回答数	平均	割合
25	3.4	—	36	3.5	—	5	3.4	—	34	3.4	—	72	3.4	—

5 事故率（平成27年1～12月の平均）

子豚舎・子豚豚房の事故率

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
ア 子豚舎・子豚豚房（離乳後から肥育組入れまで）	449	—	4.1	123	—	2.4	137	—	3.7
A前年より良くなった	145	32.3	3.2	44	35.8	2.7	44	32.1	2.8
B前年と変わらない	330	73.5	3.9	79	64.2	2.1	113	82.5	3.6
C前年より悪くなった	101	22.5	6.0	26	21.1	3.0	32	23.4	6.2
小計	576	128.3	4.1	149	121.1	2.5	189	138.0	3.8
回答経営体数	576	—	4.1	149	—	2.5	189	—	3.8
事故率階級別									
～1%未満	51	11.4	0.5	20	16.3	0.5	14	10.2	0.5
1～4%	274	61.0	2.3	91	74.0	2.2	84	61.3	2.3
5～9%	78	17.4	6.2	9	7.3	6.2	28	20.4	6.0
10～14%	30	6.7	10.8	3	2.4	10.7	9	6.6	11.3
15～19%	3	0.7	17.3	0	0.0		1	0.7	16.0
20～24%	10	2.2	20.3	0	0.0		1	0.7	20.0
25～29%	2	0.4	27.6	0	0.0		0	0.0	
30～34%	0	0.0		0	0.0		0	0.0	
35～39%	0	0.0		0	0.0		0	0.0	
40%以上	1	0.2	50.0	0	0.0		0	0.0	
合計	449	100.0	4.1	123	100.0	2.4	137	100.0	3.7

子豚舎・子豚豚房事故率の計算式（期間内の離乳後から肥育組み入れ間の事故頭数÷期間内の総離乳頭数×100）

子豚舎・子豚豚房の事故率

	全体			一貫経営			繁殖経営		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
ア 子豚舎・子豚豚房（離乳後から肥育組入れまで）	448	—	4.1	429	—	4.1	18	—	3.8
A前年より良くなった	145	32.4	3.2	137	31.9	3.2	8	44.4	3.8
B前年と変わらない	329	73.4	3.9	311	72.5	3.9	15	83.3	4.3
C前年より悪くなった	101	22.5	6.0	95	22.1	6.1	3	16.7	1.8
小計	575	128.3	4.1	543	126.6	4.1	26	144.4	3.8
回答経営体数	575	—	4.1	543	—	4.1	26	—	3.8
事故率階級別									
～1%未満	51	11.4	0.5	46	10.7	0.5	5	27.8	0.5
1～4%	274	61.2	2.3	266	62.0	2.3	7	38.9	2.1
5～9%	78	17.4	6.2	74	17.2	6.3	4	22.2	5.5
10～14%	29	6.5	10.8	28	6.5	10.9	1	5.6	10.0
15～19%	3	0.7	17.3	3	0.7		0	0.0	
20～24%	10	2.2	20.3	9	2.1		1	5.6	20.0
25～29%	2	0.4	27.6	2	0.5		0	0.0	
30～34%	0	0.0		0	0.0		0	0.0	
35～39%	0	0.0		0	0.0		0	0.0	
40%以上	1	0.2	50.0	1	0.2		0	0.0	
合計	448	100.0	4.1	429	100.0	4.1	18	100.0	3.8

子豚舎・子豚豚房事故率の計算式（期間内の離乳後から肥育組み入れ間の事故頭数÷期間内の総離乳頭数×100）

子豚舎・子豚豚房の事故率

	全規模			1頭以上20頭未満			20頭以上50頭未満		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
ア 子豚舎・子豚豚房（離乳後から肥育組入れまで）	447	—	4.1	25	—	4.6	37	—	5.7
A前年より良くなった	141	31.5	3.2	7	28.0	3.0	13	35.1	3.0
B前年と変わらない	325	72.7	3.9	23	92.0	5.2	40	108.1	5.4
C前年より悪くなった	98	21.9	6.0	4	16.0		7	18.9	20.3
小計	564	126.2	4.1	34	136.0	4.7	60	162.2	6.1
回答経営体数	564	—	4.1	34	—	4.7	60	—	6.1
事故率階級別									
～1%未満	51	11.4	0.5	4	16.0	0.1	4	10.8	0.2
1～4%	272	60.9	2.3	11	44.0	2.1	18	48.6	2.3
5～9%	78	17.4	6.2	5	20.0	6.4	8	21.6	6.0
10～14%	30	6.7	10.8	4	16.0	10.0	5	13.5	10.4
15～19%	3	0.7	17.3	0	0.0		0	0.0	
20～24%	10	2.2	20.3	1	4.0		1	2.7	20.0
25～29%	2	0.4	27.6	0	0.0		0	0.0	
30～34%	0	0.0		0	0.0		0	0.0	
35～39%	0	0.0		0	0.0		0	0.0	
40%以上	1	0.2	50.0	0	0.0		1	2.7	
合計	447	100.0	4.1	25	100.0	4.6	37	100.0	5.7

子豚舎・子豚豚房事故率の計算式（期間内の離乳後から肥育組み入れ間の事故頭数÷期間内の総離乳頭数×100）

子豚舎・子豚豚房の事故率

	全体			20代			30代		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
ア 子豚舎・子豚豚房（離乳後から肥育組入れまで）	412	—	4.0	2	—	2.7	29	—	3.8
A前年より良くなった	135	32.8	3.2	1	50.0	#DIV/0!	10	34.5	3.3
B前年と変わらない	302	73.3	3.9	1	50.0	3.3	20	69.0	2.1
C前年より悪くなった	90	21.8	6.1	1	50.0	2.0	6	20.7	8.4
小計	527	127.9	4.1	3	150.0	2.7	36	124.1	3.8
回答経営体数	527	—	4.1	3	—	2.7	36	—	3.8
事故率階級別									
～1%未満	46	11.2	0.5	0	0.0	#DIV/0!	3	10.3	0.5
1～4%	252	61.2	2.3	2	100.0	2.7	19	65.5	2.6
5～9%	73	17.7	6.2	0	0.0	#DIV/0!	5	17.2	5.6
10～14%	27	6.6	10.8	0	0.0	#DIV/0!	1	3.4	10.0
15～19%	3	0.7	17.3	0	0.0		0	0.0	#DIV/0!
20～24%	9	2.2	20.4	0	0.0		1	3.4	20.7
25～29%	1	0.2	26.0	0	0.0		0	0.0	
30～34%	0	0.0		0	0.0		0	0.0	
35～39%	0	0.0		0	0.0		0	0.0	
40%以上	1	0.2	50.0	0	0.0		0	0.0	
合計	412	100.0	4.0	2	100.0	2.7	29	100.0	3.8

子豚舎・子豚豚房事故率の計算式（期間内の離乳後から肥育組み入れ間の事故頭数÷期間内の総離乳頭数×100）

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
16	—	3.1	35	—	4.3	7	—	5.2	28	—	4.2	103	—	6.6
6	37.5	3.3	10	28.6	2.8	3	42.9	7.0	4	14.3	2.0	34	33.0	4.6
12	75.0	2.5	21	60.0	2.2	6	85.7	4.5	23	82.1	4.2	76	73.8	6.8
5	31.3	4.2	10	28.6	12.1	1	14.3		7	25.0	5.6	20	19.4	7.9
23	143.8	3.2	41	117.1	4.4	10	142.9	5.2	34	121.4	4.2	130	126.2	6.4
23	—	3.2	41	—	4.4	10	—	5.2	34	—	4.2	130	—	6.4
2	12.5	0.0	5	14.3	0.4	0	0.0		3	10.7	0.5	7	6.8	0.4
10	62.5	2.0	23	65.7	2.4	4	57.1	2.9	14	50.0	2.9	48	46.6	2.5
4	25.0	7.6	5	14.3	5.8	2	28.6	7.4	9	32.1	6.2	21	20.4	6.4
0	0.0		0	0.0		1	14.3	10.0	2	7.1	10.1	15	14.6	10.7
0	0.0		1	2.9	16.3	0	0.0		0	0.0		1	1.0	19.6
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		9	8.7	20.4
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		2	1.9	27.6
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
0	0.0		1	2.9	50.0	0	0.0		0	0.0		0	0.0	
16	100.0	3.1	35	100.0	4.3	7	100.0	5.2	28	100.0	4.2	103	100.0	6.6

肥育経営		
回答数	割合	平均
1	—	3.0
0	0.0	
3	300.0	
3	300.0	3.0
6	600.0	3.0
6	—	3.0
0	0.0	
1	100.0	3.0
0	0.0	
0	0.0	
0	0.0	
0	0.0	
0	0.0	
0	0.0	
0	0.0	
0	0.0	
1	100.0	3.0

50頭以上100頭未満			100頭以上200頭未満			200頭以上500頭未満			500頭以上1000頭未満			1000頭以上		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
71	—	5.1	83	—	4.3	129	—	3.8	58	—	3.1	44	—	2.6
25	35.2	4.3	25	30.1	4.3	40	31.0	3.2	18	31.0	2.3	13	29.5	1.9
65	91.5	4.5	70	84.3	4.4	75	58.1	3.1	33	56.9	3.1	19	43.2	2.5
16	22.5	9.4	20	24.1	4.0	28	21.7		8	13.8	5.2	15	34.1	3.2
106	149.3	5.2	115	138.6	4.3	143	110.9	3.7	59	101.7	3.1	47	106.8	2.5
106	—	5.2	115	—	4.3	143	—	3.7	59	—	3.1	47	—	2.5
4	5.6	0.4	10	12.0	0.3	13	10.1		9	15.5	0.7	7	15.9	0.5
41	57.7	2.5	42	50.6	2.4	89	69.0	2.2	39	67.2	2.3	32	72.7	2.3
16	22.5	6.1	22	26.5	6.1	15	11.6	6.5	8	13.8	6.6	4	9.1	5.8
5	7.0		8	9.6		6	4.7	10.4	1	1.7	10.0	1	2.3	11.2
2	2.8		0	0.0		1	0.8		0	0.0		0	0.0	
3	4.2		0	0.0		4	3.1		1	1.7		0	0.0	
0	0.0		1	1.2		1	0.8		0	0.0		0	0.0	
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
71	100.0	5.1	83	100.0	4.3	129	100.0	3.8	58	100.0	3.1	44	100.0	2.6

40代			50代			60代			70代			80歳以上		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
68	—	4.1	99	—	3.9	175	—	4.0	33	—	4.7	6	—	4.9
19	27.9	2.7	35	35.4	3.5	56	32.0	2.8	8	24.2	4.7	6	100.0	4.6
47	69.1	3.3	65	65.7	3.7	136	77.7	4.3	30	90.9	4.9	3	50.0	5.5
17	25.0	8.1	24	24.2	4.8	31	17.7		10	30.3	4.3	1	16.7	
83	122.1	4.1	124	125.3	3.9	223	127.4	4.1	48	145.5	4.7	10	166.7	4.9
83	—	4.1	124	—	3.9	223	—	4.1	48	—	4.7	10	—	4.9
8	11.8	0.7	10	10.1	0.3	21	12.0		4	12.1	0.2	0	0.0	
45	66.2	2.1	59	59.6	2.4	105	60.0	2.4	18	54.5	2.0	4	66.7	2.3
9	13.2	6.5	22	22.2	6.2	32	18.3	6.3	5	15.2	6.0	0	0.0	
3	4.4		7	7.1		11	6.3	10.8	3	9.1	10.0	2	33.3	10.2
1	1.5		1	1.0	16.0	1	0.6		0	0.0		0	0.0	
1	1.5		0	0.0		4	2.3		3	9.1		0	0.0	
0	0.0		0	0.0		1	0.6		0	0.0		0	0.0	
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
1	1.5		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
68	100.0	4.1	99	100.0	3.9	175	100.0	4.0	33	100.0	4.7	6	100.0	4.9

肥育舎・肥育豚房の事故率

		全国			北海道・東北			関東		
		回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
イ 肥育舎・肥育豚房（肥育組入れから出荷時まで）	%	470	—	3.3	127	—	2.5	145	—	3.8
	A前年より良くなった	127	27.0	2.8	34	26.8	2.2	39	26.9	2.9
	B前年と変わらない	366	77.9	3.0	89	70.1	2.1	122	84.1	3.7
	C前年より悪くなった	108	23.0	4.7	30	23.6	3.5	35	24.1	5.6
	小計	601	127.9	3.3	153	120.5	2.5	196	135.2	3.8
	回答農場数	601	—	0.0	153	—	0.0	196	—	—
事故率階級別	～1%未満	60	12.8	0.4	21	16.5	0.3	15	10.3	0.5
	1～4%	308	65.5	2.4	91	71.7	2.3	93	64.1	2.5
	5～9%	80	17.0	6.2	15	11.8	6.1	26	17.9	6.5
	10～14%	16	3.4	10.4	0	0.0	—	9	6.2	10.5
	15～19%	3	0.6	15.4	0	0.0	—	1	0.7	15.0
	20～24%	2	0.4	20.3	0	0.0	—	0	0.0	20.0
	25～29%	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
	30～34%	1	0.2	30.0	0	0.0	—	1	0.7	30.0
	35～39%	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
40%以上	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	
	合計	470	100.0	3.3	127	100.0	2.5	145	100.0	3.8

肥育舎・肥育豚房事故率の計算式（期間内の肥育組み入れから出荷時の事故頭数÷期間内の総肥育組入頭数×100）

肥育舎・肥育豚房の事故率

		全体			一貫経営			繁殖経営		
		回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
イ 肥育舎・肥育豚房（肥育組入れから出荷時まで）	%	469	—	3.3	426	—	3.3	6	—	1.0
	A前年より良くなった	127	27.1	2.8	121	28.4	2.8	2	33.3	1.1
	B前年と変わらない	365	77.8	3.0	328	77.0	3.1	7	116.7	0.5
	C前年より悪くなった	108	23.0	4.7	97	22.8	4.8	0	0.0	—
	小計	600	127.9	3.3	546	128.2	3.3	9	150.0	1.0
	回答農場数	600	—	0.0	546	—	0.0	9	—	—
事故率階級別	～1%未満	60	12.8	0.4	50	11.7	0.4	4	66.7	0.4
	1～4%	308	65.7	2.4	282	66.2	2.4	2	33.3	2.1
	5～9%	80	17.1	6.2	74	17.4	6.2	0	0.0	—
	10～14%	15	3.2	10.4	14	3.3	—	0	0.0	—
	15～19%	3	0.6	15.4	3	0.7	—	0	0.0	—
	20～24%	2	0.4	20.3	2	0.5	—	0	0.0	20.0
	25～29%	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
	30～34%	1	0.2	30.0	1	0.2	—	0	0.0	—
	35～39%	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
40%以上	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	
	合計	469	100.0	3.3	426	100.0	3.3	6	100.0	1.0

肥育舎・肥育豚房事故率の計算式（期間内の肥育組み入れから出荷時の事故頭数÷期間内の総肥育組入頭数×100）

肥育舎・肥育豚房の事故率

		全規模			1頭以上20頭未満			20頭以上50頭未満		
		回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
イ 肥育舎・肥育豚房（肥育組入れから出荷時まで）	%	434	—	3.3	21	—	3.4	37	—	2.6
	A前年より良くなった	121	27.9	2.8	5	23.8	—	13	35.1	1.6
	B前年と変わらない	335	77.2	3.1	19	90.5	3.6	44	118.9	2.4
	C前年より悪くなった	97	22.4	4.8	7	33.3	6.0	3	8.1	20.0
	小計	553	127.4	3.3	31	147.6	3.4	60	162.2	2.6
	回答農場数	553	—	0.0	31	—	—	60	—	—
事故率階級別	～1%未満	54	12.4	0.4	7	33.3	0.3	11	29.7	0.3
	1～4%	285	65.7	2.4	8	38.1	2.2	21	56.8	2.2
	5～9%	74	17.1	6.2	4	19.0	5.8	3	8.1	5.0
	10～14%	15	3.5	10.4	1	4.8	—	1	2.7	—
	15～19%	3	0.7	15.4	0	0.0	—	0	0.0	—
	20～24%	2	0.5	20.3	1	4.8	—	1	2.7	20.0
	25～29%	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
	30～34%	1	0.2	30.0	0	0.0	—	0	0.0	—
	35～39%	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
40%以上	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	
	合計	434	100.0	3.3	21	100.0	3.4	37	100.0	2.6

肥育舎・肥育豚房事故率の計算式（期間内の肥育組み入れから出荷時の事故頭数÷期間内の総肥育組入頭数×100）

肥育舎・肥育豚房の事故率

		全体			20代			30代		
		回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
イ 肥育舎・肥育豚房（肥育組入れから出荷時まで）	%	428	—	3.3	2	—	1.4	27	—	3.1
	A前年より良くなった	117	27.3	2.7	1	50.0	—	9	33.3	2.7
	B前年と変わらない	333	77.8	3.1	1	50.0	0.4	19	70.4	2.8
	C前年より悪くなった	100	23.4	4.8	1	50.0	2.4	6	22.2	4.3
	小計	550	128.5	3.3	3	150.0	1.4	34	125.9	3.1
	回答農場数	550	—	0.0	3	—	—	34	—	—
事故率階級別	～1%未満	54	12.6	0.4	1	50.0	0.4	3	11.1	0.5
	1～4%	280	65.4	2.4	1	50.0	2.4	20	74.1	2.9
	5～9%	73	17.1	6.2	0	0.0	—	4	14.8	6.0
	10～14%	15	3.5	10.4	0	0.0	—	0	0.0	—
	15～19%	3	0.7	15.4	0	0.0	—	0	0.0	—
	20～24%	2	0.5	20.4	0	0.0	—	0	0.0	20.7
	25～29%	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
	30～34%	1	0.2	30.0	0	0.0	—	0	0.0	—
	35～39%	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
40%以上	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	
	合計	428	100.0	3.3	2	100.0	1.4	27	100.0	3.1



北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
19	—	2.7	37	—	3.6	12	—	2.1	30	—	3.4	100	—	3.8
3	15.8	3.5	12	32.4	2.3	4	33.3	3.1	4	13.3	3.0	31	31.0	3.2
17	89.5	2.1	23	62.2	2.7	10	83.3	1.9	24	80.0	3.1	81	81.0	3.7
7	36.8	4.1	10	27.0	6.2	1	8.3		8	26.7	4.7	17	17.0	4.8
27	142.1	2.7	45	121.6	3.6	15	125.0	2.1	36	120.0	3.4	129	129.0	3.8
27	—	0.0	45	—	0.0	15	—		36	—		129	—	0.0
4	21.1	0.3	3	8.1	0.3	1	8.3	0.5	3	10.0	0.5	13	13.0	0.4
11	57.9	2.5	25	67.6	2.6	9	75.0	1.6	20	66.7	2.4	59	59.0	2.6
4	21.1	5.5	8	21.6	6.0	2	16.7	5.1	6	20.0	6.1	19	19.0	6.2
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		7	7.0	10.3
0	0.0		0	0.0		0	0.0		1	3.3	16.3	1	1.0	15.0
0	0.0		1	2.7		0	0.0		0	0.0		1	1.0	20.4
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
19	100.0	2.7	37	100.0	3.6	12	100.0	2.1	30	100.0	3.4	100	100.0	3.8

肥育経営		
回答数	割合	平均
37	—	3.1
4	10.8	1.6
30	81.1	2.6
11	29.7	4.3
45	121.6	3.1
45	—	0.0
6	16.2	0.4
24	64.9	2.6
6	16.2	6.5
1	2.7	
0	0.0	
0	0.0	
0	0.0	
0	0.0	
0	0.0	
0	0.0	
0	0.0	
37	100.0	3.1

50頭以上100頭未満			100頭以上200頭未満			200頭以上500頭未満			500頭以上1000頭未満			1000頭以上		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
67	—	3.8	82	—	3.2	125	—	3.2	56	—	3.1	46	—	3.8
17	25.4	2.8	25	30.5	2.7	32	25.6	3.3	15	26.8	3.0	14	30.4	2.8
71	106.0	3.8	73	89.0	3.3	78	62.4	2.7	32	57.1	2.8	18	39.1	3.2
16	23.9	5.5	18	22.0	3.8	25	20.0		11	19.6	4.5	17	37.0	5.0
104	155.2	3.8	116	141.5	3.2	135	108.0	3.2	58	103.6	3.1	49	106.5	3.8
104	—		116	—	0.0	135	—		58	—		49	—	
11	16.4	0.5	8	9.8	0.3	10	8.0	0.5	5	8.9	0.6	2	4.3	0.7
38	56.7	2.6	57	69.5	2.1	91	72.8	2.4	41	73.2	2.6	29	63.0	2.8
11	16.4	6.0	14	17.1	6.3	19	15.2	6.3	8	14.3	5.9	15	32.6	
5	7.5		2	2.4		4	3.2		2	3.6		0	0.0	
2	3.0		0	0.0		1	0.8		0	0.0		0	0.0	
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
0	0.0		1	1.2		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
67	100.0	3.8	82	100.0	3.2	125	100.0	3.2	56	100.0	3.1	46	100.0	3.8

40代			50代			60代			70代			80歳以上		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
70	—	3.6	101	—	3.6	180	—	3.2	41	—	3.3	7	—	3.1
21	30.0	2.9	24	23.8	2.4	46	25.6	3.0	10	24.4	2.1	6	85.7	1.9
47	67.1	3.5	79	78.2	3.6	146	81.1	2.7	36	87.8	3.2	5	71.4	5.5
17	24.3	5.4	24	23.8	5.1	42	23.3		9	22.0	4.0	1	14.3	3.2
85	121.4	3.6	127	125.7	3.6	234	130.0	3.2	55	134.1	3.3	12	171.4	3.1
85	—		127	—	0.0	234	—		55	—		12	—	
6	8.6	0.7	14	13.9	0.2	23	12.8	0.4	6	14.6	0.5	1	14.3	0.6
48	68.6	2.3	58	57.4	2.4	119	66.1	2.4	29	70.7	2.4	5	71.4	2.2
13	18.6	6.1	23	22.8	6.3	30	16.7	6.3	3	7.3	6.7	0	0.0	
1	1.4		4	4.0		7	3.9		2	4.9		1	14.3	10.0
0	0.0		2	2.0		1	0.6		0	0.0		0	0.0	
1	1.4		0	0.0		0	0.0		1	2.4		0	0.0	
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
1	1.4		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
70	100.0	3.6	101	100.0	3.6	180	100.0	3.2	41	100.0	3.3	7	100.0	3.1

子豚舎・子豚豚房から肥育舎・肥育豚房までの通算期間の事故率

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
★ 通算算出 %	634	—	6.5	169	—	4.7	203	—	7.2
A前年より良くなった	160	34.0	5.8	45	35.4	4.9	48	33.1	5.7
B前年と変わらない	391	83.2	6.0	90	70.9	4.2	142	97.9	6.6
C前年より悪くなった	142	30.2	9.2	39	30.7	6.0	44	30.3	10.4
小計	693	147.4	6.5	174	137.0	4.7	234	161.4	7.2
回答経営体数	634	—	6.5	169	—	4.7	203	—	7.2
事故率階級別									
～1%未満	29	4.6	0.4	11	6.5	0.5	5	2.5	0.5
1～4%	275	43.4	3.3	97	57.4	3.2	83	40.9	3.3
5～9%	226	35.6	7.1	51	30.2	7.0	75	36.9	7.3
10～14%	63	9.9	11.3	8	4.7	11.4	21	10.3	11.3
15～19%	19	3.0	17.2	1	0.6	16.2	11	5.4	17.1
20～24%	11	1.7	21.4	1	0.6	20.0	3	1.5	21.8
25～29%	6	0.9	26.9	0	0.0		3	1.5	27.3
30～34%	2	0.3	30.0	0	0.0		1	0.5	30.0
35～39%	1	0.2	35.0	0	0.0		1	0.5	35.0
40%以上	2	0.3	50.0	0	0.0		0	0.0	
合計	634	100.0	6.5	169	100.0	4.7	203	100.0	7.2

通算事故率の計算式  $100 - ((100 - \text{ア子豚事故率}) \times (100 - \text{イ肥育事故率}) \div 100)$

子豚舎・子豚豚房から肥育舎・肥育豚房までの通算期間の事故率

	全体			一貫経営			繁殖経営		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
★ 通算算出 %	633	—	6.5	578	—	6.8	20	—	4.0
A前年より良くなった	160	34.1	5.8	150	35.2	6.0	8	133.3	4.2
B前年と変わらない	391	83.4	6.0	358	84.0	6.2	14	233.3	4.1
C前年より悪くなった	142	30.3	9.2	131	30.8	9.7	3	50.0	2.9
小計	693	147.8	6.5	639	150.0	6.8	25	416.7	4.0
回答経営体数	633	—	6.5	578	—	6.8	20	—	4.0
事故率階級別									
～1%未満	29	4.6	0.4	18	3.1	0.4	5	25.0	0.5
1～4%	275	43.4	3.3	244	42.2	3.4	9	45.0	2.7
5～9%	226	35.7	7.1	216	37.4	7.1	4	20.0	5.5
10～14%	63	10.0	11.3	61	10.6	11.4	1	5.0	10.0
15～19%	18	2.8	17.1	18	3.1	17.1	0	0.0	
20～24%	11	1.7	21.4	10	1.7	21.5	1	5.0	21.0
25～29%	6	0.9	26.9	6	1.0		0	0.0	
30～34%	2	0.3	30.0	2	0.3		0	0.0	
35～39%	1	0.2	35.0	1	0.2		0	0.0	
40%以上	2	0.3	50.0	2	0.3		0	0.0	
合計	633	100.0	6.5	578	100.0	6.8	20	100.0	4.0

通算事故率の計算式  $100 - ((100 - \text{ア子豚事故率}) \times (100 - \text{イ肥育事故率}) \div 100)$

子豚舎・子豚豚房から肥育舎・肥育豚房までの通算期間の事故率

	全規模			1頭以上20頭未満			20頭以上50頭未満		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
★ 通算算出 %	597	—	6.7	28	—	5.6	52	—	6.2
A前年より良くなった	154	35.5	5.9	4	19.0	5.7	12	32.4	4.3
B前年と変わらない	370	85.3	6.1	20	95.2	5.0	53	143.2	5.2
C前年より悪くなった	134	30.9	9.6	7	33.3	8.9	3	8.1	31.3
小計	658	151.6	6.7	31	147.6	5.6	68	183.8	6.2
回答経営体数	597	—	6.7	28	—	5.6	52	—	6.2
事故率階級別									
～1%未満	24	4.0	0.4	3	10.7	0.2	5	9.6	0.4
1～4%	251	42.0	3.4	12	42.9	2.4	21	40.4	3.0
5～9%	219	36.7	7.1	8	28.6	6.8	16	30.8	6.3
10～14%	62	10.4	11.4	3	10.7	11.8	9	17.3	10.6
15～19%	19	3.2	17.2	1	3.6	19.0	0	0.0	
20～24%	11	1.8	21.4	1	3.6	20.0	0	0.0	
25～29%	6	1.0	26.9	0	0.0		0	0.0	
30～34%	2	0.3	30.0	0	0.0		0	0.0	
35～39%	1	0.2	35.0	0	0.0		0	0.0	
40%以上	2	0.3	50.0	0	0.0		1	1.9	
合計	597	100.0	6.7	28	100.0	5.6	52	100.0	6.2

通算事故率の計算式  $100 - ((100 - \text{ア子豚事故率}) \times (100 - \text{イ肥育事故率}) \div 100)$

子豚舎・子豚豚房から肥育舎・肥育豚房までの通算期間の事故率

	全体			20代			30代		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
★ 通算算出 %	576	—	6.7	2	—	3.4	42	—	6.2
A前年より良くなった	147	34.3	5.8	1	50.0		14	51.9	5.0
B前年と変わらない	356	83.2	6.1	2	100.0	2.4	22	81.5	4.6
C前年より悪くなった	131	30.6	9.5	1	50.0	4.4	8	29.6	13.1
小計	634	148.1	6.7	4	200.0	3.4	44	163.0	6.2
回答経営体数	576	—	6.7	2	—	3.4	42	—	6.2
事故率階級別									
～1%未満	24	4.2	0.4	0	0.0		2	4.8	0.8
1～4%	244	42.4	3.3	2	100.0	3.4	17	40.5	3.4
5～9%	210	36.5	7.0	0	0.0		16	38.1	6.7
10～14%	60	10.4	11.3	0	0.0		6	14.3	11.2
15～19%	16	2.8	17.3	0	0.0		0	0.0	
20～24%	11	1.9	21.4	0	0.0		0	0.0	
25～29%	6	1.0	26.9	0	0.0		1	2.4	25.5
30～34%	2	0.3	30.0	0	0.0		0	0.0	
35～39%	1	0.2	35.0	0	0.0		0	0.0	
40%以上	2	0.3	50.0	0	0.0		0	0.0	
合計	576	100.0	6.7	2	100.0	3.4	42	100.0	6.2

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
35	—	5.3	54	—	7.6	14	—	4.6	43	—	6.4	116	—	8.1
6	31.6	6.4	15	40.5	4.5	4	33.3	9.8	6	20.0	6.6	36	36.0	7.3
22	115.8	4.4	22	59.5	5.5	9	75.0	3.1	31	103.3	5.9	75	75.0	8.4
10	52.6	6.8	16	43.2	14.8	1	8.3		10	33.3	7.9	22	22.0	10.8
38	200.0	5.3	53	143.2	7.6	14	116.7	4.6	47	156.7	6.4	133	133.0	8.1
35	—	5.3	54	—	7.6	14	—	4.6	43	—	6.4	116	—	8.1
1	2.9	0.0	2	3.7	0.7	1	7.1	0.5	1	2.3	0.1	8	6.9	0.3
17	48.6	3.4	21	38.9	3.2	8	57.1	2.4	14	32.6	3.5	35	30.2	3.6
15	42.9	7.2	21	38.9	7.0	2	14.3	5.1	25	58.1	7.2	37	31.9	6.7
2	5.7	10.6	7	13.0	10.9	3	21.4	11.6	2	4.7	11.2	20	17.2	11.5
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		7	6.0	17.4
0	0.0		1	1.9	20.0	0	0.0		1	2.3	24.8	5	4.3	21.1
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		3	2.6	26.6
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		1	0.9	30.0
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
0	0.0		2	3.7	50.0	0	0.0		0	0.0		0	0.0	
35	100.0	5.3	54	100.0	7.6	14	100.0	4.6	43	100.0	6.4	116	100.0	8.1

肥育経営		
回答数	割合	平均
35	—	3.0
2	5.4	2.3
19	51.4	2.8
8	21.6	3.8
29	78.4	3.0
35	—	3.0
6	17.1	0.4
22	62.9	2.6
6	17.1	6.0
1	2.9	10.0
0	0.0	
0	0.0	
0	0.0	
0	0.0	
0	0.0	
0	0.0	
0	0.0	
35	100.0	3.0

50頭以上100頭未満			100頭以上200頭未満			200頭以上500頭未満			500頭以上1000頭未満			1000頭以上		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
96	—	8.6	121	—	6.8	166	—	6.3	71	—	6.3	63	—	6.4
23	34.3	7.5	33	40.2	6.4	48	38.4	6.1	17	30.4	5.0	17	37.0	5.0
70	104.5	7.7	82	100.0	6.9	89	71.2	5.3	36	64.3	5.9	20	43.5	6.1
26	38.8	12.3	29	35.4	7.4	33	26.4		13	23.2	10.0	23	50.0	7.9
119	177.6	8.6	144	175.6	6.8	170	136.0	6.3	66	117.9	6.3	60	130.4	6.4
96	—	8.6	121	—	6.8	166	—	6.3	71	—	6.3	63	—	6.4
6	6.3	0.6	4	3.3	0.4	5	3.0	0.5	1	1.4	0.6	0	0.0	
31	32.3	3.4	48	39.7	3.4	76	45.8	3.5	39	54.9	3.6	24	38.1	3.4
32	33.3	7.1	47	38.8	7.2	62	37.3	7.1	22	31.0	7.2	32	50.8	7.2
12	12.5	11.4	14	11.6	11.6	15	9.0	11.6	4	5.6	11.1	5	7.9	11.3
6	6.3		6	5.0		3	1.8		2	2.8		1	1.6	15.3
3	3.1		0	0.0		4	2.4		2	2.8	22.8	1	1.6	20.0
3	3.1		1	0.8		1	0.6		1	1.4		0	0.0	
1	1.0		1	0.8		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
1	1.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
1	1.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
96	100.0	8.6	121	100.0	6.8	166	100.0	6.3	71	100.0	6.3	63	100.0	6.4

40代			50代			60代			70代			80歳以上		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
83	—	6.9	149	—	6.6	240	—	6.9	52	—	5.8	8	—	5.4
24	34.3	5.7	35	34.7	5.9	54	30.0	6.1	13	31.7	5.0	6	85.7	5.8
46	65.7	6.6	85	84.2	6.0	156	86.7	6.4	40	97.6	5.7	5	71.4	6.6
22	31.4	9.9	36	35.6	8.7	53	29.4		10	24.4	7.6	1	14.3	
92	131.4	6.9	156	154.5	6.6	263	146.1	6.9	63	153.7	5.8	12	171.4	5.4
83	—	6.9	149	—	6.6	240	—	6.9	52	—	5.8	8	—	5.4
0	0.0		8	5.4	0.3	8	3.3	0.4	5	9.6	0.5	1	12.5	0.6
38	45.8	3.0	56	37.6	3.6	101	42.1	3.3	27	51.9	3.3	3	37.5	2.2
34	41.0	7.2	58	38.9	6.9	89	37.1	7.1	11	21.2	7.3	2	25.0	7.1
6	7.2	12.0	18	12.1	11.2	22	9.2	11.2	6	11.5	11.0	2	25.0	11.0
2	2.4		6	4.0		8	3.3		0	0.0		0	0.0	
1	1.2		1	0.7	22.5	6	2.5		3	5.8	21.3	0	0.0	
0	0.0		2	1.3		3	1.3		0	0.0		0	0.0	
1	1.2		0	0.0		1	0.4		0	0.0		0	0.0	
0	0.0		0	0.0		1	0.4		0	0.0		0	0.0	
1	1.2		0	0.0	#DIV/0!	1	0.4		0	0.0		0	0.0	
83	100.0	6.9	149	100.0	6.6	240	100.0	6.9	52	100.0	5.8	8	100.0	5.4



北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
34	81.0	—	52	83.9	—	13	81.3	—	43	91.5	—	147	91.3	—
4	9.5	—	14	22.6	—	2	12.5	—	7	14.9	—	24	14.9	—
8	19.0	—	2	3.2	—	0	0.0	—	3	6.4	—	11	6.8	—
14	33.3	—	11	17.7	—	3	18.8	—	16	34.0	—	47	29.2	—
29	69.0	—	45	72.6	—	11	68.8	—	39	83.0	—	127	78.9	—
2	4.8	—	1	1.6	—	1	6.3	—	2	4.3	—	10	6.2	—
8	19.0	—	11	17.7	—	1	6.3	—	14	29.8	—	30	18.6	—
10	23.8	—	17	27.4	—	3	18.8	—	8	17.0	—	53	32.9	—
17	40.5	—	27	43.5	—	6	37.5	—	24	51.1	—	80	49.7	—
3	7.1	—	0	0.0	—	0	0.0	—	3	6.4	—	9	5.6	—
20	47.6	—	19	30.6	—	5	31.3	—	16	34.0	—	62	38.5	—
1	2.4	—	0	0.0	—	1	6.3	—	0	0.0	—	1	0.6	—
8	19.0	—	10	16.1	—	3	18.8	—	4	8.5	—	14	8.7	—
42	100.0	—	62	100.0	—	16	100.0	—	47	100.0	—	161	100.0	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
1	2.5	—	1	1.7	—	1	7.1	—	1	2.1	—	7	4.4	—
39	97.5	—	57	95.0	—	12	85.7	—	44	93.6	—	144	91.1	—
0	0.0	—	1	1.7	—	1	7.1	—	1	2.1	—	7	4.4	—
0	0.0	—	1	1.7	—	0	0.0	—	2	4.3	—	0	0.0	—
40	100.0	—	60	100.0	—	14	100.0	—	48	102.1	—	158	100.0	—
40	—	—	60	—	—	14	—	—	47	—	—	158	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
9	22.5	—	14	23.3	—	3	21.4	—	13	27.7	—	64	41.0	—
15	37.5	—	19	31.7	—	7	50.0	—	16	34.0	—	32	20.5	—
6	15.0	—	14	23.3	—	1	7.1	—	5	10.6	—	24	15.4	—
10	25.0	—	13	21.7	—	3	21.4	—	13	27.7	—	36	23.1	—
40	100.0	—	60	100.0	—	14	100.0	—	47	100.0	—	156	100.0	—
40	—	—	60	—	—	14	—	—	47	—	—	156	—	—
9	22.5	—	14	23.3	—	3	21.4	—	13	27.7	—	64	41.0	—
31	77.5	—	46	76.7	—	11	78.6	—	34	72.3	—	92	59.0	—
40	100.0	—	60	100.0	—	14	100.0	—	47	100.0	—	156	100.0	—

50頭以上100頭未満			100頭以上200頭未満			200頭以上500頭未満			500頭以上1000頭未満			1000頭以上		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
73	50.3	—	64	40.0	—	16	8.7	—	7	9.7	—	1	1.5	—
44	30.3	—	48	30.0	—	64	34.8	—	17	23.6	—	5	7.7	—
17	11.7	—	22	13.8	—	46	25.0	—	17	23.6	—	18	27.7	—
11	7.6	—	26	16.3	—	58	31.5	—	31	43.1	—	41	63.1	—
145	100.0	—	160	100.0	—	184	100.0	—	72	100.0	—	65	100.0	—
145	—	—	160	—	—	184	—	—	72	—	—	65	—	—
73	50.3	—	64	40.0	—	16	8.7	—	7	9.7	—	1	1.5	—
72	49.7	—	96	60.0	—	168	91.3	—	65	90.3	—	64	98.5	—
145	100.0	—	160	100.0	—	184	100.0	—	72	100.0	—	65	100.0	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
19	48.7	64.1	30	50.8	67.6	8	57.1	78.1	24	52.2	81.9	88	58.7	82.1
20	51.3	69.1	31	52.5	58.7	6	42.9	66.7	20	43.5	53.1	50	33.3	60.6
21	53.8	62.0	32	54.2	64.1	7	50.0	53.6	21	45.7	74.8	66	44.0	71.8
60	153.8	—	93	157.6	—	21	150.0	—	65	141.3	—	204	136.0	—
39	—	—	59	—	—	14	—	—	46	—	—	150	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
5	16.7	—	4	8.7	—	1	10.0	—	11	31.4	—	30	31.6	—
21	70.0	—	39	84.8	—	7	70.0	—	17	48.6	—	42	44.2	—
4	13.3	—	3	6.5	—	2	20.0	—	7	20.0	—	23	24.2	—
30	100.0	—	46	100.0	—	10	100.0	—	35	100.0	—	95	100.0	—
30	—	—	46	—	—	10	—	—	35	—	—	95	—	—

肥育経営		
回答数	割合	
0	0.0	—
1	100.0	—
0	0.0	—
1	100.0	—
1	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	生産総本数	容量平均	回答数	生産総本数	容量平均	回答数	生産総本数	容量平均	回答数	生産総本数	容量平均	回答数	生産総本数	容量平均
10	22,734	—	6	14,104	—	3	29,960	—	17	65,877	—	41	171,099	—
11	—	130.0	7	—	90.7	3	—	90.0	17	—	92.5	45	—	90.0
20	24,143	—	37	69,793	—	7	32,014	—	20	11,610	—	44	53,326	—
19	—	67.4	33	—	78.2	6	—	71.7	18	—	90.9	38	—	78.2
30	—	—	43	—	—	10	—	—	37	—	—	85	—	—
27	—	—	42	—	—	8	—	—	33	—	—	77	—	—

肥育経営		
回答数	生産総本数	容量平均
0	0	—
0	—	#DIV/0!
0	0	—
0	—	#DIV/0!
0	—	—
0	—	—

5 人工授精の今後の意向を伺います（アからオの中から1つだけ○）

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
ア 人工授精を今後も実施する（A～C ○は1つ）	513	77.0	—	133	80.1	—	165	74.3	—
A人工授精の割合を増やしたい	125	—	24.7	35	—	26.3	42	—	26.1
B人工授精の割合を維持したい	376	—	74.3	97	—	72.9	119	—	73.9
C人工授精の割合を縮小したい	5	—	1.0	1	—	0.8	0	—	0.0
小計	506	—	100.0	133	—	100.0	161	—	100.0
イ 人工授精を止めたい	3	0.5	—	1	0.6	—	2	0.9	—
ウ 人工授精を直ぐに導入する予定（導入したい）	4	0.6	—	0	0.0	—	2	0.9	—
エ 人工授精の導入を今後検討してみたい	53	8.0	—	18	10.8	—	19	8.6	—
オ 今後も人工授精の導入は考えていない	93	14.0	—	14	8.4	—	34	15.3	—
合計	666	100.0	—	166	100.0	—	222	100.0	—
回答農場数	666	—	—	166	—	—	222	—	—

5 人工授精の今後の意向を伺います（アからオの中から1つだけ○）

	全体			一貫経営			繁殖経営		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
ア 人工授精を今後も実施する（A～C ○は1つ）	510	76.9	—	487	77.1	—	22	73.3	—
A人工授精の割合を増やしたい	124	—	24.6	115	—	23.9	8	—	36.4
B人工授精の割合を維持したい	375	—	74.4	361	—	75.1	14	—	63.6
C人工授精の割合を縮小したい	5	—	1.0	5	—	1.0	0	—	0.0
小計	504	—	100.0	481	—	100.0	22	—	100.0
イ 人工授精を止めたい	3	0.5	—	3	0.5	—	0	0.0	—
ウ 人工授精を直ぐに導入する予定（導入したい）	4	0.6	—	4	0.6	—	0	0.0	—
エ 人工授精の導入を今後検討してみたい	53	8.0	—	49	7.8	—	4	13.3	—
オ 今後も人工授精の導入は考えていない	93	14.0	—	89	14.1	—	4	13.3	—
合計	663	100.0	—	632	100.0	—	30	100.0	—
回答農場数	663	—	—	632	—	—	30	—	—

VII 給与飼料

1 飼料給与体系

	全体			北海道・東北			関東		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
ア 市販配合飼料のみ（配合割合等を指定してメーカーに配合させたものを含む）	639	78.2	—	172	86.0	—	221	79.8	—
イ 市販配合飼料＋自家配合飼料	133	16.3	—	22	11.0	—	44	15.9	—
ウ 自家配合飼料のみ（単味飼料等（エコフィードを含む。）の原料を調達して自ら配合・調整したもの）	45	5.5	—	6	3.0	—	12	4.3	—
合計	817	100.0	—	200	100.0	—	277	100.0	—
回答経営体数	817	—	—	200	—	—	277	—	—

2 年間使用量

	全体			北海道・東北			関東		
	合計数量(千t)	数量割合	平均数量(t)	合計数量(千t)	数量割合	平均数量(t)	合計数量(千t)	数量割合	平均数量(t)
ア 配合飼料	t 2,069	87.2	2877	625	94.3	3510	661	83.5	2765
イ 飼料用米	t 26	1.1	238	13	2.0	482	4	0.5	141
ウ エコフィード	t 245	10.3	2079	19	2.9	1280	119	15.0	3132
割合	% 55	—	37	8	—	24	15	—	36
食品残さの加工を行っている場合、食品残さ受け入れ数量	t 129	5.5	3315	7	1.1	1823	77	9.7	6965
エ その他	t 31	1.3	629	6	0.8	561	7	0.9	531
合計	2,372	100.0	3176	663	100.0	3660	792	100.0	3284
回答経営体数	747	—	—	181	—	—	241	—	—

3 飼料用米の今後の利用意向について、○印を1つ記入するとともに年間使用量（予定を含む。）を記入してください。

	全体			北海道・東北			関東		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
① 飼料用米の利用を継続したい	89	35.3	—	18	29.5	—	23	31.1	—
年○○程度	t 75	29.8	269.2	17	27.9	440.1	19	25.7	142.0
② 飼料用米の利用を拡大したい	33	13.1	—	14	23.0	—	9	12.2	—
年○○程度	t 31	12.3	603.5	11	18.0	1039.1	9	12.2	331.6
③ 新たに飼料用米の使用を始めたい	121	48.0	—	29	47.5	—	39	52.7	—
年○○程度	t 82	32.5	340.6	24	39.3	460.4	19	25.7	303.3
④ 飼料用米の使用割合を減らしたい	3	1.2	—	0	0.0	—	2	2.7	—
年○○程度	t 1	0.4	10.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0
⑤ 飼料用米の使用を中止したい	6	2.4	—	0	0.0	—	1	1.4	—
合計	252	100.0	1.0	61	100.0	—	74	100.0	—
回答経営体数	252	—	—	61	—	—	74	—	—

4 エコフィード利用の有無と今後の意向

(1) 利用の有無

	全体			北海道・東北			関東		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
① 利用あり	162	21.5	—	22	11.5	—	52	21.3	—
② 利用なし	591	78.5	—	170	88.5	—	192	78.7	—
合計	753	100.0	—	192	100.0	—	244	100.0	—
回答経営体数 (①～②)	753	—	—	192	—	—	244	—	—

(2) 今後の意向

	全体			北海道・東北			関東		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
① 現在、利用を検討中	25	4.0	—	5	2.9	—	6	3.0	—
年間利用予定数量	t 13	2.1	705.4	3	1.7	253.7	0	0.0	753.0
② 今後利用してみたい	72	11.7	—	15	8.7	—	20	10.1	—
③ 利用予定なし	521	84.3	—	152	88.4	—	173	86.9	—
合計	618	100.0	—	172	100.0	—	199	100.0	—
回答農場数 (①～③)	618	—	—	172	—	—	199	—	—

VII 経営の推移と今後の意向

1 飼養頭数の推移

ア 前年8月1日と比較して

a 繁殖豚頭数

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計
A増やした	89	12.1	3,438	21	11.6	727	23	9.0	1,161
B変えていない	552	74.9	—	144	79.6	—	202	79.2	—
C減らした	96	13.0	2,854	16	8.8	696	30	11.8	930
合計	737	100.0	—	181	100.0	—	255	100.0	—
回答経営体数	737	—	—	181	—	—	255	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
32	86.5	—	46	79.3	—	11	100.0	—	35	79.5	—	91	71.1	—
4	—	12.5	9	—	19.6	3	—	27.3	5	—	14.3	27	—	30.7
27	—	84.4	36	—	78.3	7	—	63.6	30	—	85.7	60	—	68.2
1	—	3.1	1	—	2.2	1	—	9.1	0	—	0.0	1	—	1.1
32	—	100.0	46	—	100.0	11	—	100.0	35	—	100.0	88	—	100.0
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	1	2.3	—	1	0.8	—
2	5.4	—	2	3.4	—	0	0.0	—	3	6.8	—	9	7.0	—
3	8.1	—	10	17.2	—	0	0.0	—	5	11.4	—	27	21.1	—
37	100.0	—	58	100.0	—	11	100.0	—	44	100.0	—	128	100.0	—
37	—	—	58	—	—	11	—	—	44	—	—	128	—	—

肥青経営		
回答数	割合	
1	100.0	—
1	—	100.0
0	—	0.0
0	—	0.0
1	—	100.0
0	0.0	—
0	0.0	—
0	0.0	—
0	0.0	—
1	100.0	—
1	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
31	73.8	—	44	69.8	—	7	36.8	—	35	71.4	—	129	77.2	—
10	23.8	—	15	23.8	—	10	52.6	—	11	22.4	—	21	12.6	—
1	2.4	—	4	6.3	—	2	10.5	—	3	6.1	—	17	10.2	—
42	100.0	—	63	100.0	—	19	100.0	—	49	100.0	—	167	100.0	—
42	—	—	63	—	—	19	—	—	49	—	—	167	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
合計数量(千t)	数量割合	平均数量(t)	合計数量(千t)	数量割合	平均数量(t)	合計数量(千t)	数量割合	平均数量(t)	合計数量(千t)	数量割合	平均数量(t)	合計数量(千t)	数量割合	平均数量(t)
79	66.6	2139	120	75.7	2038	18	54.0	1106	156	93.7	3459	410	92.9	2830
2	1.6	98	2	1.0	146	0	0.1	9	2	1.5	275	3	0.7	310
38	31.7	3424	37	23.3	3080	6	17.2	513	6	3.4	562	21	4.8	1010
7	—	26	6	—	73	5	—	63	6	—	31	8	—	22
15	12.8	3804	26	16.2	3678	1	2.9	477	2	1.0	397	2	0.4	269
0	0.0	—	0	0.1	70	9	28.6	1875	2	1.4	458	7	1.5	473
119	100.0	2827	159	100.0	2564	33	100.0	1723	166	100.0	3533	442	100.0	2850
42	—	—	62	—	—	19	—	—	47	—	—	155	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
17	63.0	—	10	40.0	—	3	37.5	—	9	47.4	—	9	23.7	—
16	59.3	229.9	9	36.0	164.9	0	0.0	#DIV/0!	8	42.1	300.5	6	15.8	407.4
3	11.1	—	1	4.0	—	2	25.0	—	1	5.3	—	3	7.9	—
3	11.1	240.0	2	8.0	90.0	2	25.0	16.5	1	5.3	360.0	3	7.9	1000.0
6	22.2	—	13	52.0	—	2	25.0	—	7	36.8	—	25	65.8	—
6	22.2	269.2	8	32.0	295.6	1	12.5	1.0	6	31.6	92.5	18	47.4	365.6
0	0.0	—	0	0.0	—	1	12.5	—	0	0.0	—	0	0.0	—
0	0.0	#DIV/0!	0	0.0	#DIV/0!	1	12.5	10.0	0	0.0	#DIV/0!	0	0.0	#DIV/0!
1	3.7	—	1	4.0	—	0	0.0	—	2	10.5	—	1	2.6	—
27	100.0	—	25	100.0	—	8	100.0	—	19	100.0	—	38	100.0	—
27	—	—	25	—	—	8	—	—	19	—	—	38	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
13	34.2	—	15	25.4	—	13	81.3	—	14	29.2	—	33	21.2	—
25	65.8	—	44	74.6	—	3	18.8	—	34	70.8	—	123	78.8	—
38	100.0	—	59	100.0	—	16	100.0	—	48	100.0	—	156	100.0	—
38	—	—	59	—	—	16	—	—	48	—	—	156	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
1	3.6	—	5	10.6	—	1	14.3	—	4	10.0	—	3	2.4	—
1	3.6	150.0	2	4.3	4,350.0	1	14.3	15.0	3	7.5	403.0	3	2.4	202.2
3	10.7	—	3	6.4	—	0	0.0	—	9	22.5	—	22	17.6	—
24	85.7	—	39	83.0	—	6	85.7	—	27	67.5	—	100	80.0	—
28	100.0	—	47	100.0	—	7	100.0	—	40	100.0	—	125	100.0	—
28	—	—	47	—	—	7	—	—	40	—	—	125	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計
5	13.5	245	10	16.9	373	2	16.7	24	6	13.0	68	22	15.0	840
25	67.6	—	37	62.7	—	8	66.7	—	31	67.4	—	105	71.4	—
7	18.9	260	12	20.3	324	2	16.7	1	9	19.6	138	20	13.6	505
37	100.0	—	59	100.0	—	12	100.0	—	46	100.0	—	147	100.0	—
37	—	—	59	—	—	12	—	—	46	—	—	147	—	—

頭数を増やした理由は（〇は2つ以内）・・・繁殖豚頭数

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合	←	回答数	割合	←	回答数	割合	←
A計画していた豚舎が完成したので増頭した	20	24.7	—	6	35.3	—	4	17.4	—
B後継者が経営に参加したので増頭した	12	14.8	—	2	11.8	—	5	21.7	—
C1頭当たりの収益性が低下したので収入を守るために増頭した	20	24.7	—	5	29.4	—	7	30.4	—
D委託、預託の農場を増やした	1	1.2	—	0	0.0	—	0	0.0	—
E出荷元から増頭の要請があった	7	8.6	—	0	0.0	—	1	4.3	—
F養豚生産者が減少しているのを将来備かりそうなので増頭した	2	2.5	—	0	0.0	—	1	4.3	—
G事情により生産を縮小していたのを元に戻した	15	18.5	—	3	17.6	—	7	30.4	—
Hその他	13	16.0	—	3	17.6	—	1	4.3	—
合 計	90	111.1	—	19	111.8	—	26	113.0	—
回答経営体数	81	—	—	17	—	—	23	—	—

減らした理由（〇は2つ以内）・・・繁殖豚頭数

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合	←	回答数	割合	←	回答数	割合	←
A疾病対策で豚を入れ替えるため	11	12.4	—	1	6.3	—	4	14.3	—
B生産資材（飼料、光熱水料、薬品費等）の高騰で儲からないから	2	2.2	—	0	0.0	—	0	0.0	—
C高齢化で労働が厳しくなったから	23	25.8	—	5	31.3	—	9	32.1	—
D労働力が確保できなくなったから	14	15.7	—	1	6.3	—	3	10.7	—
E委託、預託農場となるため	1	1.1	—	0	0.0	—	0	0.0	—
F廃業するため	7	7.9	—	3	18.8	—	2	7.1	—
G飼養システム・経営形態の変更	4	4.5	—	1	6.3	—	0	0.0	—
H環境対策	4	4.5	—	2	12.5	—	1	3.6	—
Iその他	32	36.0	—	6	37.5	—	10	35.7	—
合 計	98	110.1	—	19	118.8	—	29	103.6	—
回答経営体数	89	—	—	16	—	—	28	—	—

肥育豚頭数

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計
A増やした	104	13.9	52,865	27	14.5	10,479	26	10.2	13,096
B変更していない	559	74.9	—	147	79.0	—	205	80.4	—
C減らした	83	11.1	14,453	12	6.5	2,652	24	9.4	3,512
合 計	746	100.0	—	186	100.0	—	255	100.0	—
回答経営体数	746	—	—	186	—	—	255	—	—

頭数を増やした理由は（〇は2つ以内）・・・肥育豚

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合	←	回答数	割合	←	回答数	割合	←
A計画していた豚舎が完成したので増頭した	24	21.8	—	8	27.6	—	3	10.3	—
B後継者が経営に参加したので増頭した	14	12.7	—	3	10.3	—	6	20.7	—
C1頭当たりの収益性が低下したので収入を守るために増頭した	40	36.4	—	13	44.8	—	7	24.1	—
D委託、預託の農場を増やした	8	7.3	—	0	0.0	—	3	10.3	—
E出荷元から増頭の要請があった	5	4.5	—	1	3.4	—	2	6.9	—
F養豚生産者が減少しているのを将来備かりそうなので増頭した	3	2.7	—	1	3.4	—	1	3.4	—
G事情により生産を縮小していたのを元に戻した	18	16.4	—	4	13.8	—	8	27.6	—
Hその他	14	12.7	—	4	13.8	—	2	6.9	—
合 計	126	114.5	—	34	117.2	—	32	110.3	—
回答経営体数	110	—	—	29	—	—	29	—	—

減らした理由（〇は2つ以内）・・・肥育豚

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合	←	回答数	割合	←	回答数	割合	←
A疾病対策で豚を入れ替えるため	6	7.5	—	0	0.0	—	2	9.1	—
B生産資材（飼料、光熱水料、薬品費等）の高騰で儲からないから	3	3.8	—	0	0.0	—	0	0.0	—
C高齢化で労働が厳しくなったから	25	31.3	—	4	33.3	—	8	36.4	—
D労働力が確保できなくなったから	11	13.8	—	1	8.3	—	3	13.6	—
E委託、預託農場となるため	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
F廃業するため	8	10.0	—	1	8.3	—	4	18.2	—
G飼養システム・経営形態の変更	5	6.3	—	0	0.0	—	1	4.5	—
H環境対策	6	7.5	—	0	0.0	—	1	4.5	—
Iその他	29	36.3	—	7	58.3	—	8	36.4	—
合 計	93	116.3	—	13	108.3	—	27	122.7	—
回答経営体数	80	—	—	12	—	—	22	—	—

2 養豚経営の今後の意向（アからウの中から〇は1つだけ）

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合	←	回答数	割合	←	回答数	割合	←
A 経営を拡大する（A～C 〇は1つ）	243	30.0	—	69	35.2	—	75	27.8	—
今年中に規模拡大する計画がある	33	13.3	—	12	17.4	—	6	7.9	—
3年以内に規模拡大する計画がある	86	34.7	—	27	39.1	—	25	32.9	—
今後規模拡大を検討したい	129	52.0	—	30	43.5	—	45	59.2	—
ア 小 計	248	100.0	—	69	100.0	—	76	100.0	—
I 現状維持	476	58.8	—	106	54.1	—	165	61.1	—
ウ 経営を縮小（A～E 〇は1つ）	91	11.2	—	21	10.7	—	30	11.1	—
A今年中に縮小する計画がある	8	8.2	—	2	8.7	—	3	10.0	—
B3年以内に縮小する計画がある	14	14.3	—	4	17.4	—	3	10.0	—
C今後縮小を検討したい	24	24.5	—	2	8.7	—	8	26.7	—
D今年中に廃業する計画がある（a～f 〇は1つ）	5	5.1	—	2	8.7	—	0	0.0	—
E近く廃業したいと考えている（a～f 〇は1つ）	47	48.0	—	13	56.5	—	16	53.3	—
a 後継者がいないため	33	63.5	—	9	60.0	—	11	68.8	—
b 労働力が確保できないため	8	15.4	—	3	20.0	—	2	12.5	—
c 環境問題のため	3	5.8	—	0	0.0	—	1	6.3	—
d 負債があるため	1	1.9	—	0	0.0	—	1	6.3	—
e 生産資材（飼料等）の高騰で儲からないから	3	5.8	—	1	6.7	—	0	0.0	—
f その他	13	25.0	—	3	20.0	—	6	37.5	—
DE 小 計	52	100.0	—	15	100.0	—	16	100.0	—
ウ 小 計	98	100.0	—	23	100.0	—	30	100.0	—
合 計	810	100.0	—	196	100.0	—	270	100.0	—
回答経営体数	810	—	—	196	—	—	270	—	—



北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
3	50.0	—	3	37.5	—	0	0.0	—	2	40.0	—	2	10.0	—
0	0.0	—	1	12.5	—	1	50.0	—	0	0.0	—	3	15.0	—
0	0.0	—	2	25.0	—	1	50.0	—	0	0.0	—	5	25.0	—
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	1	20.0	—	0	0.0	—
0	0.0	—	1	12.5	—	0	0.0	—	1	20.0	—	4	20.0	—
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	1	5.0	—
2	33.3	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	3	15.0	—
1	16.7	—	3	37.5	—	1	50.0	—	2	40.0	—	2	10.0	—
6	100.0	—	10	125.0	—	3	150.0	—	6	120.0	—	20	100.0	—
6	—	—	8	—	—	2	—	—	5	—	—	20	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
0	0.0	—	1	8.3	—	1	100.0	—	0	0.0	—	4	23.5	—
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	1	12.5	—	1	5.9	—
0	0.0	—	4	33.3	—	0	0.0	—	1	12.5	—	4	23.5	—
0	0.0	—	4	33.3	—	0	0.0	—	2	25.0	—	4	23.5	—
1	14.3	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
1	14.3	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	1	5.9	—
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	3	17.6	—
0	0.0	—	1	8.3	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
5	71.4	—	3	25.0	—	0	0.0	—	4	50.0	—	4	23.5	—
7	100.0	—	13	108.3	—	1	100.0	—	8	100.0	—	21	123.5	—
7	—	—	12	—	—	1	—	—	8	—	—	17	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計	回答数	割合	頭数合計
6	15.4	1,250	11	17.7	8,406	2	11.8	500	9	18.8	1,534	23	16.5	17,600
28	71.8	—	35	56.5	—	14	82.4	—	31	64.6	—	99	71.2	—
5	12.8	780	16	25.8	2,472	1	5.9	0	8	16.7	2,444	17	12.2	2,593
39	100.0	—	62	100.0	—	17	100.0	—	48	100.0	—	139	100.0	—
39	—	—	62	—	—	17	—	—	48	—	—	139	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
2	28.6	—	4	44.4	—	0	0.0	—	2	20.0	—	5	22.7	—
0	0.0	—	1	11.1	—	1	25.0	—	0	0.0	—	3	13.6	—
2	28.6	—	5	55.6	—	1	25.0	—	4	40.0	—	8	36.4	—
1	14.3	—	0	0.0	—	0	0.0	—	1	10.0	—	3	13.6	—
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	1	10.0	—	1	4.5	—
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	1	4.5	—
3	42.9	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	3	13.6	—
0	0.0	—	1	11.1	—	2	50.0	—	3	30.0	—	2	9.1	—
8	114.3	—	11	122.2	—	4	100.0	—	11	110.0	—	26	118.2	—
7	—	—	9	—	—	4	—	—	10	—	—	22	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
0	0.0	—	1	5.9	—	0	0.0	—	0	0.0	—	3	18.8	—
0	0.0	—	1	5.9	—	0	0.0	—	2	28.6	—	0	0.0	—
0	0.0	—	5	29.4	—	0	0.0	—	3	42.9	—	5	31.3	—
1	20.0	—	4	23.5	—	0	0.0	—	1	14.3	—	1	6.3	—
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
1	20.0	—	0	0.0	—	1	100.0	—	0	0.0	—	1	6.3	—
0	0.0	—	1	5.9	—	0	0.0	—	0	0.0	—	3	18.8	—
1	20.0	—	3	17.6	—	0	0.0	—	0	0.0	—	1	6.3	—
3	60.0	—	7	41.2	—	0	0.0	—	2	28.6	—	2	12.5	—
6	120.0	—	22	129.4	—	1	100.0	—	8	114.3	—	16	100.0	—
5	—	—	17	—	—	1	—	—	7	—	—	16	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
14	33.3	—	16	25.4	—	2	10.5	—	16	32.7	—	51	29.8	—
4	28.6	—	3	17.6	—	0	0.0	—	2	12.5	—	6	11.1	—
4	28.6	—	5	29.4	—	1	50.0	—	7	43.8	—	17	31.5	—
6	42.9	—	9	52.9	—	1	50.0	—	7	43.8	—	31	57.4	—
14	100.0	—	17	100.0	—	2	100.0	—	16	100.0	—	54	100.0	—
26	61.9	—	36	57.1	—	15	78.9	—	29	59.2	—	99	57.9	—
2	4.8	—	11	17.5	—	2	10.5	—	4	8.2	—	21	12.3	—
0	0.0	—	1	8.3	—	1	20.0	—	0	0.0	—	1	4.5	—
0	0.0	—	1	8.3	—	1	20.0	—	2	40.0	—	3	13.6	—
0	0.0	—	5	41.7	—	0	0.0	—	1	20.0	—	8	36.4	—
0	0.0	—	1	8.3	—	1	20.0	—	0	0.0	—	1	4.5	—
1	100.0	—	4	33.3	—	2	40.0	—	2	40.0	—	9	40.9	—
1	100.0	—	4	80.0	—	0	0.0	—	1	50.0	—	7	70.0	—
0	0.0	—	1	20.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	2	20.0	—
0	0.0	—	1	20.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	1	10.0	—
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
0	0.0	—	0	0.0	—	1	33.3	—	1	50.0	—	0	0.0	—
1	100.0	—	0	0.0	—	1	33.3	—	0	0.0	—	2	20.0	—
1	100.0	—	5	100.0	—	3	100.0	—	2	100.0	—	10	100.0	—
1	100.0	—	12	100.0	—	5	100.0	—	5	100.0	—	22	100.0	—
42	100.0	—	63	100.0	—	19	100.0	—	49	100.0	—	171	100.0	—
42	—	—	63	—	—	19	—	—	49	—	—	171	—	—

2 養豚経営の今後の意向（アからウの中から○は1つだけ）

	全体			20代			30代		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
ア 経営を拡大する（A～C ○は1つ）	227	30.8		2	50.0		24	46.2	
今年中に規模拡大する計画がある	32	13.8		0	0.0		4	16.0	
3年以内に規模拡大する計画がある	83	35.8		1	50.0		9	36.0	
今後規模拡大を検討したい	117	50.4		1	50.0		12	48.0	
ア 小 計	232	100.0		2	100.0		25	100.0	
イ 現状維持	420	57.1		2	50.0		25	48.1	
ウ 経営を縮小（A～E ○は1つ）	89	12.1		0	0.0		3	5.8	
A今年中に縮小する計画がある	8	8.3		0	#DIV/0!		0	0.0	
B3年以内に縮小する計画がある	14	14.6		0	#DIV/0!		1	50.0	
C今後縮小を検討したい	24	25.0		0	#DIV/0!		0	0.0	
D今年中に廃業する計画がある（a～f ○は1つ）	5	5.2		0	#DIV/0!		0	0.0	
E近く廃業したいと考えている（a～f ○は1つ）	45	46.9		0	#DIV/0!		1	50.0	
a 後継者がいないため	32	64.0		0	#DIV/0!		0	0.0	
b 労働力が確保できないため	7	14.0		0	#DIV/0!		0	0.0	
c 環境問題のため	3	6.0		0	#DIV/0!		0	0.0	
d 負債があるため	1	2.0		0	#DIV/0!		0	0.0	
e 生産資材（飼料等）の高騰で儲からないから	3	6.0		0	#DIV/0!		0	0.0	
f その他	13	26.0		0	#DIV/0!		2	200.0	
DE 小 計	50	100.0		0	#DIV/0!		1	100.0	
ウ 小 計	96	100.0		0	#DIV/0!		2	100.0	
合計	736	100.0		4	100.0		52	100.0	
回答経営体数	736			4			52		

XIV 衛生レベル

現在取り組んでいる防疫対策について

1 農場における人の入退場について（アからクの中から○はいくつでも）

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
ア 衛生管理地区であることをしめす看板等の設置	646	78.6		163	81.9		212	76.5	
イ シャワーイン・シャワーアウトの実施	206	25.1		85	42.7		44	15.9	
ウ 農場専用の衣服への交換	503	61.2		149	74.9		159	57.4	
エ 農場専用の履物への交換	631	76.8		164	82.4		214	77.3	
オ 豚舎専用の衣服への交換	270	32.8		92	46.2		80	28.9	
カ 豚舎専用の履物への交換	434	52.8		126	63.3		131	47.3	
キ 農場専用の踏み込み消毒槽の設置	570	69.3		146	73.4		179	64.6	
ク 豚舎専用の踏み込み消毒槽の設置	608	74.0		171	85.9		194	70.0	
ケ 来場者名簿の設置	432	52.6		116	58.3		105	37.9	
コ 防疫上問題となる場所からの一定期間の入場制限	392	47.7		111	55.8		120	43.3	
サ 何も対策していない	15	1.8		3	1.5		6	2.2	
合計	4,707	572.6		1,326	666.3		1,444	521.3	
回答経営体数	822			199			277		

1 農場における人の入退場について（アからクの中から○はいくつでも）

	全体			個人経営			農事組合法人		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
ア 衛生管理地区であることをしめす看板等の設置	646	78.6		257	71.4		38	88.4	
イ シャワーイン・シャワーアウトの実施	206	25.1		26	7.2		13	30.2	
ウ 農場専用の衣服への交換	503	61.2		151	41.9		34	79.1	
エ 農場専用の履物への交換	631	76.8		231	64.2		37	86.0	
オ 豚舎専用の衣服への交換	270	32.8		82	22.8		22	51.2	
カ 豚舎専用の履物への交換	434	52.8		126	35.0		32	74.4	
キ 農場専用の踏み込み消毒槽の設置	570	69.3		218	60.6		35	81.4	
ク 豚舎専用の踏み込み消毒槽の設置	608	74.0		221	61.4		34	79.1	
ケ 来場者名簿の設置	432	52.6		125	34.7		33	76.7	
コ 防疫上問題となる場所からの一定期間の入場制限	392	47.7		102	28.3		32	74.4	
サ 何も対策していない	15	1.8		11	3.1		0	0.0	
合計	4,707	572.6		1,550	430.6		310	720.9	
回答経営体数	822			360			43		

2 豚の導入時の対応について（○は1つだけ）

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
ア 農場から離れた隔離検査施設で一定期間の隔離検査を実施している	79	10.0	15.7	24	12.5	18.3	17	6.5	11.1
イ 農場内の隔離検査施設で一定期間の隔離検査を実施している	223	28.2	44.4	58	30.2	44.3	70	26.6	45.8
ウ 豚舎内の離れた豚房で一定期間隔離検査を実施している	200	25.3	39.8	49	25.5	37.4	66	25.1	43.1
エ 隔離検査は特に実施していない	268	33.8		56	29.2		99	37.6	
オ 外部からの生体導入は一切していない	68	8.6		21	10.9		21	8.0	
合計	838	105.8		208	108.3		273	103.8	
回答経営体数	792			192			263		

2 豚の導入時の対応について（○は1つだけ）

	全国			1頭以上20頭未満			20頭以上50頭未満		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
ア 農場から離れた隔離検査施設で一定期間の隔離検査を実施している	75	10.1		3	7.0		7	8.1	
イ 農場内の隔離検査施設で一定期間の隔離検査を実施している	218	29.5		5	11.6		15	17.4	
ウ 豚舎内の離れた豚房で一定期間隔離検査を実施している	194	26.2		10	23.3		23	26.7	
エ 隔離検査は特に実施していない	236	31.9		18	41.9		42	48.8	
オ 外部からの生体導入は一切していない	62	8.4		10	23.3		3	3.5	
合計	785	106.1		46	107.0		90	104.7	
回答経営体数	740			43			86		

2 豚の導入時の対応について（○は1つだけ）

	全体			個人経営			農事組合法人		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
ア 農場から離れた隔離検査施設で一定期間の隔離検査を実施している	79	10.0		22	6.5		4	9.8	
イ 農場内の隔離検査施設で一定期間の隔離検査を実施している	223	28.2		47	13.8		19	46.3	
ウ 豚舎内の離れた豚房で一定期間隔離検査を実施している	200	25.3		96	28.2		11	26.8	
エ 隔離検査は特に実施していない	268	33.8		159	46.6		11	26.8	
オ 外部からの生体導入は一切していない	68	8.6		26	7.6		3	7.3	
合計	838	105.8		350	102.6		48	117.1	
回答経営体数	792			341			41		

40代			50代			60代			70代			80歳以上		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
48	48.5		58	32.6		74	23.9		18	23.4		3	17.6	
10	20.4		9	15.0		6	8.0		3	16.7		0	0.0	
18	36.7		20	33.3		25	33.3		9	50.0		1	33.3	
21	42.9		31	51.7		44	58.7		6	33.3		2	66.7	
49	100.0		60	100.0		75	100.0		18	100.0		3	100.0	
48	48.5		109	61.2		179	57.9		46	59.7		11	64.7	
3	3.0		11	6.2		56	18.1		13	16.9		3	17.6	
0	0.0		0	0.0		4	6.9		4	25.0		0	0.0	
0	0.0		3	21.4		7	12.1		3	18.8		0	0.0	
1	33.3		3	21.4		16	27.6		2	12.5		2	66.7	
1	33.3		0	0.0		2	3.4		2	12.5		0	0.0	
1	33.3		8	57.1		29	50.0		5	31.3		1	33.3	
0	0.0		4	50.0		25	80.6		3	42.9		0	0.0	
0	0.0		1	12.5		4	12.9		2	28.6		0	0.0	
1	50.0		0	0.0		1	3.2		0	0.0		1	100.0	
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		1	100.0	
0	0.0		1	12.5		1	3.2		1	14.3		0	0.0	
0	0.0		2	25.0		7	22.6		2	28.6		0	0.0	
2	100.0		8	100.0		31	100.0		7	100.0		1	100.0	
3	100.0		14	100.0		58	100.0		16	100.0		3	100.0	
99	100.0	—	178	100.0	—	309	100.0	—	77	100.0	—	17	100.0	—
99	—	—	178	—	—	309	—	—	77	—	—	17	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
33	78.6	—	53	85.5	—	14	73.7	—	38	77.6	—	133	76.4	—
7	16.7	—	18	29.0	—	1	5.3	—	13	26.5	—	38	21.8	—
25	59.5	—	46	74.2	—	6	31.6	—	26	53.1	—	92	52.9	—
30	71.4	—	49	79.0	—	12	63.2	—	38	77.6	—	124	71.3	—
18	42.9	—	18	29.0	—	2	10.5	—	16	32.7	—	44	25.3	—
26	61.9	—	28	45.2	—	7	36.8	—	23	46.9	—	93	53.4	—
33	78.6	—	49	79.0	—	11	57.9	—	29	59.2	—	123	70.7	—
31	73.8	—	37	59.7	—	12	63.2	—	34	69.4	—	129	74.1	—
28	66.7	—	51	82.3	—	10	52.6	—	33	67.3	—	89	51.1	—
20	47.6	—	32	51.6	—	9	47.4	—	28	57.1	—	72	41.4	—
1	2.4	—	0	0.0	—	3	15.8	—	1	2.0	—	1	0.6	—
252	600.0	—	381	614.5	—	87	457.9	—	279	569.4	—	938	539.1	—
42	—	—	62	—	—	19	—	—	49	—	—	174	—	—

有限会社、合資・合名会社			株式会社			農協直営			その他		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
216	82.1	—	111	85.4	—	3	75.0	—	21	95.5	—
89	33.8	—	69	53.1	—	3	75.0	—	6	27.3	—
198	75.3	—	102	78.5	—	3	75.0	—	15	68.2	—
230	87.5	—	113	86.9	—	4	100.0	—	16	72.7	—
93	35.4	—	62	47.7	—	2	50.0	—	9	40.9	—
165	62.7	—	93	71.5	—	4	100.0	—	14	63.6	—
192	73.0	—	103	79.2	—	3	75.0	—	19	86.4	—
210	79.8	—	117	90.0	—	4	100.0	—	22	100.0	—
154	58.6	—	99	76.2	—	4	100.0	—	17	77.3	—
143	54.4	—	95	73.1	—	3	75.0	—	17	77.3	—
3	1.1	—	1	0.8	—	0	0.0	—	0	0.0	—
1,693	643.7	—	965	742.3	—	33	825.0	—	156	709.1	—
263	—	—	130	—	—	4	—	—	22	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
9	21.4	34.6	4	6.3	9.1	3	16.7	37.5	3	6.3	9.4	19	11.4	17.6
13	31.0	50.0	25	39.7	56.8	1	5.6	12.5	18	37.5	56.3	38	22.9	35.2
4	9.5	15.4	15	23.8	34.1	4	22.2	50.0	11	22.9	34.4	51	30.7	47.2
15	35.7	—	14	22.2	—	9	50.0	—	19	39.6	—	56	33.7	—
3	7.1	—	7	11.1	—	1	5.6	—	3	6.3	—	12	7.2	—
44	104.8	—	65	103.2	100.0	18	100.0	100.0	54	112.5	100.0	176	106.0	100.0
42	—	—	63	—	—	18	—	—	48	—	—	166	—	—

50頭以上100頭未満			100頭以上200頭未満			200頭以上500頭未満			500頭以上1000頭未満			1000頭以上		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
7	5.1	—	13	8.3	—	22	11.9	—	10	14.3	—	13	20.3	—
24	17.6	—	48	30.8	—	59	31.9	—	33	47.1	—	34	53.1	—
41	30.1	—	48	30.8	—	51	27.6	—	11	15.7	—	10	15.6	—
58	42.6	—	47	30.1	—	49	26.5	—	14	20.0	—	8	12.5	—
9	6.6	—	12	7.7	—	16	8.6	—	6	8.6	—	6	9.4	—
139	102.2	—	168	107.7	—	197	106.5	—	74	105.7	—	71	110.9	—
136	—	—	156	—	—	185	—	—	70	—	—	64	—	—

有限会社、合資・合名会社			株式会社			農協直営			その他		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
32	12.5	—	17	13.4	—	1	25.0	—	3	13.6	—
93	36.2	—	55	43.3	—	1	25.0	—	8	36.4	—
61	23.7	—	27	21.3	—	0	0.0	—	5	22.7	—
60	23.3	—	32	25.2	—	2	50.0	—	4	18.2	—
22	8.6	—	12	9.4	—	0	0.0	—	5	22.7	—
268	104.3	—	143	112.6	—	4	100.0	—	25	113.6	—
257	—	—	127	—	—	4	—	—	22	—	—

2 豚の導入時の対応について (○は1つだけ)

	全体			一貫経営			繁殖経営		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
ア 農場から離れた隔離検査施設で一定期間の隔離検査を実施している	78	9.9	—	72	10.2	—	4	10.8	—
イ 農場内の隔離検査施設で一定期間の隔離検査を実施している	222	28.1	—	210	29.7	—	7	18.9	—
ウ 豚舎内の離れた豚房で一定期間隔離検査を実施している	199	25.2	—	183	25.9	—	12	32.4	—
エ 隔離検査は特に実施していない	268	34.0	—	223	31.6	—	13	35.1	—
オ 外部からの生体導入は一切していない	67	8.5	—	60	8.5	—	3	8.1	—
合計	834	105.7	—	748	105.9	—	39	105.4	—
回答経営体数	789	—	—	706	—	—	37	—	—

3 農場内への資材 (農場内で使用する器具・機材等) の搬入時の対応について (○は1つだけ)

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
ア 倉庫等に一定期間置いてから消毒し搬入している	116	14.5	—	49	25.7	—	27	10.2	—
イ 消毒をしてから搬入している	265	33.2	—	73	38.2	—	69	26.0	—
ウ 倉庫等に一定期間置いてから搬入している	184	23.1	—	39	20.4	—	78	29.4	—
エ 特別な対策はせずに直接搬入している	337	42.2	—	64	33.5	—	118	44.5	—
合計	902	113.0	—	225	117.8	—	292	110.2	—
回答経営体数	798	—	—	191	—	—	265	—	—

3 農場内への資材 (農場内で使用する器具・機材等) の搬入時の対応について (○は1つだけ)

	全体			個人経営			農事組合法人		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
ア 倉庫等に一定期間置いてから消毒し搬入している	116	14.5	—	22	6.4	—	8	19.0	—
イ 消毒をしてから搬入している	265	33.2	—	84	24.5	—	18	42.9	—
ウ 倉庫等に一定期間置いてから搬入している	184	23.1	—	70	20.4	—	9	21.4	—
エ 特別な対策はせずに直接搬入している	337	42.2	—	185	53.9	—	14	33.3	—
合計	902	113.0	—	361	105.2	—	49	116.7	—
回答経営体数	798	—	—	343	—	—	42	—	—

4 車両の入退場の対応について

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
ア 外来車両の消毒を実施している	537	68.4	—	131	68.9	—	177	67.8	—
イ 出荷トラックの消毒を実施している	586	74.6	—	153	80.5	—	185	70.9	—
ウ 消毒ゲートを設置している	177	22.5	—	48	25.3	—	38	14.6	—
エ 動力噴霧機を設置している	532	67.8	—	129	67.9	—	168	64.4	—
オ 石灰帯を設置している	535	68.2	—	142	74.7	—	193	73.9	—
カ 必ず農場職員が消毒の実施又は確認している	158	20.1	—	45	23.7	—	42	16.1	—
キ 特に対策は実施していない	43	5.5	—	10	5.3	—	16	6.1	—
合計	2,568	327.1	—	658	346.3	—	819	313.8	—
回答経営体数	785	—	—	190	—	—	261	—	—

4 車両の入退場の対応について

	全体			個人経営			農事組合法人		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
ア 外来車両の消毒を実施している	537	68.4	—	174	52.3	—	36	85.7	—
イ 出荷トラックの消毒を実施している	586	74.6	—	207	62.2	—	38	90.5	—
ウ 消毒ゲートを設置している	177	22.5	—	22	6.6	—	12	28.6	—
エ 動力噴霧機を設置している	532	67.8	—	178	53.5	—	33	78.6	—
オ 石灰帯を設置している	535	68.2	—	224	67.3	—	29	69.0	—
カ 必ず農場職員が消毒の実施又は確認している	158	20.1	—	30	9.0	—	13	31.0	—
キ 特に対策は実施していない	43	5.5	—	30	9.0	—	1	2.4	—
合計	2,568	327.1	—	865	259.8	—	162	385.7	—
回答経営体数	785	—	—	333	—	—	42	—	—

5 野生動物の侵入防止策について (アからエの中から○はいくつでも)

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
ア 畜舎の破損状況を確認し、必要な修繕を実施している	507	61.9	—	146	73.4	—	158	57.5	—
イ 農場周囲に金網等を廻らせ、必要な修繕も実施している	172	21.0	—	54	27.1	—	49	17.8	—
ウ 豚舎の開放部に防虫ネット等を張って、必要な修繕も実施している	456	55.7	—	123	61.8	—	131	47.6	—
エ ネズミ駆除等を実施している	620	75.7	—	171	85.9	—	201	73.1	—
オ 特別な対策は実施していない	84	10.3	—	16	8.0	—	32	11.6	—
カ その他の対策	13	1.6	—	4	2.0	—	6	2.2	—
合計	1,852	226.1	—	514	258.3	—	577	209.8	—
回答経営体数	819	—	—	199	—	—	275	—	—

5 野生動物の侵入防止策について (アからエの中から○はいくつでも)

	全体			個人経営			農事組合法人		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
ア 畜舎の破損状況を確認し、必要な修繕を実施している	507	61.9	—	162	45.3	—	34	79.1	—
イ 農場周囲に金網等を廻らせ、必要な修繕も実施している	172	21.0	—	42	11.7	—	7	16.3	—
ウ 豚舎の開放部に防虫ネット等を張って、必要な修繕も実施している	456	55.7	—	148	41.3	—	27	62.8	—
エ ネズミ駆除等を実施している	620	75.7	—	232	64.8	—	39	90.7	—
オ 特別な対策は実施していない	84	10.3	—	61	17.0	—	2	4.7	—
カ その他の対策	13	1.6	—	4	1.1	—	2	4.7	—
合計	1,852	226.1	—	649	181.3	—	111	258.1	—
回答経営体数	819	—	—	358	—	—	43	—	—

XV 環境対策

1 畜産関係の悪臭苦情の対応について

ア 過去1年以内に住民等から悪臭苦情が寄せられたことがありますか (A、Bのどちらかに○)

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
Aある (a~c ○は1つ)	152	18.6	—	37	18.7	—	54	19.8	—
a 近隣の住民より直接	49	31.2	—	13	32.5	—	9	17.3	—
b 県・市・町・村の公的機関を通して	106	67.5	—	26	65.0	—	43	82.7	—
c その他	2	1.3	—	1	2.5	—	0	0.0	—
A 小計	157	100.0	—	40	100.0	—	52	100.0	—
Bない	664	81.4	—	161	81.3	—	219	80.2	—
合計	821	100.0	—	198	100.0	—	273	100.0	—
回答経営体数	816	—	—	198	—	—	273	—	—

肥育経営		
回答数	割合	
2	4.3	—
5	10.9	—
4	8.7	—
32	69.6	—
4	8.7	—
47	102.2	—
46	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
9	21.4	—	6	9.7	—	2	11.1	—	7	14.3	—	16	9.4	—
9	21.4	—	23	37.1	—	9	50.0	—	17	34.7	—	65	38.0	—
8	19.0	—	18	29.0	—	2	11.1	—	9	18.4	—	30	17.5	—
21	50.0	—	25	40.3	—	7	38.9	—	26	53.1	—	76	44.4	—
47	111.9	—	72	116.1	—	20	111.1	—	59	120.4	—	187	109.4	—
42	—	—	62	—	—	18	—	—	49	—	—	171	—	—

有限会社、合資・合名会社			株式会社			農協直営			その他		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
53	20.5	—	29	22.7	—	1	25.0	—	3	13.6	—
85	32.8	—	62	48.4	—	3	75.0	—	13	59.1	—
68	26.3	—	31	24.2	—	0	0.0	—	6	27.3	—
98	37.8	—	36	28.1	—	1	25.0	—	3	13.6	—
304	117.4	—	158	123.4	—	5	125.0	—	25	113.6	—
259	—	—	128	—	—	4	—	—	22	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
27	64.3	—	50	80.6	—	10	62.5	—	33	71.7	—	109	64.9	—
36	85.7	—	49	79.0	—	12	75.0	—	35	76.1	—	116	69.0	—
8	19.0	—	13	21.0	—	5	31.3	—	11	23.9	—	54	32.1	—
27	64.3	—	49	79.0	—	11	68.8	—	33	71.7	—	115	68.5	—
29	69.0	—	31	50.0	—	9	56.3	—	32	69.6	—	99	58.9	—
7	16.7	—	12	19.4	—	5	31.3	—	15	32.6	—	32	19.0	—
1	2.4	—	1	1.6	—	3	18.8	—	4	8.7	—	8	4.8	—
135	321.4	—	205	330.6	—	55	343.8	—	163	354.3	—	533	317.3	—
42	—	—	62	—	—	16	—	—	46	—	—	168	—	—

有限会社、合資・合名会社			株式会社			農協直営			その他		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
199	78.3	—	107	82.3	—	3	75.0	—	18	81.8	—
214	84.3	—	106	81.5	—	3	75.0	—	18	81.8	—
68	26.8	—	60	46.2	—	3	75.0	—	12	54.5	—
199	78.3	—	105	80.8	—	3	75.0	—	14	63.6	—
167	65.7	—	98	75.4	—	2	50.0	—	15	68.2	—
64	25.2	—	42	32.3	—	1	25.0	—	8	36.4	—
9	3.5	—	2	1.5	—	1	25.0	—	0	0.0	—
920	362.2	—	520	400.0	—	16	400.0	—	85	386.4	—
254	—	—	130	—	—	4	—	—	22	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
30	73.2	—	36	57.1	—	10	52.6	—	32	65.3	—	95	54.9	—
6	14.6	—	5	7.9	—	5	26.3	—	14	28.6	—	39	22.5	—
25	61.0	—	37	58.7	—	11	57.9	—	29	59.2	—	100	57.8	—
31	75.6	—	47	74.6	—	11	57.9	—	33	67.3	—	126	72.8	—
3	7.3	—	6	9.5	—	2	10.5	—	6	12.2	—	19	11.0	—
0	0.0	—	1	1.6	—	1	5.3	—	1	2.0	—	0	0.0	—
95	231.7	—	132	209.5	—	40	210.5	—	115	234.7	—	379	219.1	—
41	—	—	63	—	—	19	—	—	49	—	—	173	—	—

有限会社、合資・合名会社			株式会社			農協直営			その他		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
191	73.2	—	101	77.1	—	2	50.0	—	17	77.3	—
65	24.9	—	46	35.1	—	2	50.0	—	10	45.5	—
174	66.7	—	93	71.0	—	3	75.0	—	11	50.0	—
213	81.6	—	116	88.5	—	3	75.0	—	17	77.3	—
16	6.1	—	4	3.1	—	0	0.0	—	1	4.5	—
5	1.9	—	2	1.5	—	0	0.0	—	0	0.0	—
664	254.4	—	362	276.3	—	10	250.0	—	56	254.5	—
261	—	—	131	—	—	4	—	—	22	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
13	30.2	—	15	23.8	—	2	11.1	—	6	12.2	—	25	14.5	—
6	42.9	—	9	60.0	—	1	50.0	—	4	66.7	—	7	25.0	—
8	57.1	—	5	33.3	—	1	50.0	—	2	33.3	—	21	75.0	—
0	0.0	—	1	6.7	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
14	100.0	—	15	100.0	—	2	100.0	—	6	100.0	—	28	100.0	—
30	69.8	—	48	76.2	—	16	88.9	—	43	87.8	—	147	85.5	—
43	100.0	—	63	100.0	—	18	100.0	—	49	100.0	—	172	100.0	—
43	—	—	63	—	—	18	—	—	49	—	—	172	—	—

ア 過去1年以内に住民等から悪臭苦情が寄せられたことがありますか（A、Bのどちらかに○）

	全体			一貫経営			繁殖経営		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
Aある（a～c、○は1つ）	152	18.7	—	138	19.2	—	3	7.7	—
a 近隣の住民より直接	49	31.2	—	43	30.9	—	2	40.0	—
b 県・市・町・村の公的機関を通して	106	67.5	—	95	68.3	—	2	40.0	—
c その他	2	1.3	—	1	0.7	—	1	20.0	—
A 小計	157	100.0	—	139	100.0	—	5	100.0	—
Bない	660	81.3	—	579	80.8	—	36	92.3	—
合計	812	100.0	—	717	100.0	—	39	100.0	—
回収経営体数	812	—	—	717	—	—	39	—	—

ア 過去1年以内に住民等から悪臭苦情が寄せられたことがありますか（A、Bのどちらかに○）

	全体			個人経営			農事組合法人		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
Aある（a～c、○は1つ）	152	18.6	—	51	14.3	—	7	16.7	—
a 近隣の住民より直接	49	31.2	—	15	29.4	—	4	57.1	—
b 県・市・町・村の公的機関を通して	106	67.5	—	36	70.6	—	3	42.9	—
c その他	2	1.3	—	0	0.0	—	0	0.0	—
A 小計	157	100.0	—	51	100.0	—	7	100.0	—
Bない	664	81.4	—	305	85.7	—	35	83.3	—
合計	816	100.0	—	356	100.0	—	42	100.0	—
回収経営体数	816	—	—	356	—	—	42	—	—

ア 過去1年以内に住民等から悪臭苦情が寄せられたことがありますか（A、Bのどちらかに○）

	全国			1頭以上20頭未満			20頭以上50頭未満		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
Aある（a～c、○は1つ）	142	18.9	—	4	9.1	—	7	8.0	—
a 近隣の住民より直接	45	30.8	—	2	50.0	—	1	14.3	—
b 県・市・町・村の公的機関を通して	99	67.8	—	2	50.0	—	6	85.7	—
c その他	2	1.4	—	0	0.0	—	0	0.0	—
A 小計	146	100.0	—	4	100.0	—	7	100.0	—
Bない	611	81.1	—	40	90.9	—	81	92.0	—
合計	753	100.0	—	44	100.0	—	88	100.0	—
回収経営体数	753	—	—	44	—	—	88	—	—

イ（前頁1のAでAと回答した方）苦情を減らすための方法等を公的機関に相談しましたか（A、Bのどちらかに○）

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
A相談した（a～f、○は1つ）	108	54.5	—	17	38.6	—	35	50.0	—
a アドバイスを試したところ、有効であった	35	33.7	—	7	38.9	—	8	25.0	—
b アドバイスを試したが、有効でなかった	14	13.5	—	1	5.6	—	5	15.6	—
c アドバイスを試したが、まだ効果があったかはわからない	37	35.6	—	5	27.8	—	12	37.5	—
d アドバイスを試さなかった。理由は参考にならないと判断したから	4	3.8	—	1	5.6	—	1	3.1	—
e アドバイスを試さなかった。理由はコストが高かったから	4	3.8	—	1	5.6	—	3	9.4	—
f まだアドバイスを受けていない	10	9.6	—	3	16.7	—	3	9.4	—
A 小計	104	100.0	—	18	100.0	—	32	100.0	—
B相談しなかった（a～d、○は1つ）	90	45.5	—	27	61.4	—	35	50.0	—
a どの公的機関に相談しても良いかわからなかったから	10	13.3	—	4	18.2	—	6	19.4	—
b アドバイスは必要ないと感じたから	30	40.0	—	9	40.9	—	12	38.7	—
c 公的機関以外に相談しているから	17	22.7	—	3	13.6	—	8	25.8	—
d その他	18	24.0	—	6	27.3	—	5	16.1	—
B 小計	75	100.0	—	22	100.0	—	31	100.0	—
合計	198	100.0	—	44	100.0	—	70	100.0	—
回収経営体数	198	—	—	44	—	—	70	—	—

ウ 悪臭苦情の対策として、公的機関に対して、今後どのような役割を期待しますか（AからFの中から○は1つだけ）

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
A 悪臭苦情の対策についての有効な情報を提示して欲しい	336	60.2	—	90	68.2	—	109	60.2	—
B 畜産農家対象の悪臭対策の勉強会や講習会を開いて欲しい	115	20.6	—	31	23.5	—	35	19.3	—
C 小・中学生が畜産や農業に親しめるようなイベント活動を開いて欲しい	57	10.2	—	13	9.8	—	26	14.4	—
D 市民農園、家庭菜園を持っている住民や耕種農家に堆肥を無料譲渡できるような仕組みを作って欲しい	115	20.6	—	19	14.4	—	46	25.4	—
E 住民との話し合いや交流の場、機会を提供して欲しい	31	5.6	—	7	5.3	—	12	6.6	—
F その他	25	4.5	—	2	1.5	—	3	1.7	—
合計	679	121.7	—	162	122.7	—	231	127.6	—
回収経営体数	558	—	—	132	—	—	181	—	—

2 ふん尿の処理状況（平成27年1～12月）

ア 自家で飼養している豚のふん尿の処理量について、処理状況別の割合を記入して下さい（放牧した期間は除く）

① ふん

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合	平均値	回答数	割合	平均値	回答数	割合	平均値
A 自家処理施設	580	92.2	97.4	142	95.3	97.1	192	91.4	97.2
B 共同処理施設	61	9.7	81.3	12	8.1	77.8	20	9.5	80.5
C 公共下水道処理施設	4	0.6	82.5	1	0.7	30.0	1	0.5	100.0
D 廃棄物処理業者に委託	11	1.7	87.3	1	0.7	100.0	6	2.9	88.3
E その他	2	0.3	75.0	1	0.7	50.0	1	0.5	100.0
合計	658	104.6	100.0	157	105.4	100.0	220	104.8	100.0
回収経営体数	629	—	—	149	—	—	210	—	—

A or Bと回答された経営体（ふん）

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
a 経営圏内に散布	184	29.8	—	48	32.4	—	66	32.4	—
b 経営圏外に無償で散布	86	13.9	—	16	10.8	—	31	15.2	—
c 処理業者委託	104	16.9	—	27	18.2	—	41	20.1	—
d 無償譲渡	220	35.7	—	49	33.1	—	69	33.8	—
e 有償譲渡（わら等と交換している場合は有償に含める）	228	37.0	—	76	51.4	—	73	35.8	—
合計	822	133.2	—	216	145.9	—	280	137.3	—
回収経営体数	617	—	—	148	—	—	204	—	—

肥育経営		
回答数	割合	
11	19.6	—
4	30.8	—
9	69.2	—
0	0.0	—
13	100.0	—
45	80.4	—
56	100.0	—
56	—	—

有限会社・合資・合名会社			株式会社			農協直営			その他		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
58	22.1	—	35	26.9	—	0	0.0	—	1	4.5	—
16	25.8	—	14	38.9	—	0	#DIV/0!	—	0	0.0	—
44	71.0	—	22	61.1	—	0	#DIV/0!	—	1	100.0	—
2	3.2	—	0	0.0	—	0	#DIV/0!	—	0	0.0	—
62	100.0	—	36	100.0	—	0	#DIV/0!	—	1	100.0	—
204	77.9	—	95	73.1	—	4	100.0	—	21	95.5	—
262	100.0	—	130	100.0	—	4	100.0	—	22	100.0	—
262	—	—	130	—	—	4	—	—	22	—	—

50頭以上100頭未満			100頭以上200頭未満			200頭以上500頭未満			500頭以上1000頭未満			1000頭以上		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
24	17.0	—	27	16.9	—	39	21.2	—	18	25.4	—	23	35.4	—
7	30.4	—	8	27.6	—	10	25.0	—	5	26.3	—	12	50.0	—
15	65.2	—	20	69.0	—	30	75.0	—	14	73.7	—	12	50.0	—
1	4.3	—	1	3.4	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
23	100.0	—	29	100.0	—	40	100.0	—	19	100.0	—	24	100.0	—
117	83.0	—	133	83.1	—	145	78.8	—	53	74.6	—	42	64.6	—
141	100.0	—	160	100.0	—	184	100.0	—	71	100.0	—	65	100.0	—
141	—	—	160	—	—	184	—	—	71	—	—	65	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
10	71.4	—	13	72.2	—	2	100.0	—	4	44.4	—	27	65.9	—
2	22.2	—	3	18.8	—	1	50.0	—	2	50.0	—	12	52.2	—
3	33.3	—	2	12.5	—	1	50.0	—	0	0.0	—	2	8.7	—
3	33.3	—	6	37.5	—	0	0.0	—	2	50.0	—	9	39.1	—
0	0.0	—	2	12.5	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
1	11.1	—	3	18.8	—	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
9	100.0	—	16	100.0	—	2	100.0	—	4	100.0	—	23	100.0	—
4	28.6	—	5	27.8	—	0	0.0	—	5	55.6	—	14	34.1	—
0	0.0	—	0	0.0	—	0	#DIV/0!	—	0	0.0	—	0	0.0	—
0	0.0	—	3	50.0	—	0	#DIV/0!	—	2	50.0	—	4	50.0	—
2	50.0	—	1	16.7	—	0	#DIV/0!	—	1	25.0	—	2	25.0	—
2	50.0	—	2	33.3	—	0	#DIV/0!	—	1	25.0	—	2	25.0	—
4	100.0	—	6	100.0	—	0	#DIV/0!	—	4	100.0	—	8	100.0	—
14	100.0	—	18	100.0	—	2	100.0	—	9	100.0	—	41	100.0	—
14	—	—	18	—	—	2	—	—	9	—	—	41	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
22	66.7	—	30	57.7	—	4	36.4	—	21	58.3	—	60	53.1	—
10	30.3	—	13	25.0	—	3	27.3	—	6	16.7	—	17	15.0	—
1	3.0	—	5	9.6	—	0	0.0	—	1	2.8	—	11	9.7	—
1	3.0	—	8	15.4	—	2	18.2	—	10	27.8	—	29	25.7	—
2	6.1	—	2	3.8	—	0	0.0	—	2	5.6	—	6	5.3	—
4	12.1	—	7	13.5	—	2	18.2	—	2	5.6	—	5	4.4	—
40	121.2	—	65	125.0	—	11	100.0	—	42	116.7	—	128	113.3	—
33	—	—	52	—	—	11	—	—	36	—	—	113	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	平均値	回答数	割合	平均値	回答数	割合	平均値	回答数	割合	平均値	回答数	割合	平均値
35	94.6	97.1	50	92.6	98.0	7	77.8	100.0	34	89.5	94.9	120	90.9	98.6
3	8.1	66.7	6	11.1	83.3	0	0.0	#DIV/0!	8	21.1	71.7	12	9.1	95.0
0	0.0	#DIV/0!	0	0.0	#DIV/0!	2	22.2	100.0	0	0.0	#DIV/0!	0	0.0	#DIV/0!
1	2.7	100.0	0	0.0	#DIV/0!	0	0.0	#DIV/0!	0	0.0	#DIV/0!	3	2.3	76.7
0	0.0	#DIV/0!	0	0.0	#DIV/0!	0	0.0	#DIV/0!	0	0.0	#DIV/0!	0	0.0	#DIV/0!
39	105.4	100.0	56	103.7	100.0	9	100.0	100.0	42	110.5	100.0	135	102.3	100.0
37	—	—	54	—	—	9	—	—	38	—	—	132	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
7	19.4	—	9	16.7	—	2	28.6	—	17	44.7	—	35	26.9	—
3	8.3	—	8	14.8	—	1	14.3	—	3	7.9	—	24	18.5	—
4	11.1	—	8	14.8	—	1	14.3	—	8	21.1	—	15	11.5	—
10	27.8	—	25	46.3	—	0	0.0	—	16	42.1	—	51	39.2	—
18	50.0	—	10	18.5	—	3	42.9	—	13	34.2	—	35	26.9	—
42	116.7	—	60	111.1	—	7	100.0	—	57	150.0	—	160	123.1	—
36	—	—	54	—	—	7	—	—	38	—	—	130	—	—

② 尿

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
A自家処理施設	553	94.4	99.1	141	99.3	98.7	167	87.4	99.2
B共同処理施設	30	5.1	81.3	4	2.8	45.0	17	8.9	90.0
C公共下水道処理施設	9	1.5	90.0	0	0.0		6	3.1	100.0
D廃棄物処理業者に委託	7	1.2	45.9	3	2.1	36.7	3	1.6	67.0
Eその他	2	0.3	100.0	0	0.0		2	1.0	100.0
合計	601	102.6	100.0	148	104.2	100.0	195	102.1	100.0
回答経営体数	586	—	—	142	—	—	191	—	—

A or Bと回答された経営体（ふん）

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
a 経営圏内に散布	174	30.3	—	48	33.8	—	59	32.6	—
b 経営圏外場に無償で散布	78	13.6	—	16	11.3	—	28	15.5	—
c 処理業者委託	91	15.9	—	24	16.9	—	33	18.2	—
d 無償譲渡	203	35.4	—	46	32.4	—	62	34.3	—
e 有償譲渡（わら等と交換している場合は有償に含める）	211	36.8	—	71	50.0	—	67	37.0	—
合計	757	131.9	—	205	144.4	—	249	137.6	—
回収経営体数	574	—	—	142	—	—	181	—	—

③ふん尿混合

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
A自家処理施設	325	93.7	97.9	70	92.1	98.3	122	93.1	96.7
B共同処理施設	18	5.2	79.6	5	6.6	100.0	6	4.6	72.2
C公共下水道処理施設	11	3.2	89.0	0	0.0		8	6.1	84.9
D廃棄物処理業者に委託	5	1.4	65.0	3	3.9	73.3	1	0.8	100.0
Eその他	2	0.6	30.0	0	0.0		0	0.0	
合計	361	104.0	99.7	78	102.6	—	137	104.6	—
回答経営体数	347	—	—	76	—	—	131	—	—

※1 共同処理施設とは、「数戸が共同で施設を設置して処理する場合」又は「堆肥センターでの処理」をいう

※2 その他の処理施設とは、「個人の施設に処理を委託・譲渡した場合」をいう

※3 経営耕地還元とは、「生ふん尿を未処理で還元した場合」をいう

A or Bと回答された経営体（ふん）

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
a 経営圏内に散布	102	30.3	—	31	41.3	—	36	28.8	—
b 経営圏外場に無償で散布	44	13.1	—	9	12.0	—	17	13.6	—
c 処理業者委託	51	15.1	—	12	16.0	—	24	19.2	—
d 無償譲渡	100	29.7	—	23	30.7	—	32	25.6	—
e 有償譲渡（わら等と交換している場合は有償に含める）	94	27.9	—	25	33.3	—	33	26.4	—
合計	391	116.0	—	100	133.3	—	142	113.6	—
回収経営体数	337	—	—	75	—	—	125	—	—

イ（前頁2のAでAの自家処理施設を利用していると回答した方）処理方法の割合を記入して下さい

① ふん

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
A天日乾燥	27	4.5	75.2	2	1.4	65.0	15	7.7	74.7
B火力乾燥	3	0.5	100.0	1	0.7	100.0	0	0.0	
C強制発酵※1	357	59.1	94.1	88	60.7	97.0	121	61.7	94.0
D堆積発酵※2	262	43.4	88.6	62	42.8	89.3	78	39.8	87.3
E焼却	3	0.5	73.3	0	0.0		0	0.0	
F浄化	—	—	—	—	—	—	—	—	—
G貯留	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Hその他	12	2.0	85.0	2	1.4	100.0	3	1.5	100.0
合計	664	109.9	—	155	106.9	—	217	110.7	—
回答経営体数	604	—	—	145	—	—	196	—	—

② 尿

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
A天日乾燥	—	—	—	—	—	—	—	—	—
B火力乾燥	—	—	—	—	—	—	—	—	—
C強制発酵※1	65	11.8	93.6	23	16.4	97.8	24	13.8	90.4
D堆積発酵※2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
E焼却	—	—	—	—	—	—	—	—	—
F浄化	425	76.9	98.6	101	72.1	97.2	132	75.9	98.9
G貯留	55	9.9	90.7	15	10.7	88.0	15	8.6	88.0
Hその他	26	4.7	88.8	7	5.0	87.1	10	5.7	85.0
合計	571	103.3	—	146	104.3	—	181	104.0	—
回答経営体数	553	—	—	140	—	—	174	—	—

③ ふん尿混合

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
A天日乾燥	16	5.0	82.5	5	6.8	88.0	4	3.4	70.0
B火力乾燥	0	0.0		0	0.0		0	0.0	
C強制発酵※1	102	32.2	80.4	23	31.1	73.0	42	36.2	81.9
D堆積発酵※2	109	34.4	89.1	25	33.8	94.8	39	33.6	86.4
E焼却	—	—	—	—	—	—	—	—	—
F浄化	110	34.7	86.9	19	25.7	87.4	42	36.2	87.1
G貯留	12	3.8	87.5	5	6.8	90.0	4	3.4	87.5
Hその他	21	6.6	93.3	9	12.2	100.0	5	4.3	100.0
合計	370	116.7	—	86	116.2	—	136	117.2	—
回答経営体数	317	—	—	74	—	—	116	—	—

※1 強制発酵とは、「開放型または密閉型の攪拌方式の処理施設での発酵」又は「送風装置を備えた堆肥舎での発酵」又は「貯留槽での曝気処理」をいう

※2 堆積発酵とは、「堆肥舎に堆積し、時々切り返しながらか発酵させる場合」をいう



北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
37	100.0	98.4	50	96.2	99.0	7	77.8	100.0	35	100.0	100.0	116	96.7	99.7
1	2.7	50.0	3	5.8	83.3	0	0.0		0	0.0		5	4.2	86.0
1	2.7	10.0	0	0.0		2	22.2	100.0	0	0.0		0	0.0	
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		1	0.8	10.0
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
39	105.4	100.0	53	101.9	100.0	9	100.0	100.0	35	100.0	100.0	122	101.7	100.0
37	—	—	52	—	—	9	—	—	35	—	—	120	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
7	18.9	—	8	15.4	—	2	28.6	—	15	42.9	—	35	29.2	—
2	5.4	—	8	15.4	—	1	14.3	—	3	8.6	—	20	16.7	—
4	10.8	—	8	15.4	—	0	0.0	—	8	22.9	—	14	11.7	—
12	32.4	—	22	42.3	—	0	0.0	—	14	40.0	—	47	39.2	—
18	48.6	—	10	19.2	—	3	42.9	—	11	31.4	—	31	25.8	—
43	116.2	—	56	107.7	—	6	85.7	—	51	145.7	—	147	122.5	—
37	—	—	52	—	—	7	—	—	35	—	—	120	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
13	100.0	99.2	28	96.6	98.2	9	75.0	100.0	26	100.0	100.0	57	95.0	98.2
0	0.0		2	6.9	75.0	0	0.0		0	0.0		5	8.3	70.0
0	0.0		0	0.0		3	25.0	100.0	0	0.0		0	0.0	
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		1	1.7	5.0
1	7.7	10.0	0	0.0		0	0.0		0	0.0		1	1.7	50.0
14	107.7	—	30	103.4	—	12	100.0	—	26	100.0	—	64	106.7	—
13	—	—	29	—	—	12	—	—	26	—	—	60	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
3	23.1	—	6	20.7	—	4	44.4	—	9	34.6	—	13	21.7	—
0	0.0	—	6	20.7	—	1	11.1	—	3	11.5	—	8	13.3	—
1	7.7	—	3	10.3	—	0	0.0	—	9	34.6	—	2	3.3	—
3	23.1	—	13	44.8	—	3	33.3	—	6	23.1	—	20	33.3	—
4	30.8	—	8	27.6	—	2	22.2	—	7	26.9	—	15	25.0	—
11	84.6	—	36	124.1	—	10	111.1	—	34	130.8	—	58	96.7	—
13	—	—	29	—	—	9	—	—	26	—	—	60	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
0	0.0		2	3.7	35.0	0	0.0		0	0.0		8	6.3	88.8
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		2	1.6	100.0
21	58.3	96.2	39	72.2	94.4	4	57.1	100.0	20	52.6	92.3	64	50.0	89.9
16	44.4	92.5	18	33.3	91.7	3	42.9	100.0	20	52.6	86.7	65	50.8	87.9
0	0.0		0	0.0		0	0.0		2	5.3	60.0	1	0.8	100.0
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1	2.8	100.0	0	0.0		0	0.0		1	2.6	100.0	5	3.9	64.0
38	105.6	—	59	109.3	—	7	100.0	—	43	113.2	—	145	113.3	—
36	—	—	54	—	—	7	—	—	38	—	—	128	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	8.3	100.0	2	3.9	100.0	2	28.6	100.0	3	8.6	70.3	8	7.3	93.8
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
28	77.8	100.0	47	92.2	100.0	5	71.4	100.0	25	71.4	98.4	87	79.1	98.6
5	13.9	100.0	2	3.9	100.0	0	0.0		8	22.9	91.3	10	9.1	92.0
0	0.0		0	0.0		0	0.0		1	2.9	100.0	8	7.3	93.8
36	100.0	—	51	100.0	—	7	100.0	—	37	105.7	—	113	102.7	—
36	—	—	51	—	—	7	—	—	35	—	—	110	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均	回答数	割合	平均
0	0.0		2	7.4	50.0	1	12.5	100.0	0	0.0		4	7.5	100.0
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
1	7.7	100.0	8	29.6	81.3	3	37.5	93.3	12	46.2	90.6	13	24.5	73.8
6	46.2	76.7	8	29.6	93.8	4	50.0	90.0	12	46.2	92.8	15	28.3	86.0
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7	53.8	91.4	13	48.1	84.6	1	12.5	20.0	4	15.4	75.0	24	45.3	90.8
1	7.7	100.0	0	0.0		0	0.0		0	0.0		2	3.8	75.0
0	0.0		1	3.7	100.0	1	12.5	40.0	1	3.8	100.0	4	7.5	80.0
15	115.4	—	32	118.5	—	10	125.0	—	29	111.5	—	62	117.0	—
13	—	—	27	—	—	8	—	—	26	—	—	53	—	—

XVI アニマルウェルフェアについて

ア アニマルウェルフェア、動物福祉、または快適性に考慮した家畜の飼養管理という言葉を知っていますか

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
A 知っている	571	74.5	—	153	79.7	—	182	73.1	—
a 飼料管理にアニマルウェルフェアの考え方を取り入れている	74	9.7	—	22	11.5	—	24	9.6	—
i 「アニマルウェルフェアの考え方に対応した飼養管理指針」に従って取り入れている	25	3.3	—	7	3.6	—	9	3.6	—
ii 「アニマルウェルフェアの考え方に対応した飼養管理指針」に従っていない	49	6.4	—	15	7.8	—	15	6.0	—
b アニマルウェルフェアについて何らかの対応を検討中又は検討予定	98	12.8	—	34	17.7	—	24	9.6	—
c アニマルウェルフェアについて十分理解していないのでさらに情報が欲しい	118	15.4	—	37	19.3	—	35	14.1	—
d 聞いたことがあるが、内容をよく知らない	160	20.9	—	32	16.7	—	59	23.7	—
e 対応の予定はない	121	15.8	—	28	14.6	—	40	16.1	—
B 知らない	195	25.5	—	39	20.3	—	67	26.9	—
合計	766	100.0	—	192	100.0	—	249	100.0	—
回答経営体数	766	—	—	192	—	—	249	—	—

ア アニマルウェルフェア、動物福祉、または快適性に考慮した家畜の飼養管理という言葉を知っていますか

	全体			1頭以上20頭未満			20頭以上50頭未満		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
A 知っている	531	74.8	—	22	55.0	—	50	64.1	—
a 飼料管理にアニマルウェルフェアの考え方を取り入れている	69	9.7	—	8	20.0	—	4	5.1	—
i 「アニマルウェルフェアの考え方に対応した飼養管理指針」に従って取り入れている	25	3.5	—	4	10.0	—	2	2.6	—
ii 「アニマルウェルフェアの考え方に対応した飼養管理指針」に従っていない	44	6.2	—	4	10.0	—	2	2.6	—
b アニマルウェルフェアについて何らかの対応を検討中又は検討予定	97	13.7	—	6	15.0	—	3	3.8	—
c アニマルウェルフェアについて十分理解していないのでさらに情報が欲しい	105	14.8	—	2	5.0	—	10	12.8	—
d 聞いたことがあるが、内容をよく知らない	150	21.1	—	3	7.5	—	21	26.9	—
e 対応の予定はない	110	15.5	—	3	7.5	—	12	15.4	—
B 知らない	179	10.3	—	18	10.3	—	28	10.3	—
合計	710	100.0	—	40	100.0	—	78	100.0	—
回答経営体数	710	—	—	40	—	—	78	—	—

イ 繁殖用の雌豚の飼養管理にストールを常用していますか

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
A はい	654	91.1	—	157	89.7	—	220	90.9	—
a あり	78	10.9	—	21	12.0	—	25	10.3	—
b なし	576	80.2	—	136	77.7	—	195	80.6	—
B いいえ（群飼育をしている）	64	8.9	—	18	10.3	—	22	9.1	—
合計	718	100.0	—	175	100.0	—	242	100.0	—
回答経営体数	718	—	—	175	—	—	242	—	—

ウ 以下の処理を行う際に麻酔処理を行っていますか

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
A 去勢	734	100.0	—	179	100.0	—	251	100.0	—
a はい	20	2.7	—	6	3.4	—	5	2.0	—
b いいえ（無麻酔）	714	97.3	—	173	96.6	—	246	98.0	—
a 今後、麻酔下での処理を検討している	24	3.3	—	6	3.4	—	12	4.8	—
b 麻酔下での処理を検討していない	690	94.0	—	167	93.3	—	234	93.2	—
去勢をしていないあるいは無回答	108	—	—	23	—	—	31	—	—
合計	842	—	—	202	—	—	282	—	—

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
B 歯の切断	619	100.0	—	159	100.0	—	206	100.0	—
a はい	49	7.9	—	13	8.2	—	19	9.2	—
b いいえ（無麻酔）	570	92.1	—	146	91.8	—	187	90.8	—
a 今後、麻酔下での処理を検討している	19	3.1	—	5	3.1	—	7	3.4	—
b 麻酔下での処理を検討していない	551	89.0	—	141	88.7	—	180	87.4	—
歯の切断をしていないあるいは無回答	223	—	—	43	—	—	76	—	—
合計	842	—	—	202	—	—	282	—	—

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
c 尾の切断	652	100.0	—	159	100.0	—	226	100.0	—
a はい	57	8.7	—	13	8.2	—	21	9.3	—
b いいえ（無麻酔）	595	91.3	—	146	91.8	—	205	90.7	—
a 今後、麻酔下での処理を検討している	18	2.8	—	5	3.1	—	7	3.1	—
b 麻酔下での処理を検討していない	577	88.5	—	141	88.7	—	198	87.6	—
尾の切断をしていないあるいは無回答	190	—	—	43	—	—	56	—	—
合計	842	—	—	202	—	—	282	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
31	77.5	—	47	75.8	—	12	66.7	—	42	87.5	—	104	66.2	—
5	12.5	—	1	1.6	—	1	5.6	—	6	12.5	—	15	9.6	—
2	5.0	—	0	0.0	—	1	5.6	—	0	0.0	—	6	3.8	—
3	7.5	—	1	1.6	—	0	0.0	—	6	12.5	—	9	5.7	—
6	15.0	—	9	14.5	—	0	0.0	—	8	16.7	—	17	10.8	—
9	22.5	—	7	11.3	—	3	16.7	—	6	12.5	—	21	13.4	—
7	17.5	—	17	27.4	—	5	27.8	—	11	22.9	—	29	18.5	—
4	10.0	—	13	21.0	—	3	16.7	—	11	22.9	—	22	14.0	—
9	22.5	—	15	24.2	—	6	33.3	—	6	12.5	—	53	33.8	—
40	100.0	—	62	100.0	—	18	100.0	—	48	100.0	—	157	100.0	—
40	—	—	62	—	—	18	—	—	48	—	—	157	—	—

50頭以上100頭未満			100頭以上200頭未満			200頭以上500頭未満			500頭以上1000頭未満			1000頭以上		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
76	58.9	—	105	68.6	—	150	86.7	—	65	90.3	—	63	96.9	—
3	2.3	—	12	7.8	—	20	11.6	—	11	15.3	—	11	16.9	—
2	1.6	—	1	0.7	—	9	5.2	—	2	2.8	—	5	7.7	—
1	0.8	—	11	7.2	—	11	6.4	—	9	12.5	—	6	9.2	—
9	7.0	—	15	9.8	—	29	16.8	—	13	18.1	—	22	33.8	—
13	10.1	—	27	17.6	—	29	16.8	—	14	19.4	—	10	15.4	—
35	27.1	—	28	18.3	—	40	23.1	—	16	22.2	—	7	10.8	—
16	12.4	—	23	15.0	—	32	18.5	—	11	15.3	—	13	20.0	—
53	10.3	—	48	10.3	—	23	10.3	—	7	10.3	—	2	10.3	—
129	100.0	—	153	100.0	—	173	100.0	—	72	100.0	—	65	100.0	—
129	—	—	153	—	—	173	—	—	72	—	—	65	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
31	93.9	—	53	88.3	—	9	75.0	—	42	89.4	—	142	95.3	—
2	6.1	—	7	11.7	—	2	16.7	—	6	12.8	—	15	10.1	—
29	87.9	—	46	76.7	—	7	58.3	—	36	76.6	—	127	85.2	—
2	6.1	—	7	11.7	—	3	25.0	—	5	10.6	—	7	4.7	—
33	100.0	—	60	100.0	—	12	100.0	—	47	100.0	—	149	100.0	—
33	—	—	60	—	—	12	—	—	47	—	—	149	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
34	100.0	—	59	100.0	—	12	100.0	—	47	100.0	—	152	100.0	—
3	8.8	—	1	1.7	—	1	8.3	—	0	0.0	—	4	2.6	—
31	91.2	—	58	98.3	—	11	91.7	—	47	100.0	—	148	97.4	—
1	2.9	—	0	0.0	—	0	0.0	—	1	2.1	—	4	2.6	—
30	88.2	—	58	98.3	—	11	91.7	—	46	97.9	—	144	94.7	—
9	—	—	6	—	—	8	—	—	2	—	—	29	—	—
43	—	—	65	—	—	20	—	—	49	—	—	181	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
28	100.0	—	48	100.0	—	12	100.0	—	34	100.0	—	132	100.0	—
1	3.6	—	4	8.3	—	1	8.3	—	0	0.0	—	11	8.3	—
27	96.4	—	44	91.7	—	11	91.7	—	34	100.0	—	121	91.7	—
1	3.6	—	2	4.2	—	0	0.0	—	1	2.9	—	3	2.3	—
26	92.9	—	42	87.5	—	11	91.7	—	33	97.1	—	118	89.4	—
15	—	—	17	—	—	8	—	—	15	—	—	49	—	—
43	—	—	65	—	—	20	—	—	49	—	—	181	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
32	100.0	—	52	100.0	—	7	100.0	—	37	100.0	—	139	100.0	—
2	6.3	—	6	11.5	—	2	28.6	—	1	2.7	—	12	8.6	—
30	93.8	—	46	88.5	—	5	71.4	—	36	97.3	—	127	91.4	—
2	6.3	—	0	0.0	—	0	0.0	—	1	2.7	—	3	2.2	—
28	87.5	—	46	88.5	—	5	71.4	—	35	94.6	—	124	89.2	—
11	—	—	13	—	—	13	—	—	12	—	—	42	—	—
43	—	—	65	—	—	20	—	—	49	—	—	181	—	—

XVII 豚肉輸出

あなたの生産している豚肉に係る海外輸出の取組について

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合	合計年間輸出量	回答数	割合	合計年間輸出量	回答数	割合	合計年間輸出量
A既に輸出している	6	0.8	—	2	1.1	—	3	1.2	—
年間輸出量	5	—	9.3	2	—	3.3	2	—	17.5
B輸出について準備中	7	0.9	—	3	1.6	—	2	0.8	—
a 自ら輸出ルート構築(または構築予定)	5	0.7	—	2	1.1	—	2	0.8	—
b 農協系ルートを利用(又は利用予定)	2	0.3	—	1	0.5	—	0	0.0	—
c 大手ハムメーカールートを利用(または利用予定)	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
d 飼料メーカールートを利用(または利用予定)	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
C機会があれば輸出したい	72	9.6	—	23	12.3	—	25	10.2	—
D販売・出荷した豚肉が、販売先から輸出されたか聞いている	16	2.1	—	5	2.7	—	5	2.0	—
E特に考えていない	651	86.6	—	154	82.4	—	211	85.8	—
合計	752	100.0	—	187	100.0	—	246	100.0	—
回答経営体数	752	—	—	187	—	—	246	—	—

あなたの生産している豚肉に係る海外輸出の取組について

	全体			個人経営			農事組合法人		
	回答数	割合	合計年間輸出量	回答数	割合	合計年間輸出量	回答数	割合	合計年間輸出量
A既に輸出している	6	0.8	—	0	0.0	—	1	2.6	—
年間輸出量	5	—	9.3	0	—	#DIV/0!	0	—	#DIV/0!
B輸出について準備中	7	0.9	—	0	0.0	—	0	0.0	—
a 自ら輸出ルート構築(または構築予定)	5	0.7	—	0	0.0	—	0	0.0	—
b 農協系ルートを利用(又は利用予定)	2	0.3	—	0	0.0	—	0	0.0	—
c 大手ハムメーカールートを利用(または利用予定)	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
d 飼料メーカールートを利用(または利用予定)	0	0.0	—	0	0.0	—	0	0.0	—
C機会があれば輸出したい	72	9.6	—	17	5.4	—	7	18.4	—
D販売・出荷した豚肉が、販売先から輸出されたか聞いている	16	2.1	—	5	1.6	—	0	0.0	—
E特に考えていない	651	86.6	—	290	92.9	—	30	78.9	—
合計	752	100.0	—	312	100.0	—	38	100.0	—
回答経営体数	752	—	—	312	—	—	38	—	—

XVIII 農場HACCP導入の取組について

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
農場HACCPを導入していますか									
A 導入している	63	8.5	—	19	10.1	—	19	7.9	—
B 導入していない	677	91.5	—	169	89.9	—	220	92.1	—
a現在申請中	22	3.0	—	4	2.1	—	12	5.0	—
b導入を検討しているところ	61	8.2	—	20	10.6	—	21	8.8	—
c現時点で導入する予定はないが、今後検討したい	212	28.6	—	60	31.9	—	70	29.3	—
d導入予定はない	382	51.6	—	85	45.2	—	117	49.0	—
合計	740	100.0	—	188	100.0	—	239	100.0	—
回答経営体数	740	—	—	188	—	—	239	—	—

XVIII 農場HACCP導入の取組について

	全体			1頭以上20頭未満			20頭以上50頭未満		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
農場HACCPを導入していますか									
A 導入している	62	9.0	—	3	7.7	—	2	2.9	—
B 導入していない	629	91.0	—	36	92.3	—	68	97.1	—
a現在申請中	21	3.0	—	0	0.0	—	1	1.4	—
b導入を検討しているところ	60	8.7	—	2	5.1	—	2	2.9	—
c現時点で導入する予定はないが、今後検討したい	200	28.9	—	3	7.7	—	7	10.0	—
d導入予定はない	348	50.4	—	31	79.5	—	58	82.9	—
合計	691	100.0	—	39	100.0	—	70	100.0	—
回答経営体数	691	—	—	39	—	—	70	—	—

XIX チェックオフ制度について

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合	金額平均	回答数	割合	金額平均	回答数	割合	金額平均
A チェックオフ制度の導入が検討されていますが、知っていますか。									
Aしっている	428	58.1	—	119	63.6	—	163	67.1	—
B知らなかった	309	41.9	—	68	36.4	—	80	32.9	—
合計	737	100.0	—	187	100.0	—	243	100.0	—
回答経営体数	737	—	—	187	—	—	243	—	—
I 豚肉におけるチェックオフの導入について									
A積極的に参加する	136	19.7	—	37	21.6	—	46	20.1	—
B徴収次第で参加を検討する	52	7.5	—	16	9.4	—	16	7.0	—
Cチェックオフの徴収金で何をするかにより参加を検討する	156	22.6	—	36	21.1	—	56	24.5	—
Dすべての生産者が参加することが条件であれば参加する	177	25.7	—	42	24.6	—	64	27.9	—
徴収するとして場合に妥当と思う金額	277	40.1	72.8	58	33.9	66.3	90	39.3	64.6
Eチェックオフの導入の必要性を感じない	169	24.5	—	40	23.4	—	47	20.5	—
合計	690	100.0	—	171	100.0	—	229	100.0	—
回答経営体数	690	—	—	171	—	—	229	—	—

XIX チェックオフ制度について

	全体			1頭以上20頭未満			20頭以上50頭未満		
	回答数	割合	金額平均	回答数	割合	金額平均	回答数	割合	金額平均
A チェックオフ制度の導入が検討されていますが、知っていますか。									
Aしっている	408	59.5	—	9	22.5	—	25	34.7	—
B知らなかった	278	40.5	—	31	77.5	—	47	65.3	—
合計	686	100.0	—	40	100.0	—	72	100.0	—
回答経営体数	686	—	—	40	—	—	72	—	—
I 豚肉におけるチェックオフの導入について									
A積極的に参加する	129	19.9	—	2	5.7	—	5	7.4	—
B徴収次第で参加を検討する	49	7.6	—	2	5.7	—	2	2.9	—
Cチェックオフの徴収金で何をするかにより参加を検討する	150	23.1	—	8	22.9	—	10	14.7	—
Dすべての生産者が参加することが条件であれば参加する	168	25.9	—	4	11.4	—	25	36.8	—
徴収するとして場合に妥当と思う金額	264	40.7	73.7	10	28.6	139.0	11	16.2	45.5
Eチェックオフの導入の必要性を感じない	152	23.5	—	19	54.3	—	26	38.2	—
合計	648	100.0	—	35	100.0	—	68	100.0	—
回答経営体数	648	—	—	35	—	—	68	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	合計年間輸出量	回答数	割合	合計年間輸出量	回答数	割合	合計年間輸出量	回答数	割合	合計年間輸出量	回答数	割合	合計年間輸出量
0	0.0		0	0.0		1	6.3		0	0.0		0	0.0	
0	—		0	—	#DIV/0!	1	—	5.0	0	—	#DIV/0!	0	—	#DIV/0!
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		2	1.3	
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		1	0.7	
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		1	0.7	
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
2	4.9		3	4.8		1	6.3		3	6.3		15	9.9	
0	0.0		2	3.2		0	0.0		0	0.0		4	2.6	
39	95.1		57	91.9		14	87.5		45	93.8		131	86.2	
41	100.0		62	100.0		16	100.0		48	100.0		152	100.0	
41	—		62	—		16	—		48	—		152	—	

有限会社・合資・合名会社			株式会社			農協直営			その他		
回答数	割合	合計年間輸出量	回答数	割合	合計年間輸出量	回答数	割合	合計年間輸出量	回答数	割合	合計年間輸出量
2	0.8		3	2.4		0	0.0		0	0.0	
2	—	5.5	3	—	11.8	0	—	#DIV/0!	0	—	#DIV/0!
4	1.6		2	1.6		0	0.0		1	4.5	
3	1.2		2	1.6		0	0.0		0	0.0	
1	0.4		0	0.0		0	0.0		1	4.5	
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
0	0.0		0	0.0		0	0.0		0	0.0	
32	12.6		16	12.9		0	0.0		0	0.0	
3	1.2		7	5.6		1	33.3		0	0.0	
212	83.8		96	77.4		2	66.7		21	95.5	
253	100.0		124	100.0		3	100.0		22	100.0	
253	—		124	—		3	—		22	—	

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
5	13.2		3	5.0		1	6.3		4	8.9		12	7.8	
33	86.8		57	95.0		15	93.8		41	91.1		142	92.2	
0	0.0		0	0.0		0	0.0		2	4.4		4	2.6	
3	7.9		4	6.7		1	6.3		6	13.3		6	3.9	
10	26.3		23	38.3		0	0.0		14	31.1		35	22.7	
20	52.6		30	50.0		14	87.5		19	42.2		97	63.0	
38	100.0		60	100.0		16	100.0		45	100.0		154	100.0	
38	—		60	—		16	—		45	—		154	—	

50頭以上100頭未満			100頭以上200頭未満			200頭以上500頭未満			500頭以上1000頭未満			1000頭以上		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
4	3.2		7	4.8		21	12.0		8	11.4		17	26.2	
121	96.8		140	95.2		154	88.0		62	88.6		48	73.8	
1	0.8		2	1.4		7	4.0		2	2.9		8	12.3	
2	1.6		11	7.5		20	11.4		17	24.3		6	9.2	
28	22.4		54	36.7		64	36.6		24	34.3		20	30.8	
90	72.0		73	49.7		63	36.0		19	27.1		14	21.5	
125	100.0		147	100.0		175	100.0		70	100.0		65	100.0	
125	—		147	—		175	—		70	—		65	—	

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合	金額平均	回答数	割合	金額平均	回答数	割合	金額平均	回答数	割合	金額平均	回答数	割合	金額平均
23	65.7	—	38	62.3	—	6	46.2	—	24	51.1	—	55	36.4	—
12	34.3	—	23	37.7	—	7	53.8	—	23	48.9	—	96	63.6	—
35	100.0	—	61	100.0	—	13	100.0	—	47	100.0	—	151	100.0	—
35	—	—	61	—	—	13	—	—	47	—	—	151	—	—
11	32.4	—	12	20.3	—	1	9.1	—	7	16.3	—	22	15.4	—
0	0.0	—	7	11.9	—	0	0.0	—	3	7.0	—	10	7.0	—
7	20.6	—	15	25.4	—	3	27.3	—	10	23.3	—	29	20.3	—
13	38.2	—	14	23.7	—	1	9.1	—	11	25.6	—	32	22.4	—
23	67.6	46.1	33	55.9	69.2	2	18.2	30.0	17	39.5	61.2	54	37.8	112.3
3	8.8	—	11	18.6	—	6	54.5	—	12	27.9	—	50	35.0	—
34	100.0	—	59	100.0	—	11	100.0	—	43	100.0	—	143	100.0	—
34	—	—	59	—	—	11	—	—	43	—	—	143	—	—

50頭以上100頭未満			100頭以上200頭未満			200頭以上500頭未満			500頭以上1000頭未満			1000頭以上		
回答数	割合	金額平均	回答数	割合	金額平均	回答数	割合	金額平均	回答数	割合	金額平均	回答数	割合	金額平均
66	52.0	—	83	56.1	—	124	73.8	—	50	72.5	—	51	82.3	—
61	48.0	—	65	43.9	—	44	26.2	—	19	27.5	—	11	17.7	—
127	100.0	—	148	100.0	—	168	100.0	—	69	100.0	—	62	100.0	—
127	—	—	148	—	—	168	—	—	69	—	—	62	—	—
11	9.0	—	30	21.7	—	41	25.5	—	18	28.1	—	22	36.7	—
9	7.4	—	14	10.1	—	10	6.2	—	5	7.8	—	7	11.7	—
28	23.0	—	31	22.5	—	38	23.6	—	19	29.7	—	16	26.7	—
34	27.9	—	31	22.5	—	48	29.8	—	15	23.4	—	11	18.3	—
44	36.1	78.7	55	39.9	73.9	79	49.1	75.4	33	51.6	73.0	32	53.3	52.8
40	32.8	—	32	23.2	—	24	14.9	—	7	10.9	—	4	6.7	—
122	100.0	—	138	100.0	—	161	100.0	—	64	100.0	—	60	100.0	—
122	—	—	138	—	—	161	—	—	64	—	—	60	—	—

XX その他

ア 種豚改良を進める上で、重要と考える改良形質は何ですか。

	全国			北海道・東北			関東		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
A産子数	594	82.3	—	142	81.6	—	205	82.7	—
B増体数	487	67.5	—	128	73.6	—	167	67.3	—
C飼料要求率	482	66.8	—	132	75.9	—	162	65.3	—
Dロース芯の太さ	238	33.0	—	62	35.6	—	85	34.3	—
E背脂肪の厚さ	252	34.9	—	71	40.8	—	84	33.9	—
F筋肉内脂肪含量	188	26.0	—	50	28.7	—	63	25.4	—
G体型	223	30.9	—	51	29.3	—	91	36.7	—
H長命連産性	257	35.6	—	66	37.9	—	98	39.5	—
Iその他	39	5.4	—	8	4.6	—	11	4.4	—
合計	2,760	382.3	—	710	408.0	—	966	389.5	—
回答経営体数	722	—	—	174	—	—	248	—	—

ア 種豚改良を進める上で、重要と考える改良形質は何ですか。

	全体			一貫経営			繁殖経営		
	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
A産子数	592	82.2	—	546	82.7	—	31	91.2	—
B増体数	487	67.6	—	452	68.5	—	20	58.8	—
C飼料要求率	481	66.8	—	443	67.1	—	24	70.6	—
Dロース芯の太さ	237	32.9	—	217	32.9	—	10	29.4	—
E背脂肪の厚さ	252	35.0	—	233	35.3	—	13	38.2	—
F筋肉内脂肪含量	188	26.1	—	174	26.4	—	8	23.5	—
G体型	222	30.8	—	203	30.8	—	11	32.4	—
H長命連産性	256	35.6	—	237	35.9	—	12	35.3	—
Iその他	39	5.4	—	36	5.5	—	2	5.9	—
合計	2,754	382.5	—	2,541	385.0	—	131	385.3	—
回答経営体数	720	—	—	660	—	—	34	—	—

北陸			東海			近畿			中国・四国			九州・沖縄		
回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合	
31	88.6	—	44	86.3	—	10	71.4	—	37	78.7	—	125	81.7	—
24	68.6	—	38	74.5	—	6	42.9	—	29	61.7	—	95	62.1	—
28	80.0	—	31	60.8	—	7	50.0	—	33	70.2	—	89	58.2	—
8	22.9	—	22	43.1	—	6	42.9	—	10	21.3	—	45	29.4	—
13	37.1	—	18	35.3	—	5	35.7	—	17	36.2	—	44	28.8	—
9	25.7	—	20	39.2	—	8	57.1	—	10	21.3	—	28	18.3	—
9	25.7	—	14	27.5	—	6	42.9	—	12	25.5	—	40	26.1	—
17	48.6	—	18	35.3	—	3	21.4	—	14	29.8	—	41	26.8	—
1	2.9	—	7	13.7	—	1	7.1	—	5	10.6	—	6	3.9	—
140	400.0	—	212	415.7	—	52	371.4	—	167	355.3	—	513	335.3	—
35	—	—	51	—	—	14	—	—	47	—	—	153	—	—

肥育経営		
回答数	割合	
15	57.7	—
15	57.7	—
14	53.8	—
10	38.5	—
6	23.1	—
6	23.1	—
8	30.8	—
7	26.9	—
1	3.8	—
82	315.4	—
26	—	—





# 養豚農業実態調査票

# 養豚農業実態調査票(平成28年度)

一般社団法人日本養豚協会(JPPA)

## 1 調査目的

本事業は、養豚業におけるコスト削減や生産性の向上の取組等の実態を把握し分析することにより、養豚経営の体質強化に資することを目的に、農林水産省所管の独立行政法人農畜産業振興機構の補助を受け、一般社団法人日本養豚協会が実施するもので、全養豚生産者を対象にしております。

## 2 調査項目

経営の概況、繁殖・肥育等の成績、交配方法、経営の推移と今後の動向、衛生レベル、環境対策などについてお伺いいたします。

## 3 調査票記入についてのお願い

- ・調査票は原則経営体単位でご記入くださるようお願いいたします。
- ・ただし、複数の農場を経営しており、他の都道府県(以下「県」という。)にも農場を経営している場合は、県別に調査票に記入してください。
- ・また、同一県内に複数農場を経営しており、農場の経営タイプ等が異なるなどVI以下の設問について別に記入した方が良いと考えられる場合も別々の調査票に記入してください。(調査票については1部しか送付しておりませんが、お手数でも当会のホームページから打ち出すか当協会に電話で追加請求してください。)
- ・同一経営体で複数の調査票に回答した場合は、メインの調査票に1経営体全体としての設問の回答を記入するとともに、他の調査票には「I 経営者等」及び「V 経営養豚農場等数」を記入し、VI以下の設問に回答してください。
- ・必ずボールペン、万年筆、サインペンなど消えにくいもので記入してください。(鉛筆では記入しないでください。)
- ・回答は番号の( )に○をするものと、□に数値を記入するもの、また、文章を記入するものがあります。□の数値の記入に当たっては、1つの枠に1文字ずつ右詰で記入してください。

・お手数ですが、経営中止された方又は廃業された方は、2頁に法人名等、経営者名、所在地を記入するとともに、2頁下段の注の該当欄に○を記入して返送してください。

## 4 調査票、調査結果の取扱いについて

- ・ご記入後は、同封の返信用封筒にいれ、**11月18日(金)**までに当協会あるいは返信用封筒の県組織までご投函下さるようお願いいたします。
- ・日本養豚協会及び県組織では、担当者が当協会及びそれぞれの県組織の「個人情報保護規程」(当協会<http://pig.lin.gr.jp>掲載)に従って管理するとともに内容確認を行います。
- ・データ入力は、当協会の「個人情報保護規程」に基づき契約を交わした業者に依頼します。
- ・データは、当協会及び県組織の決められたコンピュータ上で担当職員のみ処理、閲覧が出来ないように管理します。
- ・最終調査結果については、全国、地域(ブロック)別に集計、分析し報告書としてとりまとめます。(都道府県毎の集計や、個人情報は一切公表しません。)

## 5 報告書及び粗品の送付について

- ・ご協力いただいた方には、報告書及び粗品をお送りいたします。

【問い合わせ先】 一般社団法人日本養豚協会 ( J P P A )

小磯 (E-mail:koiso@pig-pins.com)

山梨(E-mail:yamanashi@pig-pins.com)

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-27-15高栄ビル2階

TEL : 03 ( 3 3 7 0 ) 5 4 7 3 / FAX : 03 ( 3 3 7 0 ) 7 9 3 7

## I 経営者等

(フリガナ) 法人名等 <sup>※</sup>	( )	(フリガナ) 経営者名	( )	性別 男・女  生年 大正 昭和  平成 西暦 年
<p>※ 有限会社、株式会社、合資会社等の法人格を必ず記入してください。また法人の中に養豚を統括する部署がある場合は部署名も記入してください。</p> <p>※ 個人経営の場合、「法人名等」は記入の必要はありません。</p>				
所在地	〒 - 都道 市 区 府県 郡 町村			
電話番号			F A X 番号	
メールアドレス <sup>※※</sup>	@			
記入者名 <sup>※※※</sup>		経営者との関係	連絡先(住所)	連絡先(メールアドレス等)

※※ メールアドレスの記入は任意ですが、極力記入をお願いいたします。

※※※ 記入者名は、経営者以外の方が記入した場合は記入をお願いいたします。また、この場合、住所、メールアドレス等連絡先を記入してください。

## II 経営形態 (1から7の中から○は1つだけ)

<p>1 ( ) 個人経営 (家族労働主体)</p> <p>2 ( ) 農事組合法人</p> <p>3 ( ) 有限会社 (LLC法人を含む。)</p> <p>4 ( ) 合資会社・合名会社</p> <p>5 ( ) 株式会社</p> <p>6 ( ) 農業協同組合法人 (農協等) の直営養豚場</p> <p>7 ( ) その他 (都道府県、公益法人、学校法人等上記1から6以外)</p>
---

●契約・預託農場であるか・否か (○は一つだけ)

<p>1 ( ) 会社、農協、民間養豚場等の契約・預託農場である。</p> <p>2 ( ) 会社、農協、民間養豚場等の契約・預託農場ではない。</p>
--

## III 養豚従事者数

1 ( ) 家族労働 (経営主本人、配偶者、子、孫、きょうだい、父母、祖父母等)	..	<input type="text"/>	人
2 ( ) 常勤雇員 (社員、契約社員、パート、アルバイト)	.....	<input type="text"/>	人
3 ( ) 非常勤雇員 (必要な日、必要な時間で雇用)	.....	<input type="text"/>	人
4 ( ) その他 (豚肉加工・販売など担当)	.....	<input type="text"/>	人

(注) 経営を中止又は廃業されている場合は、法人名等、経営者名、所在地をご記入の上、下記該当欄に○を記入して返送してください。(この頁のみFAX可)

( 1 ( ) 経営中止、 2 ( ) 廃業 )

**IV 後継者** (○は1つだけ、1又は2に○の場合は年齢を記入)

1 ( ) 決まっている。…………… (後継者の年齢  歳)

2 ( ) 対象者はいるが、現在は決まっていない。…………… (対象者の年齢  歳)

3 ( ) 自分の年齢が若いので考えていない。

4 ( ) 後継者はいない・後継者は考えていない。

5 ( ) 経営形態が後継者と関係ない。(株式会社等)

**V 経営養豚農場数等**

経営養豚農場所在県	養豚農場数	農 場 名	以下の農場についてVI以下の設問に回答
県名 ( )	<input type="text"/>	( ) ( )	左と同様 または 以下の農場
		( ) ( )	( ) ( )
		( ) ( )	( ) ( )
		( ) ( )	( ) ( )
		( ) ( )	( ) ( )
他の県にある経営農場数		(県名 (農場数 ) ) (県名 (農場数 ) )	(県名 (農場数 ) ) (県名 (農場数 ) )

**VI 経営タイプ** (○はいくつでも) 【①経営体全体について回答 ②Vの右欄の農場について回答】(①又は②のどちらかに○、以下同じ)

1 ( ) 一貫経営

ア ( ) 一貫経営の繁殖農場

A ( ) 純粋種豚生産農場

B ( ) 純粋種豚と子取り用雌豚生産農場

C ( ) 子取り用雌豚生産農場

D ( ) 肉用子豚の生産農場

イ ( ) 一貫経営の子豚育成農場

ウ ( ) 一貫経営の肥育農場

エ ( ) 一貫経営の一貫生産農場

オ ( ) 一貫経営の豚人工授精所

2 ( ) 繁殖経営

ア ( ) 純粋種豚生産農場

イ ( ) 純粋種豚と子取り用雌豚生産農場

ウ ( ) 子取り用雌豚生産農場

エ ( ) 肉用子豚の生産農場

オ ( ) 豚人工授精所

3 ( ) 肥育経営

**Ⅶ 飼養頭数** (平成28年8月1日現在) 【①経営体全体について回答 ②Vの右欄の農場について回答】

1 女子取り用雌豚(育成豚を除く。)品種・品種組み合わせ別頭数

純粋種	品種	ランドレース /L	大ヨークシャー /W	中ヨークシャー /Y	パークシャー /B	デュロック /D	ハンブシャー /H	その他	計
	頭数								
交雑種	品種	LW	WL	※ LW.WL何れか		※※その他の組み合わせ		海外ハイブリッド	計
	頭数						(※※※ )		

※ LWとWLの頭数区分が出来ない場合は合計数を「LW、WL何れか」に記入

※※「その他の組み合わせ」には、組み合わせ品種不明を含む。

※※※の( )にはハイブリッド名を記入

2 ♂利用中の種雄豚(育成豚を除く。)品種・品種組み合わせ別頭数

純粋種	品種	ランドレース /L	大ヨークシャー /W	中ヨークシャー /Y	パークシャー /B	デュロック /D	ハンブシャー /H	その他	計
	頭数								
交雑種	品種	HD	DH	BD	DB	※その他の組み合わせ		海外ハイブリッド	計
	頭数							(※※ )	

※「その他の組み合わせ」には、組み合わせ品種不明を含む

※※の( )にはハイブリッド名を記入

- 3 育成豚(繁殖利用予定で未交配(雌、雄)のもの) ..... 頭
- 4 子豚(子豚舎、子豚豚房で飼養しているもの+哺乳中のもの) ..... 頭
- 5 肥育豚(肥育舎、肥育豚房で飼養しているもの) ..... 頭

**Ⅷ 出荷頭数等** (平成27年1~12月の総頭数) 【①経営体全体について回答 ②Vの右欄の農場について回答】

- 1 年間肉豚出荷頭数 ..... 頭
- 2 繁殖豚(雄、雌)年間廃用頭数 ..... 頭
- 3 年間肉用子豚出荷(同一経営の農場間移動を含む。)頭数 ... 頭
- 4 種豚候補豚(純粋・F1等)の出荷(同一経営の農場間移動含む。)頭数 ..... 頭

**Ⅸ 肉豚出荷日数、出荷体重、枝肉重量** (平成27年1~12月の総頭数) 【①経営体全体について回答 ②Vの右欄の農場について回答】

- 1 肉豚出荷日齢平均(生後日齢) ..... 日齢
- 2 肉豚出荷生体重平均 ..... kg
- 3 肉豚1頭当たり枝肉重量平均 ..... kg

**X 繁殖・肥育等の成績** 【①経営体全体について回答 ②Vの右欄の農場について回答】

1 繁殖成績 (平成27年1～12月の平均)			
ア 1腹当たり(1分娩当たり) 平均哺乳開始頭数	.....	<input style="width:40px; height:20px;" type="text"/>	頭
イ 1腹当たり(1分娩当たり) 平均離乳頭数	.....	<input style="width:40px; height:20px;" type="text"/>	頭
ウ 平均育成率 (イ÷ア×100)	.....	<input style="width:40px; height:20px;" type="text"/>	%
エ 平均受胎率 (受胎頭数÷種付頭数×100)	.....	<input style="width:40px; height:20px;" type="text"/>	%
オ 平均分娩率 (分娩頭数÷種付頭数×100)	.....	<input style="width:40px; height:20px;" type="text"/>	%
カ 母豚の年間平均分娩回数 (年間分娩数÷常時子取り用雌豚頭数)	.....	<input style="width:40px; height:20px;" type="text"/>	回
-----			
2 年間肉豚出荷頭数の格付割合 (平成27年)			
ア 格付している割合			
A 日格協の格付 (年間日格協格付頭数÷年間出荷頭数×100)	.....	<input style="width:40px; height:20px;" type="text"/>	%
B 自主格付 (年間自主格付頭数÷年間出荷頭数×100)	.....	<input style="width:40px; height:20px;" type="text"/>	%
イ 格付していない(生体出荷)割合 (年間生体出荷頭数÷年間出荷頭数×100)	.....	<input style="width:40px; height:20px;" type="text"/>	%
(格付けしていない理由: )	計	100.0	%
-----			
3 「上」物率 (平成27年)			
格付している肉豚の上物率 ((年間「極上」+「上」頭数)÷年間出荷頭数×100)	.....	<input style="width:40px; height:20px;" type="text"/>	%
-----			
4 農場飼料要求率 (平成27年)			
農場飼料要求率 (期間飼料消費量÷期間増体重)	.....	<input style="width:40px; height:20px;" type="text"/>	
-----			
5 事故率 (平成27年1～12月の平均)			
ア 子豚舎・子豚豚房(離乳後から肥育組入れまで)	.....	<input style="width:40px; height:20px;" type="text"/>	%
<small>(期間内の離乳後から肥育組み入れ間の事故頭数÷期間内の総離乳頭数×100) (○は1つだけ)</small>			
A ( ) 前年より良くなった。			
B ( ) 前年と変わらない。			
C ( ) 前年より悪くなった。			
イ 肥育舎・肥育豚房(肥育組入れから出荷時まで)	.....	<input style="width:40px; height:20px;" type="text"/>	%
<small>(期間内の肥育組み入れから出荷時の事故頭数÷期間内の総肥育組入頭数×100) (○は1つだけ)</small>			
A ( ) 前年より良くなった。			
B ( ) 前年と変わらない。			
C ( ) 前年より悪くなった。			
ウ 通期(離乳後から出荷時まで) ※	.....	<input style="width:40px; height:20px;" type="text"/>	%
<small>(期間内の離乳後から出荷時の事故頭数÷期間内の総離乳頭数×100) (○は1つだけ)</small>			
A ( ) 前年より良くなった。			
B ( ) 前年と変わらない。			
C ( ) 前年より悪くなった。			
※ ア及びオに分けて事故率を把握していないが、通期で把握出来る場合はウの欄のみ記入してください			

6 事故率改善の対策を実施していますか。 【①経営体全体について回答 ②Vの右欄の農場について回答】

ア ( ) 事故率改善のための対策をした

- A ( ) 豚舎の新築、改築
- B ( ) 生産方式の変更
- C ( ) 生産環境の改善
- D ( ) 衛生対策

- a ( ) 農場衛生HACCPの導入
- b ( ) 疾病予防マニュアルの見直し、徹底
- c ( ) 管理獣医師による検査と指導の導入
- d ( ) 豚舎消毒の徹底
- e ( ) 施設のゾーニング
- f ( ) ワクチネーションプログラムの見直し、変更

E ( ) その他

イ ( ) 対策は実施していない

**XI 交配方法** 【①経営体全体について回答 ②Vの右欄の農場について回答】

1 発情期の基本交配（授精） (○は1つだけ)

- ア ( ) 1回
- イ ( ) 2回～3回
- ウ ( ) 4回以上
- エ ( ) 不明

2 交配方法 (○は1つだけ)

- ア ( ) 自然交配のみ（人工授精は全く行っていない。）
- イ ( ) 自然交配を主とし、人工授精を従としている。
- ウ ( ) 人工授精を主とし、自然交配を従としている。
- エ ( ) 人工授精のみ

3 交配方法の対象雌豚割合

ア 自然交配のみで交配している雌豚 .....	□ □ □ . □ %
イ 自然交配と人工授精を併用している雌豚 .....	□ □ □ . □ %
ウ 人工授精のみで交配している雌豚 .....	□ □ □ . □ %
計	1 0 0 . 0 %

4 人工授精を実施している方 (2でイ、ウ又はエと回答した方)

ア 精液の入手方法について (○は1つだけ)

- A ( ) すべて自家産(同一経営の別農場産も含む。)
- B ( ) すべて外部(都道府県試験場、民間人工授精所等)から購入
- C ( ) 自家産と外部導入の併用

イ 生産、導入本数とボトルの容量 (平成27年)

A 年間自家生産本数 .. ボトル		本 .....	一本の容量		CC
B 年間外部導入本数 .. ボトル		本 .....	一本の容量		CC

5 人工授精の今後の意向をお伺いします。 (アからオの中から1つだけ○)

ア ( ) 人工授精は今後も実施する。 (○をした方はAからCに1つだけ○)

- A ( ) 人工授精の割合を増やしたい。  
 B ( ) 人工授精の割合を維持したい。  
 C ( ) 人工授精を割合を縮小したい。

- イ ( ) 人工授精をやめたい。  
 ウ ( ) 人工授精をすぐに導入する予定(導入したい。)  
 エ ( ) 人工授精の導入を今後検討してみたい。  
 オ ( ) 今後も人工授精の導入は考えていない。

**XII 給与飼料** 【①経営体全体の回答 ②Vの右欄の農場について回答】

1 飼料給与体系 (○は1つだけ)

- ア ( ) 市販配合飼料のみ (配合割合等を指定してメーカーに配合させたものを含む。)  
 イ ( ) 市販配合飼料 + 自家配合飼料  
 ウ ( ) 自家配合飼料のみ (単味飼料等(エコフィードを含む。)の原料を調達して自ら配合・調整したもの)

2 年間使用量 (平成27年度)

ア 配合飼料 . . . . .      t

イ 飼料用米 . . . . .      t

ウ エコフィード . . . . .      t (  ) %

食品残さの加工を行っている場合、食品残さ受入数量 . . . . .      t

エ その他 (具体的な品名と数量を記入)

(  ) . . . . .      t

(  ) . . . . .      t

(  ) . . . . .      t

**【記入上の注意】**

○ エコフィードは、食品工場から排出される食品製造副産物(パン屑、とうふ粕等)、スーパーやコンビニ等から排出される余剰食品(賞味期限切れ弁当等)、飲食店等から排出される調理残さ(カット野菜屑等)、農場残さ(規格外野菜等)を原料として、加熱乾燥、発酵、液状化(リキッド)等の加工処理により飼料化したものです。米ぬか、ふすま、油かす、ビートパルプは含みません。自ら、加熱乾燥、発酵、液状化(リキッド)等の加工処理を行っている場合は、食品残さ受入数量も記入願います。

○ 配合飼料の原料にエコフィードが含まれる場合は、「ウ エコフィード」に配合飼料の利用量を記入するとともに、エコフィードの配合割合をカッコに記入願います。

記入例: ウ エコフィード 2000t (10)%

○ MA米を使用している場合には、「エ その他」に記入願います。

3 飼料用米の今後の利用意向について、○印を1つ記入するとともに年間使用量(予定を含む。)を記入してください。

- ① ( ) 飼料用米の利用を継続したい。 年間      t 程度 (上記2のイと同じ)
- ② ( ) 飼料用米の利用を拡大したい。 年間      t 程度
- ③ ( ) 新たに飼料用米の使用を始めたい。 年間      t 程度
- ④ ( ) 飼料用米の使用を減らしたい。 年間      t 程度
- ⑤ ( ) 飼料用米の使用を中止したい。



4 エコフィード利用の有無と今後の意向

(1) 利用の有無

- ① ( ) あり
- ② ( ) なし

(2) 今後の意向

- ① ( ) 現在、利用を検討中 (年間利用予定数量:     t)
- ② ( ) 今後、利用してみたい。
- ③ ( ) 利用予定なし

**XII 経営の推移と今後の動向** 【①経営体全体の回答 ②Vの右欄の農場について回答】

**1 飼養頭数の推移** (平成28年8月1日現在)

区 分	a 繁殖豚頭数	b 肥育豚頭数
A 増やした(昨年8月1日と比較して)	前年同日より <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 頭増	前年同日より <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 頭増
B 変更していない (変更していない場合 ( ) に○)	( )	( )
C 減らした (昨年8月1日と比較して)	前年同日より <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 頭減	前年同日より <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 頭減
頭数を増やした理由	A ( ) 計画していた豚舎が完成したので増頭した。 B ( ) 後継者が経営に参加したので増頭した。 C ( ) 1頭当たりの生産性が低下したので収入を守るために増頭した。 D ( ) 委託、預託の農場を増やした。 E ( ) 出荷先から増頭の要請があった。 F ( ) 養豚生産者が減少しているのを将来儲かりそうなので増頭 G ( ) 事情により生産を縮小していたのを元に戻した。 H ( ) その他(具体的に: )	A ( ) 計画していた豚舎が完成したので増頭した。 B ( ) 後継者が経営に参加したので増頭した。 C ( ) 繁殖豚1頭当たりの生産性向上のため D ( ) 委託、預託の農場を増やした。 E ( ) 出荷先から増頭の要請があった。 F ( ) 養豚生産者が減少しているのを将来儲かりそうなので増頭 G ( ) 事情により生産を縮小していたのを元に戻した。 H ( ) その他(具体的に: )
頭数を減らした理由	A ( ) 疾病対策で豚を入れ替えるため B ( ) 生産資材(飼料、光熱水料、薬品費等)の高騰で儲からないから C ( ) 高齢化で労働が厳しくなったから D ( ) 労働力が確保出来なくなったから E ( ) 委託、預託農場となるため F ( ) 廃業するため G ( ) 飼料システム・経営形態の変更 H ( ) 環境対策 I ( ) その他(具体的に: )	A ( ) 疾病対策で豚を入れ替えるため B ( ) 生産資材(飼料、光熱水料、薬品費等)の高騰で儲からないから C ( ) 高齢化で労働が厳しくなったから D ( ) 労働力が確保出来なくなったから E ( ) 委託、預託農場となるため F ( ) 廃業するため G ( ) 飼料システム・経営形態の変更 H ( ) 環境対策 I ( ) その他(具体的に: )

**2 養豚経営の今後の意向** (アからウの中から○は1つだけ)

ア ( ) 経営を拡大する。 (○をした方はAからCのどれか1つ○)

- A ( ) 今年中に規模拡大する計画がある。
- B ( ) 3年以内に規模拡大する計画がある。
- C ( ) 今後規模拡大を検討したい。

イ ( ) 現状維持

ウ ( ) 経営を縮小 (○をした方はAからEのどれか1つ○)

- A ( ) 今年中に縮小する計画がある。
- B ( ) 3年以内に縮小する計画がある。
- C ( ) 今後縮小を検討したい。
- D ( ) 今年中に廃業する計画がある。
- E ( ) 近く廃業したいと考えている。

(DまたはEに○をした方はaからfの中からどれか1つ)

- a ( ) 後継者がいないため
- b ( ) 労働力が確保できないため
- c ( ) 環境問題のため
- d ( ) 負債があるため
- e ( ) 生産資材(飼料等)の高騰で儲からないから
- f ( ) その他(具体的に: )

**XIV 衛生レベル** 【①経営体全体の回答 ②Vの右欄の農場について回答】

**現在取り組んでいる防疫対策について**

**1 農場における人の入退場について** (アからサの中から○はいくつでも)

- ア ( ) 衛生管理区域であることをしめす看板等の設置
- イ ( ) シャワーイン・シャワーアウトの実施
- ウ ( ) 農場専用の衣服への交換
- エ ( ) 農場専用の履物への交換
- オ ( ) 豚舎専用の衣服への交換
- カ ( ) 豚舎専用の履物への交換
- キ ( ) 農場専用の踏み込み消毒槽の設置
- ク ( ) 豚舎専用の踏み込み消毒槽の設置
- ケ ( ) 来場者名簿の設置
- コ ( ) 防疫上問題となる場所からの一定期間の入場制限
- サ ( ) 何も対策をしていない。

**2 豚の導入時の対応について** (〇はいくつでも)

- ア ( ) 農場から離れた隔離検疫施設で一定期間の隔離検疫を実施している。
- イ ( ) 農場内の隔離検疫施設で一定期間の隔離検疫を実施している。
- ウ ( ) 豚舎内の離れた豚房で一定期間隔離検疫を実施している。
- エ ( ) 隔離検疫は特に実施していない。
- オ ( ) 外部からの生体導入は一切していない。

**3 農場内への資材(農場内で使用する器具・機材等)の搬入時の対応について** (〇はいくつでも)

- ア ( ) 倉庫等に一定期間おいてから消毒し搬入している。
- イ ( ) 消毒をしてから搬入している。
- ウ ( ) 倉庫等に消毒せずに一定期間おいてから搬入している。
- エ ( ) 特別な対策はせずに直接搬入している。

**4 車輦の入退場の対応について** (〇はいくつでも)

- ア ( ) 外来車輦の消毒を実施している。
- イ ( ) 出荷トラックの消毒を実施している。
- ウ ( ) 消毒ゲートを設置している。
- エ ( ) 動力噴霧機を設置している。
- オ ( ) 石灰帯を設置している。
- カ ( ) 必ず農場職員が消毒の実施又は確認している。
- コ ( ) 特に対策は実施していない。

**5 野生動物の侵入防止策について** (〇はいくつでも)

- ア ( ) 畜舎の破損状況を確認し、必要な修繕を実施している。
- イ ( ) 農場周囲に金網等を廻らせ、必要な修繕も実施している。
- ウ ( ) 豚舎の開放部に防鳥ネット等を張って、必要な修繕も実施している。
- エ ( ) ネズミ駆除等を実施している。
- オ ( ) 特別な対策はしていない。
- カ ( ) その他の対策 (具体的に : )

**1 畜産業関係の悪臭苦情の対応について**

**ア 過去1年以内に住民等から悪臭苦情が寄せられたことがありますか。** (A,Bのどちらかに○)

A ( ) ある (○をした方はaからcの中から○は1つだけ)

- a ( ) 近隣の住民より直接
- b ( ) 県・市・町・村の公的機関を通して
- c ( ) その他(具体的に: )

B ( ) ない

**イ (アでAと回答した方) 苦情を減らすための方法等を公的機関に相談しましたか。** (A,Bのどちらかに○)

A ( ) 相談した。 (○をした方はaからfの中から○は1つだけ)

- a ( ) アドバイスを試したところ、有効であった。
- b ( ) アドバイスを試したが、有効でなかった。
- c ( ) アドバイスを試したが、まだ効果があったかどうかわからない。
- d ( ) アドバイスを試さなかった。理由は参考にならないと判断したから
- e ( ) アドバイスを試さなかった。理由はコストが高かったから
- f ( ) まだアドバイスを受けていない。

B ( ) 相談しなかった。 (○をした方はaからdの中から○は1つだけ)

- a ( ) どの公共機関に相談してよいかわからなかったから
- b ( ) アドバイスは必要ないと感じたから
- c ( ) 公的機関以外に相談しているから
- d ( ) その他

**ウ 悪臭苦情の対策として、公的機関に対して、今後、特にどのような役割を期待しますか。**

(AからFの中から○は1つだけ)

- A ( ) 悪臭苦情の対策についての有効な情報を提示して欲しい。
- B ( ) 畜産農家対象の悪臭対策の勉強会や講習会を開いて欲しい。
- C ( ) 小・中学生が畜産や農業に親しめるようなイベント活動を開いて欲しい。
- D ( ) 市民農園、家庭菜園を持っている住民や耕種農家に堆肥を無料譲渡できるような仕組みを作って欲しい。
- E ( ) 住民との話し合や交流の場、機会を提供して欲しい。
- F ( ) その他(具体的に: )

2 ふん尿の処理状況 (平成27年1～12月)

ア 飼養している豚のふん尿の処理量について、処理状況別の割合を記入してください。

(放牧した期間は除く。) (該当する項目に数値を記入。ふん、尿、ふん尿混合別にそれぞれの合計は100%)

	① ふん	② 尿	③ふん尿混合
A 自家処理施設	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
製造した堆肥・液肥の散布・譲渡先を教えてください (複数選択可)			
	a ( ) 経営内圃場に散布 b ( ) 経営外圃場に無償で散布 c ( ) 経営外圃場に有償で散布 (わら等と交換している場合は有償に含める) d ( ) 無償譲渡 e ( ) 有償譲渡 (わら等と交換している場合は有償に含める)		
(該当する処理がある場合)	→		
B 共同処理施設※	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
C 公共下水道処理施設	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
D 廃棄物処理業者に委託	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
E その他	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
	1 0 0 %	1 0 0 %	1 0 0 %

※ 共同処理施設とは、「数戸が共同で施設を設置して処理する場合」又は「堆肥センターでの処理」をいう。

→イ (アでAまたはBと回答した方) 処理方法を教えてください。 (該当する項目に数値を記入。ふん、尿、ふん尿混合別にそれぞれの合計は100%)

	① ふん	② 尿	③ふん尿混合
A 天日乾燥	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
B 火力乾燥	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
C 強制発酵※	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
D 堆積発酵※※	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
E 焼却	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
F 浄化	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
G 貯留	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
H その他	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> %
	1 0 0 %	1 0 0 %	1 0 0 %

※ 強制発酵とは、「開閉式または密閉式の強制通気攪拌方式の処理施設での発酵」又は「送風措置を備えた堆肥舎での発酵」又は「貯留槽での曝気処理」をいう。

※※ 堆積発酵とは、「堆肥舎に堆積し、時々切り返しながらか発酵させる場合」をいう。

ウ 水質汚濁防止法の特定施設の届出をしていますか。 (A、Bのどちらかに○)

A ( ) 届出をしている

・ 年1回以上、硝酸性窒素等について水質検査をしています (a、bのどちらかに○)  
 (※特定施設の届出をしている場合、排水基準に定められた事項(硝酸性窒素等など養豚に  
 関係するもの)について、年1回以上、水質の測定・記録・保存が義務付けられています。)

a ( ) はい

・ 水質検査の測定値を教えてください。

・ 硝酸性窒素等<sup>※1</sup>

(一般排水基準：100mg/L, 暫定排水基準:600mg/L(H27.7から))

mg/L

※1 アンモニア、アンモニア化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物(アンモニア性窒素×0.4、  
 亜硝酸性窒素、硝酸性窒素の合計量)

・ 窒素<sup>※2</sup>(一般排水基準：120mg/L, 暫定排水基準:170mg/L)

mg/L

・ りん<sup>※2</sup>(一般排水基準：16mg/L, 暫定排水基準:25mg/L)

mg/L

※2 窒素及びリンについては、規制対象地域外の場合は、ご記入は不要です。

b ( ) いいえ

B ( ) 届出をしていない(届出は不要である)

**XII アニマルウェルフェアについて** 【①経営体全体の回答 ②Vの右欄の農場について回答】

ア アニマルウェルフェア、動物福祉、または快適性に考慮した家畜の飼養管理(※)という言葉を知っていますか。

(A、Bのどちらかに○)

A ( ) 知っている (○をした方はaからdの中から○は1つだけ)

a ( ) アニマルウェルフェアの考え方を取り入れている。

i ( ) 「アニマルウェルフェアの考え方に対応した飼養管理指針(※※)」に従って取り入れている。

ii ( ) 「アニマルウェルフェアの考え方に対応した飼養管理指針」には従っていない。

b ( ) アニマルウェルフェアについて何らかの対応を検討中または検討予定。

c ( ) アニマルウェルフェアについて具体的に十分理解していないので、さらに情報が欲しい。

d ( ) 聞いたことはあるが、内容をよく知らない。

e ( ) 対応の予定はない。

B ( ) 知らない

※アニマルウェルフェア(Animal Welfare)は、日本語では、「動物福祉」や「家畜福祉」と訳される場合があります。しかし、「福祉」という言葉が社会保障を指す言葉としても使用されていることから、本来の「幸福」や「良く生きる」という考え方が十分に反映されておらず、誤解を招くおそれがあります。このため、家畜(産業動物)においては、「アニマルウェルフェア」を「快適性に配慮した家畜の飼養管理」と定義しています。

※※(公社)畜産技術協会作成

イ 繁殖用雌豚の飼養管理にストールを常用（※）していますか。

※常用＝種付け後約4週間から分娩予定日の1週間前までの期間を除き、ストール飼いをしている。

(A、Bのどちらかに○)

A ( ) はい (○をした方はa、bどちらかに○)

a ( ) 今後、群飼育を検討したい。  
b ( ) 今後も群飼育を検討する予定はない。

B ( ) いいえ (群飼育をしている)

ウ 以下の処置を行う際に麻酔処置を行っていますか。 (a、bどちらかに○)

A 去勢

a ( ) はい  
b ( ) いいえ (無麻酔)

今後、麻酔下での処置を検討していますか。  
a ( ) はい (a、bどちらかに○)  
b ( ) いいえ

B 歯の切断

a ( ) はい  
b ( ) いいえ (無麻酔)

今後、麻酔下での処置を検討していますか。  
a ( ) はい (a、bどちらかに○)  
b ( ) いいえ

C 尾の切断

a ( ) はい  
b ( ) いいえ (無麻酔)

今後、麻酔下での処置を検討していますか。  
a ( ) はい (a、bどちらかに○)  
b ( ) いいえ

**XII 豚肉輸出** 【①経営体全体の回答 ②Vの右欄の農場について回答】

**あなたの生産している豚肉に係る海外輸出の取組みについて**

(注) A、B、Cは自ら輸出する場合(輸出の収益が自農場に帰属する場合です。通関手続き、輸送等を一部委託する場合があります。)に

○印をつけて下さい。(○は1つ)

A ( ) すでに輸出している。 輸出国 ( ) 年間 

--	--	--	--	--

 t

B ( ) 輸出に向けて準備中 輸出予定国 ( )

(A又はBに該当する場合、aからdの該当欄に○)

a ( ) 自ら輸出ルート構築(または構築予定)  
b ( ) 農協系ルートを利用(または利用予定)  
c ( ) 大手ハムメーカールートを利用(または利用予定)  
d ( ) 飼料メーカールートを利用(または利用予定)

C ( ) 機会があれば輸出したい。 輸出希望国 ( )

D ( ) 販売・出荷した豚肉が、販売先から輸出されたと聞いている。 輸出先国 ( )

E ( ) 特に考えていない。

**XVII 農場HACCP導入の取り組みについて** 【①経営体全体の回答 ②Vの右欄の農場について回答】

農場HACCPを導入していますか。 (A、Bのどちらかに○)

A ( ) 導入している。

B ( ) 導入していない。 (○をした方はaからdの中から○は1つだけ)

└─┬─┐ └─┬─┐ └─┬─┐ └─┬─┐	a ( ) 現在申請中。
	b ( ) 導入を検討しているところ。
	c ( ) 現時点で導入する予定はないが、今後検討したい。
	d ( ) 導入予定はない。

**XIX チェックオフ制度について**

ア 養豚のチェックオフ制度は、豚肉の消費拡大等に必要な活動のためにすべての生産者から売上額の一部を徴収し、基金化するものである。

アメリカでは、1960年代から養豚業の発展と収益性の向上のため生産者団体がチェックオフを任意に実施し、その後他の食肉との競争の高まりにより消費減退が進んだことから1985年に法制化（販売額の0.4%を徴収）された。イギリス、韓国などでもチェックオフが法制化されている。我が国においてもTPP発効後の安価な輸入豚肉との競争力をつけるためにも、養豚生産者が一丸となって国産豚肉を消費者へPRする必要がある。政府でも「総合的なTPP関連政策大綱」において「検討の継続項目」の一つとして、チェックオフ制度の導入が検討されている。このような状況をご存じでしたか (A、Bのどちらかに○)

A ( ) 知っている。

B ( ) 知らなかった。

イ 豚肉におけるチェックオフの導入について (○は1つだけ)

A ( ) 積極的に参加する。

B ( ) 徴収する額しだいで参加を検討する。

C ( ) チェックオフの徴収金で何をするかにより参加を検討する。

D ( ) すべての生産者が参加することが条件であれば参加する。

└─┬─┐ └─┬─┐	徴収するとした場合に妥当と思う金額
	( ) 円/頭

E ( ) チェックオフの導入の必要性を感じない。



**Ⅹ その他**

ア 種豚改良を進める上で、重要と考える改良形質は何ですか。 (○はいくつでも)

A ( ) 産子数

B ( ) 増体性

C ( ) 飼料要求率

D ( ) ローヌ芯の太さ

E ( ) 背脂肪の厚さ

F ( ) 筋肉内脂肪含量

G ( ) 体型

H ( ) 長命連産性

I ( ) その他 (具体的に: \_\_\_\_\_ )

イ 今後養豚経営に必要と考える技術開発について記入して下さい。

( )

- ご協力ありがとうございました。

(詳細集計)  
養豚農業実態調査全国集計結果  
平成 28 年度

一般社団法人日本養豚協会 (JPPA)

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-27-15 高栄ビル 2 階  
電話 03-3370-5473 FAX 03-3370-7937

H29. 3

禁無断転載